

(受生学 8 - 4)

総合野外活動センター管理棟及び体育館非構造部材 耐震対策改修工事

図面番号	建築図面名称	図面番号	建築図面名称	図面番号	機械設備図面名称	図面番号	電気設備図面名称
A - 0 0	表紙・図面リスト	A - 3 2	膜天井工事 詳細図 0 1	M - 0 1	屋内運動場 換気設備図 (撤去図・改修図)	E - 0 1	電気設備工事特記仕様書- 1
A - 0 1	建築改修工事特記仕様書- 1	A - 3 3	膜天井工事 詳細図 0 2			E - 0 2	電気設備工事特記仕様書- 2
A - 0 2	建築改修工事特記仕様書- 2	A - 3 4	膜天井工事 詳細図 0 3・部材リスト			E - 0 3	照明器具姿図
A - 0 3	建築改修工事特記仕様書- 3	A - 3 5	屋内運動場 1階・2階平面図 仮設計画図 (参考図)			E - 0 4	管理棟 3階平面図 電灯設備図
A - 0 4	建築改修工事特記仕様書- 4	A - 3 6	屋内運動場 立面図 仮設計画図 (参考図)			E - 0 5	管理棟 3階平面図 自動火災報知設備設備図
A - 0 5	建築改修工事特記仕様書- 5	A - 3 7	屋内運動場 2階平面図 (撤去図・改修図)			E - 0 6	屋内運動場 1階平面図 電灯設備図
A - 0 6	建築改修工事特記仕様書- 6	A - 3 8	屋内運動場 天井伏図 (現状図・改修図)			E - 0 7	屋内運動場 2階平面図 電灯設備図
A - 0 7	建築改修工事特記仕様書- 7	A - 3 9	屋内運動場 1階平面図・建具配置図 (現状図・改修図)			E - 0 8	照明器具他取付詳細図
A - 0 8	アスベスト対策工事仕様書	A - 4 0	屋内運動場 建具リスト (現状図・改修図)				
A - 0 9	付近見取り図・配置図	A - 4 1	屋内運動場 北立面図 (現状図・改修図)				
A - 1 0	仮設計画図	A - 4 2	屋内運動場 東立面図 (現状図・改修図)				
A - 1 1	管理棟 1階平面図・仮設計画図 (参考図)	A - 4 3	屋内運動場 南立面図 (現状図・改修図)				
A - 1 2	管理棟 2階平面図・仮設計画図 (参考図)	A - 4 4	屋内運動場 西立面図 (現状図・改修図)				
A - 1 3	管理棟 3階平面図・仮設計画図 (参考図)	A - 4 5	屋内運動場 A - A ' 断面図 (現状図・改修図)				
A - 1 4	管理棟 A - A ' 断面図詳細図・仮設計画図 (参考図)	A - 4 6	屋内運動場 B - B ' 断面図 (現状図・改修図)				
A - 1 5	管理棟 F - F ' 断面図詳細図・仮設計画図 (参考図)	A - 4 7	屋内運動場 C - C ' 断面図 1 (現状図)				
A - 1 6	管理棟 1階平面図	A - 4 8	屋内運動場 C - C ' 断面図 2 (現状図・改修図)				
A - 1 7	管理棟 2階平面図	A - 4 9	屋内運動場 2階母屋・母屋受け伏図 (現状図)				
A - 1 8	管理棟 3階平面図	A - 5 0	屋内運動場 体育器具図 1 (改修図)				
A - 1 9	3階天井伏図 (撤去・改修図)	A - 5 1	屋内運動場 パトン (改修図)				
A - 2 0	管理棟 西立面図・北立面図						
A - 2 1	管理棟 東立面図・南立面図						
A - 2 2	管理棟 断面図 1						
A - 2 3	小屋組 鉄骨トラス 伏図						
A - 2 4	小屋組 組み降ろし材配置図						
A - 2 5	小屋組 斜部材配置図						
A - 2 6	小屋組 下弦部材配置図						
A - 2 7	小屋組 上弦部材配置図						
A - 2 8	小屋組 鉄骨トラス 断面図						
A - 2 9	膜天井工事 天井伏図 (改修図)						
A - 3 0	膜天井工事 断面図 0 1						
A - 3 1	膜天井工事 断面図 0 2						

建築改修工事 特記仕様書

【1】 工事概要

1. 工事場所 _____

2. 敷地面積 _____ m²

3. 建築物概要

棟名	構造	階数	建築面積(m ²)	延べ面積(m ²)	備考
					執務並行改修 全館無人改修
					執務並行改修 全館無人改修
					執務並行改修 全館無人改修

4. その他 _____

【2】 適用範囲

現場説明書（質疑回答書を含む）、本特記仕様書、図面、改修標準仕様書に示す範囲とする。すべての設計図書は相互に補充するものとし、相違がある場合は、上記の順番を優先順位とする。上記の標準仕様書とは、国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「公共建築改修工事標準仕様書（建築工事編）（令和7年版）をいう。（以下、これを「改修標仕」という。）本書に特に記載のない事項にあっても、すべて、「改修標仕」の適用を受けるものとする。

【3】 工事区分

設計図書による。
別契約の施工と密接に関連する工事との取合い部分が発生する場合は、別紙工事区分表による。

【4】 工事仕様

- 設計図書による。設計図書に記載されていない事項は、「改修標仕」のほか別記の適用基準による。
- 項目は、番号に 印の付いたものを適用する。
- 特記事項は、印の付いたものを適用する。印の付かない場合は、印の付いたものを適用する。印と 印の付いた場合は、共に適用する。印が抹消された場合は、印のみ適用する。
- 項目及び特記事項に記載の（ ）内表示番号は「改修標仕」の当該項目、当該図又は当該表を示す。

章	項目	特記事項
1	1 適用基準等	公共建築改修工事標準仕様書（建築工事編） 令和4年版（監修：国土交通省） 建築工事標準詳細図 令和4年改定（監修：国土交通省） 敷地調査共通仕様書 令和4年改定（監修：国土交通省） 建築構造設計基準、同資料 令和3年改定（監修：国土交通省） 公共建築工事標準仕様書（建築工事編） 令和4年版（監修：国土交通省） 公共建築木造工事標準仕様書 令和4年版（監修：国土交通省） 公共建築改修工事標準仕様書（電気設備工事編） 令和4年版（監修：国土交通省） 公共建築改修工事標準仕様書（機械設備工事編） 令和4年版（監修：国土交通省） <small>（注：監修欄「国土交通省」は国土交通省大臣官房官庁営繕部を示す）</small>
	2 建築材料等	本工事に使用する建築材料等は、設計図書に規定するもの又はこれらと同等のものとする。ただし、同等のものとする場合は監督職員の承諾を受ける。 下記材料品目は、国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「建築材料・設備機材等品質性能評価事業建築材料等評価名簿（最新版）」にある材料とする。また、同評価事業の評価を受けたものを使用する場合は、評価書の写しを監督職員に提出し、その確認をもって、品質・性能の確認があったものとしてることができる。（評価名簿によるもの） 床型枠用鋼製デッキプレート（フラットゲット）、鉄骨柱下無収縮モルタル、無収縮グラウト材（プレミックス形、現場調合形）、押出成形セメント板、成形伸縮目地材、乾式保護材（防水立上部）、陶磁調合モルタル（タイル工用）、既製調合目地材、ルーフドレン、吸水調整材（吸水用）、アルミニウム製建具、鋼製建具、鋼製軽量建具、ステンレス製建具、錠前類（シリンダ錠、レバー錠、レバー錠、シリンダ錠）、クローザー類（ドアクローザー、ビジュアルクローザー）、自動扉機構（制御装置・駆動装置、検出装置、制御装置・駆動装置・検出装置）、自閉式上吊り引戸機構（手動開き式）、重量シャッター、軽量シャッター、オールヘッドドア、ガラス（70t板ガラス、型板ガラス、網入板ガラス、線入板ガラス、熱線吸収板ガラス、倍強度ガラス、熱線反射ガラス）、ガラスブロック（中空）、防水剤、現場発泡断熱材、70t70t70t（3000N、5000N）、可動間仕切、移動間仕切（スライドゲッド）、トイレブース、煙突用成形ライニング材、天井点検口、床点検口、グレーチング、屋上緑化システム（屋上緑化システム、屋上緑化軽量システム）、トップライト、エポキシ樹脂、タイル部分張替え用接着剤、ポリマーセメントモルタル、鉄製ふた（マンホールふた・弁拵ふた）

章	項目	特記事項																													
1	3 特別な材料の工法	設計図書に記載されていない特別な材料の工法は、当該製品の指定工法による。																													
	4 風圧力及び積雪に対する性能	建築基準法に基づき定められた風速及び地表面粗度区分等 風速（Vo） 3.2 （平成12年5月31日建設告示第1454号） 地表面粗度区分 _____ 多雪地域の指定 なし あり																													
	5 現場代理人	本工事の施工にあたっては、工事請負契約書第10条に基づく現場代理人は、主任技術者又は監督技術者と同様、受注者と直接的かつ恒常的な雇用関係のある者を選任しなければならない。																													
	6 工事工程報告	月報は毎月末日に、翌月5日までに提出する。 日報は監督職員の指示による。 週報は毎週（ ）曜日に提出する。																													
	7 工事実績情報の登録（1.1.4）	適用する（適用事項は、現場説明書による）																													
	8 設備工事との取合い	施工範囲 図示した鉄筋コンクリート部の貫通孔、開口部の型枠及びそれらの補強 図示した壁、天井の仕上材、下地材の切込み及び下地材の補強 駆動装置が電動による建具類の二次配線及び操作スイッチ 自動閉鎖装置取付け箇所切込み及び補強 施工図 設備機器の位置、取合等の検討できる施工図を提出し、監督職員の承諾を受ける。																													
	9 施工図等の取扱い（1.2.3）	施工図等の著作権に係わる当該建築物に限る使用权は、発注者に移譲される。																													
	10 工事写真（1.2.4）	工事写真撮影ガイドブック建築工事編及び解体工事編（最新版）（国土交通省大臣官房官庁営繕部監修）によるほかは監督職員の指示による。 下記ものを監督職員に提出する。 <table border="1"><thead><tr><th></th><th>部数(ネガ1枚につき)</th><th>分類・規格</th><th>原版の大きさ(mm)</th></tr></thead><tbody><tr><td>着工前</td><td>1</td><td>カラーサービス版</td><td>24×36以上</td></tr><tr><td>工事中</td><td>1</td><td>カラーサービス版</td><td>24×36以上</td></tr><tr><td rowspan="4">完成時</td><td>屋内</td><td>2</td><td>カラーサービス版</td><td>24×36以上</td></tr><tr><td>()箇所</td><td>2</td><td>カラーサービス版</td><td>60×70以上</td></tr><tr><td>外観</td><td>2</td><td>カラーサービス版</td><td>24×36以上</td></tr><tr><td>()箇所</td><td>2</td><td>カラーサービス版</td><td>60×70以上</td></tr></tbody></table> 写真をデジタル写真で撮影する場合には、完成写真については有効画素数300万画素程度、工事写真は有効画素数130万画素程度とし、黒板の文字等の内容が判読できる精度を確保するものとする。 完成写真撮影場所は、監督職員の指示による。 完成写真撮影業者は、監督職員の承諾する撮影業者（建築写真専門業者）とする。		部数(ネガ1枚につき)	分類・規格	原版の大きさ(mm)	着工前	1	カラーサービス版	24×36以上	工事中	1	カラーサービス版	24×36以上	完成時	屋内	2	カラーサービス版	24×36以上	()箇所	2	カラーサービス版	60×70以上	外観	2	カラーサービス版	24×36以上	()箇所	2	カラーサービス版	60×70以上
		部数(ネガ1枚につき)	分類・規格	原版の大きさ(mm)																											
	着工前	1	カラーサービス版	24×36以上																											
工事中	1	カラーサービス版	24×36以上																												
完成時	屋内	2	カラーサービス版	24×36以上																											
	()箇所	2	カラーサービス版	60×70以上																											
	外観	2	カラーサービス版	24×36以上																											
	()箇所	2	カラーサービス版	60×70以上																											
11 電気保安技術者（1.3.3）	適用する																														
12 施工条件（1.3.5）	現場説明書による																														
13 発生材の処理等（1.3.12）	引渡しを要するもの（ ） 工事現場において再利用を図るもの、再資源化を図るもの（ ） 指定副産物の搬出（詳細は現場説明書による） アスファルトコンクリート塊 セメントコンクリート塊 建設発生木材 指定副産物の処分地（詳細は現場説明書による） 指定地処分（ ） 自由処分（最寄りの再資源化施設へ搬出すること） 指定副産物以外の搬出 構外搬出適切処理（ ） 特別管理産業廃棄物 <table border="1"><thead><tr><th>種類</th><th>処理方法</th></tr></thead><tbody><tr><td>廃石綿等</td><td></td></tr><tr><td>P C Bを含む機器類</td><td></td></tr><tr><td>P C B含有シーリング</td><td></td></tr><tr><td>廃油</td><td></td></tr><tr><td>廃酸・廃アルカリ（臭化リチウム）</td><td></td></tr><tr><td>廃酸・廃アルカリ（蓄電池電解液）</td><td></td></tr><tr><td>S F 6ガス使用機器</td><td></td></tr></tbody></table>	種類	処理方法	廃石綿等		P C Bを含む機器類		P C B含有シーリング		廃油		廃酸・廃アルカリ（臭化リチウム）		廃酸・廃アルカリ（蓄電池電解液）		S F 6ガス使用機器															
種類	処理方法																														
廃石綿等																															
P C Bを含む機器類																															
P C B含有シーリング																															
廃油																															
廃酸・廃アルカリ（臭化リチウム）																															
廃酸・廃アルカリ（蓄電池電解液）																															
S F 6ガス使用機器																															

せっこうボードの処理方法
石綿含有せっこうボードの処理 改修標仕9.1.5による
ひ素・カドミウム含有のせっこうボードの処理 製造業者にて処分 埋立処分
その他のせっこうボードの処理
最終処分 再資源化

章	項目	特記事項																																																							
1	14 石綿含有建材の調査（1.5.1）	P C B含有シーリング材の分析調査 行う（ ）箇所） 行わない P C B含有シーリング材の撤去・処分方法は「建築物の解体等に伴う有害物質等の適切な取扱」による。 次の建設廃棄物は再資源化する。 蛍光灯ランプ H I Dランプ 硬質塩化ビニル管・継手 再生資源利用【促進】計画書、実施書の提出 詳細は現場説明書による。 マニフェスト制度 産業廃棄物管理票（マニフェスト）制度により、適正な処理を行うこと。 産業廃棄物の処理を委託する場合は、運搬と処分についてそれぞれの許可業者と処理委託料を記載した「処理委託契約書」により委託契約すること。 調査 行う 石綿の除去に当たり、あらかじめ関係法令等に基づき、石綿含有建材の事前調査を下記により行い、結果を取りまとめ、監督職員に提出するとともに、その写しを工事の現場に備え置く。 調査範囲 図示による 調査事項 石綿使用部位の確認 石綿層の厚さの確認 施工範囲と工事管理区分の確認 更衣施設等の仮設計画 廃棄物等の搬出方法 行わない 石綿含有分析方法 行う(分析結果を監督職員に提出する) JIS A 1481に基づくこと <table border="1"><thead><tr><th>材 料 名</th><th>定性分析</th><th>定量分析</th></tr></thead><tbody><tr><td></td><td>()箇所数</td><td>()箇所数</td></tr><tr><td></td><td>()箇所数</td><td>()箇所数</td></tr><tr><td></td><td>()箇所数</td><td>()箇所数</td></tr><tr><td></td><td>()箇所数</td><td>()箇所数</td></tr></tbody></table> サンプル数 1箇所あたり3サンプル 行わない 既存の石綿含有建材の調査報告書の貸与 あり なし 15 調査のための破壊部分の補修（1.6.3） 既存破壊部分の補修方法 図示による 16 技能士（1.7.2） <table border="1"><thead><tr><th>工事種別</th><th>適用する技能士の技能検定における選択作業</th></tr></thead><tbody><tr><td>仮設工事</td><td>とび作業</td></tr><tr><td>鉄筋工事</td><td>鉄筋組立作業</td></tr><tr><td>コンクリート工事</td><td>左官作業 型枠工作業 コックアップ圧送工作業</td></tr><tr><td>鉄骨工事</td><td>構造物鉄工作業 とび作業</td></tr><tr><td>アロク及びALCN補工事</td><td>コックアップ工作業 ALCN補工作業</td></tr><tr><td>カーテンウォール工事</td><td>金属製カーテンウォール工作業 ビル用カーテンウォール工作業</td></tr><tr><td>防水工事</td><td>アスファルト防水工作業 シーリング防水工作業 外防水系塗膜防水工作業 止水系防水工作業 アクリル系塗膜防水工作業 FRP防水工作業 合成ゴムシート防水工作業 塩化ビニルシート防水工作業 改質アスファルトシート工法防水工作業</td></tr><tr><td>石工事</td><td>石張り作業</td></tr><tr><td>タイル工事</td><td>タイル張り作業</td></tr><tr><td>木工事</td><td>大工工作業</td></tr><tr><td>屋根及びとい工事</td><td>内外装板金作業 かわらぶき作業 スレート工作業</td></tr><tr><td>金属工事</td><td>鋼製下地工作業 内外装板金作業</td></tr><tr><td>左官工事</td><td>左官作業</td></tr><tr><td>塗装工事</td><td>建築塗装作業</td></tr><tr><td>建具工事</td><td>ビル用カーテンウォール工作業 ガラス工作業 自動ドア工作業</td></tr><tr><td>内装工事</td><td>ガラス系床仕上げ工作業 ガラス仕上げ工作業 家具手加工作業 壁装作業</td></tr><tr><td>排水工事</td><td>建築配管作業</td></tr><tr><td>舗装工事</td><td>溶融ベントナイトマーカ工作業 加熱ベントナイトマーカ工作業</td></tr><tr><td>植栽工事</td><td>造園工作業</td></tr></tbody></table> ただし技能士に代わる者による施工の場合は監督職員の承諾を得ること。	材 料 名	定性分析	定量分析		()箇所数	()箇所数		()箇所数	()箇所数		()箇所数	()箇所数		()箇所数	()箇所数	工事種別	適用する技能士の技能検定における選択作業	仮設工事	とび作業	鉄筋工事	鉄筋組立作業	コンクリート工事	左官作業 型枠工作業 コックアップ圧送工作業	鉄骨工事	構造物鉄工作業 とび作業	アロク及びALCN補工事	コックアップ工作業 ALCN補工作業	カーテンウォール工事	金属製カーテンウォール工作業 ビル用カーテンウォール工作業	防水工事	アスファルト防水工作業 シーリング防水工作業 外防水系塗膜防水工作業 止水系防水工作業 アクリル系塗膜防水工作業 FRP防水工作業 合成ゴムシート防水工作業 塩化ビニルシート防水工作業 改質アスファルトシート工法防水工作業	石工事	石張り作業	タイル工事	タイル張り作業	木工事	大工工作業	屋根及びとい工事	内外装板金作業 かわらぶき作業 スレート工作業	金属工事	鋼製下地工作業 内外装板金作業	左官工事	左官作業	塗装工事	建築塗装作業	建具工事	ビル用カーテンウォール工作業 ガラス工作業 自動ドア工作業	内装工事	ガラス系床仕上げ工作業 ガラス仕上げ工作業 家具手加工作業 壁装作業	排水工事	建築配管作業	舗装工事	溶融ベントナイトマーカ工作業 加熱ベントナイトマーカ工作業	植栽工事	造園工作業
	材 料 名	定性分析	定量分析																																																						
		()箇所数	()箇所数																																																						
		()箇所数	()箇所数																																																						
		()箇所数	()箇所数																																																						
		()箇所数	()箇所数																																																						
	工事種別	適用する技能士の技能検定における選択作業																																																							
	仮設工事	とび作業																																																							
	鉄筋工事	鉄筋組立作業																																																							
	コンクリート工事	左官作業 型枠工作業 コックアップ圧送工作業																																																							
鉄骨工事	構造物鉄工作業 とび作業																																																								
アロク及びALCN補工事	コックアップ工作業 ALCN補工作業																																																								
カーテンウォール工事	金属製カーテンウォール工作業 ビル用カーテンウォール工作業																																																								
防水工事	アスファルト防水工作業 シーリング防水工作業 外防水系塗膜防水工作業 止水系防水工作業 アクリル系塗膜防水工作業 FRP防水工作業 合成ゴムシート防水工作業 塩化ビニルシート防水工作業 改質アスファルトシート工法防水工作業																																																								
石工事	石張り作業																																																								
タイル工事	タイル張り作業																																																								
木工事	大工工作業																																																								
屋根及びとい工事	内外装板金作業 かわらぶき作業 スレート工作業																																																								
金属工事	鋼製下地工作業 内外装板金作業																																																								
左官工事	左官作業																																																								
塗装工事	建築塗装作業																																																								
建具工事	ビル用カーテンウォール工作業 ガラス工作業 自動ドア工作業																																																								
内装工事	ガラス系床仕上げ工作業 ガラス仕上げ工作業 家具手加工作業 壁装作業																																																								
排水工事	建築配管作業																																																								
舗装工事	溶融ベントナイトマーカ工作業 加熱ベントナイトマーカ工作業																																																								
植栽工事	造園工作業																																																								

章	項目	特記事項																								
1	17 施工の検査等（1.7.5）	見本施工の実施 適用する（ ） 適用しない																								
	18 化学物質の濃度測定（1.7.9）	適用する（適用事項は、現場説明書による）																								
1	19 完成図（1.9.2）	作成する（提出部数 2部 _____部）詳細は監督職員の指示による。 完成図等の電子データによる提出については、現場説明書による。																								
	20 保全に関する資料（1.9.3）	作成する（提出部数 2部 _____部） 敷地、建物の構造規模、主要な設備構成等の建物概要 建物を使用する上での注意事項 建物に設置されている家具、機器等及び部位毎の仕上げの概要説明 建物、工作物、植栽等を管理する上での保全業務の要点 主要材料の製造所名、所在地、連絡先、非常時の連絡体制一覧表 建設大臣官房官庁営繕部監修「管理者のための建築物保全の手引き」及び「建築保全業務共通仕様書」を参考として作成すること。																								
2	仮設工事	足場その他（2.1.3） （2.2.1） 労働安全衛生法、建築基準法、建設工事公衆災害防止対策要綱その他関係法令に従い、適切な材料及び構造のものとし、適切な保守管理を行う。 外部足場 施行箇所面に枠組足場を設ける。 施行箇所面にくまなく緊結式足場を設ける。 施行箇所面に単管単足場を設ける。 仮設ゴンドラを使用する。 移動式足場を使用する。 内部足場 脚立、足場板等 枠組欄足場 防護シート等 防音パネル 防音シート 養生シート ネット及び養生シート 材料、撤去材等の運搬方法 A種 B種 C種 D種 E種（表2.2.1） 足場は、「手すり先行工法に関するガイドライン（厚生労働省 基発第0424001号）」の「手すり先行工法等に関するガイドライン」に基づき「働きやすい安心感のある足場に関する基準」に適合する手すり、中柵及び幅木の機能を有する足場とし、足場の組立、解体又は変更の作業は「手すり先行工法による足場の組立等に関する基準」の2の(2)手すり据置方式又は(3)手すり先行専用足場方式を採用すること。 屋根工事及び小屋組の建方工事における墜落事故防止対策は、JIS A 8971（屋根工事用足場及び施工方法）の施工標準に基づく足場及び装備機材を設置すること。																								
	仮設間仕切り（2.3.2）	既存部分の養生 既存部分の養生 行う（ビニールシート、合板 _____） 行わない 既存家具・既存設備等の養生 行う（ビニールシート _____） 行わない 既存ブラインド・カーテン等の養生及び保管 行う 行わない 養生の方法 取り外しの上で清掃 保管場所 室内にてカバー掛の上、適切保管 家具の移動 行う（靴箱移動） ○ 行わない 既存部分に汚染又は損傷を与えるおそれのある場合は養生を行う。また、万一損傷等を与えた場合は、受注者の責任において速やかに修復等の処置を行う。																								
4	監督職員事務所（2.4.1）	仮設間仕切り（2.3.2） <table border="1"><thead><tr><th>種別</th><th>仕上げ(厚さmm)</th><th>塗装</th><th>充填</th></tr></thead><tbody><tr><td>A種</td><td>せっこうボード</td><td>なし</td><td>グラスウール</td></tr><tr><td rowspan="2">B種</td><td>種類 GB-R</td><td rowspan="2">片面</td><td rowspan="2">24kg/m²</td></tr><tr><td>厚さ mm 9.5mm</td><td>厚さ 50mm</td></tr><tr><td rowspan="2">C種</td><td>合板</td><td rowspan="2">70t合板 _____</td><td rowspan="2"></td></tr><tr><td>材質</td><td></td></tr><tr><td></td><td>厚さ mm 9mm</td><td></td><td></td></tr></tbody></table> 設けない 規模 10m ² 程度 20m ² 程度 35m ² 程度 65m ² 程度 100m ² 程度 仕上 床 合板張り素地 ビニールシート敷き 断熱材敷き 内壁、天井 合板又はせっこうボード張り、合成樹脂珪藻土ボード塗り 屋根 塗装溶融亜鉛めっき鋼板張り 鉄板張り鋼板張り 休憩室 設けない 設ける（敷敷き） 備品 机 いす 保護帽 ゴム長靴 雨がっぱ 衣類ボックス （上記6品、_____人分程度） 書櫃 黒板 製図板 掛時計 温度計 消火器 掃除機 懐中電灯 湯沸器 加入電話機 冷暖房機器 コピー機 ネット回線 流し台 改修標仕（令和4年版） 建築改修工事監理指針（令和4年版） 建築工事施工チェックシート 建築工事標準詳細図（令和4年改定） 工事写真撮影ガイドブック建築工事編及び解体工事編（最新版）	種別	仕上げ(厚さmm)	塗装	充填	A種	せっこうボード	なし	グラスウール	B種	種類 GB-R	片面	24kg/m ²	厚さ mm 9.5mm	厚さ 50mm	C種	合板	70t合板 _____		材質			厚さ mm 9mm		
	種別	仕上げ(厚さmm)	塗装	充填																						
A種	せっこうボード	なし	グラスウール																							
B種	種類 GB-R	片面	24kg/m ²																							
	厚さ mm 9.5mm			厚さ 50mm																						
C種	合板	70t合板 _____																								
	材質																									
	厚さ mm 9mm																									

章 項 目	特 記 事 項	章 項 目	特 記 事 項	章 項 目	特 記 事 項	章 項 目	特 記 事 項																																																																																																																																																																																																																																						
② 仮設工事	<p>工事用水 構内既存の施設 利用できない 利用できる (有償 無償)</p> <p>工事用電力 構内既存の施設 利用できない 利用できる (有償 無償)</p> <p>仮囲い等 図示による</p> <p>設計 G L 図示による 設計 G L = 現状 G L</p>	(2)	<p>10 構造体強度補正值 (6.3.2)</p> <p>気温による構造体強度補正值 (S) (表6.3.2)</p> <table border="1"> <tr> <th>予想平均気温 ()</th> <th>補正值</th> <th colspan="3">期 間 (打 設 日)</th> </tr> <tr> <td>普通</td> <td>(S)</td> <td>南部地域</td> <td>中部地域</td> <td>北部地域</td> </tr> <tr> <td>8以上</td> <td>5以上</td> <td>3</td> <td>3/6 ~ 6/30</td> <td>3/11 ~ 7/20</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>N/mm2</td> <td>9/11 ~ 11/15</td> <td>9/1 ~ 11/5</td> </tr> <tr> <td>0以上</td> <td>0以上</td> <td>6</td> <td>11/16 ~ 3/5</td> <td>11/ 6 ~ 3/10</td> </tr> <tr> <td>8未満</td> <td>5未満</td> <td>N/mm2</td> <td></td> <td>11/ 1 ~ 3/10</td> </tr> </table> <p>南部地域 (京都市 (一部を除く) 、旧八木町、旧園部町以南の市町村) 北部地域 (宮津市、旧加悦町以北の市町) 中部地域 (上記以外の市町、旧美山町及び旧京北町含む)</p>	予想平均気温 ()	補正值	期 間 (打 設 日)			普通	(S)	南部地域	中部地域	北部地域	8以上	5以上	3	3/6 ~ 6/30	3/11 ~ 7/20			N/mm2	9/11 ~ 11/15	9/1 ~ 11/5	0以上	0以上	6	11/16 ~ 3/5	11/ 6 ~ 3/10	8未満	5未満	N/mm2		11/ 1 ~ 3/10	(3) 防水改修工事	<p>断熱材 (屋根保護防水断熱工法) 厚さ _____ mm</p> <p>断熱材 (屋根露出防水断熱工法) 厚さ _____ mm 種類 _____</p> <p>ルーフトレン回り及び立上り部周辺の断熱材の張りじまい位置 図示による _____</p> <p>絶縁用シート ポリエチレンフィルム厚0.15mm以上 (保護防水工法) フラットヤークロス (70g/m²程度)</p> <p>立上り部の押え金物 アルミニウム製 L-30×15×2.0 立上り部の保護 乾式保護材 窯業系パネル 類 (寒冷地仕様) 厚さ _____ 幅 _____ 窯業系パネル 類 (一般地仕様) 厚さ _____ 幅 _____ 普通れんが (JIS R 1250) 化粧れんが (JIS R 1250) コンクリート (工法 _____)</p> <p>保護層 平場の保護コンクリート厚さ _____ mm こて仕上げ _____ mm 床タイル張り等仕上げ _____ mm</p> <p>コンクリート仕上りの平たんさ a種 b種 c種 (表8.1.5)</p> <p>脱気装置 設ける 材 種 () 設置数量 (1箇所 / _____ m²)</p> <p>伸縮目地 成形伸縮目地材 _____ 成形緩衝材 R-フック[®] 類製造所の指定品 _____ 屋上排水溝 図示による _____</p> <p>屋根露出防水密着工法</p> <table border="1"> <tr> <th>種 別</th> <th>防水層</th> <th>施工箇所</th> <th colspan="2">仕上塗料</th> </tr> <tr> <td>M 4 A S 工法</td> <td>AS-T1 AS-T2 AS-J2</td> <td>表3.4.1</td> <td>種類</td> <td>使用量</td> </tr> </table> <p>屋根露出防水絶縁工法</p> <table border="1"> <tr> <th>種 別</th> <th>防水層</th> <th>施工箇所</th> <th colspan="2">仕上塗料</th> </tr> <tr> <td>M 3 A S 工法 P 0 A S 工法</td> <td>AS-T3 AS-T4 AS-J1 AS-J3</td> <td>表3.4.2</td> <td>種類</td> <td>使用量</td> </tr> </table> <p>屋根露出防水絶縁断熱工法</p> <table border="1"> <tr> <th>種 別</th> <th>防水層</th> <th>施工箇所</th> <th colspan="2">仕上塗料</th> </tr> <tr> <td>M 3 A S I 工法 M 4 A S I 工法 P 0 A S I 工法</td> <td>ASI-T1 ASI-J1</td> <td>表3.4.3</td> <td>種類</td> <td>使用量</td> </tr> </table> <p>立上り部の押え金物の材質、形状及び寸法 アルミニウム製 L-30×15×2.0(mm)程度 _____</p> <p>断熱材 (屋根露出防水絶縁断熱工法) 厚さ _____ mm 種類 _____</p> <p>脱気装置 (絶縁工法) 設ける 材種 () 設置数量 (1箇所 / _____ m²) 防湿層 (屋根露出防水絶縁断熱工法) 設ける 設けない</p> <p>5 合成高分子系[®]シート防水 (3.5.2) ~ (3.5.4)</p> <table border="1"> <tr> <th>種 別</th> <th>防水層</th> <th>施工箇所</th> <th colspan="2">仕上塗料</th> </tr> <tr> <td>P 0 S 工法 S 4 S 工法 P 0 S I 工法 S 4 S I 工法 S 3 S 工法 S 3 S I 工法</td> <td>S(I)-F1 PC部材入隅増強 (有り 無し) S(I)-F2 S(I)-M1 S(I)-M2 S(I)-F1 PC部材入隅増強 (有り 無し) S(I)-F2 S(I)-M1 S(I)-M2</td> <td>表3.5.1 表3.5.2 表3.5.3</td> <td>プレキャスト コンクリート 下地</td> <td></td> </tr> <tr> <td>M 4 S 工法 M 4 S I 工法</td> <td>S(I)-M1 S(I)-M2</td> <td></td> <td>プレキャスト コンクリート 下地</td> <td></td> </tr> <tr> <td>P 1 S 工法</td> <td>S-C1</td> <td></td> <td>珪藻土塗り厚さ _____ mm</td> <td></td> </tr> </table> <p>S-F1、S-M1、S-M2の仕様 非歩行仕様 軽歩行仕様</p> <p>断熱材 (断熱工法) 厚さ _____ mm 種類 _____</p> <p>機械的固定工法の場合 _____</p> <p>接着工法の場合 _____</p> <p>S I - M 1 及び S I - M 2 の場合の防湿用フィルム 設置する</p>	種 別	防水層	施工箇所	仕上塗料		M 4 A S 工法	AS-T1 AS-T2 AS-J2	表3.4.1	種類	使用量	種 別	防水層	施工箇所	仕上塗料		M 3 A S 工法 P 0 A S 工法	AS-T3 AS-T4 AS-J1 AS-J3	表3.4.2	種類	使用量	種 別	防水層	施工箇所	仕上塗料		M 3 A S I 工法 M 4 A S I 工法 P 0 A S I 工法	ASI-T1 ASI-J1	表3.4.3	種類	使用量	種 別	防水層	施工箇所	仕上塗料		P 0 S 工法 S 4 S 工法 P 0 S I 工法 S 4 S I 工法 S 3 S 工法 S 3 S I 工法	S(I)-F1 PC部材入隅増強 (有り 無し) S(I)-F2 S(I)-M1 S(I)-M2 S(I)-F1 PC部材入隅増強 (有り 無し) S(I)-F2 S(I)-M1 S(I)-M2	表3.5.1 表3.5.2 表3.5.3	プレキャスト コンクリート 下地		M 4 S 工法 M 4 S I 工法	S(I)-M1 S(I)-M2		プレキャスト コンクリート 下地		P 1 S 工法	S-C1		珪藻土塗り厚さ _____ mm		<p>2 埋め戻し及び盛土 (3.2.3)</p> <p>A種 砂質土 (山砂の類) を水締め又は機器による締固め (表3.2.1)</p> <p>B種 根切り土の中の良質土を機器による締固め</p> <p>C種 他現場の建設発生土の中の良質土を機器による締固め</p> <p>D種 再生コンクリート砂を水締め又は機器による締固め</p> <p>その他 (材料 _____ 工法 _____)</p> <p>建設発生土 (盛土材) の外部からの受入土量 (_____ m³) 発生場所 ()</p> <p>2 建設発生土の処理 (3.2.5)</p> <p>下記に定めるほかは、現場説明書による</p> <p>構外指示の受入場所に処分</p> <p>受入場所 (一財)城陽山砂利採取地整備公社 _____</p> <p>土壌調査 行う (受入場所指定の検査)</p> <p>京都府土砂等による土地の埋立て等の規制に関する条例 施行規則第7条第3項13号及び第4項に規定する方法</p> <p>仮置場所 _____</p> <p>構内指示の場所に敷き均し</p> <p>構内指示の場所にたい積</p> <p>(表5.2.1)</p> <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>種類</th> <th>径 (mm)</th> <th>備 考</th> </tr> <tr> <td rowspan="2">異形鉄筋</td> <td>S D 2 9 5</td> <td>D 1 6 以下</td> <td></td> </tr> <tr> <td>S D 3 4 5</td> <td>D 1 9 以上</td> <td></td> </tr> </table> <p>3 鉄筋の種類 (5.2.1)</p> <p>4 溶接金網 (5.2.2)</p> <p>網目の形状、寸法 _____ 鉄線の径 _____ mm</p> <p>5 コンクリートの種類 (6.2.1)</p> <p>種類 普通コンクリート _____ (表6.2.1)</p> <p>類別 類 類</p> <p>6 コンクリートの強度 (6.2.2) (6.2.4) (6.10.2) (6.14.1)</p> <p>設計基準強度 (F_c)</p> <table border="1"> <tr> <th>打 設 部 位</th> <th>F_c (N/mm²)</th> <th>スランブ (cm)</th> <th>備 考</th> </tr> <tr> <td rowspan="2">構造体</td> <td>基礎</td> <td>2 4</td> <td>1 5 1 8</td> </tr> <tr> <td>上部</td> <td>2 4</td> <td>1 5 1 8</td> </tr> <tr> <td>土間コンクリート</td> <td>1 8</td> <td>1 5 1 8</td> <td>側溝・犬走り</td> </tr> <tr> <td>捨コンクリート</td> <td>1 8</td> <td>1 5 1 8</td> <td></td> </tr> <tr> <td>軽量コンクリート</td> <td>2 1</td> <td>2 1 1 8</td> <td></td> </tr> <tr> <td>無筋コンクリート</td> <td>1 8</td> <td>1 5 1 8</td> <td>標仕6.14.1による</td> </tr> </table> <p>構造体コンクリートの発注強度は以下のとおりとする。 (F_c + 構造体強度補正值 (S)) / N/mm² (6.14.1によるもの及び土間コンクリートは構造体強度補正は行わない)</p> <p>7 セメントの類別 (6.3.1)</p> <p>普通ポルトランドセメント又は混合セメントの A種</p> <p>高炉セメント B種 (適用箇所 _____)</p> <p>シリカセメント</p> <p>フライアッシュセメント B種 (施工箇所 _____)</p> <p>8 骨材 (6.3.1)</p> <p>粗骨材 砂利 (JIS A5308)、砕石 (JIS A5005) 高炉スラグ 電気炉酸化スラグ 再生骨材H</p> <p>細骨材 砂 (JIS A5308)、砕砂 (JIS A5005) 高炉スラグ 電気炉酸化スラグ 銅スラグ フェニックススラグ 再生骨材H</p> <p>アルカリシリカ反応性による区分 A (無害) _____</p> <p>9 混和材料 (6.3.1)</p> <p>混和剤 AE剤、AE減水剤又は高性能AE減水剤の 種 (JIS A 6204)</p> <p>防錆剤 鉄筋コンクリート用防錆剤 (JIS A 6025)</p> <p>混和材 フライアッシュ (JIS A 6201) 種、 種若しくは 種 コンクリート用高炉スラグ微粉末 (JIS A 6206) コンクリート用シリカフューム (JIS A 6207) コンクリート用膨張材 (JIS A 6202)</p>	種類	種類	径 (mm)	備 考	異形鉄筋	S D 2 9 5	D 1 6 以下		S D 3 4 5	D 1 9 以上		打 設 部 位	F _c (N/mm ²)	スランブ (cm)	備 考	構造体	基礎	2 4	1 5 1 8	上部	2 4	1 5 1 8	土間コンクリート	1 8	1 5 1 8	側溝・犬走り	捨コンクリート	1 8	1 5 1 8		軽量コンクリート	2 1	2 1 1 8		無筋コンクリート	1 8	1 5 1 8	標仕6.14.1による	<p>11 コンクリートの試験 (6.9.2) ~ (6.9.5)</p> <p>フレッシュコンクリートの試験 省略する</p> <p>12 軽量コンクリート (6.10.1) ~ (6.10.3)</p> <p>常時土又は水に直接接する部分の使用 可 不可 種類 1種 2種 施工箇所 _____ 気乾単位容積質量 _____ t/m³</p> <p>13 寒中コンクリート (6.11.1)</p> <p>予想平均気温が表6.3.2に示す予想平均気温未満の場合には標仕第6章第11節 (寒中コンクリート) による。</p> <p>14 暑中コンクリート (6.12.2)</p> <table border="1"> <tr> <th>地 域</th> <th>日平均気温が25度を超える期間 (打設日)</th> <th>補 正 値</th> </tr> <tr> <td>北 部 地 域</td> <td>7月11日 - 8月31日</td> <td>6 N/mm2</td> </tr> <tr> <td>中 部 地 域</td> <td>7月21日 - 8月31日</td> <td>3 N/mm2</td> </tr> <tr> <td>南 部 地 域</td> <td>7月1日 - 9月10日</td> <td></td> </tr> </table> <p>15 コンクリート車の過積載防止対策等</p> <p>受注者は、出荷伝票等を整理・保管し、監督職員の請求があった場合は、遅滞なく提出するとともに、検査時に提示しなければならない。また、ミキサー車1台毎の積載量が把握できる運搬管理表を検査時に提出しなければならない。</p> <p>3 既存防水の処理 (3.1.4) (3.2.3) ~ (3.2.5)</p> <p>既存保護層の撤去 行う (範囲 図示による) 行わない</p> <p>既存防水層の撤去 行う (範囲 図示による) 行わない</p> <p>既存露出防水層表面の仕上塗装の除去 行う (M4AS M4ASI M4C M4DI L4X) 行わない</p> <p>2 既存下地の処理 (3.2.6)</p> <p>既存下地の修正箇所の形状、長さ、数量等 図示による _____</p> <p>3 アスファルト防水 (3.3.2) ~ (3.3.5)</p> <p>屋根保護防水工法</p> <table border="1"> <tr> <th>種 別</th> <th>防水層</th> <th>施 工 箇 所</th> </tr> <tr> <td>P 1 B 工法</td> <td>B-1 B-2</td> <td>表3.3.3</td> </tr> <tr> <td>P 1 B I 工法</td> <td>BI-1 BI-2</td> <td>表3.3.4</td> </tr> <tr> <td>P 2 A I 工法</td> <td>AI-1 AI-2 AI-3</td> <td>表3.3.5</td> </tr> <tr> <td>P 2 A 工法</td> <td>A-1 A-2 A-3</td> <td>表3.3.6</td> </tr> </table> <p>屋根露出防水工法</p> <table border="1"> <tr> <th>種 別</th> <th>防水層</th> <th>施 工 箇 所</th> <th colspan="2">仕上塗料</th> </tr> <tr> <td>M 4 C 工法</td> <td>C-1 C-2 C-3 C-4</td> <td>表3.3.7</td> <td>種類</td> <td>使用量</td> </tr> <tr> <td>M 3 D 工法 P 0 D 工法</td> <td>D-1 D-2</td> <td>表3.3.8</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>屋根露出防水絶縁断熱工法</p> <table border="1"> <tr> <th>種 別</th> <th>防水層</th> <th>施 工 箇 所</th> <th colspan="2">仕上塗料</th> </tr> <tr> <td>P 0 D I 工法 M 3 D I 工法 M 4 D I 工法</td> <td>DI-1 DI-2</td> <td>表3.3.9</td> <td>種類</td> <td>使用量</td> </tr> </table> <p>屋内防水工法</p> <table border="1"> <tr> <th>種 別</th> <th>防水層</th> <th>施 工 箇 所</th> </tr> <tr> <td>P 1 E 工法 P 2 E 工法</td> <td>E-1 E-2</td> <td>表3.3.10</td> </tr> </table>	地 域	日平均気温が25度を超える期間 (打設日)	補 正 値	北 部 地 域	7月11日 - 8月31日	6 N/mm2	中 部 地 域	7月21日 - 8月31日	3 N/mm2	南 部 地 域	7月1日 - 9月10日		種 別	防水層	施 工 箇 所	P 1 B 工法	B-1 B-2	表3.3.3	P 1 B I 工法	BI-1 BI-2	表3.3.4	P 2 A I 工法	AI-1 AI-2 AI-3	表3.3.5	P 2 A 工法	A-1 A-2 A-3	表3.3.6	種 別	防水層	施 工 箇 所	仕上塗料		M 4 C 工法	C-1 C-2 C-3 C-4	表3.3.7	種類	使用量	M 3 D 工法 P 0 D 工法	D-1 D-2	表3.3.8			種 別	防水層	施 工 箇 所	仕上塗料		P 0 D I 工法 M 3 D I 工法 M 4 D I 工法	DI-1 DI-2	表3.3.9	種類	使用量	種 別	防水層	施 工 箇 所	P 1 E 工法 P 2 E 工法	E-1 E-2	表3.3.10	<p>3 塗膜防水 (3.6.2) ~ (3.6.3)</p> <table border="1"> <tr> <th>種 別 及 び 工 程</th> <th>防水層</th> <th>施工箇所</th> <th colspan="2">仕上塗料</th> </tr> <tr> <td>P 0 X 工法</td> <td>X-1 X-2 X-1H X-2H</td> <td>表3.6.1 屋根 : フラット部分</td> <td>種類 アロンコート SQ 同等品</td> <td>使用量 塗料の 製造所の 仕様による</td> </tr> <tr> <td>L 4 X 工法</td> <td>X-1 X-2 X-1H X-2H</td> <td>表3.6.2</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>P 1 Y 工法</td> <td>Y-2</td> <td>表3.6.3</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>P 2 Y 工法</td> <td>—</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>脱気装置 (X-1) 設ける 材種 () 設置数量 (1箇所 / _____ m²) 保護層 設ける 設けない</p> <p>7 漏水試験</p> <p>水張り試験を行う (屋内 ○ 屋外)</p> <p>保証書</p> <p>受注者、防水施工業者、防水材料メーカーの連名による保証書を提出すること。 (保証年限は工事目的物引渡しより10年間以上とする。)</p> <p>9 施工標識</p> <p>工事後後に監督職員の指示する位置へ取り付ける。 材質 真鍮製エッチング仕上 150x100 設置数量 () 箇所</p> <p>シーリング (3.1.4) (3.7.2) ~ (3.7.8)</p> <p>シーリング材の種類 改修標仕 表3.7.1による</p> <p>シーリング改修工法及び施工箇所</p> <table border="1"> <tr> <th>改 修 工 法 の 種 別</th> <th>施 工 箇 所</th> </tr> <tr> <td>シーリング充填工法</td> <td></td> </tr> <tr> <td>シーリング再充填工法</td> <td>体育館</td> </tr> <tr> <td>拡幅シーリング再充填工法</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ブリッジ工法</td> <td></td> </tr> </table> <p>仕上げを行わない施工箇所 (図示による) _____</p> <p>目地寸法 コンクリートの打継ぎ目地及びびびり割れ誘発目地 幅20mm以上、深さ10mm以上 _____ ガラス回りの目地 幅5mm以上、深さ5mm以上 _____ その他の目地 幅10mm以上、深さ10mm以上 _____</p> <p>シーリングの試験 簡易接着性試験 (部位 _____) 引張接着性試験 (部位 _____)</p> <p>11 とい(雨水) (3.8.2) (3.8.3)</p> <table border="1"> <tr> <th colspan="2">外とい (外気に接するとい)</th> <th>そ の 他</th> </tr> <tr> <td>ルーフトレン</td> <td>ルーフトレン (JGW 301)</td> <td>取付け _____ 水はけ良く、床面より 下げ、周囲の隙間に モルタルを充填する</td> </tr> <tr> <td>軒どい</td> <td>硬質塩化ビニル製 (角形)</td> <td>(前高) 巾120mm (カラー) 巾150mm</td> </tr> <tr> <td>たてとい</td> <td>硬質塩化ビニル管 (VP)</td> <td>(カラー) 径 75mm</td> </tr> <tr> <td>谷どい</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>とい受け金物、足金物</td> <td>改修標仕 表 3.8.2 により溶融 亜鉛めっきを行ったもの</td> <td>多雪地域の軒どいの 取付間隔 0.5m 以下</td> </tr> </table>	種 別 及 び 工 程	防水層	施工箇所	仕上塗料		P 0 X 工法	X-1 X-2 X-1H X-2H	表3.6.1 屋根 : フラット部分	種類 アロンコート SQ 同等品	使用量 塗料の 製造所の 仕様による	L 4 X 工法	X-1 X-2 X-1H X-2H	表3.6.2			P 1 Y 工法	Y-2	表3.6.3			P 2 Y 工法	—				改 修 工 法 の 種 別	施 工 箇 所	シーリング充填工法		シーリング再充填工法	体育館	拡幅シーリング再充填工法		ブリッジ工法		外とい (外気に接するとい)		そ の 他	ルーフトレン	ルーフトレン (JGW 301)	取付け _____ 水はけ良く、床面より 下げ、周囲の隙間に モルタルを充填する	軒どい	硬質塩化ビニル製 (角形)	(前高) 巾120mm (カラー) 巾150mm	たてとい	硬質塩化ビニル管 (VP)	(カラー) 径 75mm	谷どい			とい受け金物、足金物	改修標仕 表 3.8.2 により溶融 亜鉛めっきを行ったもの	多雪地域の軒どいの 取付間隔 0.5m 以下
予想平均気温 ()	補正值	期 間 (打 設 日)																																																																																																																																																																																																																																											
普通	(S)	南部地域	中部地域	北部地域																																																																																																																																																																																																																																									
8以上	5以上	3	3/6 ~ 6/30	3/11 ~ 7/20																																																																																																																																																																																																																																									
		N/mm2	9/11 ~ 11/15	9/1 ~ 11/5																																																																																																																																																																																																																																									
0以上	0以上	6	11/16 ~ 3/5	11/ 6 ~ 3/10																																																																																																																																																																																																																																									
8未満	5未満	N/mm2		11/ 1 ~ 3/10																																																																																																																																																																																																																																									
種 別	防水層	施工箇所	仕上塗料																																																																																																																																																																																																																																										
M 4 A S 工法	AS-T1 AS-T2 AS-J2	表3.4.1	種類	使用量																																																																																																																																																																																																																																									
種 別	防水層	施工箇所	仕上塗料																																																																																																																																																																																																																																										
M 3 A S 工法 P 0 A S 工法	AS-T3 AS-T4 AS-J1 AS-J3	表3.4.2	種類	使用量																																																																																																																																																																																																																																									
種 別	防水層	施工箇所	仕上塗料																																																																																																																																																																																																																																										
M 3 A S I 工法 M 4 A S I 工法 P 0 A S I 工法	ASI-T1 ASI-J1	表3.4.3	種類	使用量																																																																																																																																																																																																																																									
種 別	防水層	施工箇所	仕上塗料																																																																																																																																																																																																																																										
P 0 S 工法 S 4 S 工法 P 0 S I 工法 S 4 S I 工法 S 3 S 工法 S 3 S I 工法	S(I)-F1 PC部材入隅増強 (有り 無し) S(I)-F2 S(I)-M1 S(I)-M2 S(I)-F1 PC部材入隅増強 (有り 無し) S(I)-F2 S(I)-M1 S(I)-M2	表3.5.1 表3.5.2 表3.5.3	プレキャスト コンクリート 下地																																																																																																																																																																																																																																										
M 4 S 工法 M 4 S I 工法	S(I)-M1 S(I)-M2		プレキャスト コンクリート 下地																																																																																																																																																																																																																																										
P 1 S 工法	S-C1		珪藻土塗り厚さ _____ mm																																																																																																																																																																																																																																										
種類	種類	径 (mm)	備 考																																																																																																																																																																																																																																										
異形鉄筋	S D 2 9 5	D 1 6 以下																																																																																																																																																																																																																																											
	S D 3 4 5	D 1 9 以上																																																																																																																																																																																																																																											
打 設 部 位	F _c (N/mm ²)	スランブ (cm)	備 考																																																																																																																																																																																																																																										
構造体	基礎	2 4	1 5 1 8																																																																																																																																																																																																																																										
	上部	2 4	1 5 1 8																																																																																																																																																																																																																																										
土間コンクリート	1 8	1 5 1 8	側溝・犬走り																																																																																																																																																																																																																																										
捨コンクリート	1 8	1 5 1 8																																																																																																																																																																																																																																											
軽量コンクリート	2 1	2 1 1 8																																																																																																																																																																																																																																											
無筋コンクリート	1 8	1 5 1 8	標仕6.14.1による																																																																																																																																																																																																																																										
地 域	日平均気温が25度を超える期間 (打設日)	補 正 値																																																																																																																																																																																																																																											
北 部 地 域	7月11日 - 8月31日	6 N/mm2																																																																																																																																																																																																																																											
中 部 地 域	7月21日 - 8月31日	3 N/mm2																																																																																																																																																																																																																																											
南 部 地 域	7月1日 - 9月10日																																																																																																																																																																																																																																												
種 別	防水層	施 工 箇 所																																																																																																																																																																																																																																											
P 1 B 工法	B-1 B-2	表3.3.3																																																																																																																																																																																																																																											
P 1 B I 工法	BI-1 BI-2	表3.3.4																																																																																																																																																																																																																																											
P 2 A I 工法	AI-1 AI-2 AI-3	表3.3.5																																																																																																																																																																																																																																											
P 2 A 工法	A-1 A-2 A-3	表3.3.6																																																																																																																																																																																																																																											
種 別	防水層	施 工 箇 所	仕上塗料																																																																																																																																																																																																																																										
M 4 C 工法	C-1 C-2 C-3 C-4	表3.3.7	種類	使用量																																																																																																																																																																																																																																									
M 3 D 工法 P 0 D 工法	D-1 D-2	表3.3.8																																																																																																																																																																																																																																											
種 別	防水層	施 工 箇 所	仕上塗料																																																																																																																																																																																																																																										
P 0 D I 工法 M 3 D I 工法 M 4 D I 工法	DI-1 DI-2	表3.3.9	種類	使用量																																																																																																																																																																																																																																									
種 別	防水層	施 工 箇 所																																																																																																																																																																																																																																											
P 1 E 工法 P 2 E 工法	E-1 E-2	表3.3.10																																																																																																																																																																																																																																											
種 別 及 び 工 程	防水層	施工箇所	仕上塗料																																																																																																																																																																																																																																										
P 0 X 工法	X-1 X-2 X-1H X-2H	表3.6.1 屋根 : フラット部分	種類 アロンコート SQ 同等品	使用量 塗料の 製造所の 仕様による																																																																																																																																																																																																																																									
L 4 X 工法	X-1 X-2 X-1H X-2H	表3.6.2																																																																																																																																																																																																																																											
P 1 Y 工法	Y-2	表3.6.3																																																																																																																																																																																																																																											
P 2 Y 工法	—																																																																																																																																																																																																																																												
改 修 工 法 の 種 別	施 工 箇 所																																																																																																																																																																																																																																												
シーリング充填工法																																																																																																																																																																																																																																													
シーリング再充填工法	体育館																																																																																																																																																																																																																																												
拡幅シーリング再充填工法																																																																																																																																																																																																																																													
ブリッジ工法																																																																																																																																																																																																																																													
外とい (外気に接するとい)		そ の 他																																																																																																																																																																																																																																											
ルーフトレン	ルーフトレン (JGW 301)	取付け _____ 水はけ良く、床面より 下げ、周囲の隙間に モルタルを充填する																																																																																																																																																																																																																																											
軒どい	硬質塩化ビニル製 (角形)	(前高) 巾120mm (カラー) 巾150mm																																																																																																																																																																																																																																											
たてとい	硬質塩化ビニル管 (VP)	(カラー) 径 75mm																																																																																																																																																																																																																																											
谷どい																																																																																																																																																																																																																																													
とい受け金物、足金物	改修標仕 表 3.8.2 により溶融 亜鉛めっきを行ったもの	多雪地域の軒どいの 取付間隔 0.5m 以下																																																																																																																																																																																																																																											
<p>一級建築士事務所 事務所登録京都府知事 (04A) 第01606号 橋本一級建築デザイン事務所 〒611-0021 京都府宇治市宇治宇文字17-4クレセントハウス302 一級建築士登録 第299760号 橋本光生</p>				<p>作成日 2026/03 修正日 _____ 検印 _____ 縮尺 1/ _____</p>	<p>工事名 総合野外活動センター管理棟及び体育館非構造部材 耐震対策改修工事 図面番号 A-02</p>																																																																																																																																																																																																																																								

章 項 目	特 記 事 項	章 項 目	特 記 事 項	章 項 目	特 記 事 項	章 項 目	特 記 事 項																																																																																																																																																																																			
3 防水改修工事	内とい（V.P管は使用しない） <table border="1"> <tr> <th>材 質</th> <th>そ の 他</th> </tr> <tr> <td>たてとい及び横走り管 SGP</td> <td>径 75mm</td> </tr> <tr> <td>とい受け金物、足金物 改修仕様表 3.8.2 により溶融亜鉛めっきを行ったもの</td> <td>多雪地域の軒といの取付間隔 0.5m 以下</td> </tr> <tr> <td>防露巻き 改修仕様表3.8.3による</td> <td>F</td> </tr> </table> <p>掃除口を設ける（開放性のある自転車置き場のといを除く） 養生鉄管を設ける（径_____厚さ_____） 既存といの撤去及び養生（_____） 鋼管製といの防露巻（改修仕様表3.8.4による_____） たてとい受金物（_____）</p> <p>(表3.9.1)(表5.2.2)</p> <table border="1"> <tr> <th>種 類</th> <th>幅</th> <th>板厚(mm)</th> <th>表 面 処 理</th> <th>備 考</th> </tr> <tr> <td>250 形</td> <td>250</td> <td>1.6</td> <td>AB-1種 AB-2種</td> <td>隅角部及び突当たり部等の役物は本体製造の仕様による。</td> </tr> <tr> <td>300 形</td> <td>300</td> <td>1.8</td> <td>AC-1種 AC-2種</td> <td></td> </tr> <tr> <td>350 形</td> <td>350</td> <td>2.0</td> <td>BA-1種 BA-2種 BB-1種 BB-2種</td> <td></td> </tr> <tr> <td>曲げ材</td> <td>_____</td> <td>2.0</td> <td>BC-1種 BC-2種</td> <td></td> </tr> <tr> <td>オープン形式</td> <td>_____</td> <td>_____</td> <td>C種</td> <td></td> </tr> <tr> <td>オープン形式</td> <td>_____</td> <td>_____</td> <td>_____</td> <td></td> </tr> </table> <p>既存笠木等の撤去 行う（範囲 図示 _____） 行わない _____</p> <p>下地補修の工法 図示 _____</p> <p>板材折曲げ形の笠木取付方法 図示 _____</p> <p>建築基準法に基づく風圧力・積雪荷重に対応した工法 図示による _____</p>	材 質	そ の 他	たてとい及び横走り管 SGP	径 75mm	とい受け金物、足金物 改修仕様表 3.8.2 により溶融亜鉛めっきを行ったもの	多雪地域の軒といの取付間隔 0.5m 以下	防露巻き 改修仕様表3.8.3による	F	種 類	幅	板厚(mm)	表 面 処 理	備 考	250 形	250	1.6	AB-1種 AB-2種	隅角部及び突当たり部等の役物は本体製造の仕様による。	300 形	300	1.8	AC-1種 AC-2種		350 形	350	2.0	BA-1種 BA-2種 BB-1種 BB-2種		曲げ材	_____	2.0	BC-1種 BC-2種		オープン形式	_____	_____	C種		オープン形式	_____	_____	_____		④ 外壁改修工事	(4.1.4) (4.3.5) ~(4.3.8)	モルタル塗り仕上げ 樹脂注入方法 <table border="1"> <tr> <th>工法の種類</th> <th>ひび割れ幅 (mm)</th> <th>注入口間隔 (mm)</th> <th>注入量 (mL/m)</th> </tr> <tr> <td>自動式低圧I[※] 樹脂注入工法</td> <td>0.2以上1.0未満</td> <td>200~300</td> <td>130</td> </tr> <tr> <td>手動式I[※] 樹脂注入工法</td> <td>0.2以上0.3未満</td> <td>50~100</td> <td>40</td> </tr> <tr> <td>機械式I[※] 樹脂注入工法</td> <td>0.3以上0.5未満</td> <td>100~200</td> <td>70</td> </tr> <tr> <td></td> <td>0.5以上1.0未満</td> <td>150~250</td> <td>130</td> </tr> </table> <p>コア抜き検査 行う 行わない 抜き個数 長さ500mごと及びその端数につき1個 抜き部の補修方法 図示</p> <p>Uカットシール材充填方法 シーリング材 充填材料 1成分形又は2成分形ポリウレタン系 ポリマーセメントモルタルの充填 行う 行わない 可とう性エポキシ樹脂</p> <p>シール工法 パテ状エポキシ樹脂 可とう性エポキシ樹脂</p> <p>④ 外壁改修工事</p>	工法の種類	ひび割れ幅 (mm)	注入口間隔 (mm)	注入量 (mL/m)	自動式低圧I [※] 樹脂注入工法	0.2以上1.0未満	200~300	130	手動式I [※] 樹脂注入工法	0.2以上0.3未満	50~100	40	機械式I [※] 樹脂注入工法	0.3以上0.5未満	100~200	70		0.5以上1.0未満	150~250	130	4 浮き部改修工法 (4.1.4) (4.3.11) ~(4.3.16)	モルタル塗り仕上げ <table border="1"> <tr> <th>工 法</th> <th>アカービン (本/m²) 一般部</th> <th>注入口 (箇所/m²) 一般部</th> <th>充填量 (箇所/ml)</th> <th>注入量 (箇所/ml)</th> <th>施工箇所</th> </tr> <tr> <td>アカービン[※]部分 I[※] 樹脂注入工法</td> <td>16</td> <td></td> <td>25</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>アカービン[※]全面 I[※] 樹脂注入工法</td> <td>25</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>アカービン[※]全面 I[※] 樹脂注入工法</td> <td>13</td> <td>12</td> <td></td> <td>25</td> <td></td> </tr> <tr> <td>アカービン[※]全面 I[※] 樹脂注入工法</td> <td>13</td> <td>12</td> <td></td> <td>50</td> <td></td> </tr> <tr> <td>I[※] 樹脂注入工法</td> <td>20</td> <td>20</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>注入口付アカービン[※]部分 I[※] 樹脂注入工法</td> <td>9</td> <td></td> <td>25</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>注入口付アカービン[※]部分 I[※] 樹脂注入工法</td> <td>16</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>注入口付アカービン[※]全面 I[※] 樹脂注入工法</td> <td>9</td> <td>9</td> <td></td> <td>25</td> <td></td> </tr> <tr> <td>注入口付アカービン[※]全面 I[※] 樹脂注入工法</td> <td>16</td> <td>16</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>注入口付アカービン[※]全面 I[※] 樹脂注入工法</td> <td>9</td> <td>9</td> <td></td> <td>50</td> <td></td> </tr> <tr> <td>注入口付アカービン[※]全面 I[※] 樹脂注入工法</td> <td>16</td> <td>16</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>アンカーピン ステンレス鋼 (SUS304) 呼び径4mmの丸棒で全ネジ切り加工をしたもの</p> <p>注入口付アンカーピン ステンレス鋼 (SUS304) 呼び径6mm程度</p> <p>注入工法用材料 ポリマーセメントスラリー <table border="1"> <tr> <th>広がり速度 (cm/s)</th> <th>長さ変化率 (収縮) (%)</th> <th>引張接着性 (N/mm²)</th> <th>曲げ性能 (N/mm²)</th> <th>吸水性 (%)</th> <th>耐久性 (劣化曲げ強さ) (N/mm²)</th> </tr> <tr> <td>3以上</td> <td>3以下</td> <td>0.5以上</td> <td>5.0以上</td> <td>15以上</td> <td>5.0以上</td> </tr> </table> <p>保水係数 0.35~0.55 粘調係数 0.50~1.00</p> <p>充填工法用材料 エポキシ樹脂モルタル ポリマーセメントモルタル モルタル塗替え工法用材料 既製目地材 使用する（形状 _____） 仕上げ厚又は全塗厚が25mmを超える場合の処置 図示</p> <p>(4.1.4) (4.4.5) (4.4.9) ~(4.4.15)</p> </p>	工 法	アカービン (本/m ²) 一般部	注入口 (箇所/m ²) 一般部	充填量 (箇所/ml)	注入量 (箇所/ml)	施工箇所	アカービン [※] 部分 I [※] 樹脂注入工法	16		25			アカービン [※] 全面 I [※] 樹脂注入工法	25					アカービン [※] 全面 I [※] 樹脂注入工法	13	12		25		アカービン [※] 全面 I [※] 樹脂注入工法	13	12		50		I [※] 樹脂注入工法	20	20				注入口付アカービン [※] 部分 I [※] 樹脂注入工法	9		25			注入口付アカービン [※] 部分 I [※] 樹脂注入工法	16					注入口付アカービン [※] 全面 I [※] 樹脂注入工法	9	9		25		注入口付アカービン [※] 全面 I [※] 樹脂注入工法	16	16				注入口付アカービン [※] 全面 I [※] 樹脂注入工法	9	9		50		注入口付アカービン [※] 全面 I [※] 樹脂注入工法	16	16				広がり速度 (cm/s)	長さ変化率 (収縮) (%)	引張接着性 (N/mm ²)	曲げ性能 (N/mm ²)	吸水性 (%)	耐久性 (劣化曲げ強さ) (N/mm ²)	3以上	3以下	0.5以上	5.0以上	15以上	5.0以上	④ 外壁改修工事	(4.2.4) (4.4.7) ~(4.4.8)	アンカーピン ステンレス鋼 (SUS304) 呼び径4mmの丸棒で全ネジ切り加工をしたもの <p>注入口付アンカーピン ステンレス鋼 (SUS304) 呼び径6mm程度</p> <table border="1"> <tr> <th>工 法</th> <th>1箇所 (m²)</th> <th>材 料</th> <th>施 工 箇 所</th> </tr> <tr> <td>タイル部分張替え工法</td> <td>0.25未満</td> <td>ポリマーセメントモルタル 一液反応硬化形変成シリコン樹脂系接着剤 (JIS A 5557による)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>タイル張替え工法</td> <td></td> <td>張付けモルタル 現場調査材料 既調合モルタル 一液反応硬化形変成シリコン樹脂系接着剤 (JIS A 5557による)</td> <td></td> </tr> </table> <p>伸縮調整目地及びひび割れ誘発目地 位置 改修標準仕様書4.5.1による タイル張り下地等の下地モルタル及び下地調整塗材塗りの接着力試験 行う 行わない</p> <p>④ 外壁改修工事</p>	工 法	1箇所 (m ²)	材 料	施 工 箇 所	タイル部分張替え工法	0.25未満	ポリマーセメントモルタル 一液反応硬化形変成シリコン樹脂系接着剤 (JIS A 5557による)		タイル張替え工法		張付けモルタル 現場調査材料 既調合モルタル 一液反応硬化形変成シリコン樹脂系接着剤 (JIS A 5557による)		5 目地改修工法 (4.1.4) (4.4.5) (4.4.16)	アンカーピン ステンレス鋼 (SUS304) 呼び径4mmの丸棒で全ネジ切り加工をしたもの <p>注入口付アンカーピン ステンレス鋼 (SUS304) 呼び径6mm程度</p> <p>注入工法用材料 ポリマーセメントスラリー <table border="1"> <tr> <th>広がり速度 (cm/s)</th> <th>長さ変化率 (収縮) (%)</th> <th>引張接着性 (N/mm²)</th> <th>曲げ性能 (N/mm²)</th> <th>吸水性 (%)</th> <th>耐久性 (劣化曲げ強さ) (N/mm²)</th> </tr> <tr> <td>3以上</td> <td>3以下</td> <td>0.5以上</td> <td>5.0以上</td> <td>15以上</td> <td>5.0以上</td> </tr> </table> <p>保水係数 0.35~0.55 粘調係数 0.50~1.00</p> <p>充填工法用材料 エポキシ樹脂モルタル ポリマーセメントモルタル モルタル塗替え工法用材料 既製目地材 使用する（形状 _____） 仕上げ厚又は全塗厚が25mmを超える場合の処置 図示</p> <p>(4.1.4) (4.4.5) (4.4.9) ~(4.4.15)</p> </p>	広がり速度 (cm/s)	長さ変化率 (収縮) (%)	引張接着性 (N/mm ²)	曲げ性能 (N/mm ²)	吸水性 (%)	耐久性 (劣化曲げ強さ) (N/mm ²)	3以上	3以下	0.5以上	5.0以上	15以上	5.0以上	6 樹脂注入工法 (4.2.4) (4.2.5)	建築補修用注入エポキシ樹脂 低粘度形 中粘度形 ひび割れの幅 (mm) 0.2~0.3未満 0.3~0.5未満 0.5~1.0以下 注入孔の間隔 (mm) 200程度 300程度 300程度 注入量 (CC/mm)	7 Uカットシール材 充填工法(4.2.6)	シーリング材の上にポリマーセメントモルタル 行う
	材 質	そ の 他																																																																																																																																																																																								
たてとい及び横走り管 SGP	径 75mm																																																																																																																																																																																									
とい受け金物、足金物 改修仕様表 3.8.2 により溶融亜鉛めっきを行ったもの	多雪地域の軒といの取付間隔 0.5m 以下																																																																																																																																																																																									
防露巻き 改修仕様表3.8.3による	F																																																																																																																																																																																									
種 類	幅	板厚(mm)	表 面 処 理	備 考																																																																																																																																																																																						
250 形	250	1.6	AB-1種 AB-2種	隅角部及び突当たり部等の役物は本体製造の仕様による。																																																																																																																																																																																						
300 形	300	1.8	AC-1種 AC-2種																																																																																																																																																																																							
350 形	350	2.0	BA-1種 BA-2種 BB-1種 BB-2種																																																																																																																																																																																							
曲げ材	_____	2.0	BC-1種 BC-2種																																																																																																																																																																																							
オープン形式	_____	_____	C種																																																																																																																																																																																							
オープン形式	_____	_____	_____																																																																																																																																																																																							
工法の種類	ひび割れ幅 (mm)	注入口間隔 (mm)	注入量 (mL/m)																																																																																																																																																																																							
自動式低圧I [※] 樹脂注入工法	0.2以上1.0未満	200~300	130																																																																																																																																																																																							
手動式I [※] 樹脂注入工法	0.2以上0.3未満	50~100	40																																																																																																																																																																																							
機械式I [※] 樹脂注入工法	0.3以上0.5未満	100~200	70																																																																																																																																																																																							
	0.5以上1.0未満	150~250	130																																																																																																																																																																																							
工 法	アカービン (本/m ²) 一般部	注入口 (箇所/m ²) 一般部	充填量 (箇所/ml)	注入量 (箇所/ml)	施工箇所																																																																																																																																																																																					
アカービン [※] 部分 I [※] 樹脂注入工法	16		25																																																																																																																																																																																							
アカービン [※] 全面 I [※] 樹脂注入工法	25																																																																																																																																																																																									
アカービン [※] 全面 I [※] 樹脂注入工法	13	12		25																																																																																																																																																																																						
アカービン [※] 全面 I [※] 樹脂注入工法	13	12		50																																																																																																																																																																																						
I [※] 樹脂注入工法	20	20																																																																																																																																																																																								
注入口付アカービン [※] 部分 I [※] 樹脂注入工法	9		25																																																																																																																																																																																							
注入口付アカービン [※] 部分 I [※] 樹脂注入工法	16																																																																																																																																																																																									
注入口付アカービン [※] 全面 I [※] 樹脂注入工法	9	9		25																																																																																																																																																																																						
注入口付アカービン [※] 全面 I [※] 樹脂注入工法	16	16																																																																																																																																																																																								
注入口付アカービン [※] 全面 I [※] 樹脂注入工法	9	9		50																																																																																																																																																																																						
注入口付アカービン [※] 全面 I [※] 樹脂注入工法	16	16																																																																																																																																																																																								
広がり速度 (cm/s)	長さ変化率 (収縮) (%)	引張接着性 (N/mm ²)	曲げ性能 (N/mm ²)	吸水性 (%)	耐久性 (劣化曲げ強さ) (N/mm ²)																																																																																																																																																																																					
3以上	3以下	0.5以上	5.0以上	15以上	5.0以上																																																																																																																																																																																					
工 法	1箇所 (m ²)	材 料	施 工 箇 所																																																																																																																																																																																							
タイル部分張替え工法	0.25未満	ポリマーセメントモルタル 一液反応硬化形変成シリコン樹脂系接着剤 (JIS A 5557による)																																																																																																																																																																																								
タイル張替え工法		張付けモルタル 現場調査材料 既調合モルタル 一液反応硬化形変成シリコン樹脂系接着剤 (JIS A 5557による)																																																																																																																																																																																								
広がり速度 (cm/s)	長さ変化率 (収縮) (%)	引張接着性 (N/mm ²)	曲げ性能 (N/mm ²)	吸水性 (%)	耐久性 (劣化曲げ強さ) (N/mm ²)																																																																																																																																																																																					
3以上	3以下	0.5以上	5.0以上	15以上	5.0以上																																																																																																																																																																																					
1 施工数量調査 (1.6.2)	調査範囲 外壁改修範囲 図示の範囲 調査内容 ひび割れの幅及び長さを壁面に表示する。また、ひび割れ部の挙動の有無、漏水の有無及び錆汁の流出の有無を確認する。 モルタル塗り仕上げ及びタイル張り仕上げについては浮き部分を表面に表示し、また欠損部の形状寸法等を調査する。 コンクリート表面のはがれ及びはく落部を壁面に表示する。 塗り仕上げについては、コンクリートまたはモルタル表面のはがれ及びはく落部を壁面に表示する。また既存塗膜と新規上塗材との適合性を確認する。 既存部分の破壊を行った場合の補修方法 図示 _____ 調査報告書の部数 2部 _____ 施工に先立ち、建築仕上診断技術者 (BELCA) による外壁劣化状況調査報告書を監督職員に提出し承諾を得ること。	(4.1.4) (4.2.4) ~(4.2.7)	コンクリート打放し仕上げ 樹脂注入方法 <table border="1"> <tr> <th>工法の種類</th> <th>ひび割れ幅 (mm)</th> <th>注入口間隔 (mm)</th> <th>注入量 (mL/m)</th> </tr> <tr> <td>自動式低圧I[※] 樹脂注入工法</td> <td>0.2以上1.0未満</td> <td>200~300</td> <td>130</td> </tr> <tr> <td>手動式I[※] 樹脂注入工法</td> <td>0.2以上0.3未満</td> <td>50~100</td> <td>40</td> </tr> <tr> <td>機械式I[※] 樹脂注入工法</td> <td>0.3以上0.5未満</td> <td>100~200</td> <td>70</td> </tr> <tr> <td></td> <td>0.5以上1.0未満</td> <td>150~250</td> <td>130</td> </tr> </table> <p>コア抜き検査 行う 行わない（注入状況確認方法 _____） 抜き個数 長さ500mごと及びその端数につき1個 抜き部の補修方法 図示</p> <p>Uカットシール材充填方法 シーリング材 充填材料 1成分形又は2成分形ポリウレタン系 ポリマーセメントモルタルの充填 行う 行わない 可とう性エポキシ樹脂</p> <p>シール工法 パテ状エポキシ樹脂 可とう性エポキシ樹脂</p>	工法の種類	ひび割れ幅 (mm)	注入口間隔 (mm)	注入量 (mL/m)	自動式低圧I [※] 樹脂注入工法	0.2以上1.0未満	200~300	130	手動式I [※] 樹脂注入工法	0.2以上0.3未満	50~100	40	機械式I [※] 樹脂注入工法	0.3以上0.5未満	100~200	70		0.5以上1.0未満	150~250	130	3 欠損部改修 (4.1.4) (4.2.4) (4.2.7)	コンクリート打放し仕上げ <table border="1"> <tr> <th>工 法</th> <th>材 料</th> <th>施 工 箇 所</th> </tr> <tr> <td>充填工法</td> <td>エポキシ樹脂モルタル</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>ポリマーセメントモルタル</td> <td></td> </tr> </table> <p>モルタル塗り仕上げ <table border="1"> <tr> <th>工 法</th> <th>材 料</th> <th>施 工 箇 所</th> </tr> <tr> <td>充填工法</td> <td>エポキシ樹脂モルタル</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>ポリマーセメントモルタル</td> <td></td> </tr> </table> <p>モルタル塗替え工法 改修仕様表4.3.3による 仕上げ厚又は全塗厚が25mmを超える場合の処置 図示</p> <p>④ 外壁改修工事</p> </p>	工 法	材 料	施 工 箇 所	充填工法	エポキシ樹脂モルタル			ポリマーセメントモルタル		工 法	材 料	施 工 箇 所	充填工法	エポキシ樹脂モルタル			ポリマーセメントモルタル		7 目地改修工法 (4.1.4) (4.4.5) (4.4.16)	目地ひび割れ部改修工法 伸縮調整目地改修工法 位置 改修仕様表4.4.2による 図示による 寸法(幅×深さ) コケリ打継ぎ目地、ひび割れ誘発目地 20mm以上×10mm以上 その他 10mm以上×10mm以上																																																																																																																																													
工法の種類	ひび割れ幅 (mm)	注入口間隔 (mm)	注入量 (mL/m)																																																																																																																																																																																							
自動式低圧I [※] 樹脂注入工法	0.2以上1.0未満	200~300	130																																																																																																																																																																																							
手動式I [※] 樹脂注入工法	0.2以上0.3未満	50~100	40																																																																																																																																																																																							
機械式I [※] 樹脂注入工法	0.3以上0.5未満	100~200	70																																																																																																																																																																																							
	0.5以上1.0未満	150~250	130																																																																																																																																																																																							
工 法	材 料	施 工 箇 所																																																																																																																																																																																								
充填工法	エポキシ樹脂モルタル																																																																																																																																																																																									
	ポリマーセメントモルタル																																																																																																																																																																																									
工 法	材 料	施 工 箇 所																																																																																																																																																																																								
充填工法	エポキシ樹脂モルタル																																																																																																																																																																																									
	ポリマーセメントモルタル																																																																																																																																																																																									
2 ひび割れ部改修 (4.1.4) (4.2.4) ~(4.2.7)	ひび割れ部の補修方法 図示 _____ <p>ひび割れ部の補修方法 図示 _____</p> <p>ひび割れ部の補修方法 図示 _____</p>	(4.1.4) (4.3.9)	モルタル塗り仕上げ <table border="1"> <tr> <th>工 法</th> <th>材 料</th> <th>施 工 箇 所</th> </tr> <tr> <td>充填工法</td> <td>エポキシ樹脂モルタル</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>ポリマーセメントモルタル</td> <td></td> </tr> </table> <p>モルタル塗り仕上げ <table border="1"> <tr> <th>工 法</th> <th>材 料</th> <th>施 工 箇 所</th> </tr> <tr> <td>充填工法</td> <td>エポキシ樹脂モルタル</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>ポリマーセメントモルタル</td> <td></td> </tr> </table> <p>モルタル塗替え工法 改修仕様表4.3.3による 仕上げ厚又は全塗厚が25mmを超える場合の処置 図示</p> <p>④ 外壁改修工事</p> </p>	工 法	材 料	施 工 箇 所	充填工法	エポキシ樹脂モルタル			ポリマーセメントモルタル		工 法	材 料	施 工 箇 所	充填工法	エポキシ樹脂モルタル			ポリマーセメントモルタル		8 アカービン [※] 注入工法(4.3.5)	アンカーピンの材質 ステンレス鋼(SUS304)、呼び径4mm、全ネジ切り丸棒																																																																																																																																																																			
工 法	材 料	施 工 箇 所																																																																																																																																																																																								
充填工法	エポキシ樹脂モルタル																																																																																																																																																																																									
	ポリマーセメントモルタル																																																																																																																																																																																									
工 法	材 料	施 工 箇 所																																																																																																																																																																																								
充填工法	エポキシ樹脂モルタル																																																																																																																																																																																									
	ポリマーセメントモルタル																																																																																																																																																																																									
1 施工数量調査 (1.6.2)	調査範囲 外壁改修範囲 図示の範囲 調査内容 ひび割れの幅及び長さを壁面に表示する。また、ひび割れ部の挙動の有無、漏水の有無及び錆汁の流出の有無を確認する。 モルタル塗り仕上げ及びタイル張り仕上げについては浮き部分を表面に表示し、また欠損部の形状寸法等を調査する。 コンクリート表面のはがれ及びはく落部を壁面に表示する。 塗り仕上げについては、コンクリートまたはモルタル表面のはがれ及びはく落部を壁面に表示する。また既存塗膜と新規上塗材との適合性を確認する。 既存部分の破壊を行った場合の補修方法 図示 _____ 調査報告書の部数 2部 _____ 施工に先立ち、建築仕上診断技術者 (BELCA) による外壁劣化状況調査報告書を監督職員に提出し承諾を得ること。	(4.1.4) (4.2.4) ~(4.2.7)	コンクリート打放し仕上げ 樹脂注入方法 <table border="1"> <tr> <th>工法の種類</th> <th>ひび割れ幅 (mm)</th> <th>注入口間隔 (mm)</th> <th>注入量 (mL/m)</th> </tr> <tr> <td>自動式低圧I[※] 樹脂注入工法</td> <td>0.2以上1.0未満</td> <td>200~300</td> <td>130</td> </tr> <tr> <td>手動式I[※] 樹脂注入工法</td> <td>0.2以上0.3未満</td> <td>50~100</td> <td>40</td> </tr> <tr> <td>機械式I[※] 樹脂注入工法</td> <td>0.3以上0.5未満</td> <td>100~200</td> <td>70</td> </tr> <tr> <td></td> <td>0.5以上1.0未満</td> <td>150~250</td> <td>130</td> </tr> </table> <p>コア抜き検査 行う 行わない（注入状況確認方法 _____） 抜き個数 長さ500mごと及びその端数につき1個 抜き部の補修方法 図示</p> <p>Uカットシール材充填方法 シーリング材 充填材料 1成分形又は2成分形ポリウレタン系 ポリマーセメントモルタルの充填 行う 行わない 可とう性エポキシ樹脂</p> <p>シール工法 パテ状エポキシ樹脂 可とう性エポキシ樹脂</p>	工法の種類	ひび割れ幅 (mm)	注入口間隔 (mm)	注入量 (mL/m)	自動式低圧I [※] 樹脂注入工法	0.2以上1.0未満	200~300	130	手動式I [※] 樹脂注入工法	0.2以上0.3未満	50~100	40	機械式I [※] 樹脂注入工法	0.3以上0.5未満	100~200	70		0.5以上1.0未満	150~250	130	3 欠損部改修 (4.1.4) (4.2.4) (4.2.7)	コンクリート打放し仕上げ <table border="1"> <tr> <th>工 法</th> <th>材 料</th> <th>施 工 箇 所</th> </tr> <tr> <td>充填工法</td> <td>エポキシ樹脂モルタル</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>ポリマーセメントモルタル</td> <td></td> </tr> </table> <p>モルタル塗り仕上げ <table border="1"> <tr> <th>工 法</th> <th>材 料</th> <th>施 工 箇 所</th> </tr> <tr> <td>充填工法</td> <td>エポキシ樹脂モルタル</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>ポリマーセメントモルタル</td> <td></td> </tr> </table> <p>モルタル塗替え工法 改修仕様表4.3.3による 仕上げ厚又は全塗厚が25mmを超える場合の処置 図示</p> <p>④ 外壁改修工事</p> </p>	工 法	材 料	施 工 箇 所	充填工法	エポキシ樹脂モルタル			ポリマーセメントモルタル		工 法	材 料	施 工 箇 所	充填工法	エポキシ樹脂モルタル			ポリマーセメントモルタル		8 アカービン [※] 注入工法(4.3.5)	アンカーピンの材質 ステンレス鋼(SUS304)、呼び径4mm、全ネジ切り丸棒																																																																																																																																													
工法の種類	ひび割れ幅 (mm)	注入口間隔 (mm)	注入量 (mL/m)																																																																																																																																																																																							
自動式低圧I [※] 樹脂注入工法	0.2以上1.0未満	200~300	130																																																																																																																																																																																							
手動式I [※] 樹脂注入工法	0.2以上0.3未満	50~100	40																																																																																																																																																																																							
機械式I [※] 樹脂注入工法	0.3以上0.5未満	100~200	70																																																																																																																																																																																							
	0.5以上1.0未満	150~250	130																																																																																																																																																																																							
工 法	材 料	施 工 箇 所																																																																																																																																																																																								
充填工法	エポキシ樹脂モルタル																																																																																																																																																																																									
	ポリマーセメントモルタル																																																																																																																																																																																									
工 法	材 料	施 工 箇 所																																																																																																																																																																																								
充填工法	エポキシ樹脂モルタル																																																																																																																																																																																									
	ポリマーセメントモルタル																																																																																																																																																																																									
2 ひび割れ部改修 (4.1.4) (4.2.4) ~(4.2.7)	ひび割れ部の補修方法 図示 _____ <p>ひび割れ部の補修方法 図示 _____</p> <p>ひび割れ部の補修方法 図示 _____</p>	(4.1.4) (4.3.9)	モルタル塗り仕上げ <table border="1"> <tr> <th>工 法</th> <th>材 料</th> <th>施 工 箇 所</th> </tr> <tr> <td>充填工法</td> <td>エポキシ樹脂モルタル</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>ポリマーセメントモルタル</td> <td></td> </tr> </table> <p>モルタル塗り仕上げ <table border="1"> <tr> <th>工 法</th> <th>材 料</th> <th>施 工 箇 所</th> </tr> <tr> <td>充填工法</td> <td>エポキシ樹脂モルタル</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>ポリマーセメントモルタル</td> <td></td> </tr> </table> <p>モルタル塗替え工法 改修仕様表4.3.3による 仕上げ厚又は全塗厚が25mmを超える場合の処置 図示</p> <p>④ 外壁改修工事</p> </p>	工 法	材 料	施 工 箇 所	充填工法	エポキシ樹脂モルタル			ポリマーセメントモルタル		工 法	材 料	施 工 箇 所	充填工法	エポキシ樹脂モルタル			ポリマーセメントモルタル		9 注入口付アカービン [※] 注入工法(4.3.5)	注入口付アンカーピンの材質 ステンレス鋼(SUS304)、呼び径6mm程度																																																																																																																																																																			
工 法	材 料	施 工 箇 所																																																																																																																																																																																								
充填工法	エポキシ樹脂モルタル																																																																																																																																																																																									
	ポリマーセメントモルタル																																																																																																																																																																																									
工 法	材 料	施 工 箇 所																																																																																																																																																																																								
充填工法	エポキシ樹脂モルタル																																																																																																																																																																																									
	ポリマーセメントモルタル																																																																																																																																																																																									
2 ひび割れ部改修 (4.1.4) (4.2.4) ~(4.2.7)	ひび割れ部の補修方法 図示 _____ <p>ひび割れ部の補修方法 図示 _____</p> <p>ひび割れ部の補修方法 図示 _____</p>	(4.1.4) (4.3.9)	モルタル塗り仕上げ <table border="1"> <tr> <th>工 法</th> <th>アカービン (本/m²) 一般部</th> <th>注入口 (箇所/m²) 一般部</th> <th>充填量 (箇所/ml)</th> <th>注入量 (箇所/ml)</th> <th>施工箇所</th> </tr> <tr> <td>アカービン[※]部分 I[※] 樹脂注入工法</td> <td>16</td> <td></td> <td>25</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>アカービン[※]全面 I[※] 樹脂注入工法</td> <td>25</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>アカービン[※]全面 I[※] 樹脂注入工法</td> <td>13</td> <td>12</td> <td></td> <td>25</td> <td></td> </tr> <tr> <td>アカービン[※]全面 I[※] 樹脂注入工法</td> <td>13</td> <td>12</td> <td></td> <td>50</td> <td></td> </tr> <tr> <td>I[※] 樹脂注入工法</td> <td>20</td> <td>20</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>注入口付アカービン[※]部分 I[※] 樹脂注入工法</td> <td>9</td> <td></td> <td>25</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>注入口付アカービン[※]部分 I[※] 樹脂注入工法</td> <td>16</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>注入口付アカービン[※]全面 I[※] 樹脂注入工法</td> <td>9</td> <td>9</td> <td></td> <td>25</td> <td></td> </tr> <tr> <td>注入口付アカービン[※]全面 I[※] 樹脂注入工法</td> <td>16</td> <td>16</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>注入口付アカービン[※]全面 I[※] 樹脂注入工法</td> <td>9</td> <td>9</td> <td></td> <td>50</td> <td></td> </tr> <tr> <td>注入口付アカービン[※]全面 I[※] 樹脂注入工法</td> <td>16</td> <td>16</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>アンカーピン ステンレス鋼 (SUS304) 呼び径4mmの丸棒で全ネジ切り加工をしたもの</p> <p>注入口付アンカーピン ステンレス鋼 (SUS304) 呼び径6mm程度</p> <p>注入工法用材料 ポリマーセメントスラリー <table border="1"> <tr> <th>広がり速度 (cm/s)</th> <th>長さ変化率 (収縮) (%)</th> <th>引張接着性 (N/mm²)</th> <th>曲げ性能 (N/mm²)</th> <th>吸水性 (%)</th> <th>耐久性 (劣化曲げ強さ) (N/mm²)</th> </tr> <tr> <td>3以上</td> <td>3以下</td> <td>0.5以上</td> <td>5.0以上</td> <td>15以上</td> <td>5.0以上</td> </tr> </table> <p>保水係数 0.35~0.55 粘調係数 0.50~1.00</p> <p>充填工法用材料 エポキシ樹脂モルタル ポリマーセメントモルタル モルタル塗替え工法用材料 既製目地材 使用する（形状 _____） 仕上げ厚又は全塗厚が25mmを超える場合の処置 図示</p> <p>(4.1.4) (4.4.5) (4.4.9) ~(4.4.15)</p> </p>	工 法	アカービン (本/m ²) 一般部	注入口 (箇所/m ²) 一般部	充填量 (箇所/ml)	注入量 (箇所/ml)	施工箇所	アカービン [※] 部分 I [※] 樹脂注入工法	16		25			アカービン [※] 全面 I [※] 樹脂注入工法	25					アカービン [※] 全面 I [※] 樹脂注入工法	13	12		25		アカービン [※] 全面 I [※] 樹脂注入工法	13	12		50		I [※] 樹脂注入工法	20	20				注入口付アカービン [※] 部分 I [※] 樹脂注入工法	9		25			注入口付アカービン [※] 部分 I [※] 樹脂注入工法	16					注入口付アカービン [※] 全面 I [※] 樹脂注入工法	9	9		25		注入口付アカービン [※] 全面 I [※] 樹脂注入工法	16	16				注入口付アカービン [※] 全面 I [※] 樹脂注入工法	9	9		50		注入口付アカービン [※] 全面 I [※] 樹脂注入工法	16	16				広がり速度 (cm/s)	長さ変化率 (収縮) (%)	引張接着性 (N/mm ²)	曲げ性能 (N/mm ²)	吸水性 (%)	耐久性 (劣化曲げ強さ) (N/mm ²)	3以上	3以下	0.5以上	5.0以上	15以上	5.0以上	10 モルタル塗替え工法 (4.3.5)	モルタル 現場調査材料 既調合材料（ _____ ） 既製目地材 使用する（形状 _____ ）																																																																																																	
工 法	アカービン (本/m ²) 一般部	注入口 (箇所/m ²) 一般部	充填量 (箇所/ml)	注入量 (箇所/ml)	施工箇所																																																																																																																																																																																					
アカービン [※] 部分 I [※] 樹脂注入工法	16		25																																																																																																																																																																																							
アカービン [※] 全面 I [※] 樹脂注入工法	25																																																																																																																																																																																									
アカービン [※] 全面 I [※] 樹脂注入工法	13	12		25																																																																																																																																																																																						
アカービン [※] 全面 I [※] 樹脂注入工法	13	12		50																																																																																																																																																																																						
I [※] 樹脂注入工法	20	20																																																																																																																																																																																								
注入口付アカービン [※] 部分 I [※] 樹脂注入工法	9		25																																																																																																																																																																																							
注入口付アカービン [※] 部分 I [※] 樹脂注入工法	16																																																																																																																																																																																									
注入口付アカービン [※] 全面 I [※] 樹脂注入工法	9	9		25																																																																																																																																																																																						
注入口付アカービン [※] 全面 I [※] 樹脂注入工法	16	16																																																																																																																																																																																								
注入口付アカービン [※] 全面 I [※] 樹脂注入工法	9	9		50																																																																																																																																																																																						
注入口付アカービン [※] 全面 I [※] 樹脂注入工法	16	16																																																																																																																																																																																								
広がり速度 (cm/s)	長さ変化率 (収縮) (%)	引張接着性 (N/mm ²)	曲げ性能 (N/mm ²)	吸水性 (%)	耐久性 (劣化曲げ強さ) (N/mm ²)																																																																																																																																																																																					
3以上	3以下	0.5以上	5.0以上	15以上	5.0以上																																																																																																																																																																																					

章 項 目	特 記 事 項	章 項 目	特 記 事 項	章 項 目	特 記 事 項	章 項 目	特 記 事 項			
4 外壁改修工事	11 タイル部分張替え工法 及びタイル張替え工法 (4.4.5) (4.4.7) ~(4.4.8)	施工箇所及び タイルの種類 形状寸法(mm) 生地 釉薬 役物 色 耐凍害性 耐滑り性 その他 図示 磁器 せつ器 陶器 無釉 有釉 標準 有釉 特注 無し	4 外壁改修工事	15 マスチック塗材 塗り (4.1.5) (4.6.2)	種別 A種 B種 (表4.6.1)	8 網戸等 (5.2.3) (5.3.3)	防虫網 網の種類 合成樹脂製 ガラス繊維入り合成樹脂製 ステンレス製(SUS316) 形式 外部可動式 固定式 線径、網目 0.25mm以上、16~18メッシュ 防鳥網 設置する	13 建具用金物 (5.8.2) ~(5.8.4)	マスターキーの製作 作成する(_____ グループ、各グループ _____ 個) 作成しない 在来マスターキーに合わせる 鍵の制作本数 3本1組(室名札付き) _____ 鍵箱 無 有	
	12 窓下人研面台の 補修	タイル張替え工法の伸縮調整目地及びひび割れ誘発目地 位置 改修標仕表4.4.2による 図示による	17 外壁用塗膜防水 材塗り (4.1.5) (4.7.2) (4.7.3)	外壁用塗膜防水塗り(*塗膜中の樹脂量5%以上) 仕上げの形状 現場監督職員と協議 工法 ローラー塗 外壁用仕上げ塗材の耐水性 _____	5 建具改修工事	9 樹脂製建具 (5.3.2) ~(5.3.5)	外部に面する樹脂製建具の性能等級 (表5.3.1) 性能等級 A種 B種 C種 耐風圧性 S-4 S-5 S-6 気密性 A-4 水密性 W-4 W-5 秤見込み(mm) 図示 防音ドア、防音サッシとする場合 遮音性の等級 T-1 T-2 断熱ドア、断熱サッシとする場合 断熱性の等級 H-4 H-5 H-6 H-7 H-8 ガラス 複層ガラス 単板ガラス 三重ガラス 表面色 標準色 特注色 水切り、ぜん板等 図示による ○ ステンレス製のくつずりの仕上げ HL	開き戸 (表5.8.1) 金物の種類 見え掛り部の材質 その他 シリンドー箱錠 握り玉:スチルス レバー・ハンドル:7Mニッケル合金, (スチルス、黄銅) シリンドーカー:スチルス 取付位置 () 実用性能項目 グレード3以上 (鋼製建具、鋼製軽量 建具、スチルス建具) 耐じん性能のグレード		
	13 仕上塗材(4.1.5) (4.5.2) (4.5.6)	シール工法(仕上げ塗材は外壁仕上塗材の上塗り材とする。) 塗膜防水(弾性ウレタン系 エポキシ系)	1 性能 「第1章 一般共通事項 4 風圧力及び積雪に対する性能」を満足させること。 2 施工数量調査 (1.6.2) 行う(建具金物 ガラス ガラス止め材 _____) 施工に先立ち、施工数量調査報告書を監督職員に提出し承諾を得ること。 3 改修工法 (5.1.3) 既存建具を新規建具に改修する場合 かぶせ工法(カバー工法 持出し工法 ノンシール工法) 撤去工法(はつり工法 引き抜き工法) 新規建具を設置する場合 新規建具を設ける壁の開口方法 図示による _____ 新規建具周囲の補修工法及び範囲 図示による _____	5 建具改修工事	4 防火戸 (5.1.4) 図示による _____ 防火戸の自動閉鎖機構及び防火戸とヒューズ装置、熱感知器又は煙感知器との運動 連動させる(建具表による _____) 運動させない	10 鋼製建具 (5.2.2) (5.4.2) ~(5.4.4)	11 鋼製軽量建具 (5.2.2) (5.2.2) (5.5.2) ~(5.5.4)	JISただし書き建具の寸法許容差(これ以外は改修標仕による) 製造所標準製作規定寸法許容差による 鋼板類の厚さ 表5.4.2(片開き、親子開き及び両開き戸の有効開口幅 が950mm又は有効高さが2,400mmを超える場合は除く) _____mm ステンレス製のくつずりの仕上げ HL 標準型鋼製建具の形式及び寸法 建具表による JISただし書き建具の寸法許容差(これ以外は改修標仕による) 製造所標準製作規定寸法許容差による 鋼板類の厚さ 表5.5.1(片開き、親子開き及び両開き戸の有効開口幅 が950mm又は有効高さが2,400mmを超える場合は除く) _____mm 召合せ、縦小口包み板の材質 鋼板 ○ ステンレス製のくつずりの仕上げ HL 標準型鋼製軽量建具の形式及び寸法 建具表による	空錠 握り玉:スチルス レバー・ハンドル:7Mニッケル合金, (スチルス、黄銅) グレモン錠 レバー・ハンドル:亜鉛合金,(スチルス) ケースハンドル錠 ステンレス 点検口錠 亜鉛合金程度,(スチルス) 丁番 スチルス,(黄銅) ピボットヒンジ レバー部:スチルス,(亜鉛合金) 亜鉛合金は木製建具用のみ 点検口輪吊りヒンジ 建具製作所の仕様による フロアヒンジ レバー部:スチルス,(本体は鋼) ドアクローザー ヒンジ(焼付け塗装) ヒンジ(焼付け塗装) ヒンジ(焼付け塗装) 本体:7Mニッケル合金 7M部:鋼(焼付け塗装) 閉鎖順位調整器 スチルス,(鋼) 押棒・押板 (スチルス、黄銅、合成樹脂) 取付位置 () 上げ落し 亜鉛合金程度,(スチルス) (フランス落し) 7Mストッパー 鋼(加ムめつき),(スチルス) 戸当り 亜鉛合金程度,(スチルス、黄銅) あおり止め付き	
	14 既存塗膜等の除去 及び下地処理 (4.5.4) (4.5.5)	防火材料の指定 なし 下地補修後の打放しコンクリート壁面の仕上げ補修 行う(参考工法: _____ 製造所: _____) 行わない 仕上塗材の耐水性 耐候形3種 _____ 仕上塗材の上塗り 溶媒 水系 _____ 樹脂 アクリル系 _____ 外観 つや有 つやなし メタリック	7 アルミニウム製 建具 (5.2.2) ~(5.2.5)	外部に面するアルミニウム製建具の性能等級 (表5.2.1) 性能等級 A種 B種 C種 耐風圧性 S-4 S-5 S-6 気密性 A-3 A-4 水密性 W-4 W-5 秤見込み(mm) 図示 70 100 図示	12 ステンレス製建具 (5.2.2) (5.4.2) (5.6.2) ~(5.6.5)	11 鋼製軽量建具 (5.2.2) (5.2.2) (5.5.2) ~(5.5.4)	12 ステンレス製建具 (5.2.2) (5.4.2) (5.6.2) ~(5.6.5)	ステンレス鋼板の種類 SUS304 SUS430J1L SUS443J1 _____ ステンレス製のくつずりの仕上げ HL JISただし書き建具の寸法許容差 製造所標準製作規定寸法許容差による 表面仕上げ HL 鏡面仕上げ 曲げ加工 普通曲げ 角出し曲げ	窓 (表5.8.1) 金物の種類 見え掛り部の材質 その他 引戸用錠 木製建具の場合 :シリンドーカー等はスチルス 取付位置 () クレセント 建具製作所の仕様による。 取付位置 () 引手類 木製建具の場合:スチルス (黄銅) 戸車 (上吊りの場合を除く) レール ステンレス、 (7Mニッケル合金 黄銅) 黄銅は木製建具用のみ (上吊りの場合を除く)	
		既存塗膜の除去方法 試験施工実施 サンダー工法 高圧水洗工法(試験施工実施)(加圧力 30Mpa _____) 塗膜はく離剤工法(製造所: _____) 水洗い工法(_____ 高圧 _____ 10~15pa) 既存塗膜の除去範囲 既存仕上げ面全体 既存壁面の(_____ %) 別図に示す範囲	表面処理 (表5.2.2) 種別 色 施工箇所 B B - 1種 標準 特注 図示による B B - 2種 標準 特注 図示による 標準 特注 標準 特注 標準 特注	防音ドア、防音サッシとする場合(遮音性の等級 _____) 断熱ドア、断熱サッシとする場合(断熱性の等級 _____) 結露水の処理方法 ○水貯め式 ○排水式 図示による ○ 水切り、ぜん板等 図示による ○ ステンレス製のくつずりの仕上げ HL	5 建具改修工事	10 鋼製建具 (5.2.2) (5.4.2) ~(5.4.4)	11 鋼製軽量建具 (5.2.2) (5.2.2) (5.5.2) ~(5.5.4)	鋼板 表面処理亜鉛めっき鋼板 ビニル被覆鋼板 カラー鋼板 鋼板類の厚さ 表5.5.1(片開き、親子開き及び両開き戸の有効開口幅 が950mm又は有効高さが2,400mmを超える場合は除く) _____mm 召合せ、縦小口包み板の材質 鋼板 ○ ステンレス製のくつずりの仕上げ HL 標準型鋼製軽量建具の形式及び寸法 建具表による	金属製建具用丁番 表 5.8.2による _____ 樹脂製建具用丁番 表 5.8.3による _____	
									14 自動ドア閉鎖装置 (5.9.2) ~(5.9.3)	駆動装置及び検出装置の性能 引き戸用駆動装置性能値 改修標仕 表5.9.1による(SSLD-1 SSLD-2 DSLSD-1 DSLSD-2) 種類・開閉方式 耐電圧 温度上昇 耐久性(サイクル) 防錆 電源
										車椅子使用者用便房出入口引き戸用駆動装置性能値 改修標仕 表5.9.2による 耐電圧 温度上昇 耐久性(サイクル) 防錆 電源

章 項 目	特 記 事 項			
5	引き戸用検出装置性能値 改修標仕 表5.9.3による			
	放射無線周波数 電磁界耐性	耐電圧	防 錆	防 滴
15 自閉式上吊り 引戸装置 (5.10.3)	性能値等の区分 (表5.10.1)			
	適用戸の総質量(kg)	40以下	40を超えるもの	
16 重量シャッター ~ (5.11.4)	種 類	管理用シャッター (シャッターケース 設ける)	耐風圧強度 ()	
	外壁用防火シャッター (シャッターケース 設ける)	耐風圧強度 ()		
17 軽量シャッター (5.12.2) ~ (5.12.4)	開閉方式	電動式 (手動併用)	手動式	
	電動式シャッターには安全装置を設ける	設置箇所	図示による	
18 オーバーヘッド ドア (5.13.2) ~ (5.13.4)	セクション材	スチールタイプ	アルミニウムタイプ	ファイバークラウド
	耐風圧性能	Pa		
19 ガラス (5.14.2) ~ (5.14.4)	種 別	種類等	種 別	種類等
	7+0板ガラス	強化ガラス	学校用 T 6	
ガラス溝の大きさ (図5.14.1)				
種 別	面クリアランス	エッジクリアランス	掛り代	
アルミニウム建具	建具製造所の仕様による	建具製造所の仕様による	建具製造所の仕様による	
鋼製建具				
ステンレス建具				
既存木製戸	既存に合わず	既存に合わず	既存に合わず	

章 項 目	特 記 事 項			
20 ガラス留め材 (5.14.2)	建 具 の 種 類	材 質		
	アルミニウム製	シーリング材(SR-1)	グレイジングチャンネル	
21 ガラスブロック (5.14.5)	寸 法 (mm)	厚 さ (mm)	色 調	パター ン
	x	図示	クリア 乳白	なし 熱線反射 あり
22 木製建具 (5.7.2) ~ (5.7.4)	建具材の加工、組立時の含水率の種別	A種	B種	
	代替樹種の適用	可	不可	
23 ポリカーボネイト 樹脂板	種類	_____ mm		
	厚さ	_____ mm		

章 項 目	特 記 事 項			
6	1 揮発性有機化合物 対策 (6.5.2)~(6.5.4) (6.8.2)(6.9.2) (6.10.2)(6.11.2) (6.11.4)(6.11.5) (6.13.2)(6.14.2) (6.16.4)(9.5.3) (9.5.4)	木材、木れんが、ビニル床シート・タイル、ゴム床タイル、カーペット、合成樹脂塗床、フローリング、ボード類、タイル、断熱材の接着に使用する 接着剤のホルムアルデヒド放散量 F 木材塗料、フローリング材、ボード類、壁紙、断熱材のホルムアルデヒド放散量 F		
	2 他の部分との 取り合い等 (6.1.3)	既存壁の撤去に伴う当該壁の取り合う天井、壁、床の改修範囲 壁厚程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う。 図示による 範囲() 仕上げ () 天井内の既存壁の撤去に伴う当該壁の取り合う天井の改修範囲 壁面より両側600mm程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う。 図示による 範囲() 仕上げ () 天井の撤去に伴う取合部の壁面の改修 既存のまま 図示による 範囲() 仕上げ ()		
3 既存床の撤去等 (6.2.2)	種 別	工 法	施 工 箇 所	
	ビニル床シート等	下地材の除去	図示による	
4 既存壁の撤去等 (6.3.2)	間仕切壁撤去に伴う構造体の補修 改修標仕4.3.10によるモルタル塗り (塗り厚25mmを超える場合の補修 行う 行わない)	機械的除去工法 目荒し工法	図示による	
	5 木下地等 (6.5.1) ~ (6.5.9)	材料のホルムアルデヒド放散量 F 又は改修標仕6.5.2(1)(ウ)(b)による 含水率 下地材 A種(15%以下) B種(20%以下) 造作材 A種(15%以下) B種(18%以下) 以下に規定されているものは、その規定による。 JAS 1083 (製材)に基づく製材 下地用製材	図示による	
5	JAS 1083 (製材)に基づく製材	使用箇所	樹 種	寸 法
	使用箇所	樹 種	寸 法	等級
5	JAS 1083 (製材)以外の製材 (表12.2.2)	使用箇所	樹 種	寸 法
	使用箇所	樹 種	寸 法	等級

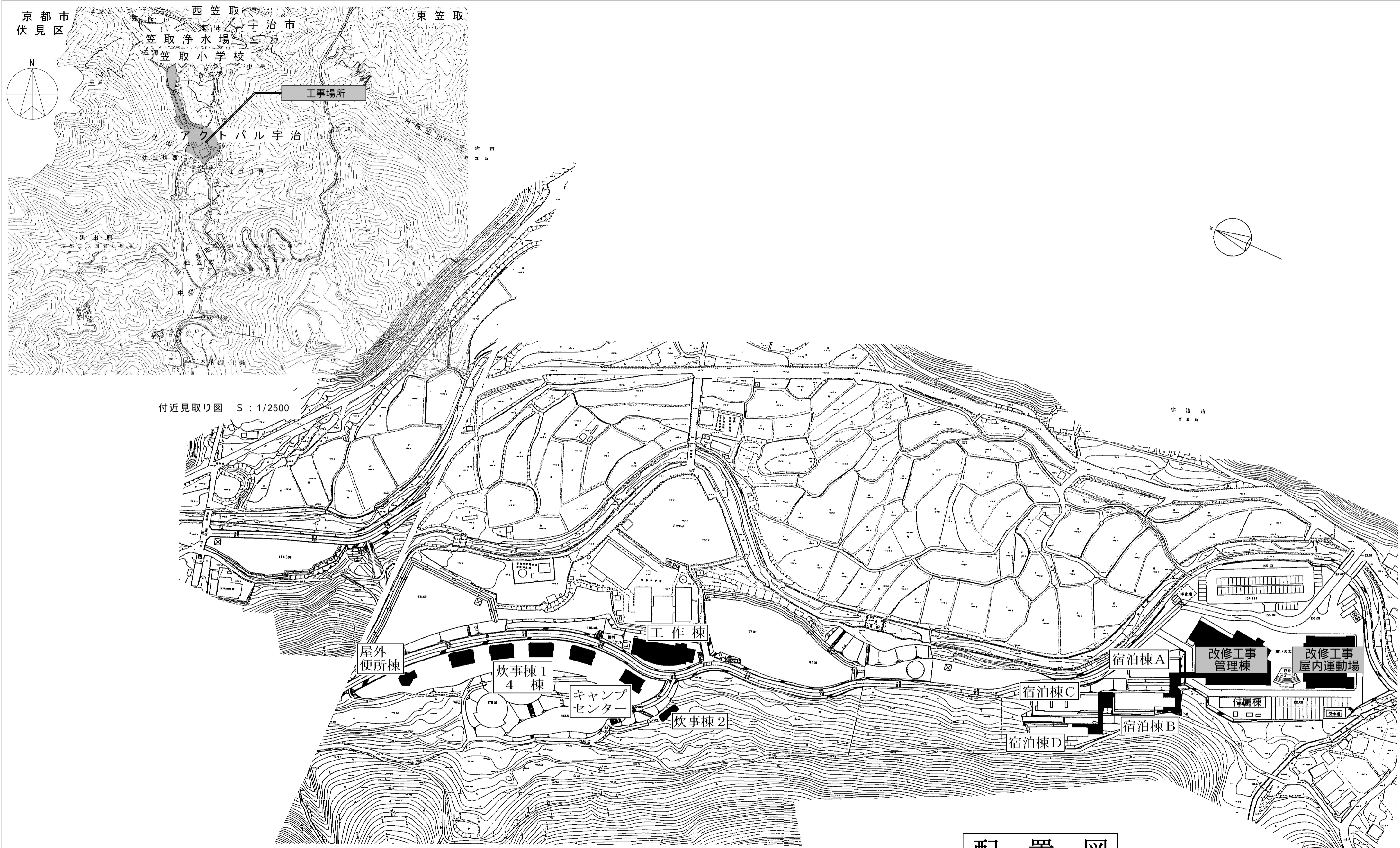
章 項 目	特 記 事 項			
6	使用木材のうち杉、ひのきについては京都府産木材とする。 工事完成までに、ウッドマレージCO2京都の木認証書(京都府産木材証明書及びウッドマレージCO2計算書)(注1)を提出する事を原則とする。当該認証を受けた木材の使用が困難な場合には、京都の木証明書(京都府産木材証明書)(注2)を提出すること。 証明書及び計算書の発行に係る手続きについては次の機関による。 一般財団法人京都府木材組合連合会 TEL: 075-802-2991 注1) 認証書 注2) 証明書は製材助、流通業者の全てが取扱事業者又は認証機関登録事業者でなければ発行されない。 詳細は上記法人のホームページを参照すること。 工事完成までに、京都府産木材の産地証明書を提出すること。 京都木材規格(KTS)材を使用する場合は、京都木材規格(KTS)材証明書(発行機関: (一社)京都府木材組合連合会)を提出すること。			
	「集成材の日本農林規格」による造作用集成材			
造作用集成材				
使用箇所	品 名	樹 種	見付材面数	寸 法
				見付材面の品質
				1等 2等
化粧ばり造作用集成材				
使用箇所	品 名	樹 種	寸法	化粧板厚
	化粧材	芯材	見付材面数	見付材面の品質
				1等 2等
「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材				
造作用集成材				
使用箇所	樹 種	寸 法	見付材面の品質	含水率
				15%以下
化粧ばり造作用集成材				
使用箇所	化粧樹種名	芯材樹種名	寸法	化粧板厚
			見付材面の品質	含水率
				15%以下
JAS 0701 (単板積層材)に基づく造作用単板積層材				
造作用単板積層材				
使用箇所	品 名	寸 法	表面の品質	防虫処理
			表面化粧加工なし 1等 2等 3等 表面化粧加工あり 天然木化粧加工 塗装加工	適用する 適用しない
JAS 0701 (単板積層材)以外の造作用単板積層材				
造作用単板積層材				
使用箇所	寸 法	表面の品質	含水率	防虫処理
		表面化粧加工なし 表面化粧加工あり 天然木化粧加工 塗装加工	14%以下	適用する 適用しない
JAS 3079 (直交集成板)				
施工箇所	品 名	曲げ性能 (強度等級)	種別	接着性能 (使用環境)
			樹種	寸法(mm)
合板等				
「合板の日本農林規格」による普通合板				
使用箇所	品 名	厚 さ	樹種名	接着程度
	押入れ、 物入れ	5.5mm		1類 2類
			広葉樹	板面の品質 2等以上
			針葉樹	その他処理 防虫処理 難燃処理 防炎処理
			C-D以上	
「合板の日本農林規格」による構造用合板				
使用箇所	品 名	等級	厚 さ	樹種名
	畳床下 地材、加- リッパ張 り下地材	2級 以上	12mm	1類 特類
			板面 の品質	保存処理 その他処理
			C-D 以上	防虫処理 強度等級
「合板の日本農林規格」による化粧ばり構造用合板				
使用箇所	品 名	厚 さ	単板の樹種名	接着程度
				1類 特類
「合板の日本農林規格」による天然化粧合板				
使用箇所	品 名	厚 さ	接着程度	防虫処理
			1類 2類	
「合板の日本農林規格」による特殊加工化粧合板				
使用箇所	品 目	厚 さ	接着程度	単板の樹種名
				化粧加工 の方法
			1類 2類	

章 項 目	特 記 事 項	章 項 目	特 記 事 項	章 項 目	特 記 事 項	章 項 目	特 記 事 項																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
6 内装改修工事	<p>パーティクルボード</p> <table border="1"> <tr> <th>使用箇所</th> <th>厚さ</th> <th>各種区分</th> </tr> <tr> <td></td> <td>15mm</td> <td>1.3 Pタイプ又は1.3 Mタイプ</td> </tr> </table> <p>JAS 0360 に基づく構造用パネル</p> <table border="1"> <tr> <th>使用箇所</th> <th>等級</th> <th>厚さ</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>MDF</p> <table border="1"> <tr> <th>使用箇所</th> <th>厚さ</th> <th>表裏面の状態による区分</th> <th>曲げ強さによる区分</th> <th>接着剤による区分</th> <th>難燃性による区分</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>造作材化粧面の釘打ち</p> <p>隠し釘打ち 釘頭埋め木 つぶし頭釘打ち 釘頭現し</p> <p>諸金物の形状、寸法及び材質</p> <p>かすがい、座金、箱金物及び短冊金物は、表6.5.3から表6.5.5までに示す程度の市販品で、木材の寸法に応じた適切なものとし、コンクリート埋込部を除き、表8.20.1 [鉄鋼の垂鉛めっきの種類] のF種程度の垂鉛めっきを施したものを</p> <p>防蟻・防蟻処理を省略できる樹種による製材 適用部位</p> <table border="1"> <tr> <th>薬剤の加圧注入による防蟻・防蟻処理</th> <th>適用部位</th> </tr> <tr> <td>適用部材 保存処理性能区分</td> <td></td> </tr> <tr> <td>K2 K3 K4</td> <td></td> </tr> <tr> <td>K2 K3 K4</td> <td></td> </tr> </table> <p>薬剤の塗布等による防蟻・防蟻処理</p> <table border="1"> <tr> <th>適用部材</th> <th>処理の方法</th> <th>薬剤の種類</th> </tr> <tr> <td></td> <td>薬剤の製造所の仕様による</td> <td>JIS K 1571に適合又は同等品</td> </tr> </table> <p>薬剤の接着剤への混入による防蟻・防蟻処理 適用部位</p> <p>合板等の加圧注入処理等の適用 適用部位</p> <p>防虫処理 行う (範囲: ラワン材等 「製材の日本農林規格」による保存処理 K1) 行わない</p>	使用箇所	厚さ	各種区分		15mm	1.3 Pタイプ又は1.3 Mタイプ	使用箇所	等級	厚さ				使用箇所	厚さ	表裏面の状態による区分	曲げ強さによる区分	接着剤による区分	難燃性による区分							薬剤の加圧注入による防蟻・防蟻処理	適用部位	適用部材 保存処理性能区分		K2 K3 K4		K2 K3 K4		適用部材	処理の方法	薬剤の種類		薬剤の製造所の仕様による	JIS K 1571に適合又は同等品	6 内装改修工事	<p>ビニル床タイル</p> <table border="1"> <tr> <th>区分</th> <th>種 類</th> <th>記号</th> <th>厚さ(mm)</th> <th>色 柄</th> <th>寸 法</th> <th>施工箇所</th> </tr> <tr> <td rowspan="3">接着形状</td> <td>コンポジションビニル床タイル</td> <td>KT</td> <td>2.0</td> <td rowspan="3">無地 柄物</td> <td rowspan="3">300×300 ○450×450</td> <td rowspan="3"></td> </tr> <tr> <td>単層ビニル床タイル</td> <td>TT</td> <td>2.0</td> </tr> <tr> <td>複層ビニル床タイル</td> <td>FT</td> <td>2.0 2.5 3.0</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">置敷形状</td> <td>置敷きビニル床タイル</td> <td>FOA</td> <td>4.0</td> <td></td> <td>500×500</td> <td></td> </tr> <tr> <td>薄型置敷きビニル床タイル</td> <td>FOB</td> <td></td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> </table> <p>帯電防止床シート 帯電防止タイル</p> <table border="1"> <tr> <th>種 類</th> <th>性 能</th> <th>厚 さ (mm)</th> </tr> <tr> <td></td> <td>体積抵抗値 1.0×10⁹ 以下</td> <td></td> </tr> </table> <p>視覚障害者用床タイル</p> <table border="1"> <tr> <th>種 類</th> <th>形 状</th> <th>備 考</th> </tr> <tr> <td>塩化ビニル系</td> <td>300mm角</td> <td></td> </tr> <tr> <td>レジンコンクリート系</td> <td>150mm角</td> <td></td> </tr> <tr> <td>磁器又はセラミック系</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>耐動荷重性床シート</p> <table border="1"> <tr> <th>種 類</th> <th>厚 さ (mm)</th> <th>備 考</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>防汚性床シート 防汚性床タイル</p> <table border="1"> <tr> <th>種 類</th> <th>寸 法</th> <th>厚 さ (mm)</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>ビニル幅木</p> <table border="1"> <tr> <th>種 類</th> <th>高 さ (mm)</th> <th>厚 さ (mm)</th> </tr> <tr> <td>軟質</td> <td>60 75 100</td> <td>1.5 2.0</td> </tr> </table> <p>ゴム床タイル張り</p> <table border="1"> <tr> <th>色 柄</th> <th>種 類</th> <th>厚 さ (mm)</th> <th>寸 法 (mm)</th> </tr> <tr> <td></td> <td>単層品 積層品</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>織じゅうたん</p> <table border="1"> <tr> <th>種 別</th> <th>織り方</th> <th>パイル形状</th> <th>帯電性</th> <th>色柄</th> <th>接合方法</th> <th>施 工 箇 所</th> </tr> <tr> <td>A種</td> <td></td> <td></td> <td>適用</td> <td>無地</td> <td>ヒートド工法</td> <td></td> </tr> <tr> <td>B種</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>つづり縫い</td> <td></td> </tr> <tr> <td>C種</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>タフテッドカーペット</p> <table border="1"> <tr> <th>パイル形状</th> <th>パイル長さ(mm)</th> <th>工 法</th> <th>帯電性</th> <th>施 工 箇 所</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>グリッド工法 全面接着工法</td> <td>適用</td> <td></td> </tr> </table> <p>タイルカーペット</p> <table border="1"> <tr> <th>種別</th> <th>パイル形状</th> <th>寸法(mm)</th> <th>総厚さ(mm)</th> <th>施 工 箇 所</th> </tr> <tr> <td>一種</td> <td>ループパイル</td> <td>500×500</td> <td>6.5</td> <td></td> </tr> <tr> <td>二種</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>タイルカーペットの敷き方</p> <p>平場部分 市松敷き</p> <p>階段部分 模様流し</p> <p>接着剤のホルムアルデヒド放散量 F</p> <p>下敷き材 JIS L 3204(反毛フェルト)の第2種 2号 呼び厚さ8mm</p> <p>見切り、押さえ金物 材質、形状等 図示による</p>	区分	種 類	記号	厚さ(mm)	色 柄	寸 法	施工箇所	接着形状	コンポジションビニル床タイル	KT	2.0	無地 柄物	300×300 ○450×450		単層ビニル床タイル	TT	2.0	複層ビニル床タイル	FT	2.0 2.5 3.0	置敷形状	置敷きビニル床タイル	FOA	4.0		500×500		薄型置敷きビニル床タイル	FOB			○		種 類	性 能	厚 さ (mm)		体積抵抗値 1.0×10 ⁹ 以下		種 類	形 状	備 考	塩化ビニル系	300mm角		レジンコンクリート系	150mm角		磁器又はセラミック系			種 類	厚 さ (mm)	備 考				種 類	寸 法	厚 さ (mm)				種 類	高 さ (mm)	厚 さ (mm)	軟質	60 75 100	1.5 2.0	色 柄	種 類	厚 さ (mm)	寸 法 (mm)		単層品 積層品			種 別	織り方	パイル形状	帯電性	色柄	接合方法	施 工 箇 所	A種			適用	無地	ヒートド工法		B種					つづり縫い		C種							パイル形状	パイル長さ(mm)	工 法	帯電性	施 工 箇 所			グリッド工法 全面接着工法	適用		種別	パイル形状	寸法(mm)	総厚さ(mm)	施 工 箇 所	一種	ループパイル	500×500	6.5		二種					6 内装改修工事	<p>11 フローリング張り (6.11.2) ~ (6.11.6)</p> <p>フローリングのホルムアルデヒド放散量 改修標仕6.11.2(2)による</p> <p>接着剤のホルムアルデヒド放散量 F</p> <p>単層フローリング (表6.11.1) ~ (表6.11.6)</p> <table border="1"> <tr> <th>種 類</th> <th>樹 種</th> <th>厚さ(mm)</th> <th>大 小</th> <th>工 法</th> <th>備 考</th> </tr> <tr> <td>フローリング</td> <td>なら</td> <td>15</td> <td>表6.11.1</td> <td>釘留め工法</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ボード1等</td> <td></td> <td>12</td> <td>表6.11.3</td> <td>根太張り工法</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>8</td> <td>表6.11.5</td> <td>直張り工法</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>接着工法</td> <td></td> </tr> <tr> <td>フローリング</td> <td>なら</td> <td>8</td> <td></td> <td>接着工法</td> <td>防水処理足金物付</td> </tr> <tr> <td>ボード1等</td> <td></td> <td>15</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>複合フローリング</p> <table border="1"> <tr> <th>種 類</th> <th>樹 種</th> <th>厚さ(mm)</th> <th>工 法</th> <th>種 別</th> <th>備 考</th> </tr> <tr> <td>1×6タイプ</td> <td></td> <td>8</td> <td>釘留め工法</td> <td>A種</td> <td></td> </tr> <tr> <td>フローリング</td> <td>なら</td> <td>15</td> <td>根太張り工法</td> <td>B種</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ボードタイプ</td> <td></td> <td></td> <td>直張り工法</td> <td>C種</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>接着工法</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>接着工法のフローリング裏面の不陸緩衝材 合成樹脂発泡シート</p> <p>仕上げ塗装 ウレタン樹脂ワニス塗り(1液形) B種</p> <p>オイルステインの上ワックス塗り 生地そのままワックス塗り</p>	種 類	樹 種	厚さ(mm)	大 小	工 法	備 考	フローリング	なら	15	表6.11.1	釘留め工法		ボード1等		12	表6.11.3	根太張り工法				8	表6.11.5	直張り工法						接着工法		フローリング	なら	8		接着工法	防水処理足金物付	ボード1等		15				種 類	樹 種	厚さ(mm)	工 法	種 別	備 考	1×6タイプ		8	釘留め工法	A種		フローリング	なら	15	根太張り工法	B種		ボードタイプ			直張り工法	C種					接着工法			6 内装改修工事	<p>14 壁紙張り (6.14.2) (6.14.3)</p> <p>防火性能・種類・規格・施工箇所 図示による 下表による</p> <table border="1"> <tr> <th>施 行 箇 所</th> <th>防火性能</th> <th>品 質 ・ 規 格</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>素地ごしらえ モルタル及びせつこうプラスター面 A種 B種 (表7.2.4)</p> <p>コンクリート面 A種 B種 (表7.2.5)</p> <p>せつこうボード面及びその他のボード面 A種 B種 (表7.2.7)</p> <p>15 天井廻り縁</p> <p>材質 アルミニウム製 塩化ビニル製</p> <p>16 モルタル塗り (6.15.2) ~ (6.15.6)</p> <p>モルタル 現場調合材料</p> <p>既調合材料 ()</p> <p>既製目地材 設ける (形状)</p> <p>床目地 設ける 設けない</p> <p>目地の種類 押目地</p> <p>目地割り 2m程度</p> <p>最大目地間隔 3m程度</p> <p>17 タイル張り (6.16.2) ~ (6.16.4)</p> <p>伸縮調整目地等 床面 縦・横とも4m以内ごと</p> <p>壁面 図示による</p> <p>タイルの試験張り 行わない 行う</p> <p>タイルの見本焼 行わない 行う</p> <p>施工後の確認及び試験</p> <p>浮きの確認 全面打診による確認を行う</p> <p>接着力の試験 接着力試験機による引張接着強度の測定を行う 行わない</p> <p>タイルの種類</p> <table border="1"> <tr> <th>施工箇所・形状・目地の種類</th> <th>生地</th> <th>釉薬</th> <th>耐凍害性</th> <th>耐滑り性</th> <th>役物</th> <th>色</th> <th>工法</th> </tr> <tr> <td></td> <td>磁器</td> <td>無釉</td> <td>有り</td> <td></td> <td>有り</td> <td>標準</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>陶器</td> <td>施釉</td> <td>無し</td> <td></td> <td>無し</td> <td>特注</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>せつ器</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>磁器</td> <td>無釉</td> <td>有り</td> <td></td> <td>有り</td> <td>標準</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>陶器</td> <td>施釉</td> <td>無し</td> <td></td> <td>無し</td> <td>特注</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>せつ器</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>磁器</td> <td>無釉</td> <td>有り</td> <td></td> <td>有り</td> <td>標準</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>陶器</td> <td>施釉</td> <td>無し</td> <td></td> <td>無し</td> <td>特注</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>せつ器</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>壁タイル張りの工法</p> <p>内装タイル</p> <p>密着張り 改良圧着張り</p> <p>内装タイル以外のユニットタイル</p> <p>マスク張り モザイクタイル張り</p> <p>内装タイル接着張りの有機質接着剤のホルムアルデヒド放散量 F</p> <p>既調合モルタル</p> <p>下地モルタル塗りを行うコンクリート素地面の処理 目荒し工法</p>	施 行 箇 所	防火性能	品 質 ・ 規 格										施工箇所・形状・目地の種類	生地	釉薬	耐凍害性	耐滑り性	役物	色	工法		磁器	無釉	有り		有り	標準			陶器	施釉	無し		無し	特注			せつ器								磁器	無釉	有り		有り	標準			陶器	施釉	無し		無し	特注			せつ器								磁器	無釉	有り		有り	標準			陶器	施釉	無し		無し	特注			せつ器							7 塗装改修工事	<p>6 軽量鉄骨天井下地 (6.6.2) ~ (6.6.4)</p> <p>野縁等の種類 屋内 19型 25型 (表6.6.1)</p> <p>屋外 19型 25型</p> <p>野縁受け・つりボルト・インサートの間隔 mm</p> <p>周辺部の端からの寸法 mm</p> <p>野縁の間隔 mm</p> <p>はずれ留め補強 有り 無し</p> <p>既存の埋込みインサートの使用 再利用しない 再利用する</p> <p>あと施工アンカーの引抜き試験 行う (箇所以上、箇所) 行わない</p> <p>開口補強</p> <p>つりボルト間隔が900mmを超える場合の補強方法 図示による</p> <p>天井のふところの補強</p> <p>(1.5m以上3m以下) 改修標仕6.6.4(6)による</p> <p>(3mを超える) 図示による</p> <p>天井下地材における耐震性を考慮した補強 行う 行わない</p> <p>屋外の軒天井、ピロティ天井等における耐風圧性を考慮した補強 行う 行わない</p> <p>7 軽量鉄骨壁下地 (6.7.3)</p> <p>スタッド、ランナ等の種類 (表6.7.1)</p> <p>表6.7.1におけるスタッドの高さによる区分に応じた種類</p> <p>スタッドの高さが5mを超える場合 図示による</p> <p>8 ビニル床シート、ビニル床タイル及びゴム床タイル張り (6.8.2)</p> <p>ビニル床シート</p> <table border="1"> <tr> <th>区分</th> <th>種 類</th> <th>記号</th> <th>厚さ(mm)</th> <th>色 柄</th> <th>工 法</th> <th>施工箇所</th> </tr> <tr> <td rowspan="2">発泡層無</td> <td>単層ビニル床シート</td> <td>TS</td> <td rowspan="2">2.5</td> <td rowspan="2">無地</td> <td rowspan="2">熱溶接</td> <td rowspan="2">仕上表による</td> </tr> <tr> <td>複層ビニル床シート</td> <td>FS</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">発泡層有</td> <td>発泡複層ビニル床シート</td> <td>HS</td> <td rowspan="2">2.0</td> <td rowspan="2">マーブル</td> <td rowspan="2"></td> <td rowspan="2"></td> </tr> <tr> <td>クッションフロア</td> <td>KS</td> </tr> </table> <p>9 カーペット敷き (6.9.2) ~ (6.9.3)</p> <p>10 合成樹脂塗床 (6.10.2) (6.10.3)</p> <p>厚膜型塗床材</p> <p>弾性ウレタン樹脂系塗床材</p> <p>平滑仕上げ 防汚仕上げ つや消し仕上げ</p> <p>塗厚(mm)</p> <p>エポキシ樹脂系塗床材</p> <p>薄膜流しのべ工法 (平滑 防汚)</p> <p>厚膜流しのべ工法 (平滑 防汚)</p> <p>樹脂モルタル工法 (平滑 防汚)</p> <p>薄膜型塗床材</p> <p>エポキシ樹脂系塗床材</p> <p>塗床材料のホルムアルデヒド放散量 F</p> <p>11 フローリング張り (6.11.2) ~ (6.11.6)</p> <p>フローリングのホルムアルデヒド放散量 改修標仕6.11.2(2)による</p> <p>接着剤のホルムアルデヒド放散量 F</p> <p>単層フローリング (表6.11.1) ~ (表6.11.6)</p> <table border="1"> <tr> <th>種 類</th> <th>樹 種</th> <th>厚さ(mm)</th> <th>大 小</th> <th>工 法</th> <th>備 考</th> </tr> <tr> <td>フローリング</td> <td>なら</td> <td>15</td> <td>表6.11.1</td> <td>釘留め工法</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ボード1等</td> <td></td> <td>12</td> <td>表6.11.3</td> <td>根太張り工法</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>8</td> <td>表6.11.5</td> <td>直張り工法</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>接着工法</td> <td></td> </tr> <tr> <td>フローリング</td> <td>なら</td> <td>8</td> <td></td> <td>接着工法</td> <td>防水処理足金物付</td> </tr> <tr> <td>ボード1等</td> <td></td> <td>15</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>複合フローリング</p> <table border="1"> <tr> <th>種 類</th> <th>樹 種</th> <th>厚さ(mm)</th> <th>工 法</th> <th>種 別</th> <th>備 考</th> </tr> <tr> <td>1×6タイプ</td> <td></td> <td>8</td> <td>釘留め工法</td> <td>A種</td> <td></td> </tr> <tr> <td>フローリング</td> <td>なら</td> <td>15</td> <td>根太張り工法</td> <td>B種</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ボードタイプ</td> <td></td> <td></td> <td>直張り工法</td> <td>C種</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>接着工法</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>接着工法のフローリング裏面の不陸緩衝材 合成樹脂発泡シート</p> <p>仕上げ塗装 ウレタン樹脂ワニス塗り(1液形) B種</p> <p>オイルステインの上ワックス塗り 生地そのままワックス塗り</p> <p>12 畳敷き (6.12.2)</p> <p>種別 A種 B種 C種 D種 (KT-)</p> <p>衝撃緩和型畳 (畳表: C1 C2)</p> <p>13 せつこうボード、その他ボード及び合板張り (6.13.2) (6.13.3)</p> <p>MDF及びパーティクルボードのホルムアルデヒド放散量 F</p> <p>合板のホルムアルデヒド放散量 改修標仕6.13.2(2)の(a)~(d)のいずれか</p> <p>接着剤のホルムアルデヒド放散量 F</p> <p>表面への化粧張り等の加工 図示による</p> <p>種別 表6.13.1によるJIS規格品とする (表6.13.1)</p> <table border="1"> <tr> <th>種 類</th> <th>規 格</th> <th>厚 さ (mm)</th> <th>等</th> </tr> <tr> <td>せつこうボード(GB-R)</td> <td>12.5(不燃)</td> <td>9.5(準不燃)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>化粧せつこうボード(GB-D)</td> <td>杉板模様</td> <td>12.5(不燃)</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>トラバーチン模様 (軽鉄下地は専用のものとする)</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>不燃積層せつこうボード(GB-NC)</td> <td>トラバーチン模様 模様なし</td> <td>9.5(不燃)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>シージングせつこうボード(GB-S)</td> <td>15(不燃)</td> <td>12.5(準不燃)</td> <td>9.5(準不燃)</td> </tr> <tr> <td>強化せつこうボード(GB-F)</td> <td>21(不燃)</td> <td>15(不燃)</td> <td>12.5(不燃)</td> </tr> <tr> <td>ロックウール吸音ボード(RW-B)</td> <td>25</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>グラスウール吸音ボード(GW-B)</td> <td>25</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>吸音あなあせつこうボード(GB-P)</td> <td>9.5(準不燃)</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>ロックウール化粧吸音板(DR)</td> <td>内部用 フラット</td> <td>12(不燃)</td> <td>9(不燃)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>立体模様</td> <td>15(不燃)</td> <td>12(不燃)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>軒天用 フラット</td> <td>12(不燃)</td> <td>9(不燃)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>立体模様</td> <td>15(不燃)</td> <td>12(不燃)</td> </tr> <tr> <td>けい酸カルシウム板(0.8FK)</td> <td>タイプ2(無石棉)</td> <td>8.0</td> <td>6.0</td> </tr> <tr> <td>メラミン樹脂化粧板</td> <td>JIS K 6903 による</td> <td>1.2</td> <td></td> </tr> <tr> <td>難燃木毛セメント板</td> <td>30 25 20 15</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>断熱木毛セメント板</td> <td>30 25 20 15</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>火山性ガラス質被覆層板</td> <td>研磨品 (3 6 9 9.5)</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>無研磨品 (3 6 9 9.5)</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>普通合板</td> <td>厚さ 接着の程度</td> <td>表板樹種</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>板面の品質</td> <td>防虫処理</td> <td>行う</td> </tr> <tr> <td>天然化粧合板</td> <td>厚さ 接着の程度</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>化粧板樹種</td> <td>なら しおし</td> <td>防虫処理 行う</td> </tr> <tr> <td>特殊加工化粧合板</td> <td>厚さ 接着の程度</td> <td>化粧加工の方法</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>表面性能</td> <td>F FW W WS</td> <td>防虫処理 行う</td> </tr> <tr> <td>その他下張り用合板</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>合板類の張付け (表6.13.3)</p> <p>A種 B種</p> <p>せつこうボードの目地処理 (表6.13.5)</p> <p>継目処理 突付け 目透かし</p> <p>突付け工法及び目透し工法のエッジの種類 (表6.13.5)</p> <p>べベルエッジ スクエアエッジ</p> <p>14 壁紙張り (6.14.2) (6.14.3)</p> <p>防火性能・種類・規格・施工箇所 図示による 下表による</p> <table border="1"> <tr> <th>施 行 箇 所</th> <th>防火性能</th> <th>品 質 ・ 規 格</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>素地ごしらえ モルタル及びせつこうプラスター面 A種 B種 (表7.2.4)</p> <p>コンクリート面 A種 B種 (表7.2.5)</p> <p>せつこうボード面及びその他のボード面 A種 B種 (表7.2.7)</p> <p>15 天井廻り縁</p> <p>材質 アルミニウム製 塩化ビニル製</p> <p>16 モルタル塗り (6.15.2) ~ (6.15.6)</p> <p>モルタル 現場調合材料</p> <p>既調合材料 ()</p> <p>既製目地材 設ける (形状)</p> <p>床目地 設ける 設けない</p> <p>目地の種類 押目地</p> <p>目地割り 2m程度</p> <p>最大目地間隔 3m程度</p> <p>17 タイル張り (6.16.2) ~ (6.16.4)</p> <p>伸縮調整目地等 床面 縦・横とも4m以内ごと</p> <p>壁面 図示による</p> <p>タイルの試験張り 行わない 行う</p> <p>タイルの見本焼 行わない 行う</p> <p>施工後の確認及び試験</p> <p>浮きの確認 全面打診による確認を行う</p> <p>接着力の試験 接着力試験機による引張接着強度の測定を行う 行わない</p> <p>タイルの種類</p> <table border="1"> <tr> <th>施工箇所・形状・目地の種類</th> <th>生地</th> <th>釉薬</th> <th>耐凍害性</th> <th>耐滑り性</th> <th>役物</th> <th>色</th> <th>工法</th> </tr> <tr> <td></td> <td>磁器</td> <td>無釉</td> <td>有り</td> <td></td> <td>有り</td> <td>標準</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>陶器</td> <td>施釉</td> <td>無し</td> <td></td> <td>無し</td> <td>特注</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>せつ器</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>磁器</td> <td>無釉</td> <td>有り</td> <td></td> <td>有り</td> <td>標準</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>陶器</td> <td>施釉</td> <td>無し</td> <td></td> <td>無し</td> <td>特注</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>せつ器</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>磁器</td> <td>無釉</td> <td>有り</td> <td></td> <td>有り</td> <td>標準</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>陶器</td> <td>施釉</td> <td>無し</td> <td></td> <td>無し</td> <td>特注</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>せつ器</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>壁タイル張りの工法</p> <p>内装タイル</p> <p>密着張り 改良圧着張り</p> <p>内装タイル以外のユニットタイル</p> <p>マスク張り モザイクタイル張り</p> <p>内装タイル接着張りの有機質接着剤のホルムアルデヒド放散量 F</p> <p>既調合モルタル</p> <p>下地モルタル塗りを行うコンクリート素地面の処理 目荒し工法</p> <p>18 セルフレベリング材塗り (6.17.2) ~ (6.17.3)</p> <p>塗厚(mm) 10 15</p> <p>7 塗装改修工事</p> <p>7.1.3 塗装材料</p> <p>7.2.1 下地調整 (7.2.1) ~ (7.2.7)</p> <p>塗料のホルムアルデヒド等の放散量 F</p> <p>塗替えで下地調整の種類がR種の場合の既存塗膜の除去範囲</p> <p>劣化部分は除去し、活膜部分は残す 図示 (表7.2.1) ~ (表7.2.7)</p> <table border="1"> <tr> <th>素 地</th> <th>種 別</th> <th>備 考</th> </tr> <tr> <td>木部</td> <td>RA種</td> <td rowspan="2">玄関外部出入口木庫部分</td> </tr> <tr> <td></td> <td>RC種</td> </tr> <tr> <td>鉄鋼面</td> <td>RA種</td> <td rowspan="2">RC種</td> </tr> <tr> <td></td> <td>RB種</td> </tr> <tr> <td>亜鉛めっき鋼面</td> <td>RA種</td> <td rowspan="2">RC種</td> </tr> <tr> <td></td> <td>RB種</td> </tr> <tr> <td>モルタル及びせつこうボード面</td> <td>RA種</td> <td rowspan="2">RC種</td> </tr> <tr> <td></td> <td>RB種</td> </tr> <tr> <td>コンクリート面及びALCパネル面</td> <td>RA種</td> <td rowspan="2">RC種</td> </tr> <tr> <td></td> <td>RB種</td> </tr> <tr> <td>コンクリート面及び押出成形ボード面</td> <td>RA種</td> <td rowspan="2">RC種</td> </tr> <tr> <td></td> <td>RB種</td> </tr> <tr> <td>せつこうボード及びその他ボード面</td> <td>RA種</td> <td rowspan="2">RC種</td> </tr> <tr> <td></td> <td>RB種</td> </tr> </table>	区分	種 類	記号	厚さ(mm)	色 柄	工 法	施工箇所	発泡層無	単層ビニル床シート	TS	2.5	無地	熱溶接	仕上表による	複層ビニル床シート	FS	発泡層有	発泡複層ビニル床シート	HS	2.0	マーブル			クッションフロア	KS	種 類	樹 種	厚さ(mm)	大 小	工 法	備 考	フローリング	なら	15	表6.11.1	釘留め工法		ボード1等		12	表6.11.3	根太張り工法				8	表6.11.5	直張り工法						接着工法		フローリング	なら	8		接着工法	防水処理足金物付	ボード1等		15				種 類	樹 種	厚さ(mm)	工 法	種 別	備 考	1×6タイプ		8	釘留め工法	A種		フローリング	なら	15	根太張り工法	B種		ボードタイプ			直張り工法	C種					接着工法			種 類	規 格	厚 さ (mm)	等	せつこうボード(GB-R)	12.5(不燃)	9.5(準不燃)		化粧せつこうボード(GB-D)	杉板模様	12.5(不燃)			トラバーチン模様 (軽鉄下地は専用のものとする)			不燃積層せつこうボード(GB-NC)	トラバーチン模様 模様なし	9.5(不燃)		シージングせつこうボード(GB-S)	15(不燃)	12.5(準不燃)	9.5(準不燃)	強化せつこうボード(GB-F)	21(不燃)	15(不燃)	12.5(不燃)	ロックウール吸音ボード(RW-B)	25			グラスウール吸音ボード(GW-B)	25			吸音あなあせつこうボード(GB-P)	9.5(準不燃)			ロックウール化粧吸音板(DR)	内部用 フラット	12(不燃)	9(不燃)		立体模様	15(不燃)	12(不燃)		軒天用 フラット	12(不燃)	9(不燃)		立体模様	15(不燃)	12(不燃)	けい酸カルシウム板(0.8FK)	タイプ2(無石棉)	8.0	6.0	メラミン樹脂化粧板	JIS K 6903 による	1.2		難燃木毛セメント板	30 25 20 15			断熱木毛セメント板	30 25 20 15			火山性ガラス質被覆層板	研磨品 (3 6 9 9.5)				無研磨品 (3 6 9 9.5)			普通合板	厚さ 接着の程度	表板樹種			板面の品質	防虫処理	行う	天然化粧合板	厚さ 接着の程度				化粧板樹種	なら しおし	防虫処理 行う	特殊加工化粧合板	厚さ 接着の程度	化粧加工の方法			表面性能	F FW W WS	防虫処理 行う	その他下張り用合板				施 行 箇 所	防火性能	品 質 ・ 規 格										施工箇所・形状・目地の種類	生地	釉薬	耐凍害性	耐滑り性	役物	色	工法		磁器	無釉	有り		有り	標準			陶器	施釉	無し		無し	特注			せつ器								磁器	無釉	有り		有り	標準			陶器	施釉	無し		無し	特注			せつ器								磁器	無釉	有り		有り	標準			陶器	施釉	無し		無し	特注			せつ器							素 地	種 別	備 考	木部	RA種	玄関外部出入口木庫部分		RC種	鉄鋼面	RA種	RC種		RB種	亜鉛めっき鋼面	RA種	RC種		RB種	モルタル及びせつこうボード面	RA種	RC種		RB種	コンクリート面及びALCパネル面	RA種	RC種		RB種	コンクリート面及び押出成形ボード面	RA種	RC種		RB種	せつこうボード及びその他ボード面	RA種	RC種		RB種
	使用箇所	厚さ	各種区分																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
		15mm	1.3 Pタイプ又は1.3 Mタイプ																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
	使用箇所	等級	厚さ																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
	使用箇所	厚さ	表裏面の状態による区分	曲げ強さによる区分	接着剤による区分	難燃性による区分																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
	薬剤の加圧注入による防蟻・防蟻処理	適用部位																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
適用部材 保存処理性能区分																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
K2 K3 K4																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
K2 K3 K4																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
適用部材	処理の方法	薬剤の種類																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
	薬剤の製造所の仕様による	JIS K 1571に適合又は同等品																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
区分	種 類	記号	厚さ(mm)	色 柄	寸 法	施工箇所																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
接着形状	コンポジションビニル床タイル	KT	2.0	無地 柄物	300×300 ○450×450																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
	単層ビニル床タイル	TT	2.0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
	複層ビニル床タイル	FT	2.0 2.5 3.0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
置敷形状	置敷きビニル床タイル	FOA	4.0		500×500																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
	薄型置敷きビニル床タイル	FOB			○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
種 類	性 能	厚 さ (mm)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
	体積抵抗値 1.0×10 ⁹ 以下																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
種 類	形 状	備 考																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
塩化ビニル系	300mm角																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
レジンコンクリート系	150mm角																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
磁器又はセラミック系																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
種 類	厚 さ (mm)	備 考																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
種 類	寸 法	厚 さ (mm)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
種 類	高 さ (mm)	厚 さ (mm)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
軟質	60 75 100	1.5 2.0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
色 柄	種 類	厚 さ (mm)	寸 法 (mm)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
	単層品 積層品																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
種 別	織り方	パイル形状	帯電性	色柄	接合方法	施 工 箇 所																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
A種			適用	無地	ヒートド工法																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
B種					つづり縫い																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
C種																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
パイル形状	パイル長さ(mm)	工 法	帯電性	施 工 箇 所																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
		グリッド工法 全面接着工法	適用																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
種別	パイル形状	寸法(mm)	総厚さ(mm)	施 工 箇 所																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
一種	ループパイル	500×500	6.5																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
二種																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
種 類	樹 種	厚さ(mm)	大 小	工 法	備 考																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
フローリング	なら	15	表6.11.1	釘留め工法																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
ボード1等		12	表6.11.3	根太張り工法																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
		8	表6.11.5	直張り工法																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
				接着工法																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
フローリング	なら	8		接着工法	防水処理足金物付																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
ボード1等		15																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
種 類	樹 種	厚さ(mm)	工 法	種 別	備 考																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
1×6タイプ		8	釘留め工法	A種																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
フローリング	なら	15	根太張り工法	B種																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
ボードタイプ			直張り工法	C種																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
			接着工法																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
施 行 箇 所	防火性能	品 質 ・ 規 格																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
施工箇所・形状・目地の種類	生地	釉薬	耐凍害性	耐滑り性	役物	色	工法																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
	磁器	無釉	有り		有り	標準																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
	陶器	施釉	無し		無し	特注																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
	せつ器																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
	磁器	無釉	有り		有り	標準																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
	陶器	施釉	無し		無し	特注																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
	せつ器																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
	磁器	無釉	有り		有り	標準																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
	陶器	施釉	無し		無し	特注																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
	せつ器																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
区分	種 類	記号	厚さ(mm)	色 柄	工 法	施工箇所																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
発泡層無	単層ビニル床シート	TS	2.5	無地	熱溶接	仕上表による																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
	複層ビニル床シート	FS																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
発泡層有	発泡複層ビニル床シート	HS	2.0	マーブル																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
	クッションフロア	KS																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
種 類	樹 種	厚さ(mm)	大 小	工 法	備 考																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
フローリング	なら	15	表6.11.1	釘留め工法																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
ボード1等		12	表6.11.3	根太張り工法																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
		8	表6.11.5	直張り工法																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
				接着工法																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
フローリング	なら	8		接着工法	防水処理足金物付																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
ボード1等		15																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
種 類	樹 種	厚さ(mm)	工 法	種 別	備 考																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
1×6タイプ		8	釘留め工法	A種																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
フローリング	なら	15	根太張り工法	B種																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
ボードタイプ			直張り工法	C種																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
			接着工法																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
種 類	規 格	厚 さ (mm)	等																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
せつこうボード(GB-R)	12.5(不燃)	9.5(準不燃)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
化粧せつこうボード(GB-D)	杉板模様	12.5(不燃)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
	トラバーチン模様 (軽鉄下地は専用のものとする)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
不燃積層せつこうボード(GB-NC)	トラバーチン模様 模様なし	9.5(不燃)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
シージングせつこうボード(GB-S)	15(不燃)	12.5(準不燃)	9.5(準不燃)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
強化せつこうボード(GB-F)	21(不燃)	15(不燃)	12.5(不燃)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
ロックウール吸音ボード(RW-B)	25																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
グラスウール吸音ボード(GW-B)	25																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
吸音あなあせつこうボード(GB-P)	9.5(準不燃)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
ロックウール化粧吸音板(DR)	内部用 フラット	12(不燃)	9(不燃)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
	立体模様	15(不燃)	12(不燃)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
	軒天用 フラット	12(不燃)	9(不燃)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
	立体模様	15(不燃)	12(不燃)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
けい酸カルシウム板(0.8FK)	タイプ2(無石棉)	8.0	6.0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
メラミン樹脂化粧板	JIS K 6903 による	1.2																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
難燃木毛セメント板	30 25 20 15																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
断熱木毛セメント板	30 25 20 15																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
火山性ガラス質被覆層板	研磨品 (3 6 9 9.5)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
	無研磨品 (3 6 9 9.5)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
普通合板	厚さ 接着の程度	表板樹種																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
	板面の品質	防虫処理	行う																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
天然化粧合板	厚さ 接着の程度																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
	化粧板樹種	なら しおし	防虫処理 行う																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
特殊加工化粧合板	厚さ 接着の程度	化粧加工の方法																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
	表面性能	F FW W WS	防虫処理 行う																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
その他下張り用合板																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
施 行 箇 所	防火性能	品 質 ・ 規 格																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
施工箇所・形状・目地の種類	生地	釉薬	耐凍害性	耐滑り性	役物	色	工法																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
	磁器	無釉	有り		有り	標準																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
	陶器	施釉	無し		無し	特注																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
	せつ器																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
	磁器	無釉	有り		有り	標準																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
	陶器	施釉	無し		無し	特注																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
	せつ器																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
	磁器	無釉	有り		有り	標準																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
	陶器	施釉	無し		無し	特注																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
	せつ器																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
素 地	種 別	備 考																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
木部	RA種	玄関外部出入口木庫部分																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
	RC種																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
鉄鋼面	RA種	RC種																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
	RB種																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
亜鉛めっき鋼面	RA種	RC種																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
	RB種																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
モルタル及びせつこうボード面	RA種	RC種																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
	RB種																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
コンクリート面及びALCパネル面	RA種	RC種																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
	RB種																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
コンクリート面及び押出成形ボード面	RA種	RC種																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
	RB種																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
せつこうボード及びその他ボード面	RA種	RC種																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
	RB種																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			

章 項 目	特 記 事 項	章 項 目	特 記 事 項	章 項 目	特 記 事 項	章 項 目	特 記 事 項	
7 塗装改修工事	素地ごしらえ (7.3.2) ~ (7.3.7)	(表7.3.2)~(表7.3.7) 下地面等 種 別 木部 不透明塗料塗りの場合 A種 B種 透明塗料塗りの場合 A種 B種 鉄鋼面 (DP以外) A種 B種 C種 鉄鋼面 (DP) A種 B種 C種 亜鉛めっき鋼面 A種 B種 珪素面及びせっこうﾌﾞﾗｯｸ面 (DP) A種 B種 ｺﾝｸﾘｰﾄ面 (DP以外)及びALCﾌﾟﾗﾝｸ面 A種 B種 押出成形ﾍﾞｰｽﾄ板面及びｺﾝｸﾘｰﾄ面 (DP) A種 B種 ｺﾝｸﾘｰﾄ面 (DPのみ) A種 B種 せっこうﾌﾞﾗｯｸ面及び その他のﾌﾞﾗｯｸ面 目地：縦目処理工法 A種 B種 目地：縦目処理工法以外 A種 B種	8 その他工事	管理棟 特定天井工事 参考：リフォジュール株式会社 特定天井工事 膜天井 不燃膜シート 照明開口処理 煙探知機開口処理 トラスバー開口処理				
	4 錆止め塗料塗り (7.4.2) (7.4.3)	錆止め塗料の種類 素地面 塗装の種類 塗料の種類 工程の種類 備考 S O P 塗替え A種 C種 ○ (工程の種類は 新規見え隠れ A種 A種 ○ 表7.4.3) 新規見え隠れ A種 B種 ○ E P - G 塗替え A種 B種 C種 ○ (工程の種類は 新規見え隠れ A種 B種 A種 ○ 表7.4.3) 新規見え隠れ A種 B種 B種 ○ D P 塗替え 7.4.2(1)(イ) ○ B種 (下地調整種) (工程の種類は (a)による ○ C種 (下地調整種) 表7.4.4) 新規 7.4.2(1)(イ) ○ A種 (a)による 亜鉛めっき鋼面 S O P 塗替え A種 ○ B種 C種 ○ (工程の種類は 新 鋼製建具等 A種 ○ B種 A種 ○ 表7.4.5) 規 その他 B種 ○ B種 ○ E P - G 塗替え C種 ○ C種 ○ (工程の種類は 新 鋼製建具等 C種 ○ A種 ○ 表7.4.5) 規 その他 C種 ○ B種 ○ D P 塗替え B種 ○ - (工程の種類は 新規 B種 ○ - 表7.4.6)		管理棟 特定天井工事 内部棚足場工事 アリーナ 吊バトン改修 参考：有限会社ピーコーポレーション 既存吊バトン 撤去 吊バトン 電動昇降式 42.7 L=7,000 バスケット台 改修工事 参考：有限会社ピーコーポレーション 既存バスケット台 撤去 水平引込折畳式バスケット台 P板ボード工程装置付 協定検定品 アリーナ 床コートライン改修工事 参考：有限会社ピーコーポレーション 既設床面サンダー掛 ウレタン塗装3回塗 コートライン バスケットボール 26mX15m 実線50mm コートライン バレーボール6人制 18mX9m 実線50mm コートライン バレーボール9人制 21mX10.5m コーナーポイント実線50mm コートライン パトミントンダブルス 13.4mX6.1m 実線40mm 外壁 杉板 破風板 改修工事 材料参考：ホリモク株式会社 既存杉板 下地胴縁劣化部 撤去 外壁下地 胴縁 杉一等 4,000X45X20@390 (既存に含む) 外壁仕上材 杉一等 3950X135X15 本実付 欠点は埋木 同等品 破風板仕上材 杉一等 八葺板 2,000X400X15 R加工込み 木部仕上塗装 2液型ポリウレタン樹脂ワニス塗 (2UC) 素地こしらえB種				
7 塗装改修工事	塗装工程 (7.5.2) ~ (7.13.2)	工程の種類 (表7.5.1)~(表7.13.1) 記号 名称 種 別 S O P 合成樹脂調査 ﾌﾞﾗｯｸ塗り 木部 新規外部 A種 B種 C種 新規内部 A種 B種 C種 種類 塗替え A種 B種 (外部の場合工程3, 1種 工程4は行わない) C種 鉄鋼面 A種 B種 C種 亜鉛めっき面 鋼製建具 A種 B種 C種 塗替え その他塗替え ・新規 A種 B種 C種 C L ｸﾘﾔﾗｯｶｰ塗り A種 (着色塗料の種類) B種 N A D ｱｸﾘﾙ樹脂系 A種 B種 非水分散形塗料塗り D P 耐候性塗料塗り 鉄鋼面 亜鉛めっき鋼面 ｺﾝｸﾘｰﾄ面及び A-1種 B-1種 C-1種 押出成形ﾍﾞｰｽﾄ板面 A-2種 B-2種 C-2種 上塗り 1級 ふっ素樹脂系等 2級 シリコン系等 3級 ポリウレタン系等 E P - G つや有合成樹脂 ｺﾝｸﾘｰﾄ面,せっこうﾌﾞﾗｯｸ面, A種 B種 C種 ﾌﾞﾗｯｸ塗り,せっこうﾌﾞﾗｯｸ面, しみ止め その他ﾌﾞﾗｯｸ面 しみ止めｼｰﾗｰ (B種及びC種の場合) 木部 新規 A種 B種 C種 塗替え A種 B種 C種 鉄鋼面 A種 B種 C種 亜鉛めっき鋼面 A種 ○ B種 E P 合成樹脂 A種 B種 C種 ﾌﾞﾗｯｸ塗り しみ止め しみ止めｼｰﾗｰ (B種及びC種の場合) U C ｱｸﾘﾙ樹脂ワニス塗り A種 2液型ポリウレタン樹脂ワニス塗 (2UC) ﾌﾞﾗｯｸ塗り ﾋﾞｸﾞﾏｯﾄﾌﾞﾗｯｸ塗り (表7.13.1) ﾌﾞﾗｯｸ塗り (O S) W P 木材保護塗料塗り A種 B種 ｸﾘﾔﾗｯｶｰ塗り A種の工程2の運用 適用する (着色剤: 溶剤系着色剤 油性染料着色剤) 適用しない ウレタン樹脂ワニス塗りの工程1の着色の運用 適用する 適用しない オイルステイン塗りの工程等						

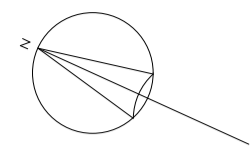
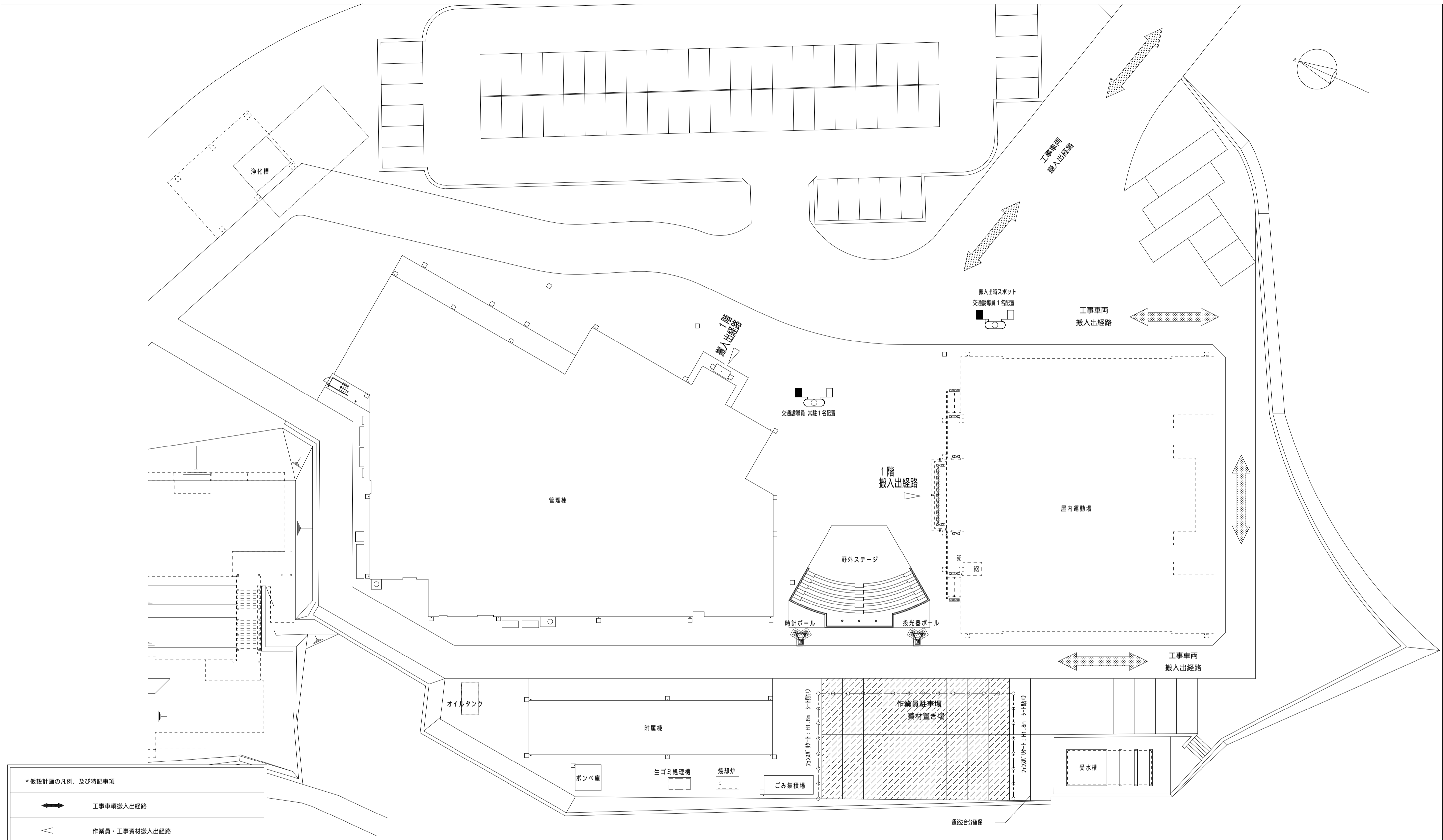
アスベスト対策工事仕様書

章	項	目	特	記	事	項	章	項	目	特	記	事	項	章	項	目	特	記	事	項
13	①	① 適用範囲 (9.1.1)	アスベストを重量で0.1%を超えて含有する、アスベスト含有建材の除去工事に適用する。 アスベスト含有吹付け材除去工事 除去工法 () 封じ込め工法 () 掘り込み工法 () アスベスト含有保温材等除去工事 アスベスト含有成形板除去工事	13	5	5 仕上げ工事 (9.1.1)	アスベスト含有建材除去後の仕上げ工事 図示による	13	9	9 アスベスト含有保温材等の除去 (9.1.4)	除去を行う範囲 図示による	13	⑩	⑩ アスベスト含有成形板等の除去 (9.1.5)	除去を行う範囲 図示による					
		② 法令等の遵守	施工にあたっては、「大気汚染防止法（昭和43年法律97号）」「労働安全衛生法（昭和47年法律57号）」「石綿障害予防規則（平成17年厚生労働省令21号）」「廃棄物の処理及び清掃に関する法律（昭和45年法律137号）」「建築基準法（昭和25年法律201号）」「建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律（建設リサイクル法）（平成12年法律104号）」「京都府建築物の解体等に伴う石綿の飛散防止に関する緊急措置条例（平成17年京都府条例45号）」等、石綿除去に関する諸法令に基づき適正に作業を行う。諸法令の適用及び運用は、受注者の負担と責任において行う。ただし、当該工事に関係のない事項は適用しない。			7 特別管理産業廃棄物管理責任者 (9.1.2)	特別管理産業廃棄物管理責任者の有資格者とし、証明書の写しに工事経歴書を添付して監督職員に提出する。ただし、アスベスト含有成形板の除去工事を除く。			除去の方法 原形のまま手ばらし 手ばらし以外（この場合は改修標仕9.1.3(a)による隔離とする）	除去の方法 湿潤化したのちに手ばらし 湿潤剤等の噴霧、散水等により十分に湿潤化した状態で破砕									
	③	③ 石綿含有建材の調査 (1.5.1)	事前調査 ・ 施工計画に先立ち、改正大気汚染防止法第18条の17の規定により、特定工事に該当するか否かの調査を行う。 調査結果について発注者に書面を交付して説明を行い、調査結果その他環境省令で定める事項を、公衆に見やすいように掲示し、その写しを工事の現場に備え置く。 なお、特定工事に該当する場合は、「特定粉じん排出等作業実施届出書」の届出内容について発注者に書面を交付して説明を行う。 ・ 施工計画に先立ち、石綿障害予防規則第3条の規定により、アスベスト含有建材の有無を調査する。 調査結果を記録し、作業に従事する労働者が見やすいように掲示する。 事前調査は、国土交通省に登録された機関が行う講習を修了した建築物石綿含有建材調査者、石綿作業主任者技能講習修了者、日本アスベスト調査診断協会に登録されたアスベスト診断士等が行い、資格証明書の写しを監督職員に提出する。 調査範囲 図示による 調査事項 石綿使用部位の確認 石綿層の厚さの確認 施工範囲と工事管理区分の確認 更衣施設等の仮設計画 廃棄物等の搬出方法 アスベスト含有分析 行う（分析結果を監督職員に提出する） 材 料 名 定性分析方法 定量分析方法 (箇所数) (箇所数) (箇所数) (箇所数) (箇所数) (箇所数) (箇所数) (箇所数) サンプル数 1 箇所あたり 3 サンプル JIS A 1481に基づくこと。 行わない 既存の石綿含有建材の調査報告書の貸与 あり なし	8 アスベスト含有吹付け材の除去 (9.1.3)	施工業者 工事に相応した技術を有することを証明する資料をあらかじめ提出する。「吹付アスベスト粉じん飛散防止処理技術」について（一財）日本建築センターの建設技術審査証明事業による建築物等の施工技術及び保全技術の審査証明を取得した工法の施工業者等。	除去を行うアスベスト含有保温材等の仕様 種 類 種 類 石綿保温材 石綿含有耐火被膜材 石綿含有けいそう土保温材 石綿含有けい酸カルシウム板第二種 石綿含有パーライト保温材 屋根用折版裏断熱材 石綿含有けい酸カルシウム保温材 煙突用断熱材 石綿含有水練り保温材 塩基性炭酸マグネシウム保温材	除去物の処理方法 密封処理（二重袋梱包） 隔離養生に用いたシート、使用した使い捨て保護衣、高性能真空掃除機、除じん機フィルタ等についても密封処理とする。 セメント固化 溶融固化 除去物等の保管 他の建設副産物等と分別して保管する。 飛散防止措置を講ずる。 アスベスト等の保管場所であることの表示を行う。	除去物等の処分 廃棄物及び清掃に関する法律（昭和45年法律137号）の規定を遵守して行う。アスベスト含有石膏ボード（管理型最終処分場における埋立処分）を除くアスベスト含有成形板 石綿含有産業廃棄物として、安定型最終処分場における埋立処分 都道府県知事等から設置許可を受けた溶融施設における溶融または環境大臣の認定を受けた無害化処理施設における無害化処理 指定処分地（（財）宇治廃棄物処理公社 京都府宇治市池の尾仙郷山6-2 TEL 0774-21-2807） なお処分に関しては会社の受け入れ基準等を確認する。												
		4 アスベスト粉じん濃度測定 (9.1.1)	アスベスト粉じん濃度測定 行う 測定時期 測定場所 測定点(各施工箇所ごと) 備考 除去作業前 除去作業室内 1点 2点 3点 点 調査対象室外部付近 1点 2点 点 除去作業中 除去作業室内 1点 2点 3点 点 負圧粉じん装置の吹出し風速1m/秒以下の位置 排出吹き出し口 各 1点 2点 3点 除去作業室外 1点 2点 3点 点 除去作業後 除去作業室内 1点 2点 点 シート養生中 除去作業室内 1点 2点 3点 点 シート撤去後 調査対象室外部付近 1週間以降 周囲の状況等により上記によりがたい場合は、監督職員と協議する。 行わない 測定機関 (公社) 日本作業環境測定協会による「石綿含有の有無の判定及び石綿の含有率の測定が可能な石綿含有率分析可能機関」とする。 報告書提出部数 3部 部	除去したアスベスト含有吹付け材等の飛散防止 密封処理（二重袋梱包） 隔離養生に用いたシート、使用した使い捨て保護衣、高性能真空掃除機、除じん機フィルタ等についても密封処理とする。 湿潤化 セメント固化 溶融固化 除去物等の保管 他の建設副産物等と分別して保管する。 飛散防止措置を講ずる。 アスベスト等の保管場所であることの表示を行う。	除去物等の処分 廃棄物及び清掃に関する法律（昭和45年法律137号）の規定を遵守して行う。特別管理産業廃棄物として、管理型最終処分場における埋立処分 都道府県知事等から設置許可を受けた溶融施設における溶融または環境大臣の認定を受けた無害化処理施設における無害化処理 指定処分地（（株）京都環境保全公社 瑞穂環境保全センター 京都府船井郡京丹波町猪鼻冠石2-1 TEL 0774-88-0431） なお処分に関しては会社の受け入れ基準等を確認する。															



配置図

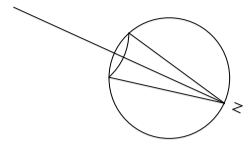
一級建築士事務所 事務所登録京都府知事(04A)第01606号 橋本一級建築デザイン事務所 〒611-0021 京都府宇治市宇治宇文字17-4クレセントハウス302 一級建築士登録 第299760号 橋本光生	作成日 2026/03 修正日 検印 縮尺 1/2500	工事名 総合野外活動センター管理棟及び体育館非構造部材 耐震対策改修工事 図面名 付近見取り図・配置図	図面番号 A-09
--	---------------------------------------	---	--------------



*仮設計画の凡例、及び特記事項

	工事車輛搬入出経路
	作業員・工事資材搬入出経路
	フェンス/ガード: H1.8m シート貼り
	作業員駐車場
	交通誘導員: 工事内容及び、監督職員と協議の上 常駐以外に、スポットで配備

仮設計画図 S : 1/300



利用者出入口

施設利用者動線

床養生：ビニルシートの上合板厚12mm等による養生

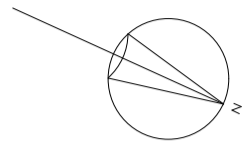
単管 + 防災白シート H=2.0m

内部枠組継足場 (ステージ)

1階平面図 S:1/150

棚足場 内部形状が複雑なため、現地調査ののち、現場監督職員と協議の上、最終決定とする。
 リフト ミニリフト ML-BN617 (アサヒ産業株式会社) 同等品。

一級建築士事務所 事務所登録京都府知事(04A)第01606号 橋本一級建築デザイン事務所 〒611-0021 京都府宇治市宇治宇文字17-4クレセントハウス302 一級建築士登録 第299760号 橋本光生	作成日 2026/03	修正日	工事名 総合野外活動センター管理棟及び体育館非構造部材 耐震対策改修工事	図面番号 A-11
	検印	縮尺 1/150	図面名 管理棟 1階平面図・仮設計画図(参考図)	



施設利用者動線

床養生：ビニルシートの上合板厚12mm等による養生

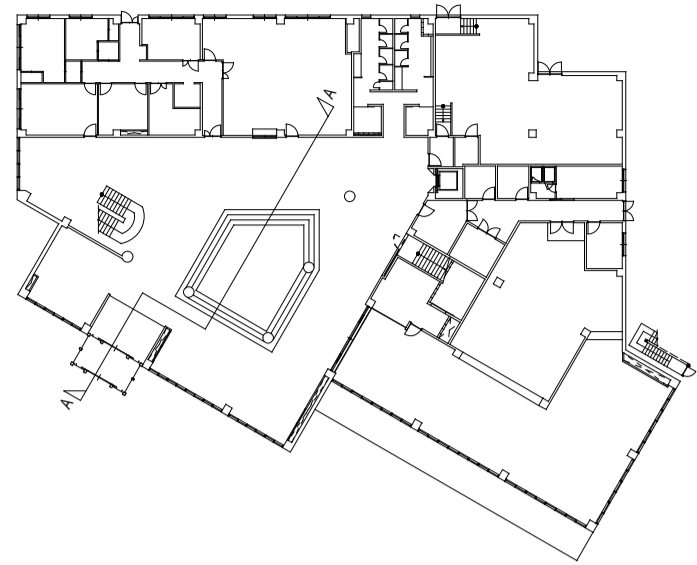
単管 + 防炎白シート H=2.0m

内部枠組棚足場 (ステージ)

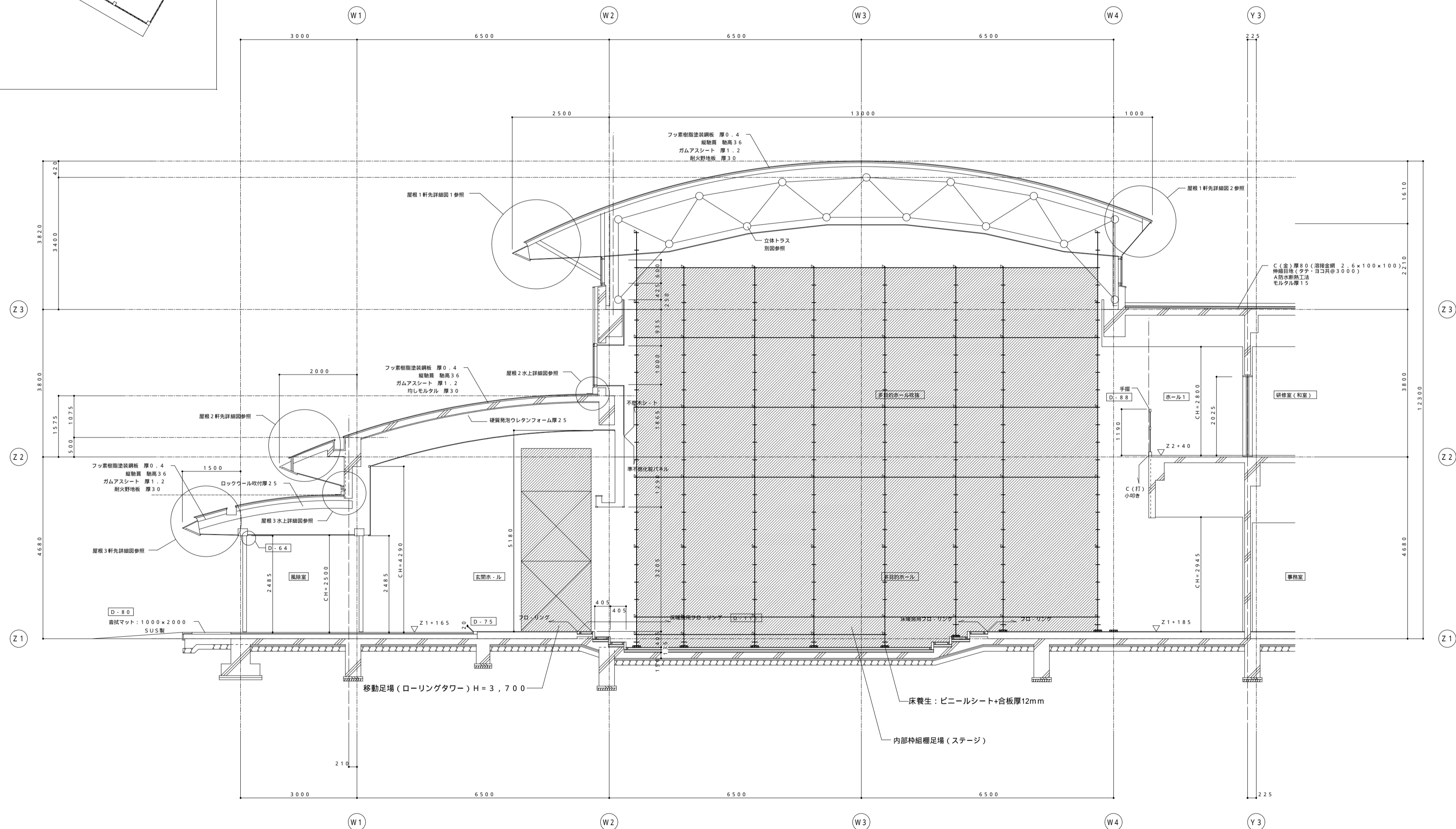
2階平面図 S:1/150

棚足場 内部形状が複雑なため、現地調査ののち、現場監督職員と協議の上、最終決定とする。
リフト ミニリフト ML - BN 6 1 7 (アサヒ産業株式会社) 同等品。

一級建築士事務所 事務所登録京都府知事(04A)第01606号 橋本一級建築デザイン事務所 〒611-0021 京都府宇治市宇治宇文字17-4クレセントハウス302 一級建築士登録 第299760号 橋本光生	作成日 2026/03	修正日	工事名 総合野外活動センター管理棟及び体育館非構造部材 耐震対策改修工事	図面番号 A-12
	検印	縮尺 1/150	図面名 管理棟 2階平面図・仮設計画図(参考図)	



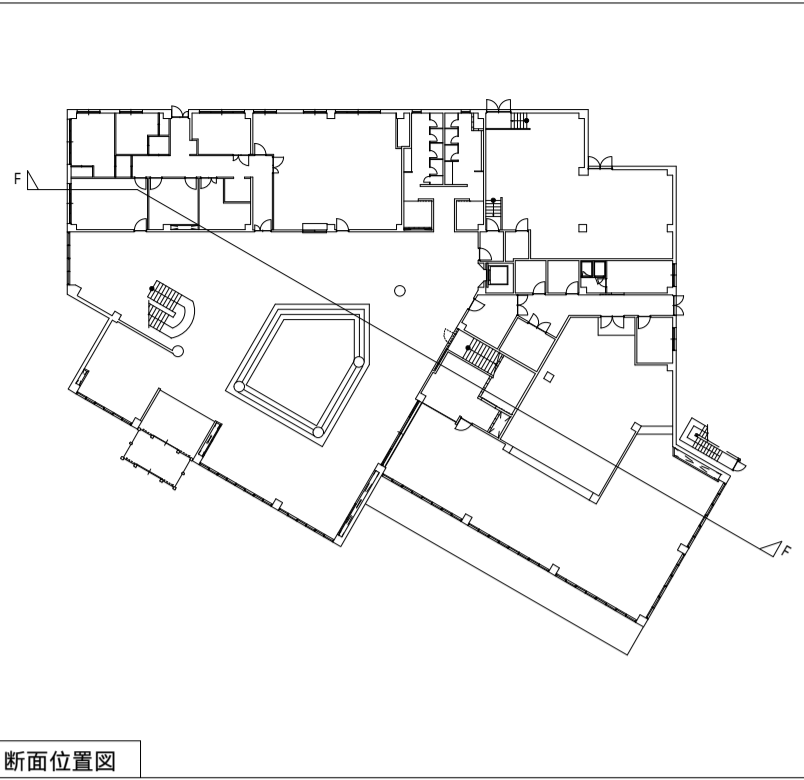
断面位置図



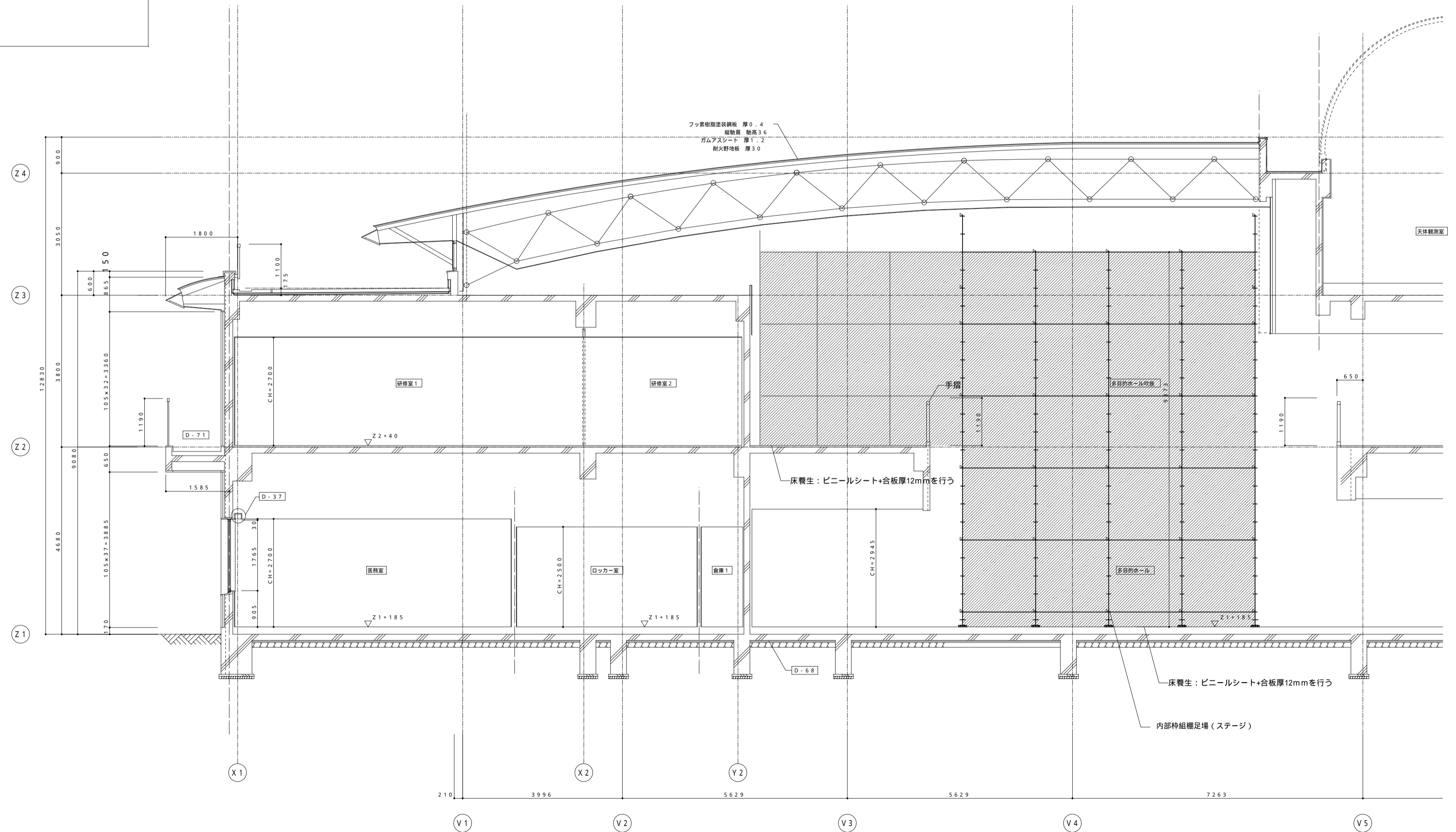
棚足場 内部形状が複雑なため、現地調査ののち、現場監督職員と協議の上、最終決定とする。
 リフト ミニリフト ML-BN617 (アサヒ産業株式会社) 同等品。

管理棟 A-A' 断面図詳細図 S : 1/75

一級建築士事務所 事務所登録京都府知事(04A)第01606号 橋本一級建築デザイン事務所 〒611-0021 京都府宇治市宇治宇文字17-4クレセントハウス302 一級建築士登録 第299760号 橋本光生	作成日 2026/03	修正日	工事名 総合野外活動センター管理棟及び体育館非構造部材 耐震対策改修工事	図面番号 A-14
	検印	縮尺 1/75	図面名 管理棟 A-A' 断面図詳細図・仮設計画図(参考図)	



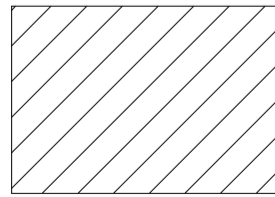
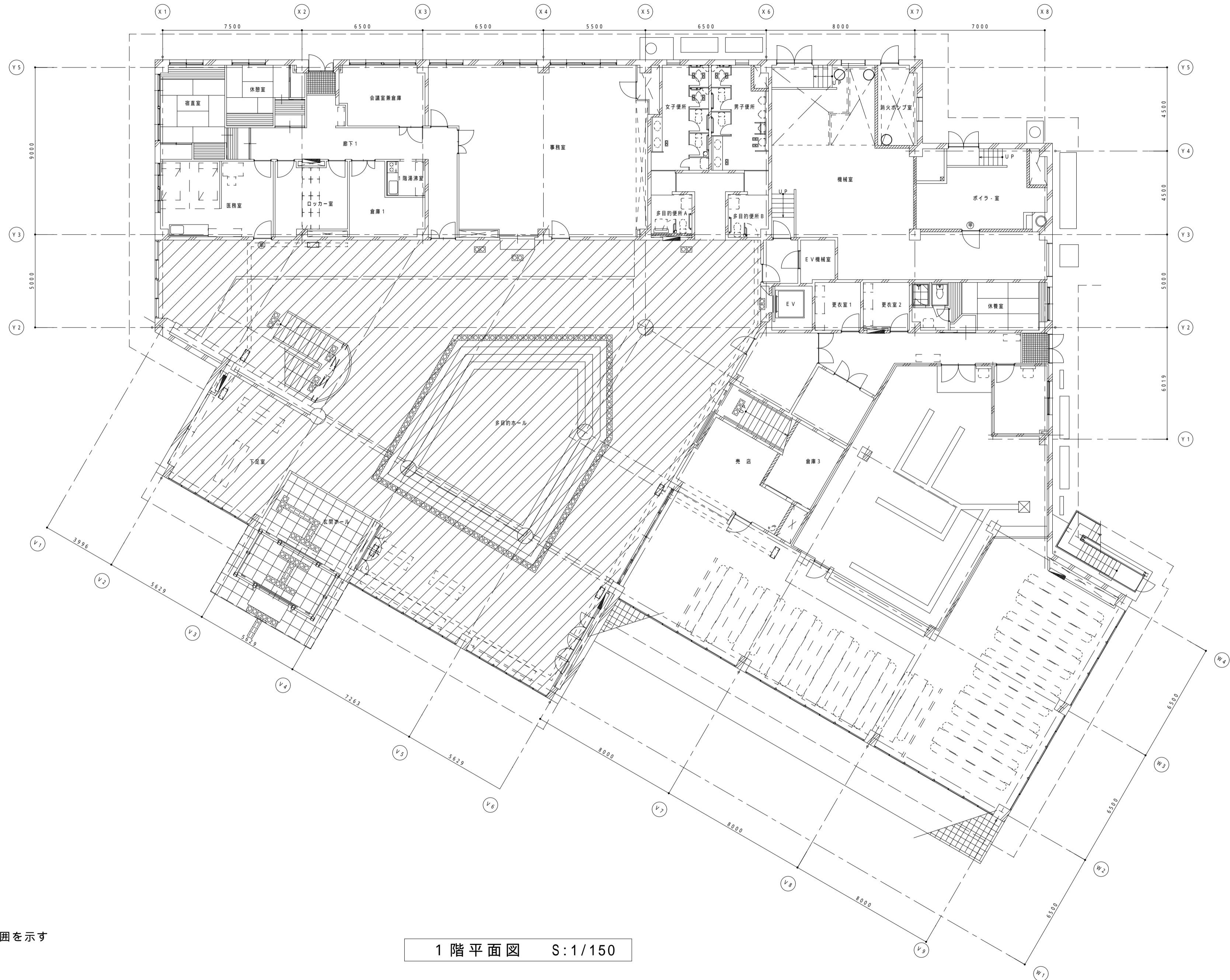
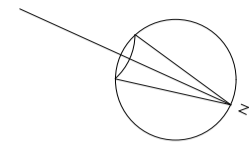
断面位置図



棚足場 内部形状が複雑なため、現地調査ののち、現場監督職員と協議の上、最終決定とする。
 リフト ミニリフト ML - BN 6 1 7 (アサヒ産業株式会社) 同等品。

管理棟 F - F ' 断面図詳細図 S : 1 / 7 5

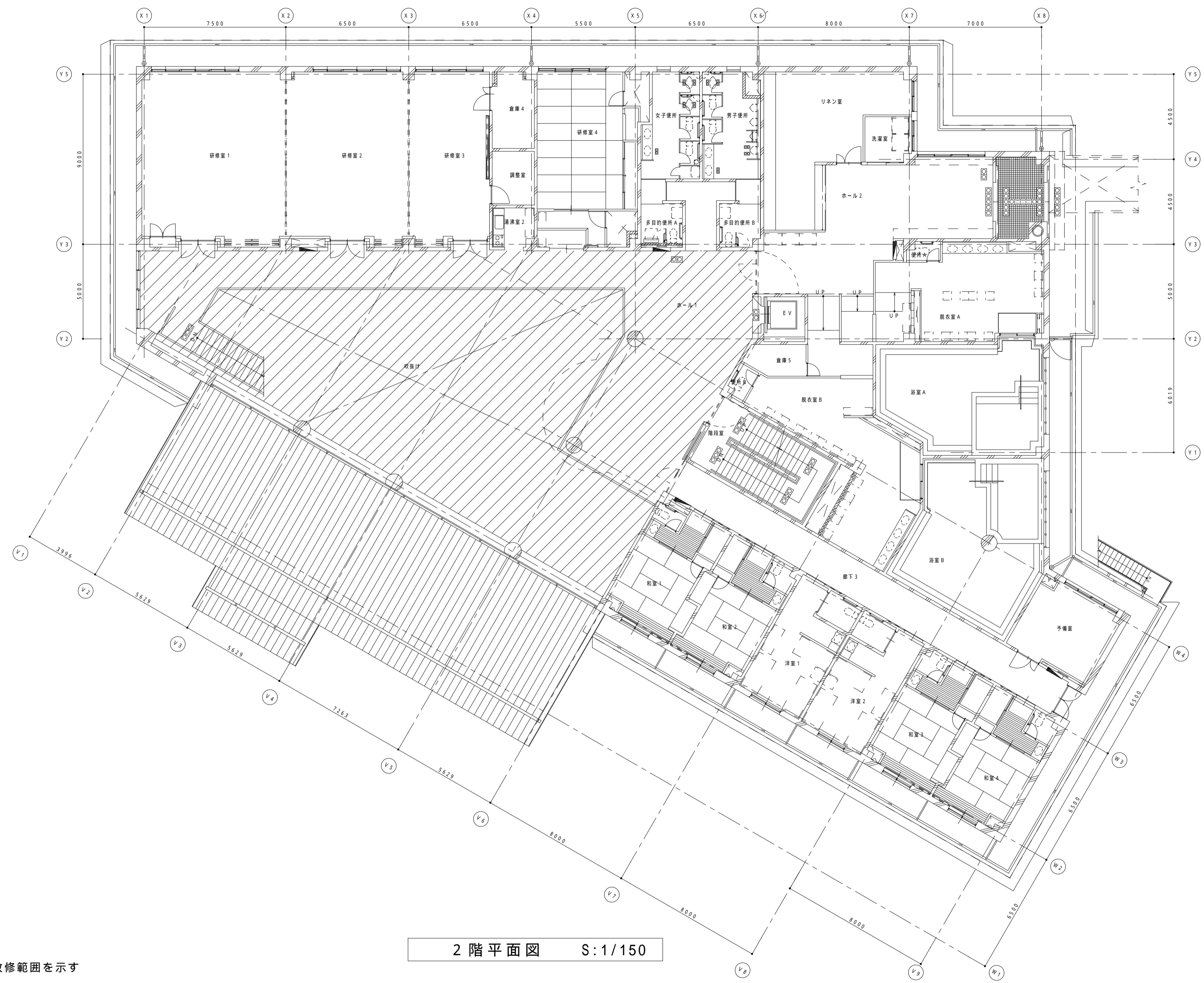
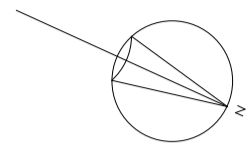
一級建築士事務所 事務所登録京都府知事(04A)第01606号 橋本一級建築デザイン事務所 〒611-0021 京都府宇治市宇治宇文字17-4クレセントハウス302 一級建築士登録 第299760号 橋本光生	作成日 2026/03	修正日	工事名 総合野外活動センター管理棟及び体育館非構造部材 耐震対策改修工事	図面番号 A-15
	検印	縮尺 1/75	図面名 管理棟 F - F ' 断面図詳細図・仮設計画図(参考図)	



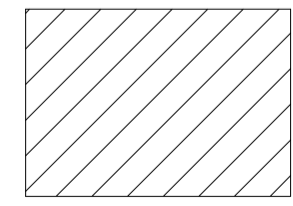
管理棟特定天井改修工事 改修範囲を示す
 内部足場 設置工事範囲を示す

1 階平面図 S:1/150

	一級建築士事務所 事務所登録京都府知事(04A)第01606号	作成日	2026/03	修正日		工事名 総合野外活動センター管理棟及び体育館非構造部材 耐震対策改修工事	図面番号 A-16
	橋本一級建築デザイン事務所 〒611-0021 京都府宇治市宇治字文字17-4クレセントハウス302 一級建築士登録 第299760号 橋本光生	検印		縮尺	1/150		



2階平面図 S:1/150

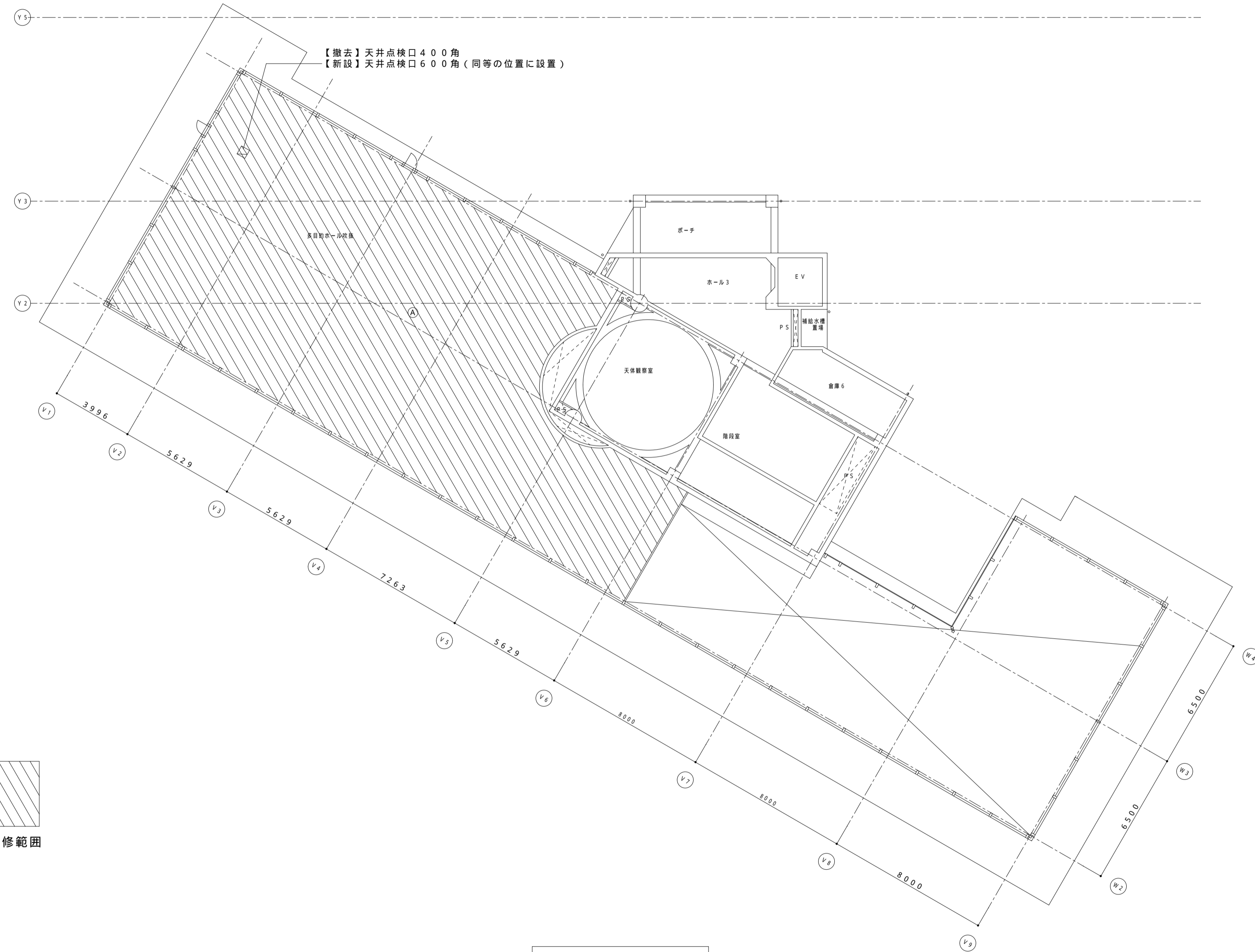
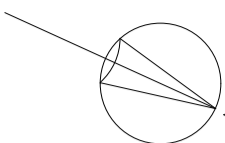


管理棟特定天井改修工事 改修範囲を示す
 内部足場 設置工事範囲を示す

	一級建築士事務所 事務所登録京都府知事(04A)第01606号	作成日	2026/03	修正日		工事名 総合野外活動センター管理棟及び体育館非構造部材 耐震対策改修工事	図面番号 A-17
	橋本一級建築デザイン事務所 〒611-0021 京都府宇治市宇治字文字17-4クレセントハウス302 一級建築士登録 第299760号 橋本光生	検印		縮尺	1/150		

天井仕上げ凡例

記号	仕 上
既存	【撤去】PB厚12.5 寒冷紗バテしごき AEP
新設	膜天井 不燃膜シート 照明開口処理 煙探知機開口処理 トラスバー開口処理



3階天井伏図 S : 1/150

天井開口凡例

凡 例	備 考
	【撤去】天井点検口 450角
	【新設】天井点検口 600角



X 8

X 7

X 6

X 5

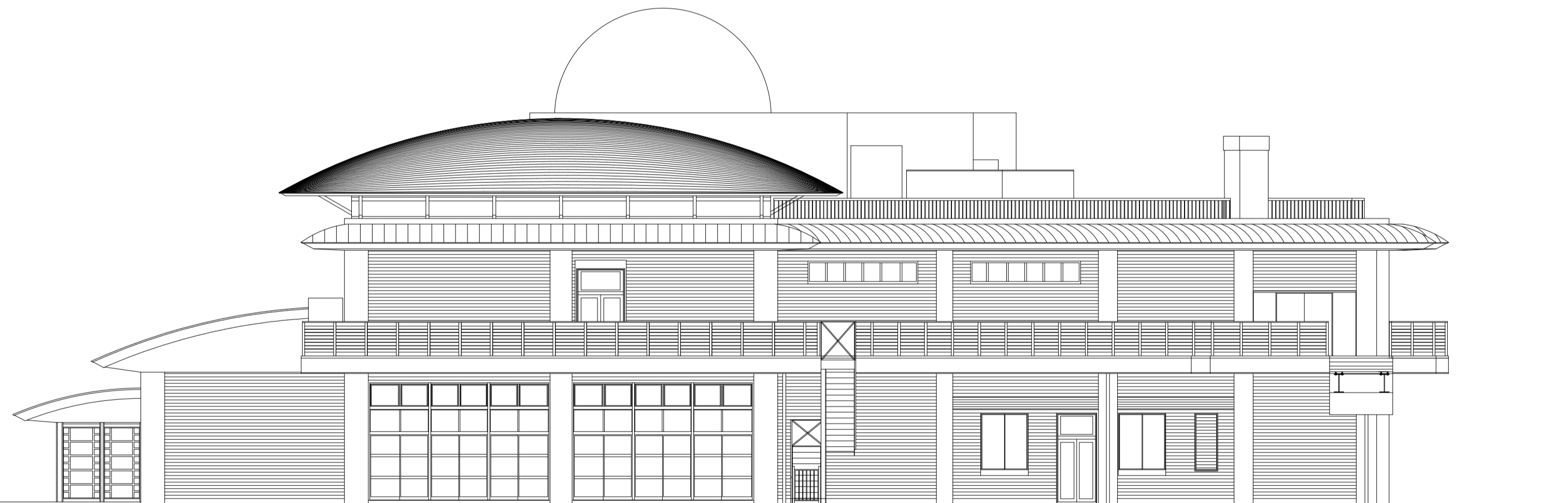
X 4

X 3

X 2

X 1

西立面図 S:1/125



W 1

W 2

W 3

W 4

北立面図 S:1/125

	<p>一級建築士事務所 事務所登録京都府知事(04A)第01606号 橋本一級建築デザイン事務所 〒611-0021 京都府宇治市宇治宇文字17-4クレセントハウス302 一級建築士登録 第299760号 橋本光生</p>	<p>作成日 2026/03 修正日 積印</p>	<p>縮尺 1/125</p>	<p>工事名 総合野外活動センター管理棟及び体育館非構造部材 耐震対策改修工事 図面名 管理棟 西立面図・北立面図</p>	<p>図面番号 A-20</p>
--	---	---	-----------------	---	------------------



V-1

V-2

V-3

V-4

V-5

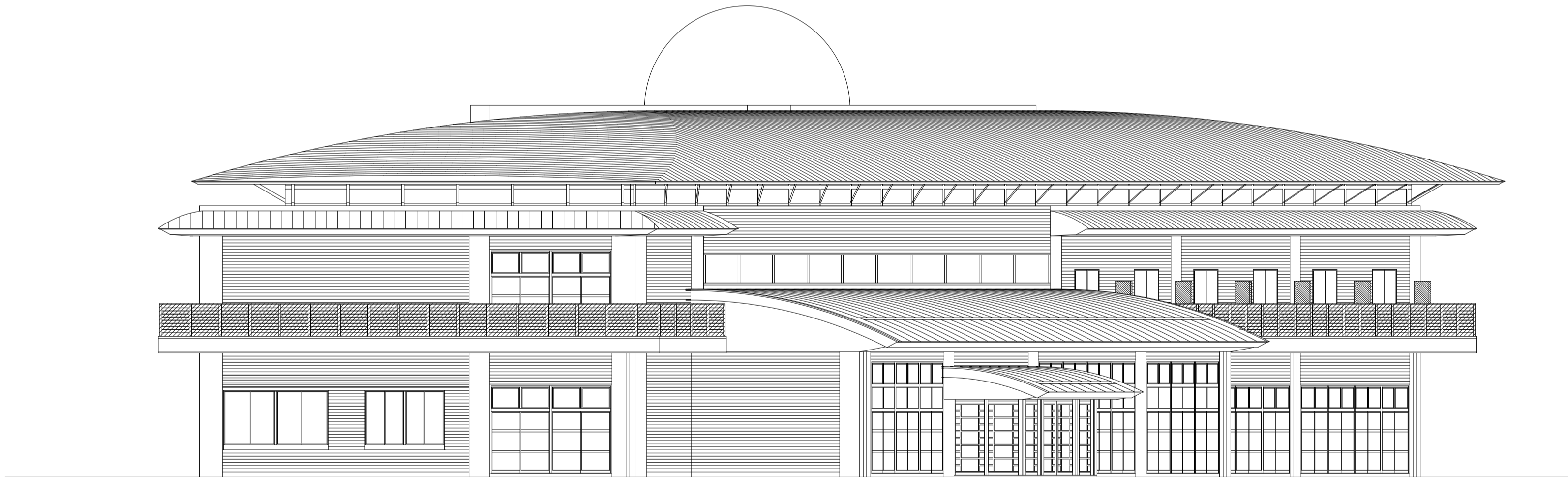
V-6

V-7

V-8

V-9

東立面図 S:1/125



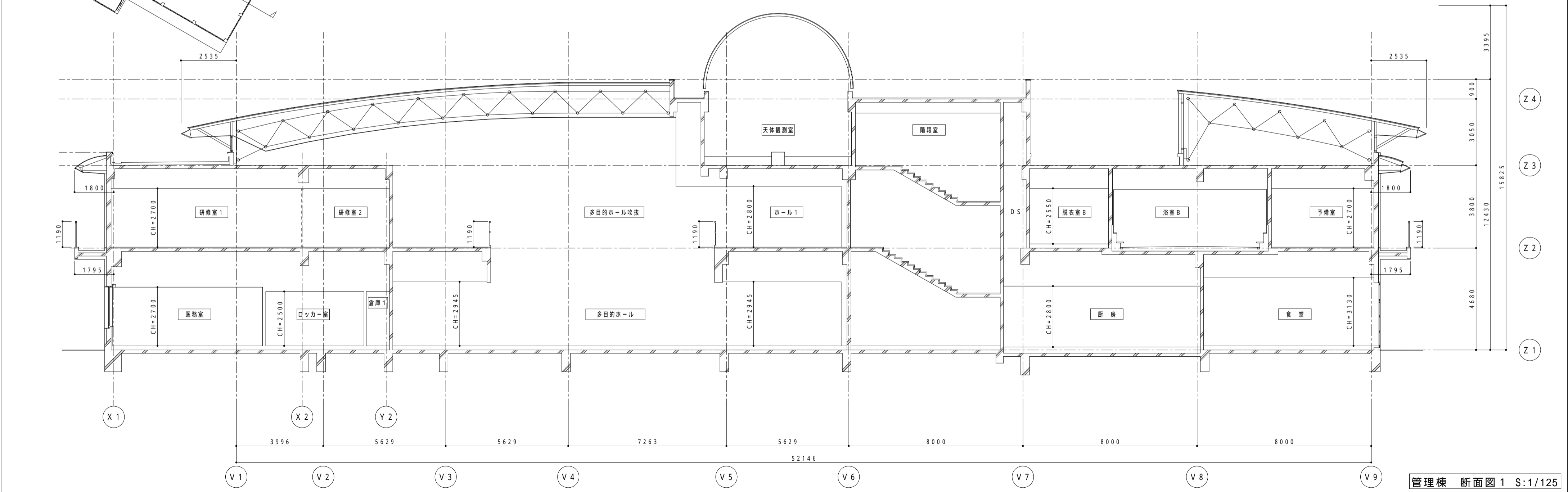
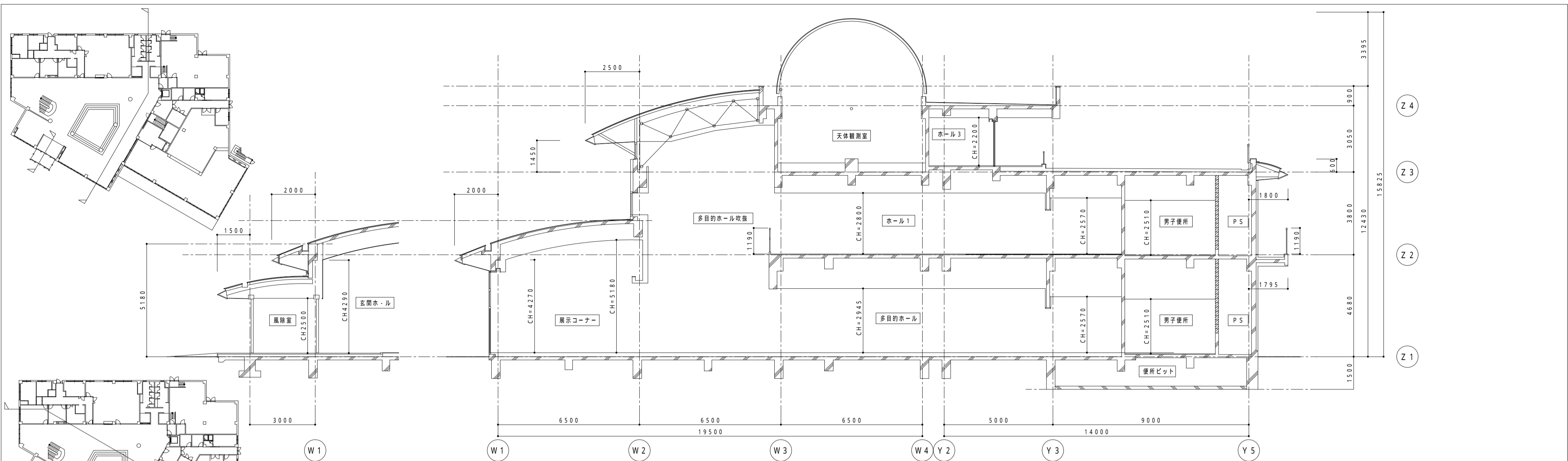
Y-5

Y-3

Y-2

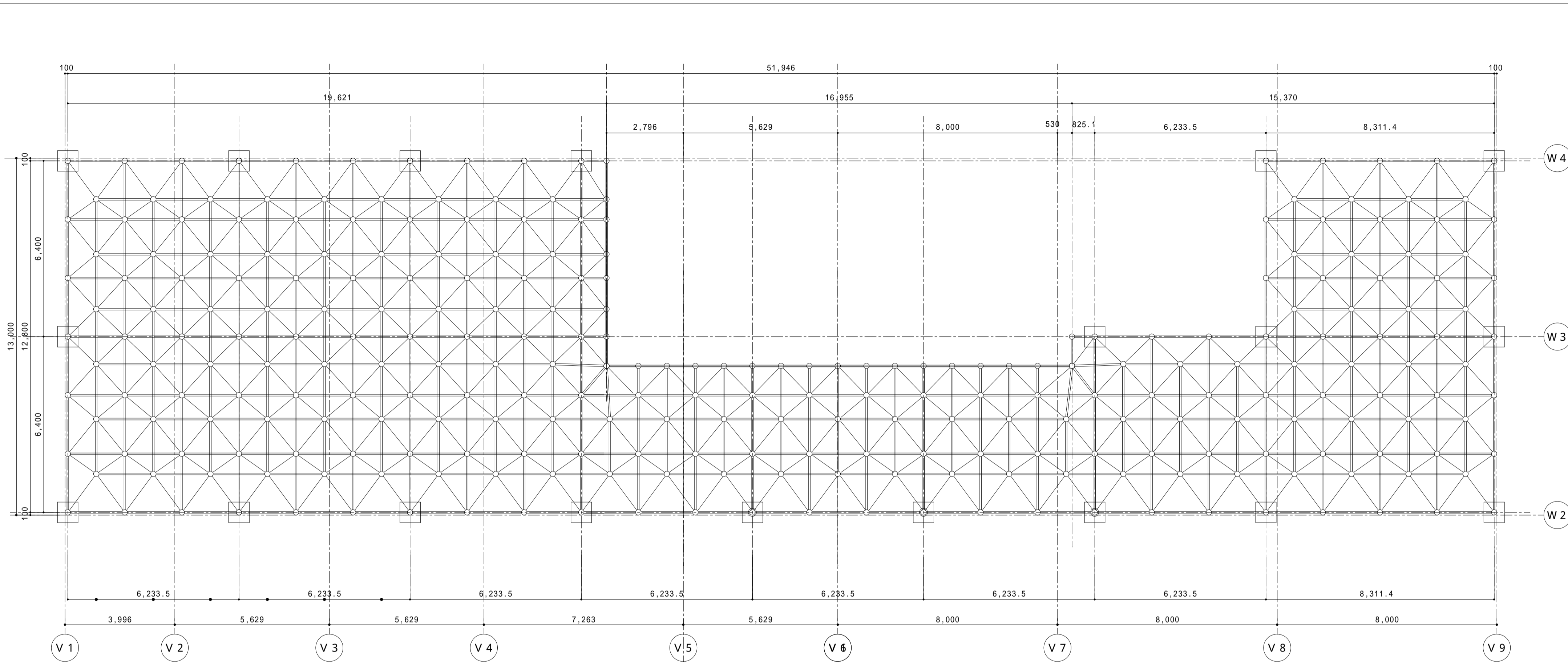
南立面図 S:1/125

<p>一級建築士事務所 事務所登録京都府知事(04A)第01606号 橋本一級建築デザイン事務所 〒611-0021 京都府宇治市宇治宇文字17-4クレセントハウス302 一級建築士登録 第299760号 橋本光生</p>	<p>作成日 2026/03 修正日 検印 縮尺 1/125</p>	<p>工事名 総合野外活動センター管理棟及び体育館非構造部材 耐震対策改修工事 図面名 管理棟 東立面図・南立面図</p>	<p>図面番号 A-21</p>
---	---	---	-------------------------------

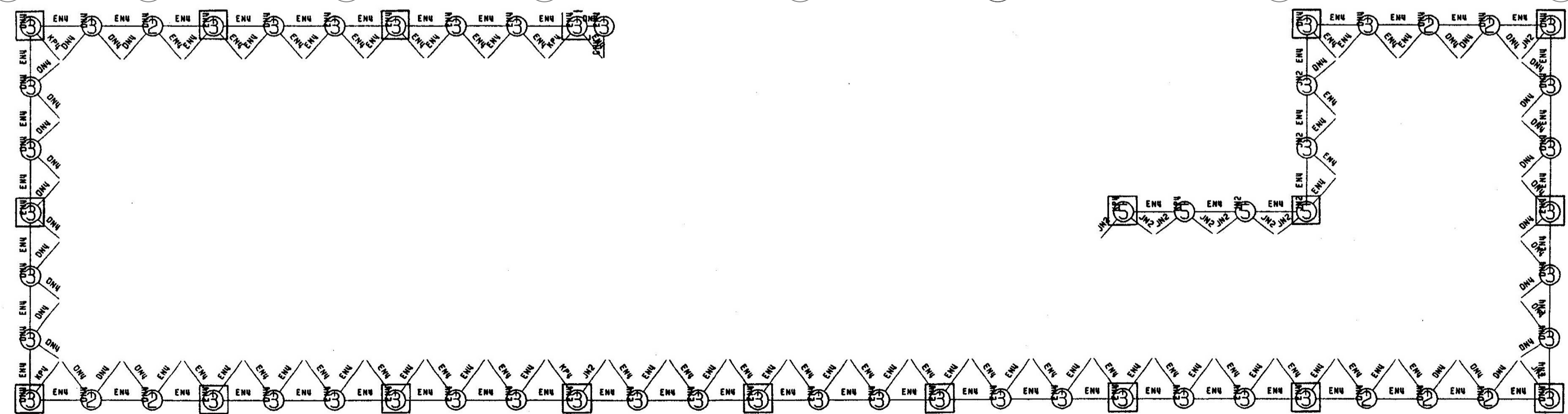
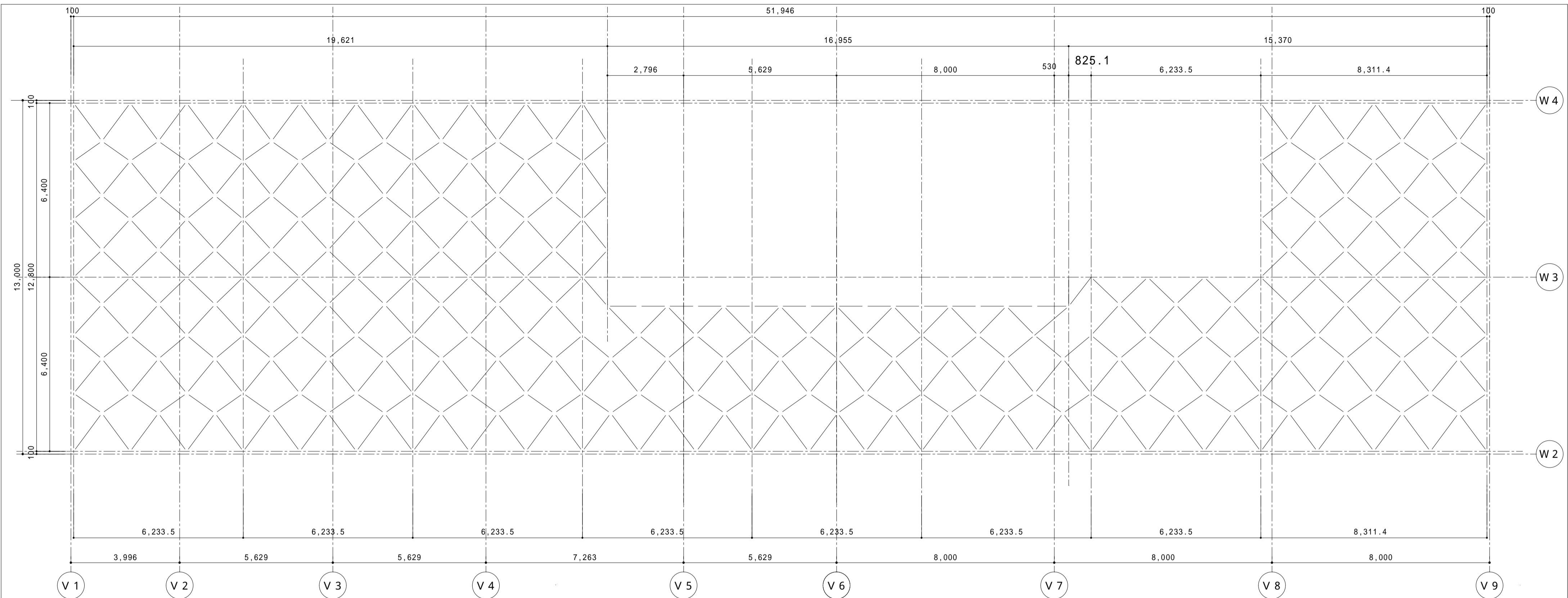


管理棟 断面図 1 S:1/125

一級建築士事務所 事務所登録京都府知事(04A)第01606号 橋本一級建築デザイン事務所 〒611-0021 京都府宇治市宇治宇文字17-4クレセントハウス302 一級建築士登録 第299760号 橋本光生	作成日 2026/03	修正日	工事名 総合野外活動センター管理棟及び体育館非構造部材 耐震対策改修工事	図面番号 A-22
	検印	縮尺 1/125	図面名 管理棟 断面図 1	



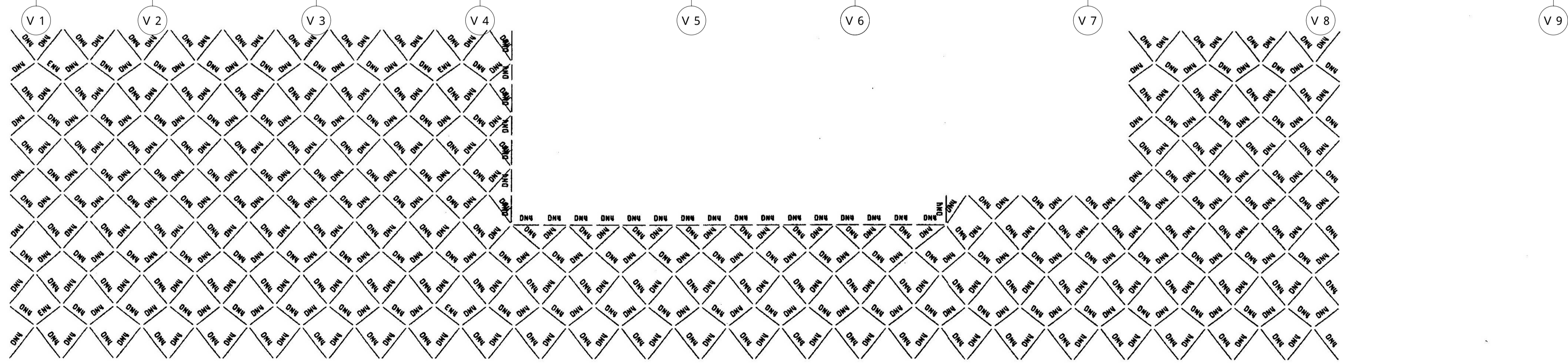
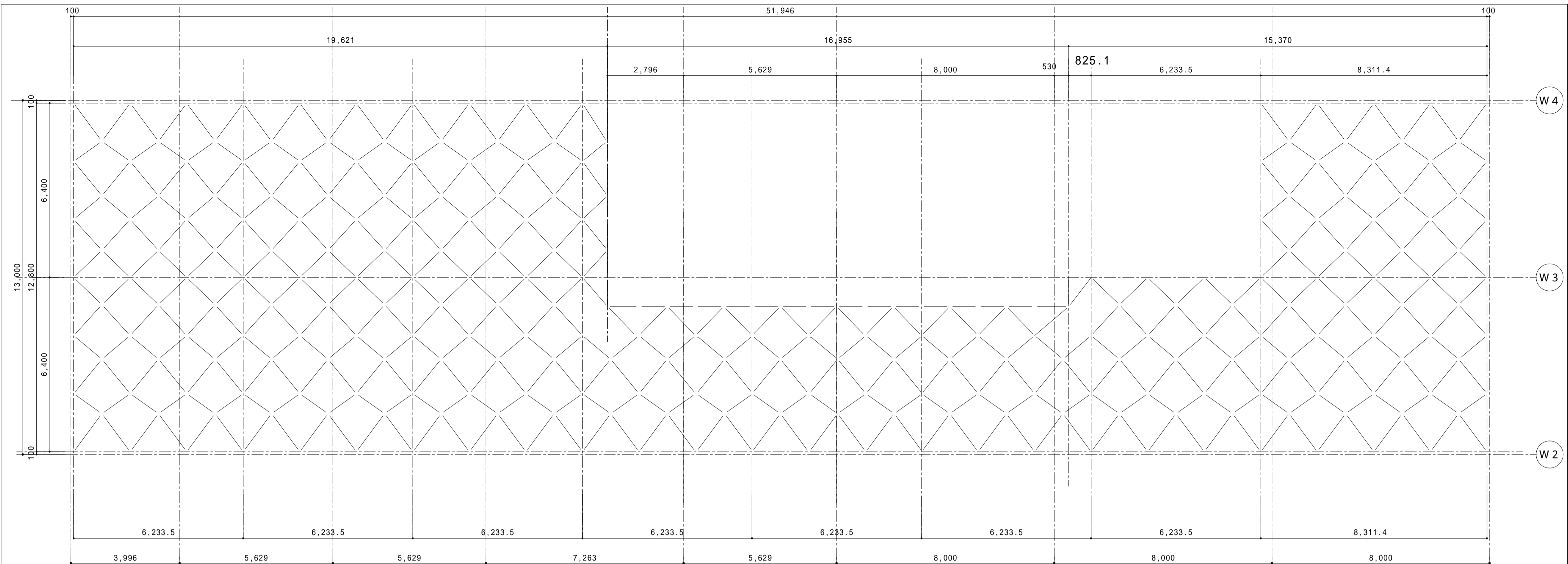
	一級建築士事務所 事務所登録京都府知事(04A)第01606号		作成日	2026/03	修正日		工事名 総合野外活動センター管理棟及び体育館非構造部材 耐震対策改修工事	図面番号 A-23
	橋本一級建築デザイン事務所 〒611-0021 京都府宇治市宇治宇文字17-4クレセントハウス302 一級建築士登録 第299760号 橋本光生		検印		縮尺	1/150		



記号	番号	パイプ	ボルト
CN4	4	φ42.7 X 2.3	M16 9T
DN4	10	φ48.6 X 3.2	M20 9T
EN4	12	φ60.5 X 3.2	M20 9T
JN2	14	φ76.3 X 3.2	M20 9T
KP4	25	φ89.1 X 4.2	M24 9T

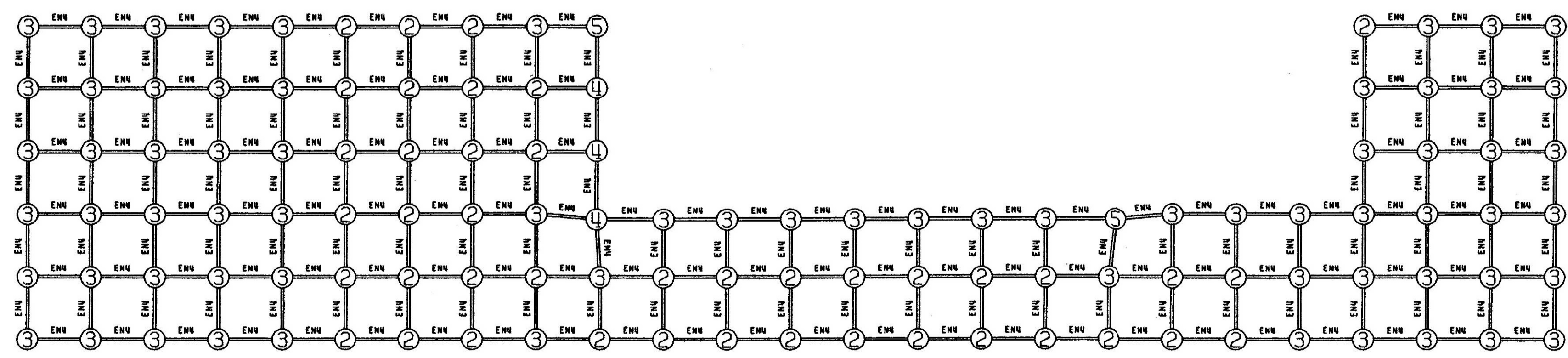
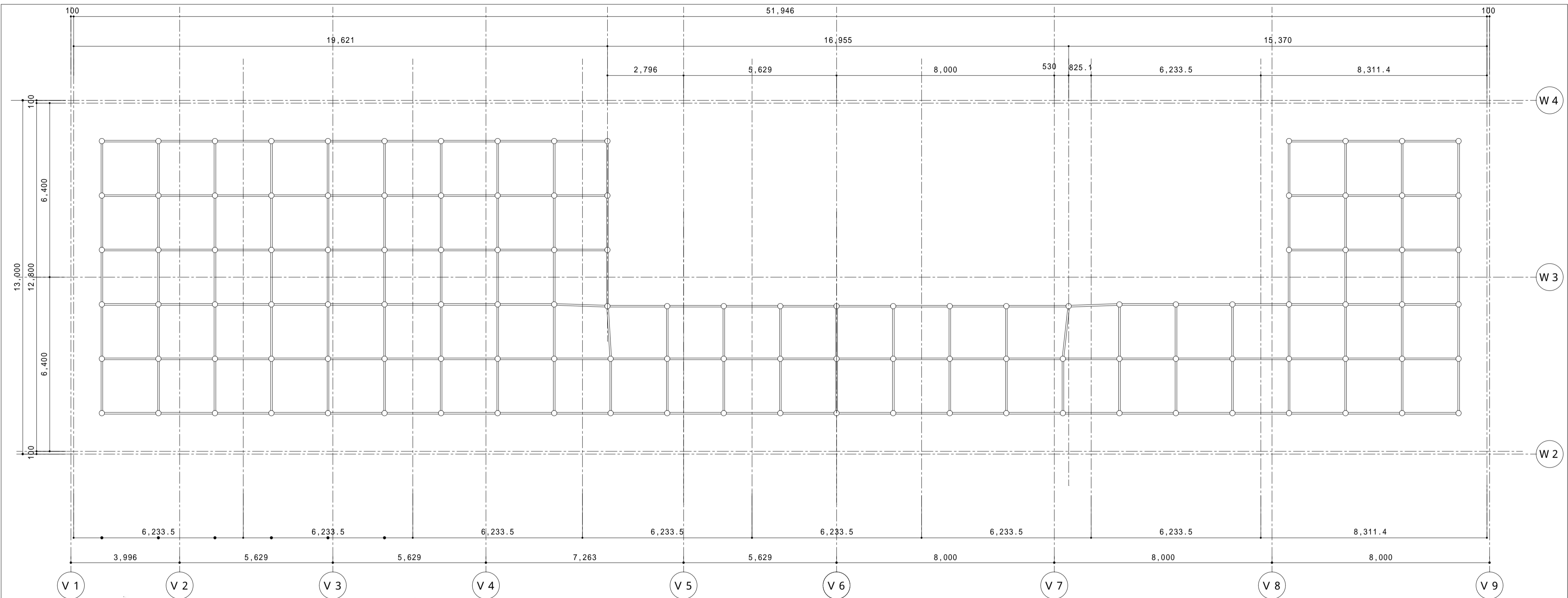
番号	グループ(F/C)	備考
2	φ85 / 78	
3	φ110 / 103	
5	φ150 / 136	

組み降ろし材配置図



斜材部材配置図

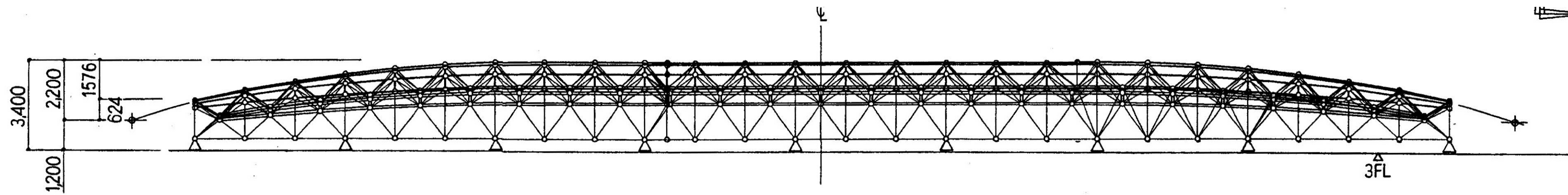
記号	番号	パイプ	ボルト
DN4	10	φ48.6 X 3.2	M20 9T
EN4	12	φ60.5 X 3.2	M20 9T



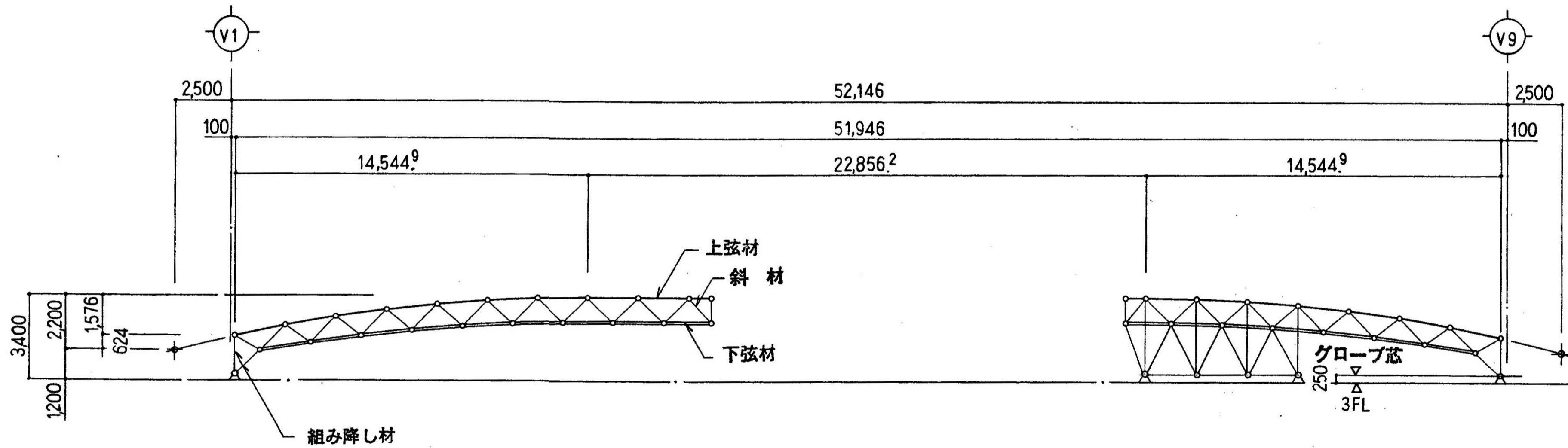
下弦部材配置図

記号	番号	パイプ	ボルト
EN4	12	φ60.5 X 3.2	M20 9T

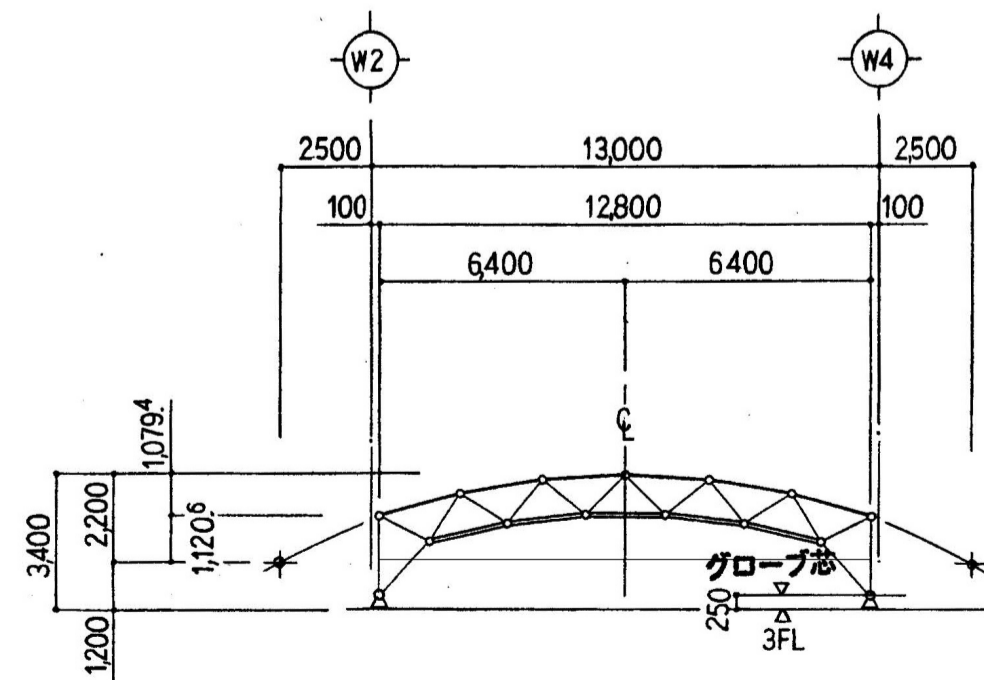
番号	グループ(F/C)	番号
2	φ85 / 78	
3	φ110 / 103	
4	φ130 / 120	
5	φ150 / 136	



立面図 1:200

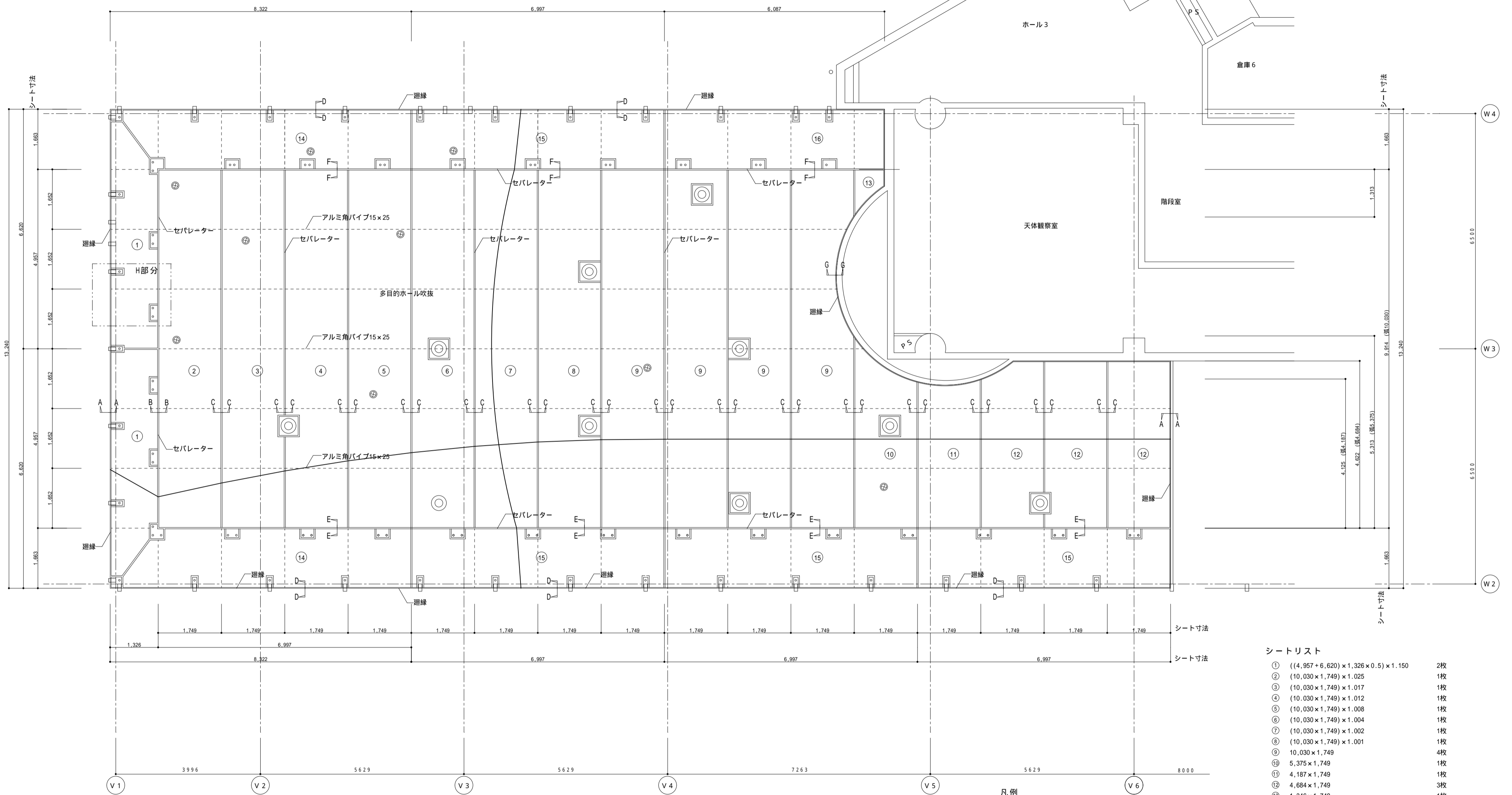
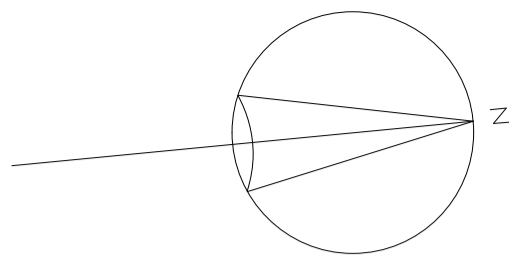


a-a 断面図 1:200



b-b 断面図 1:200

一級建築士事務所 事務所登録京都府知事(04A)第01606号 橋本一級建築デザイン事務所 〒611-0021 京都府宇治市宇治宇文字17-4クレセントハウス302 一級建築士登録 第299760号 橋本光生	作成日 2026/03	修正日	工事名 総合野外活動センター管理棟及び体育館非構造部材 耐震対策改修工事	図面番号 A-28
	検印	縮尺 1/200	図面名 小屋組 鉄骨トラス 断面図	



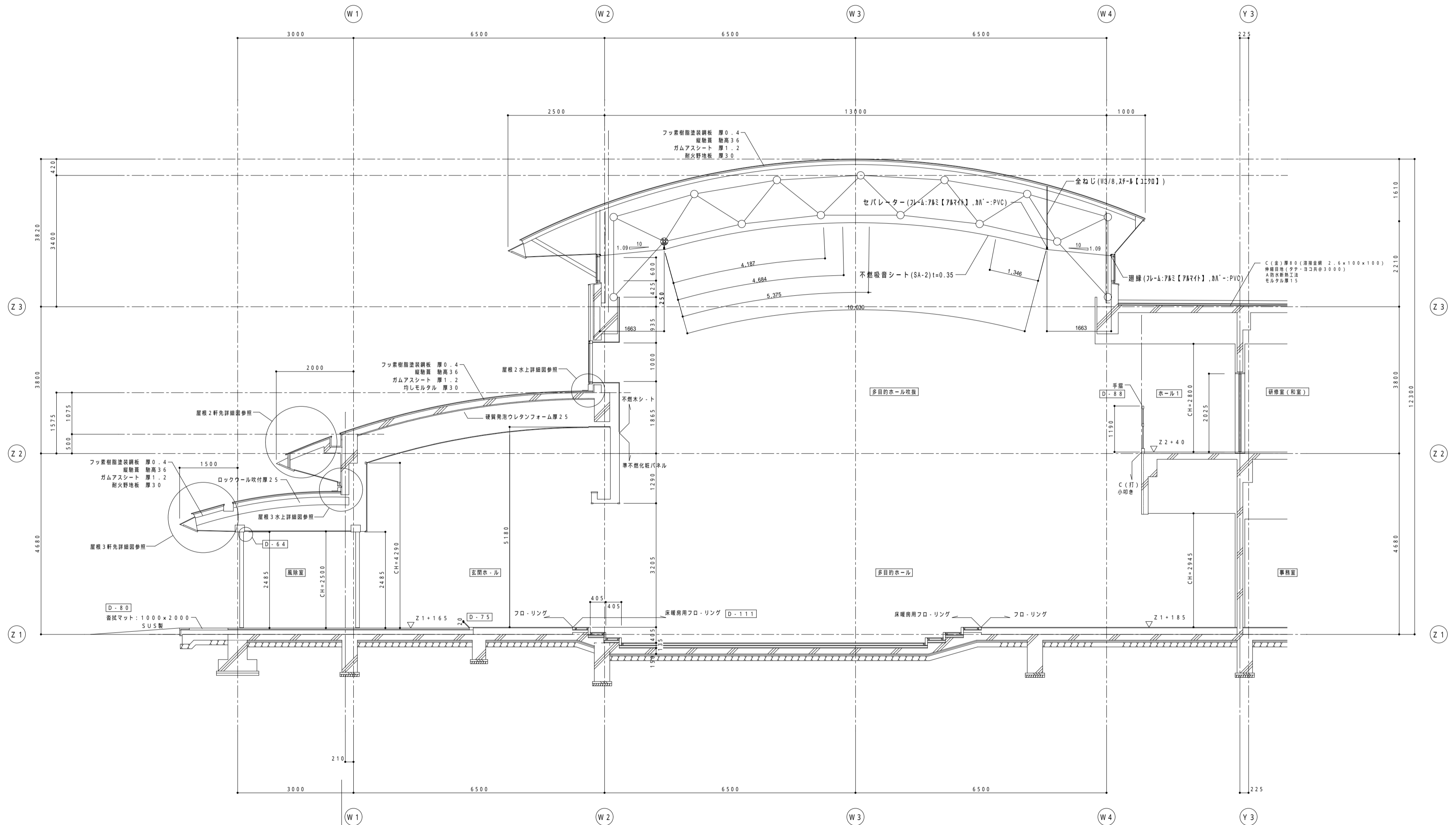
3階天井伏図 S : 1 / 7 5

シートリスト

①	((4,957 + 6,620) × 1,326 × 0.5) × 1.150	2枚
②	(10,030 × 1,749) × 1.025	1枚
③	(10,030 × 1,749) × 1.017	1枚
④	(10,030 × 1,749) × 1.012	1枚
⑤	(10,030 × 1,749) × 1.008	1枚
⑥	(10,030 × 1,749) × 1.004	1枚
⑦	(10,030 × 1,749) × 1.002	1枚
⑧	(10,030 × 1,749) × 1.001	1枚
⑨	10,030 × 1,749	4枚
⑩	5,375 × 1,749	1枚
⑪	4,187 × 1,749	1枚
⑫	4,684 × 1,749	3枚
⑬	1,346 × 1,749	1枚
⑭	((6,997 + 8,322) × 1,663 × 0.5) × 1.057	2枚
⑮	6,997 × 1,663 × 1.057	4枚
⑯	6,087 × 1,663 × 1.057	1枚

- 凡例
- 照明器具
 - ⊕ 報知器
 - アルミ角パイプ

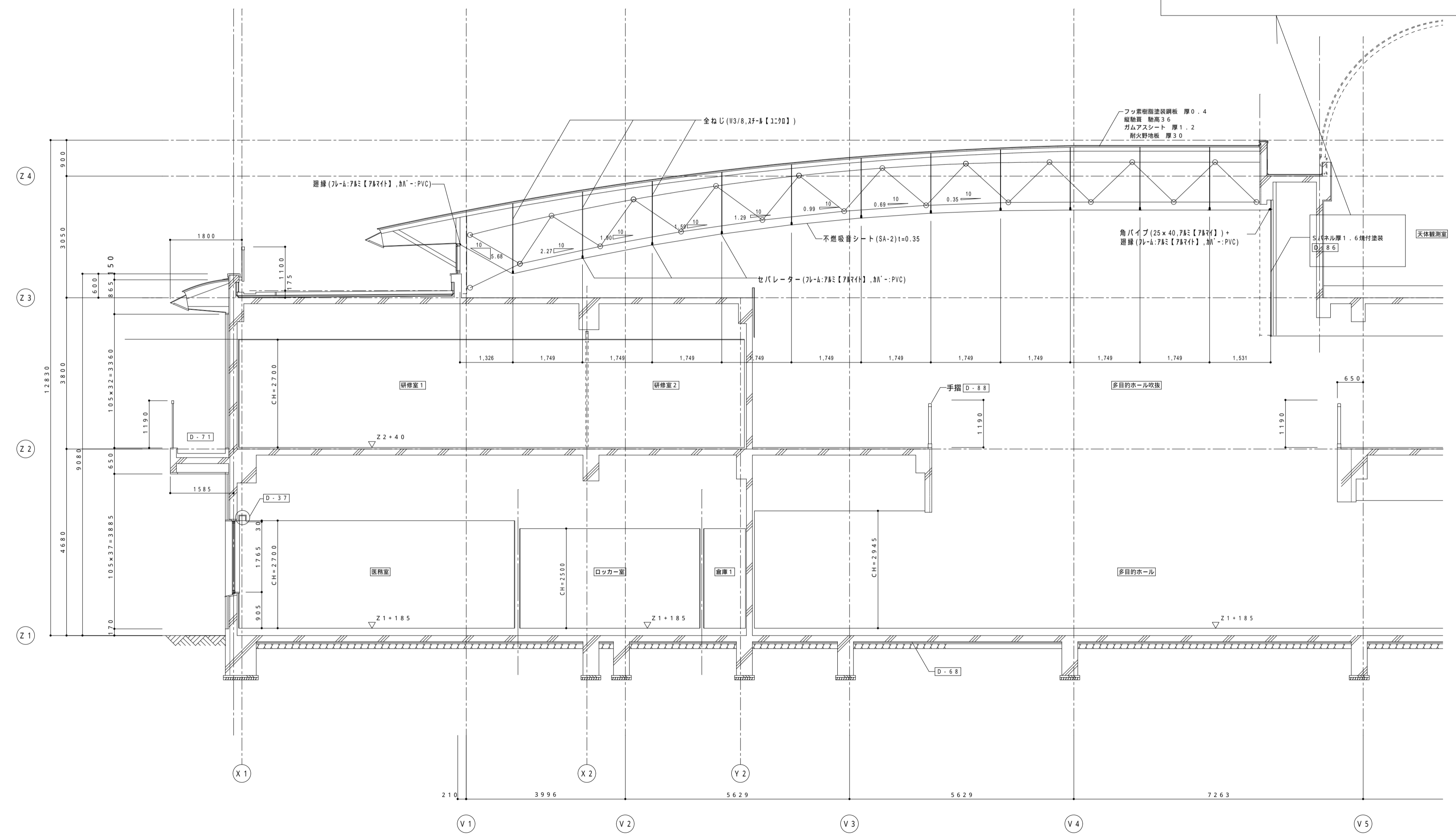
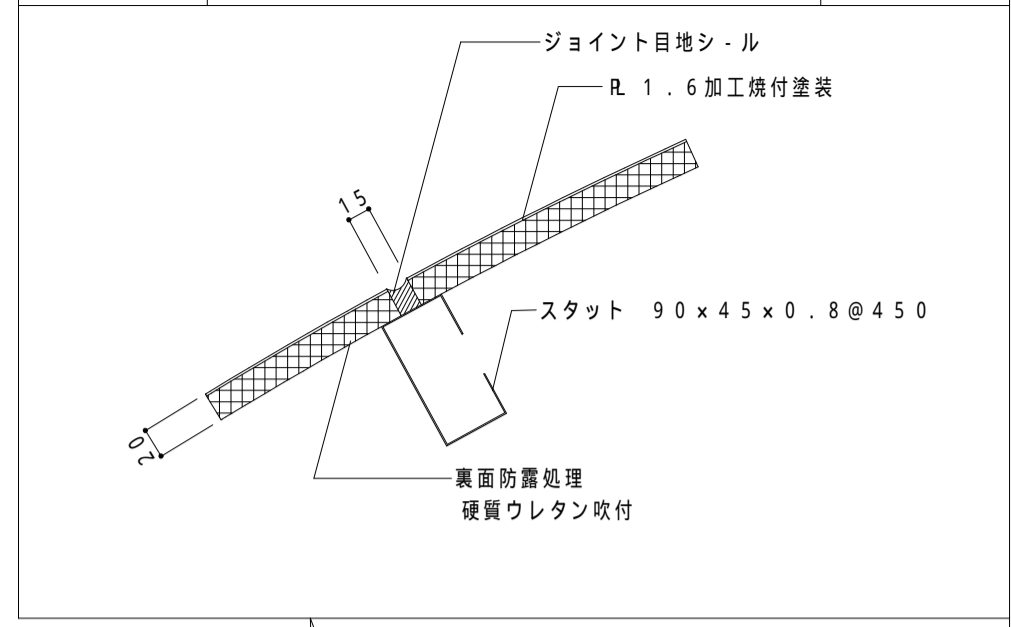
改修図



改修図

膜天井工事 断面図01 S: 1/75

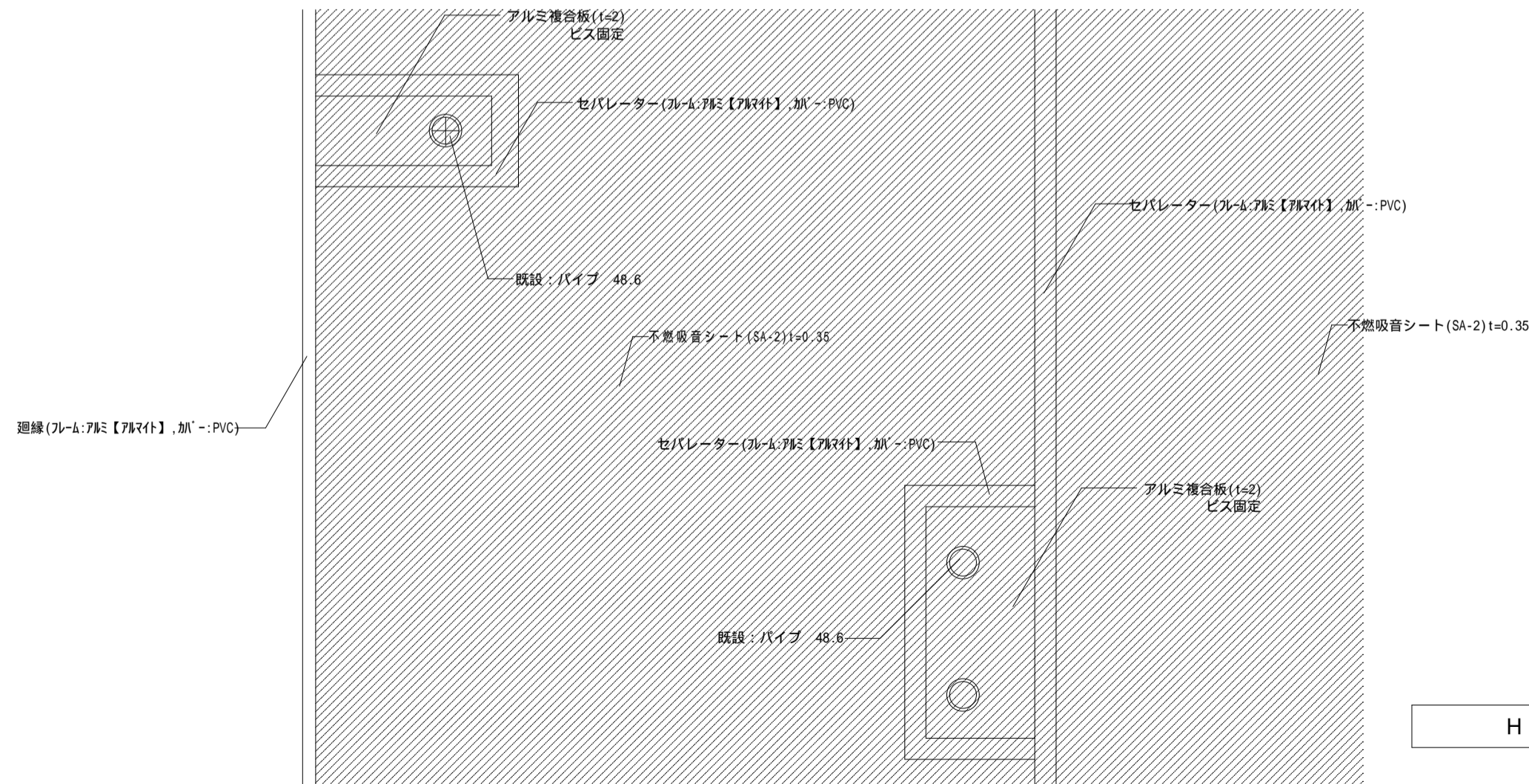
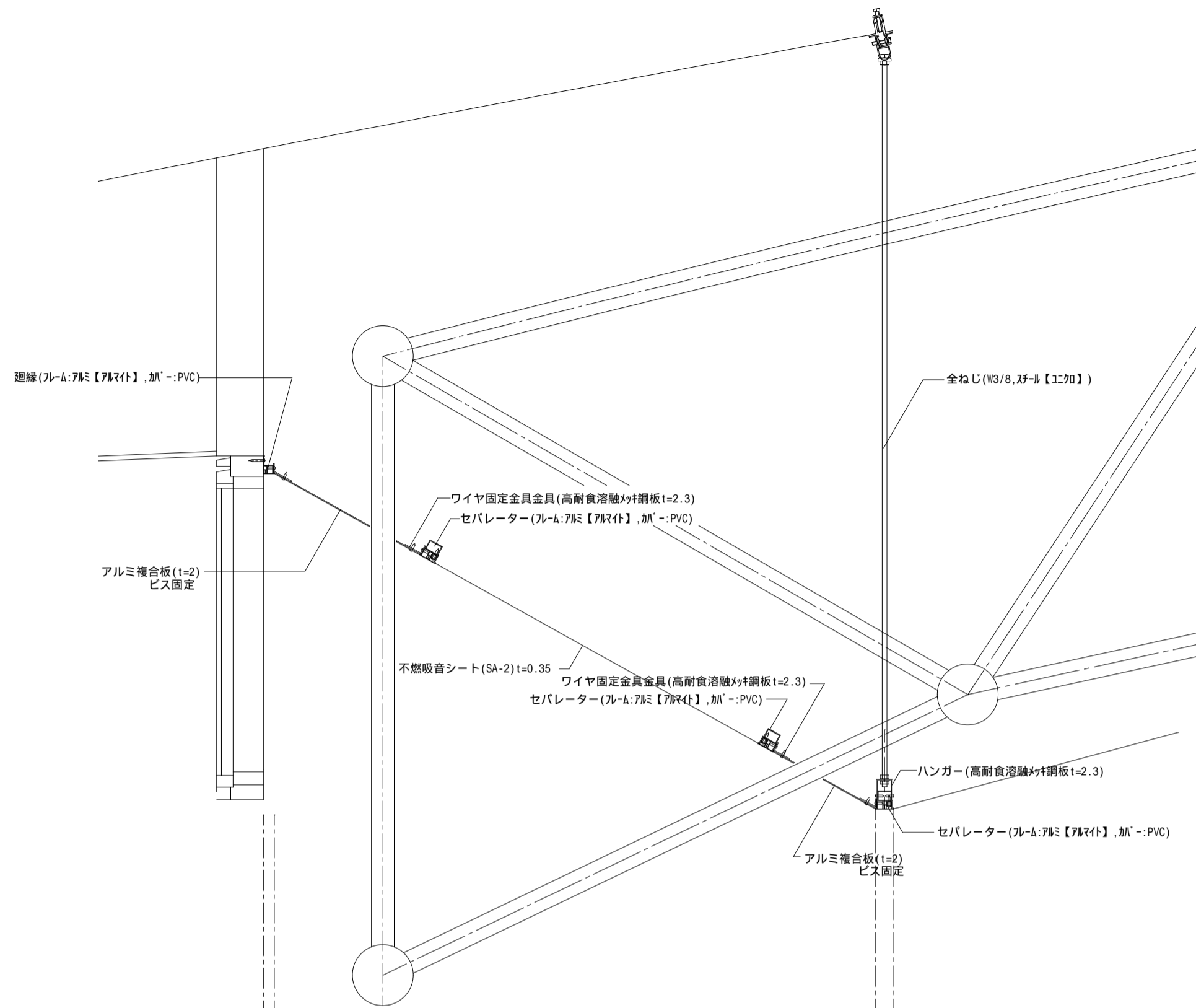
一級建築士事務所 事務所登録京都府知事(04A)第01606号 橋本一級建築デザイン事務所 〒611-0021 京都府宇治市宇治宇文字17-4クレセントハウス302 一級建築士登録 第299760号 橋本光生	作成日 2026/03	修正日	工事名 総合野外活動センター管理棟及び体育館非構造部材 耐震対策改修工事	図面番号 A-30
	検印	縮尺 1/75	図面名 膜天井工事 断面図01	



改修図

膜天井工事 断面図02 S : 1/75

一級建築士事務所 事務所登録京都府知事(04A)第01606号 橋本一級建築デザイン事務所 〒611-0021 京都府宇治市宇治宇文字17-4クレセントハウス302 一級建築士登録 第299760号 橋本光生	作成日 2026/03	修正日	工事名 総合野外活動センター管理棟及び体育館非構造部材 耐震対策改修工事	図面番号 A-31
	検印	縮尺 1/75	図面名 膜天井工事 断面図02	

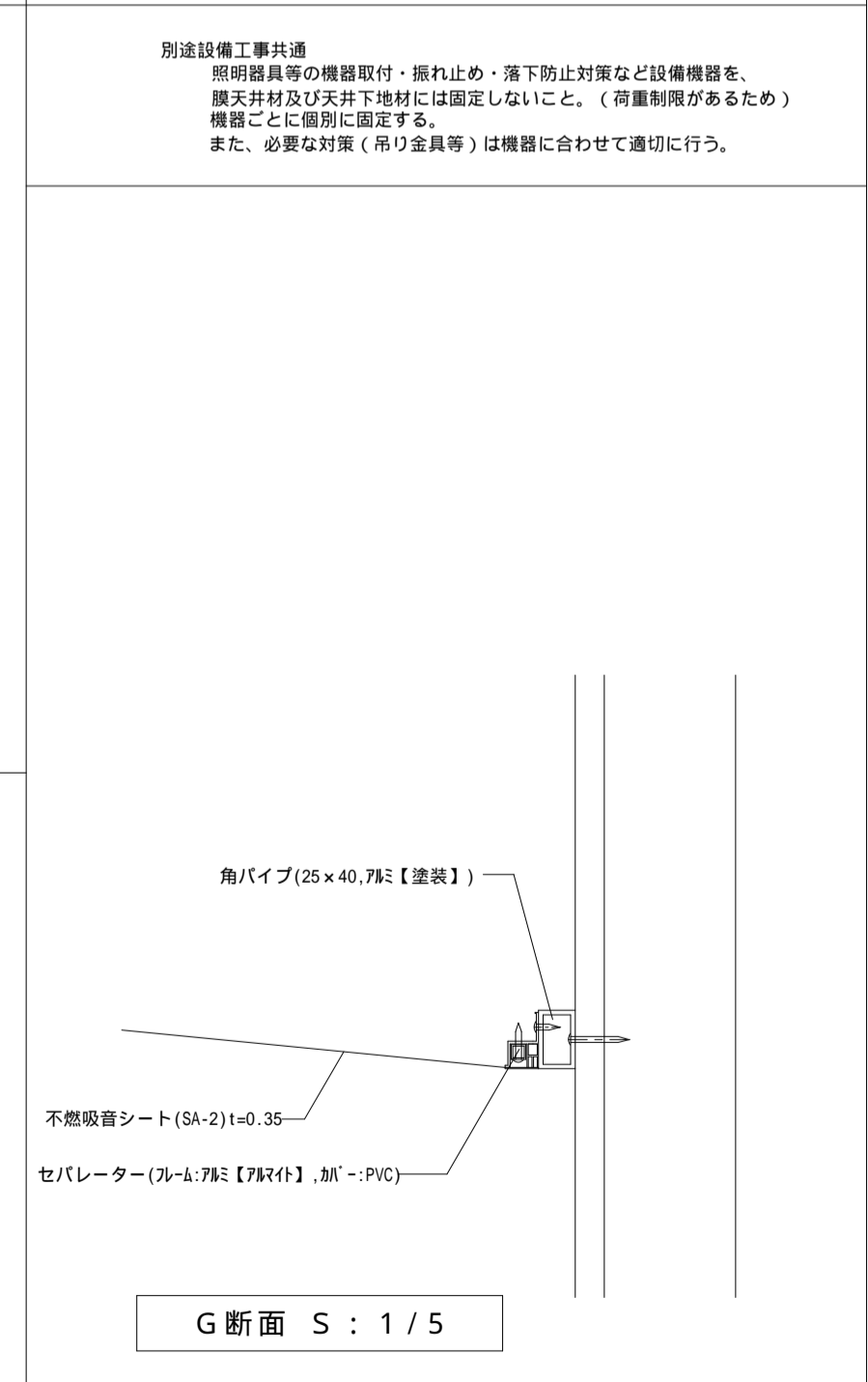
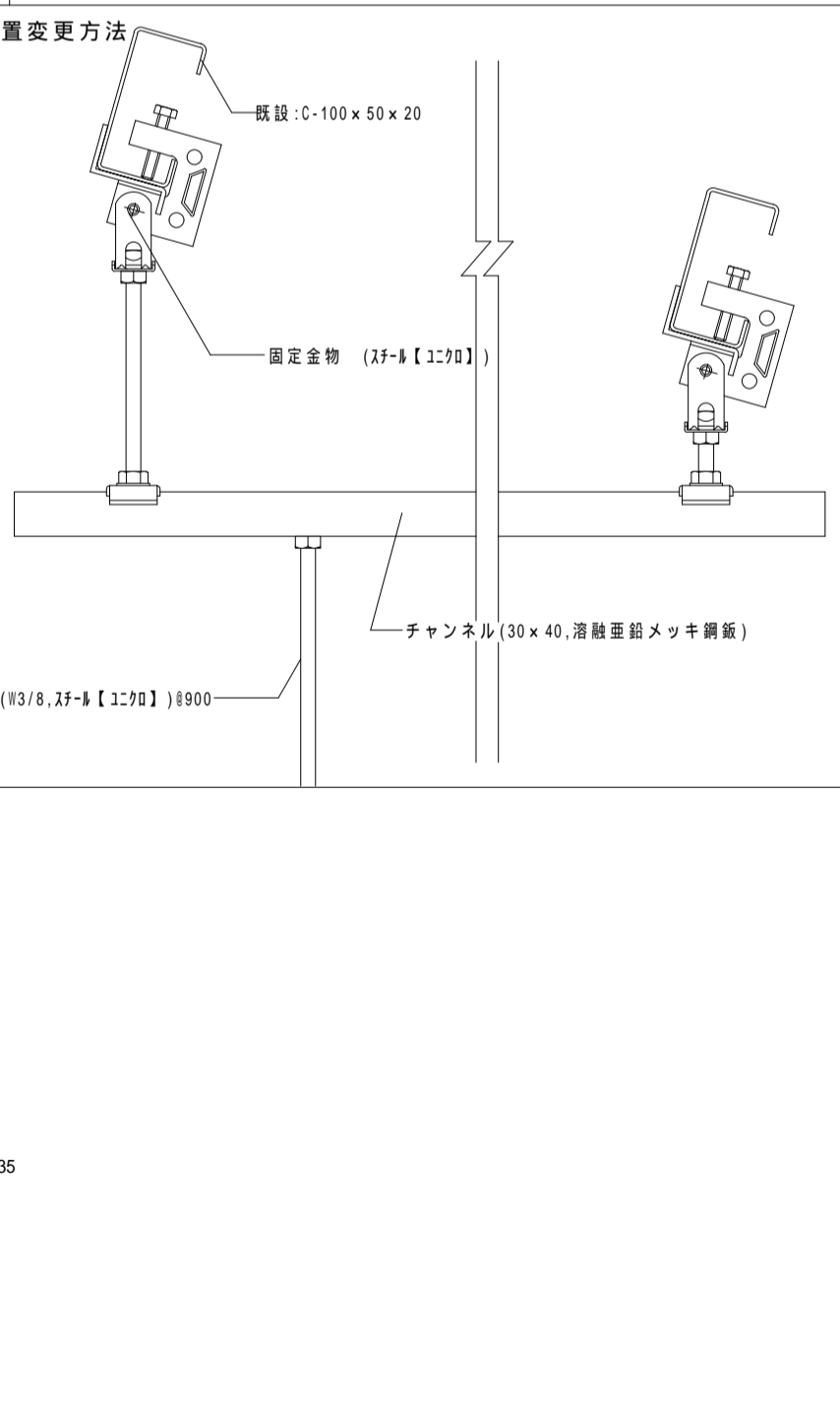
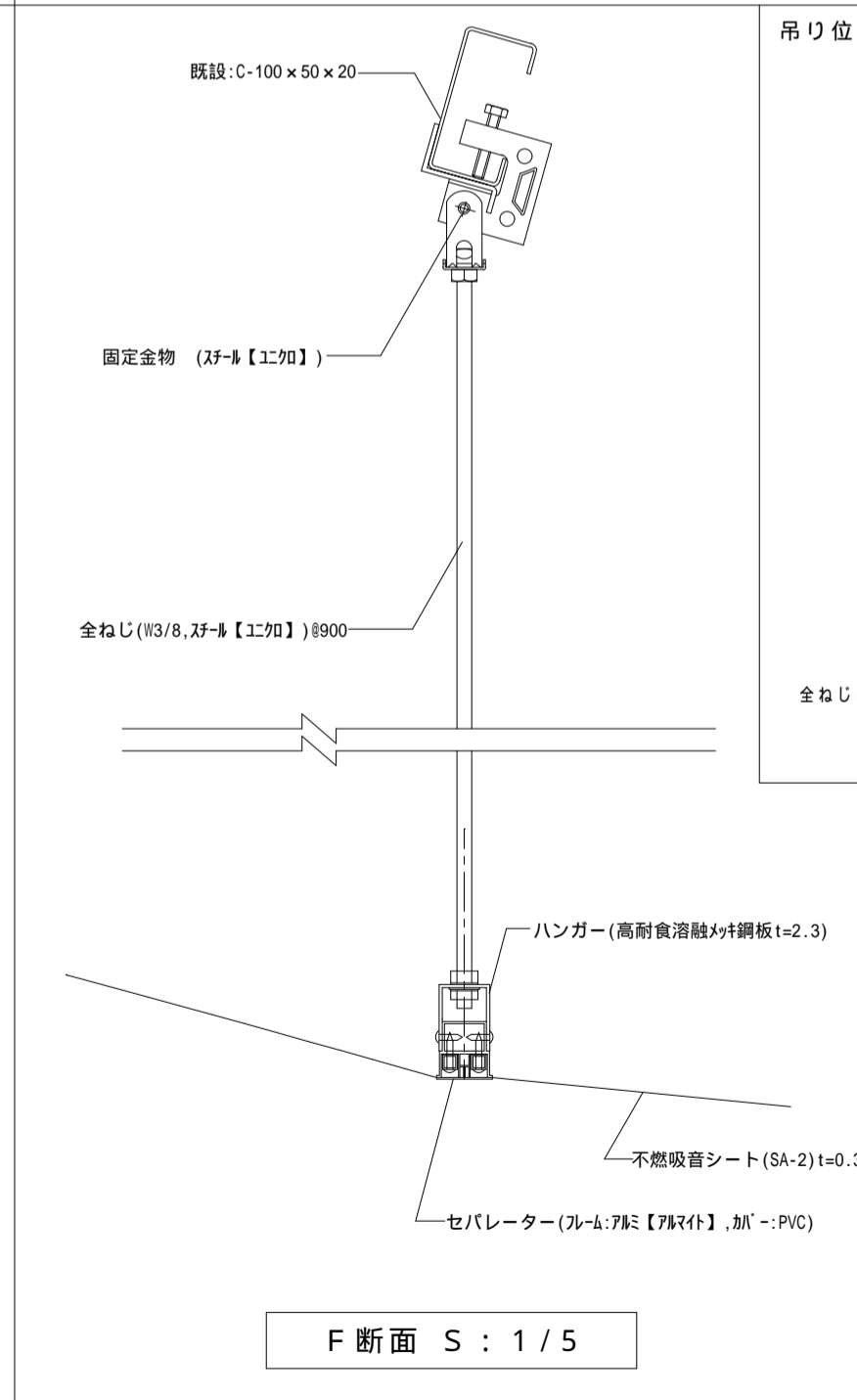
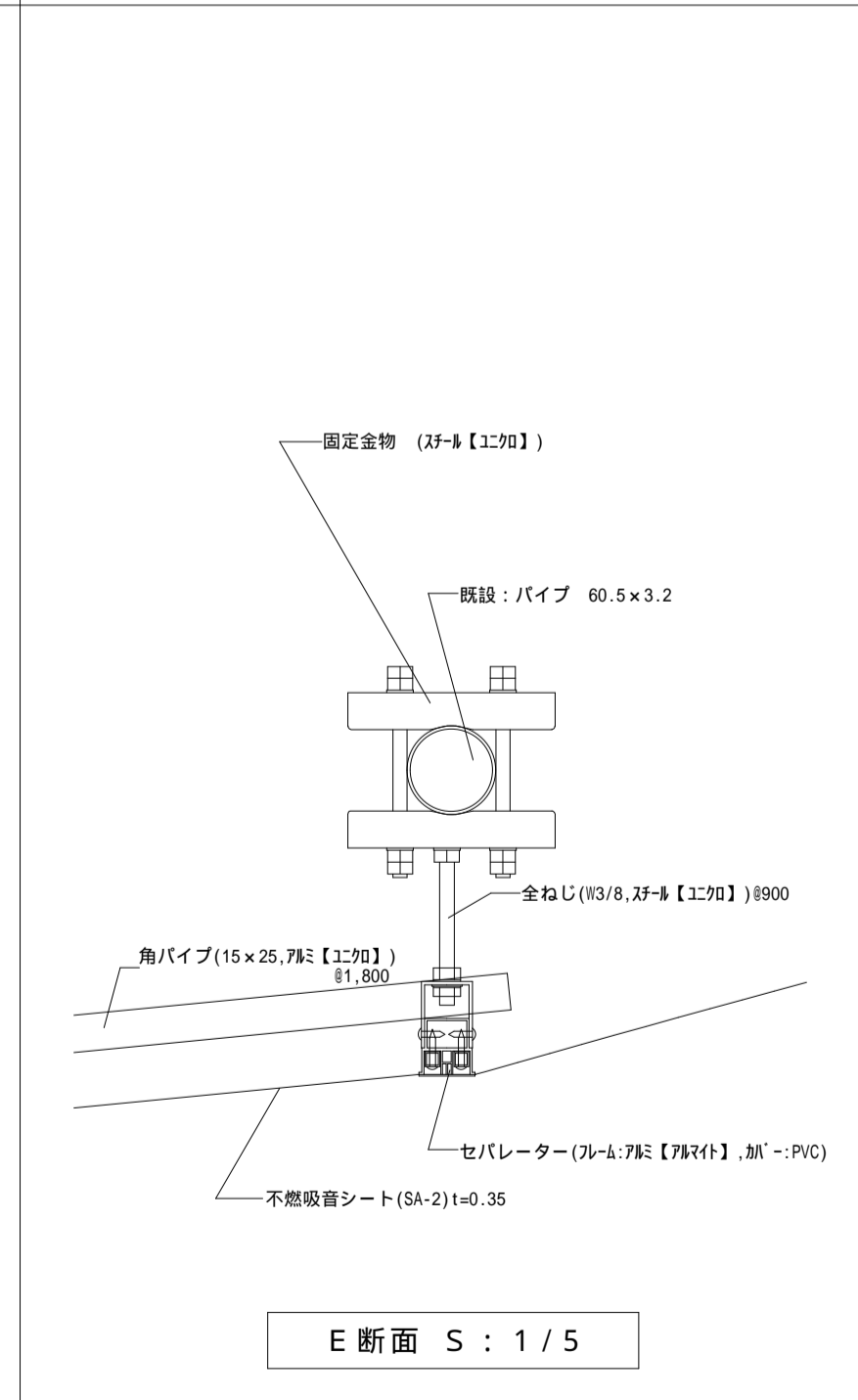
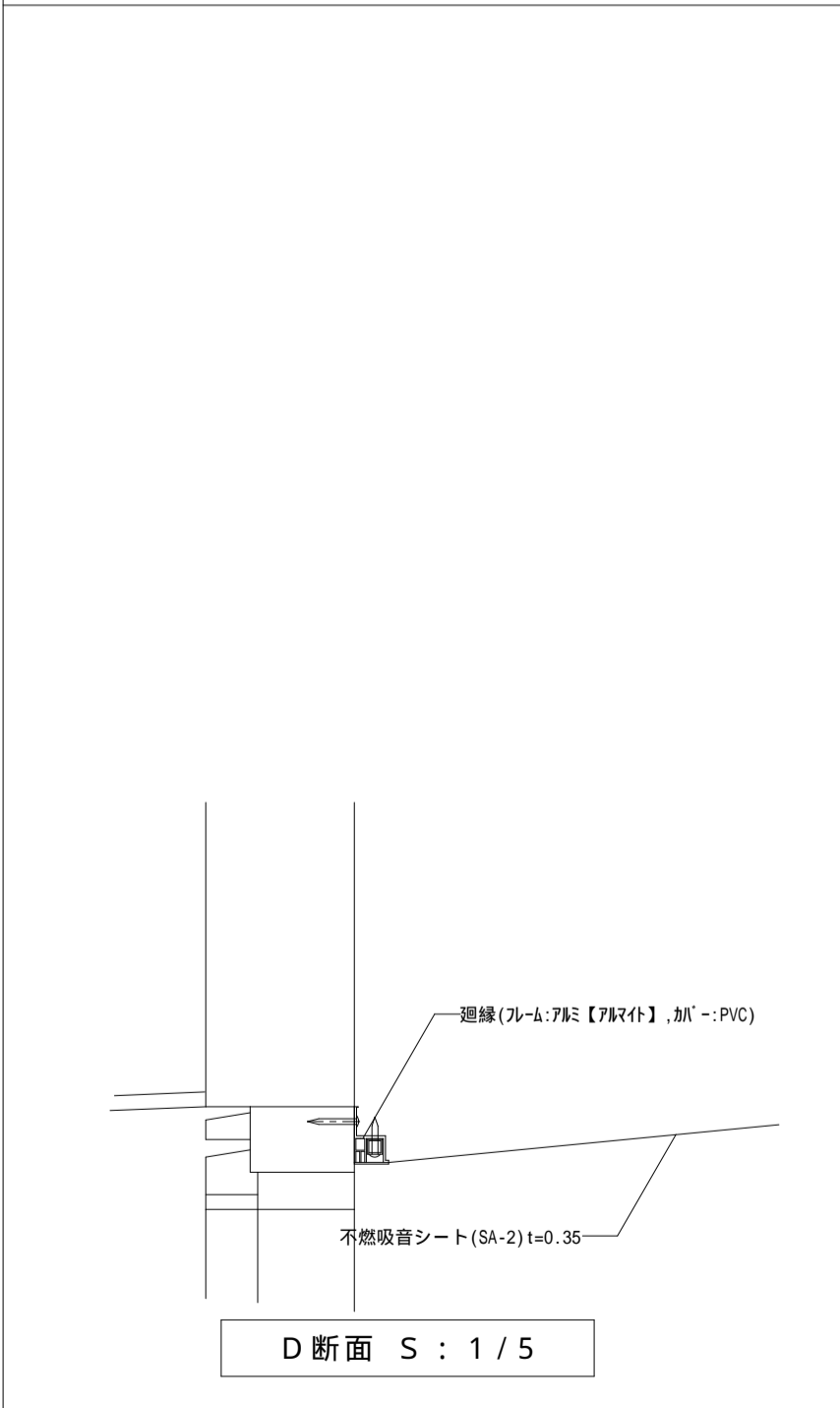
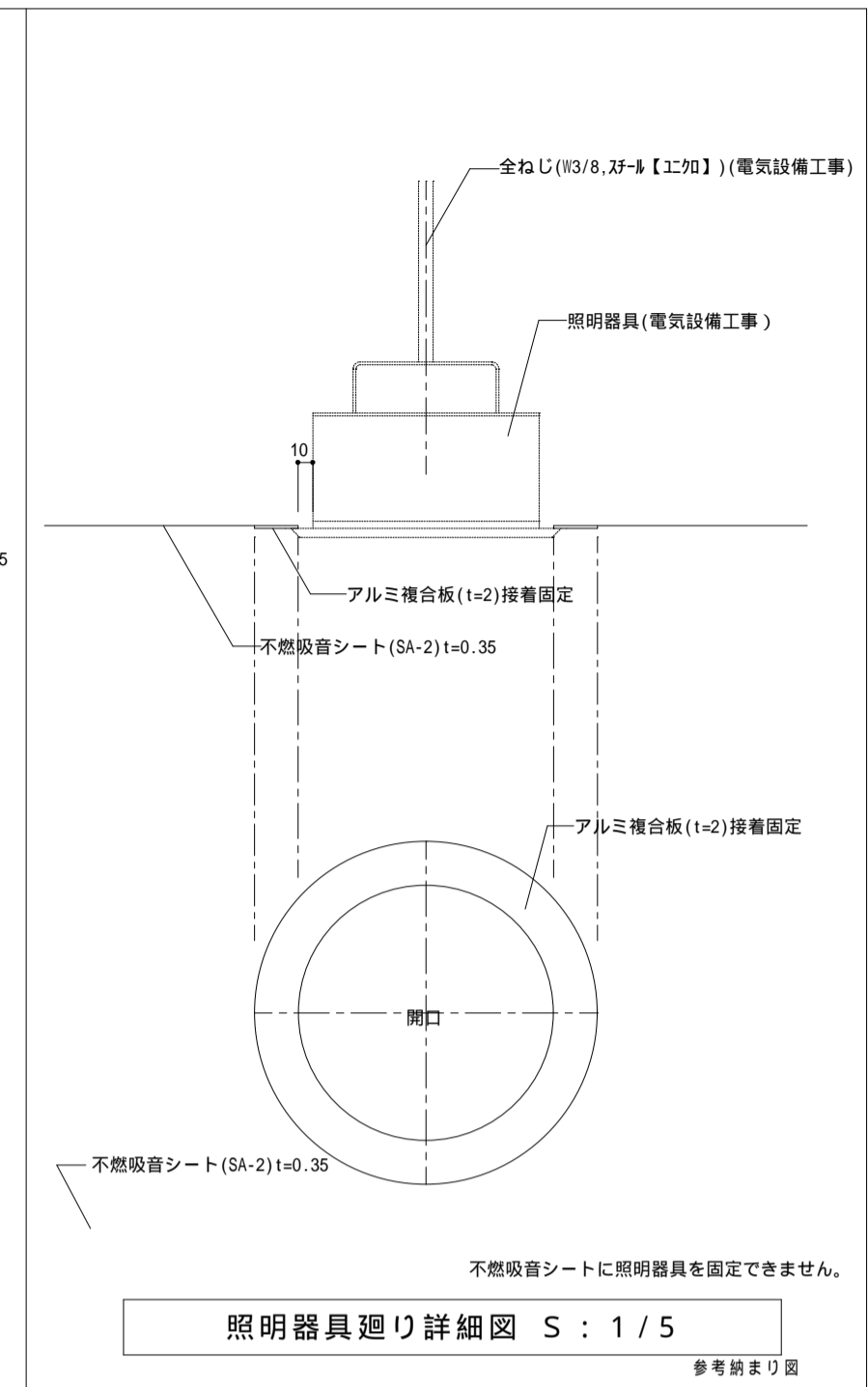
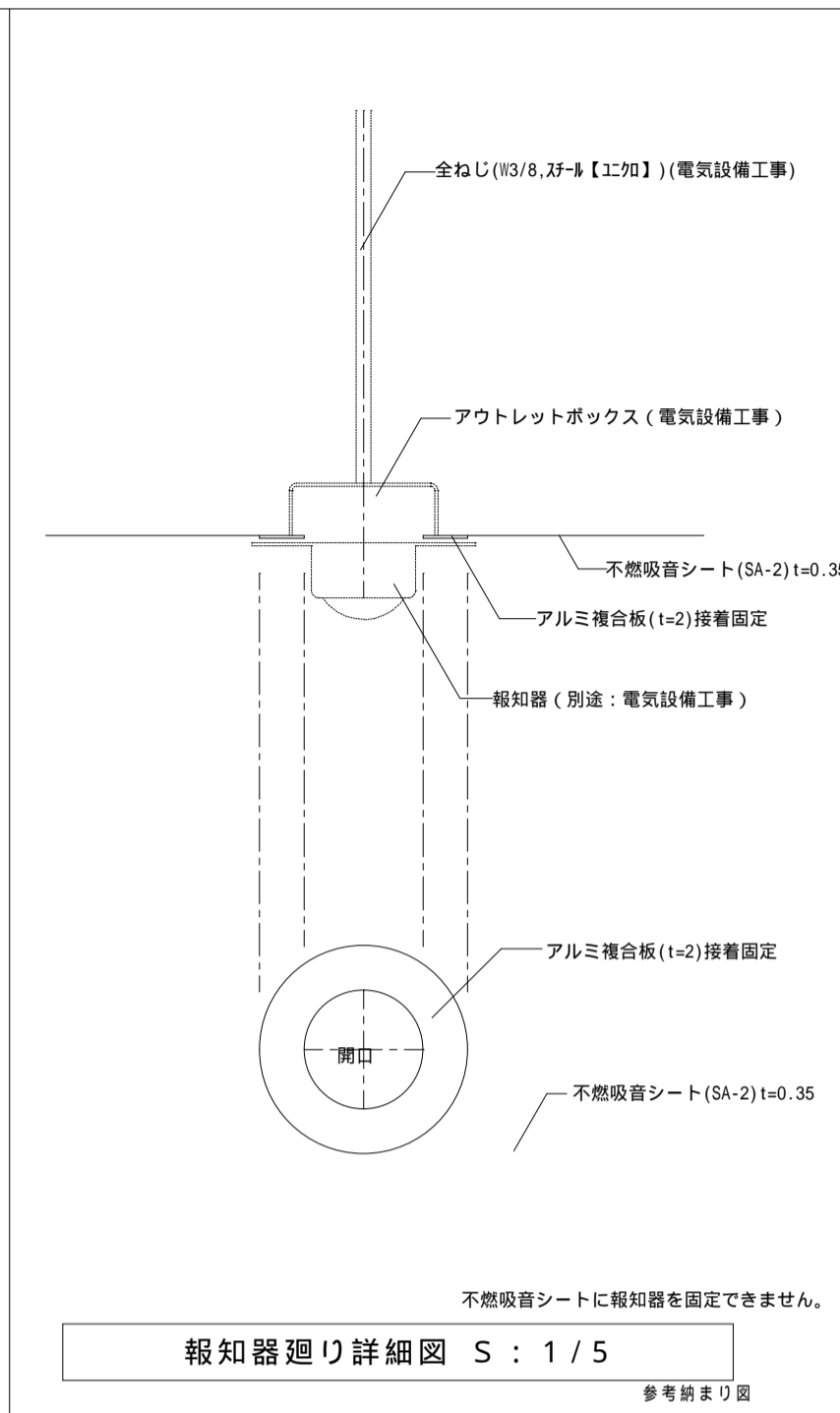
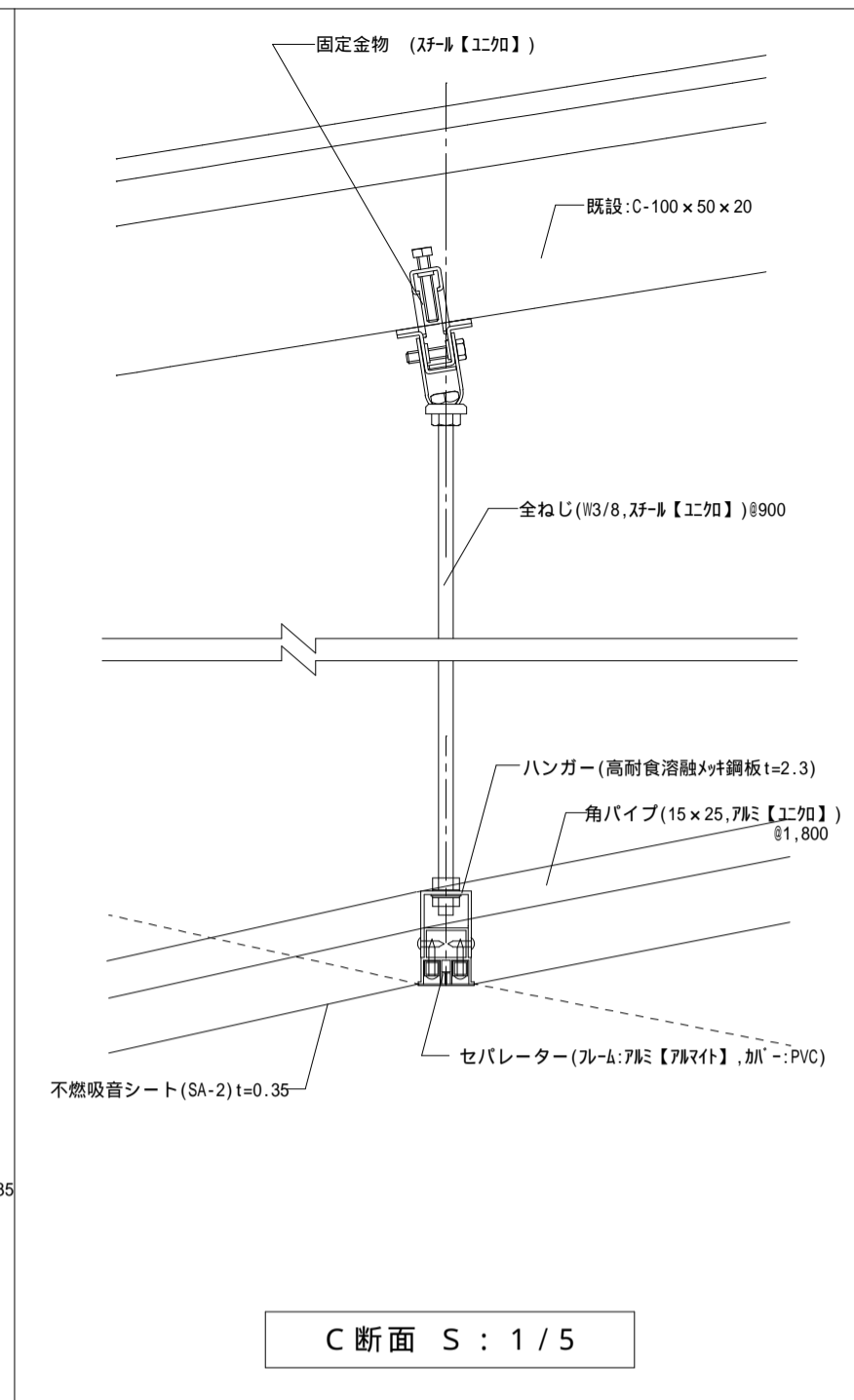
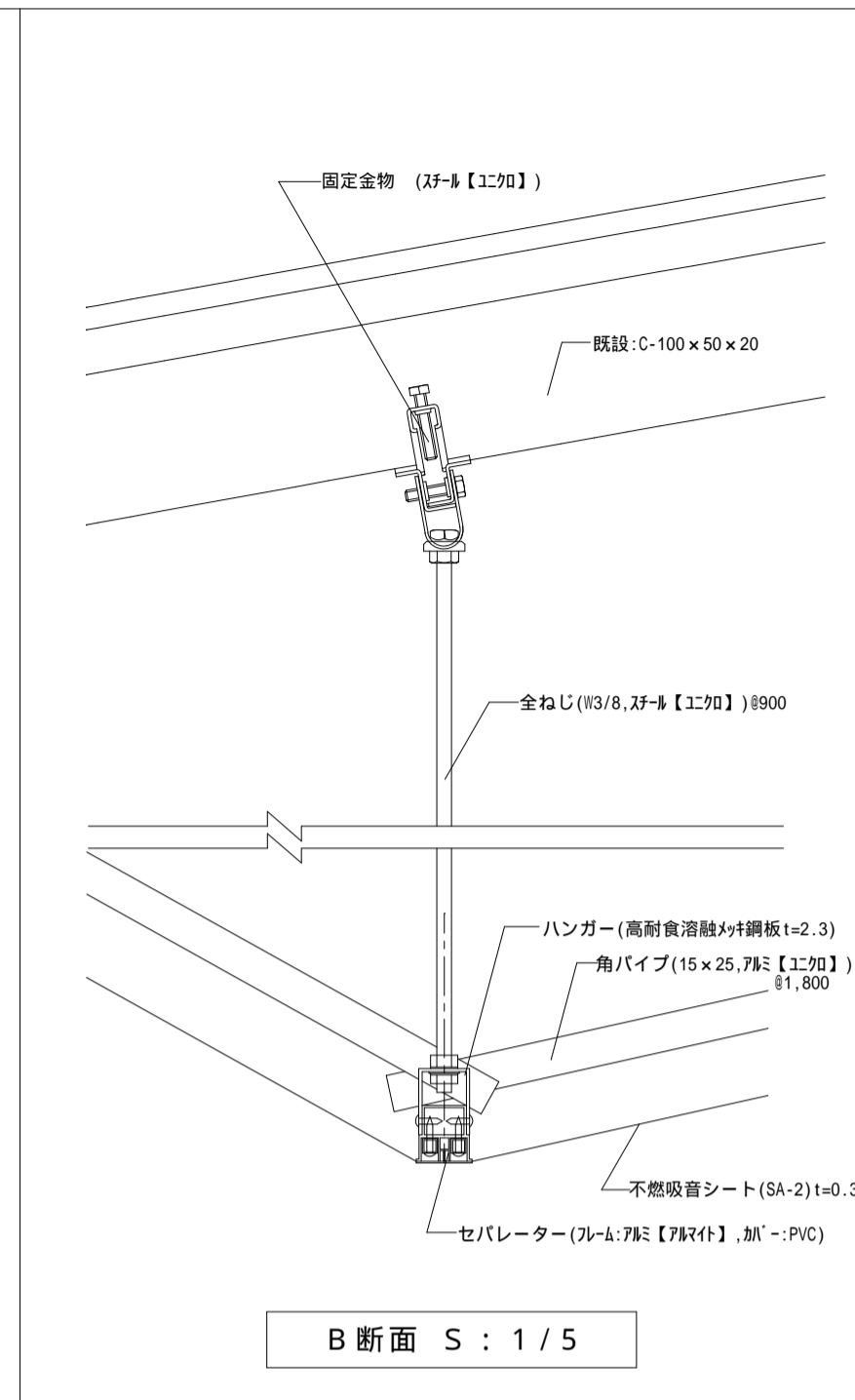
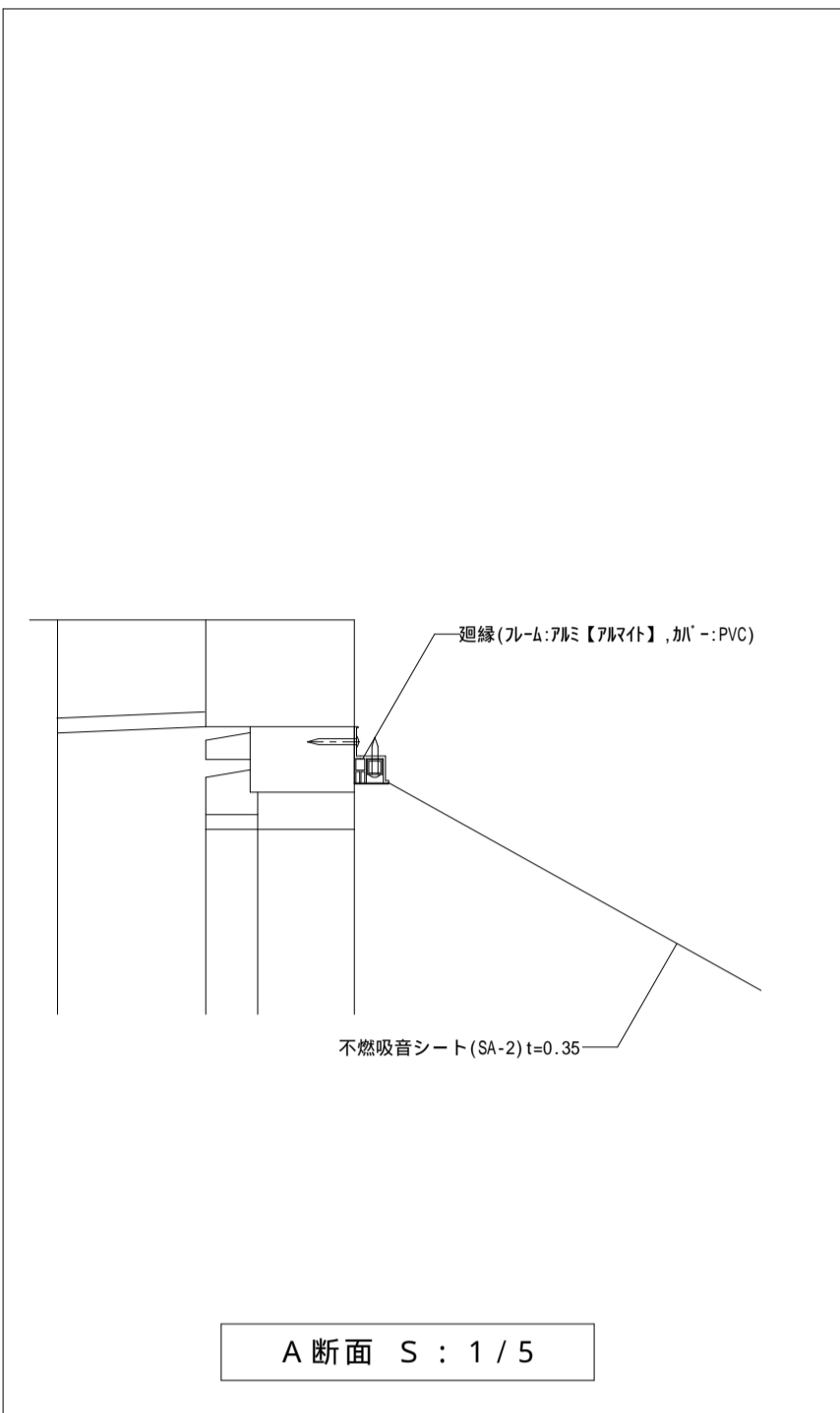


H部分 詳細図 S : 1 / 1 0

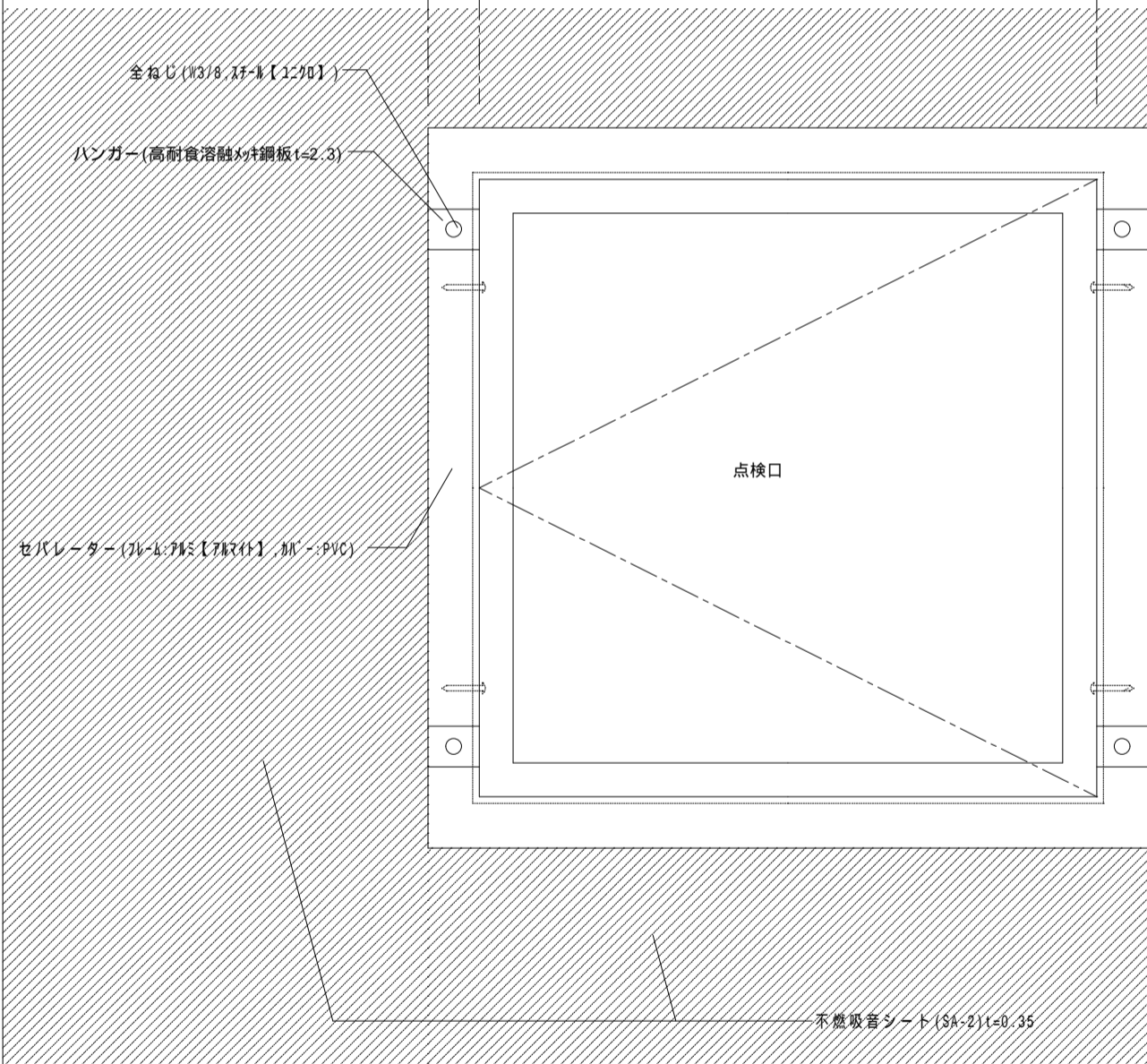
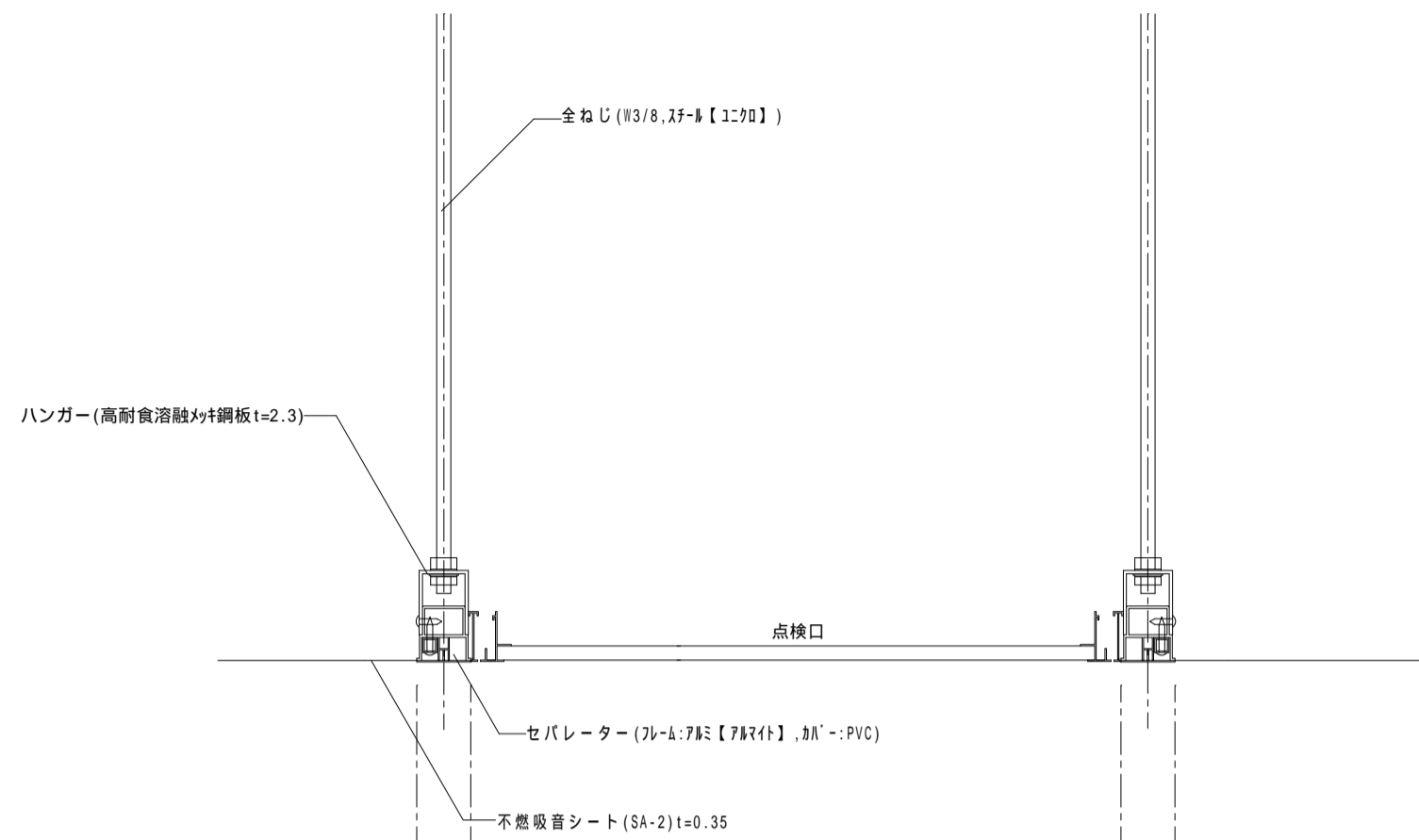
参考納まり図

改修図

	一級建築士事務所 事務所登録京都府知事 (04A) 第01606号	作成日	2026/03	修正日		工事名 総合野外活動センター管理棟及び体育館非構造部材 耐震対策改修工事	図面番号 A-32
	橋本一級建築デザイン事務所 〒611-0021 京都府宇治市宇治宇文字17-4クレセントハウス302 一級建築士登録 第299760号 橋本光生	検印		縮尺	1/10		

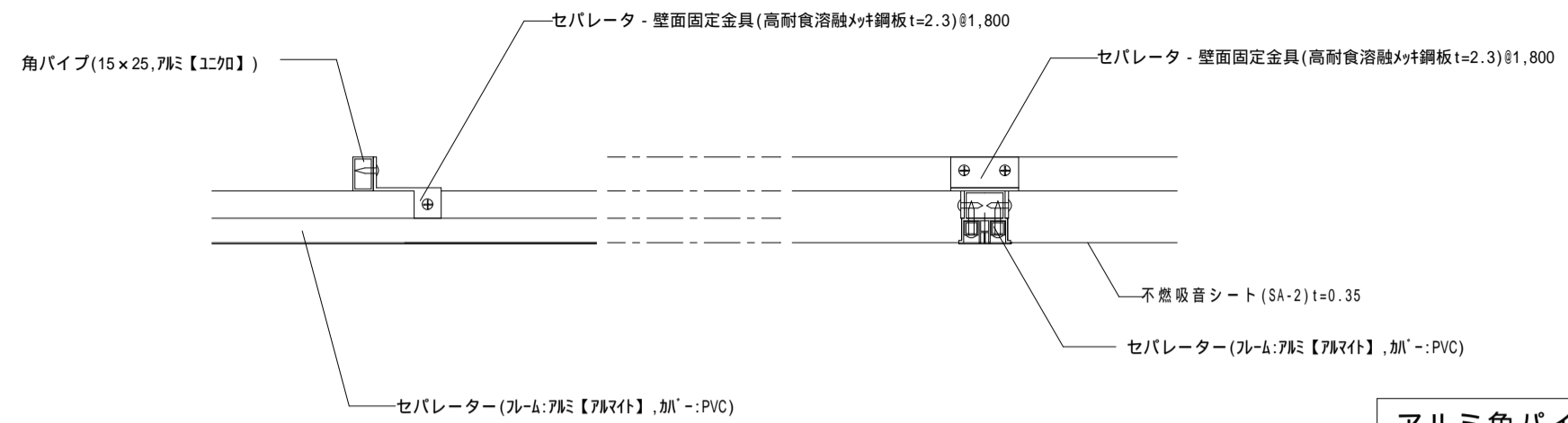


別途設備工事共通
 照明器具等の機器取付・握れ止め・落下防止対策など設備機器を、
 膜天井材及び天井下地材には固定しないこと。(荷重制限があるため)
 機器ごとに個別に固定する。
 また、必要な対策(吊り金具等)は機器に合わせて適切に行う。

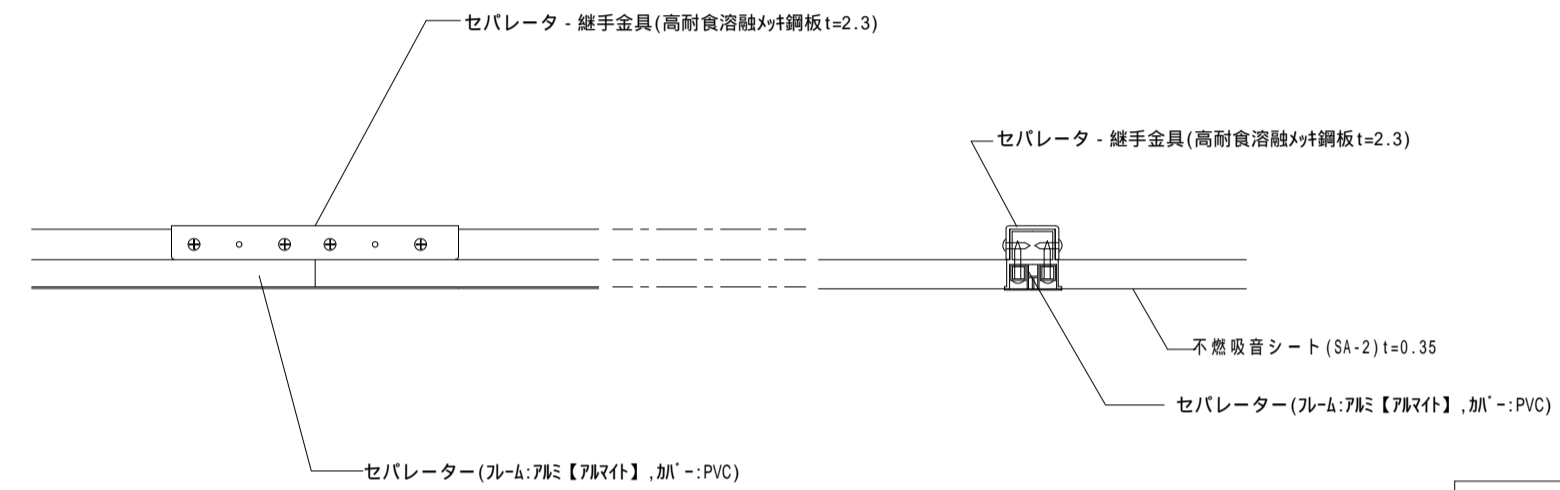


点検口廻り詳細図 S : 1 / 5

参考図あり



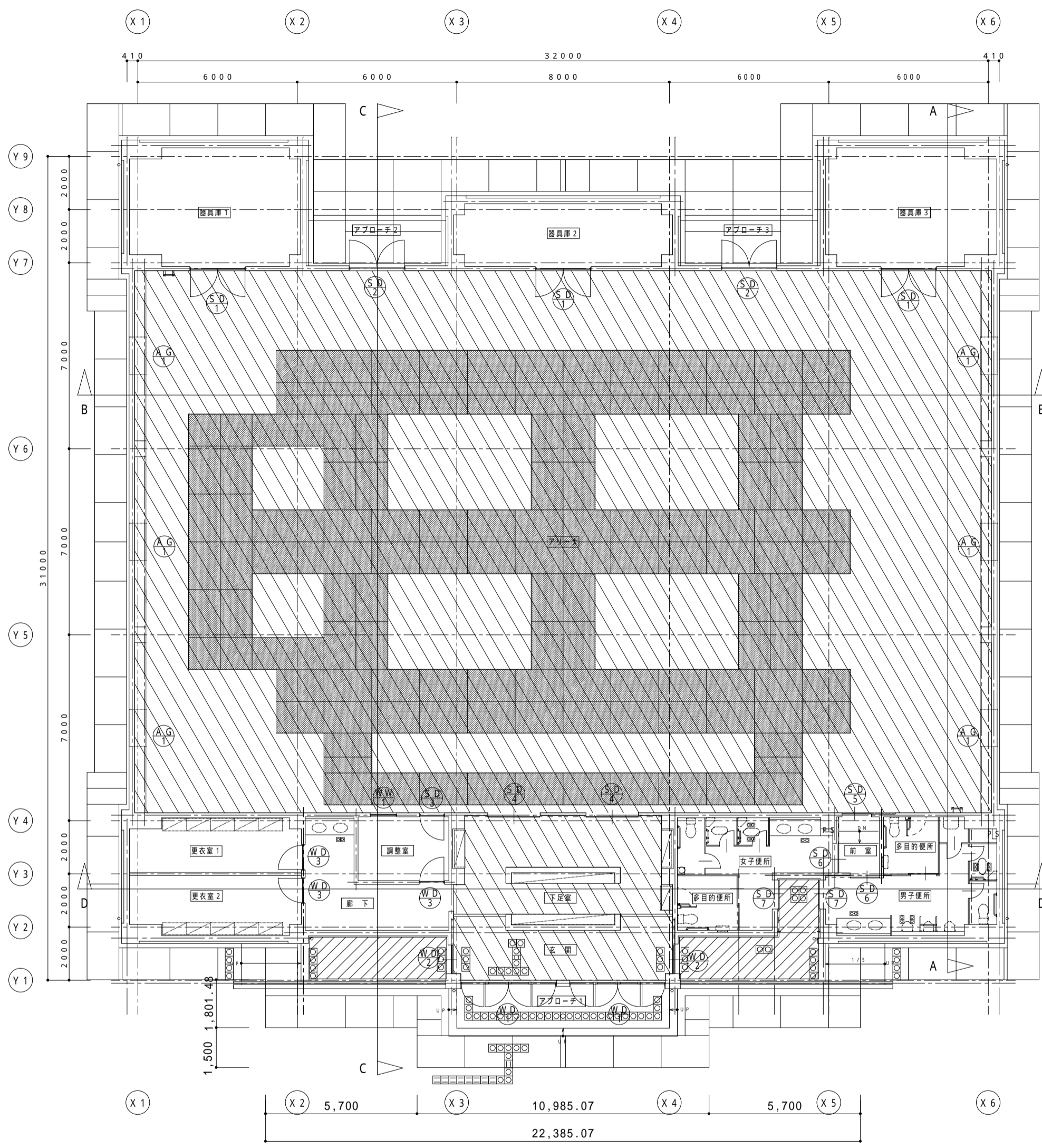
アルミ角パイプ15 x 25固定部分 S : 1 / 5



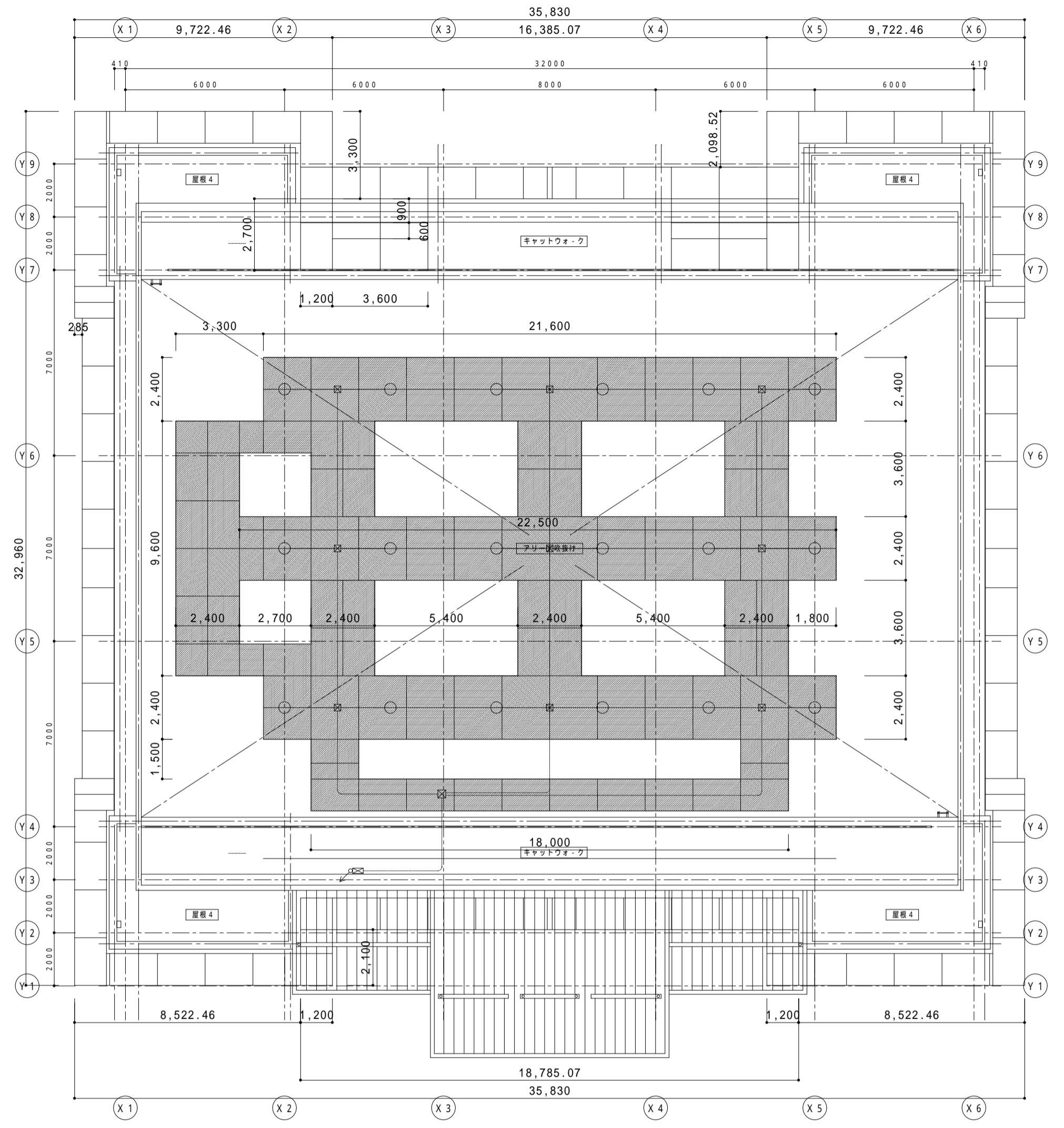
セバレータ継手金具固定部分 S : 1 / 5

部材リスト

廻縁ベース	セバレータベース	天井固定用廻縁ベース	ハンガー	ワイヤ固定金具	セバレータ壁面固定金具
<p>材質: アルミ</p>	<p>材質: アルミ</p>	<p>材質: アルミ</p>	<p>材質: 高耐食溶融メッキ鋼板 板厚2.3mm</p>	<p>材質: 高耐食溶融メッキ鋼板 板厚2.3mm</p>	<p>材質: 高耐食溶融メッキ鋼板 板厚2.3mm</p>
廻縁カバー	セバレータカバー	シート押え	セバレータ仕口金具	セバレータ継手金具	
<p>材質: PVC</p>	<p>材質: PVC</p>	<p>材質: PVC</p>	<p>材質: 高耐食溶融メッキ鋼板 板厚2.3mm</p>	<p>材質: 高耐食溶融メッキ鋼板 板厚2.3mm</p>	

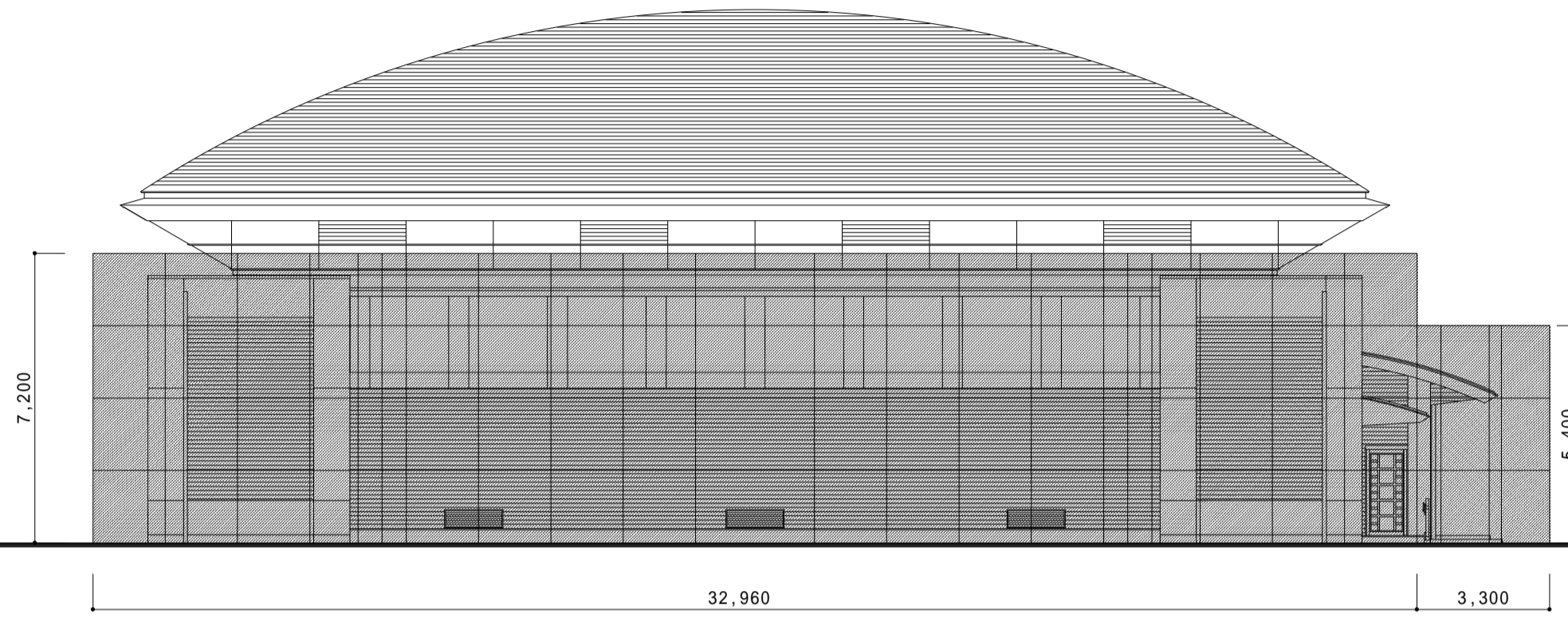


1階平面図 S : 1 / 1 5 0

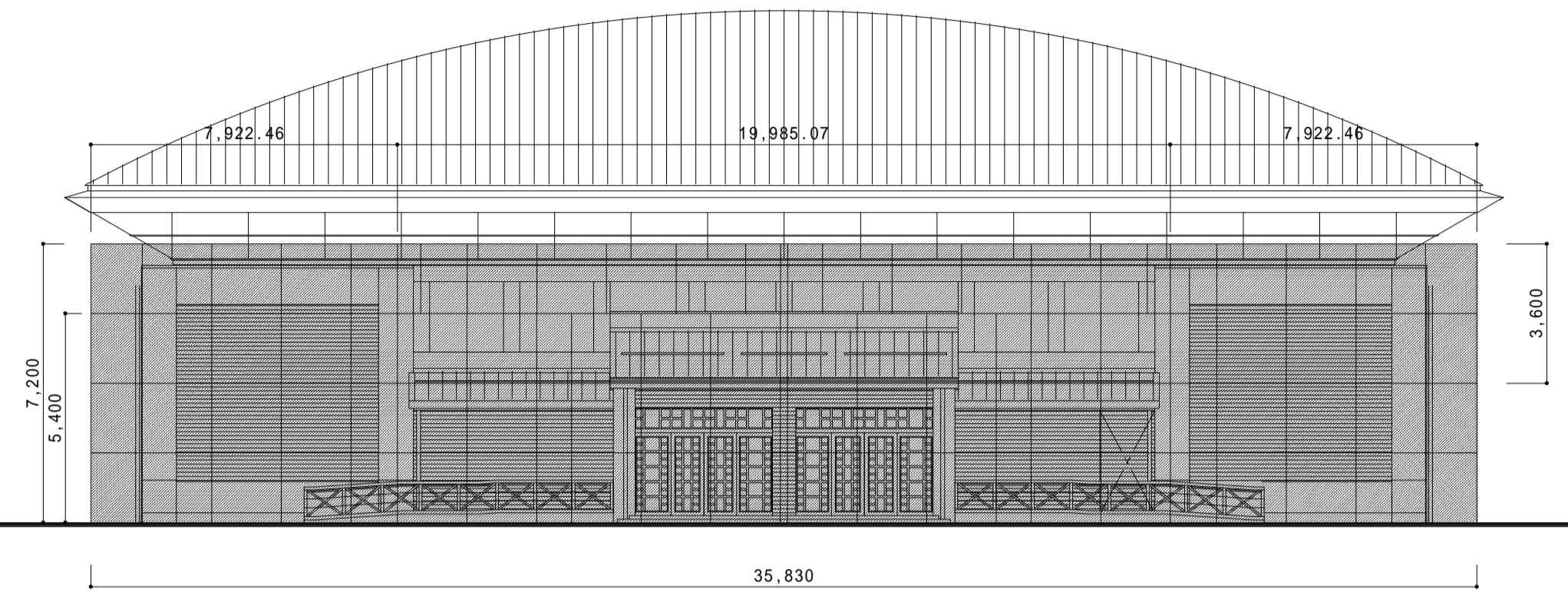


2階平面図 S : 1 / 1 5 0

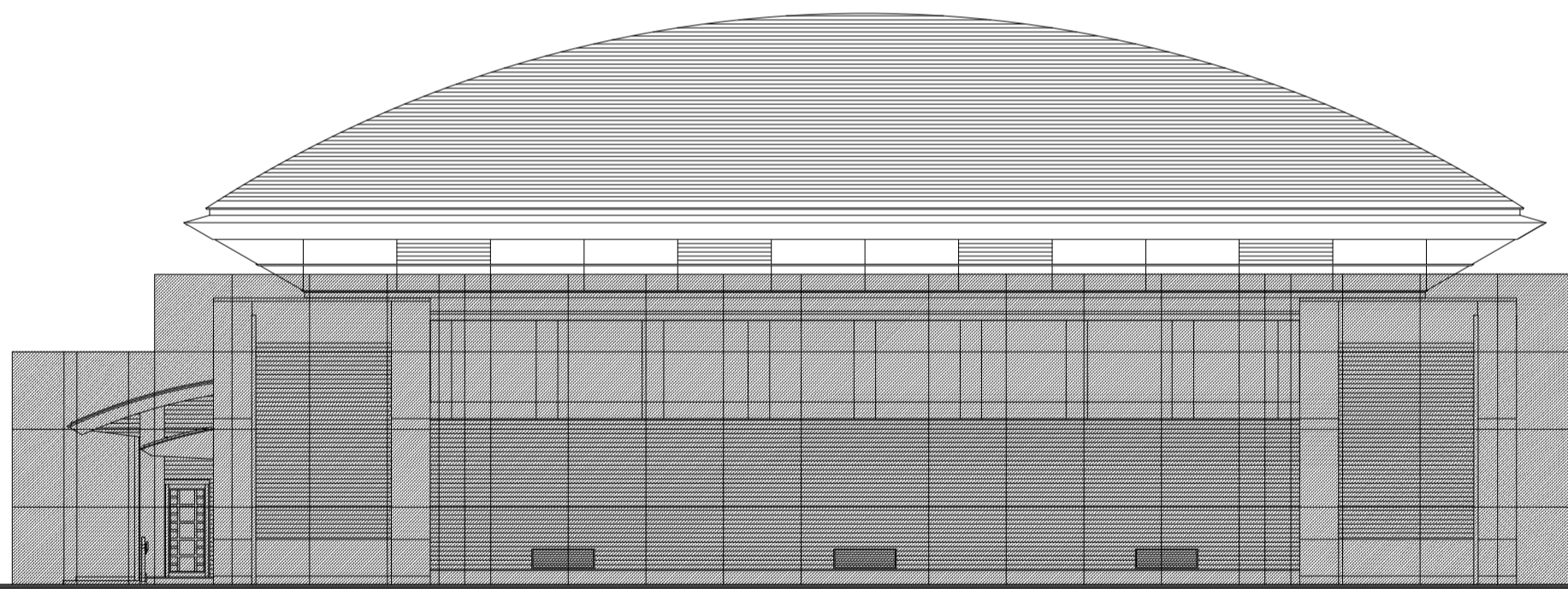
枠組本足場手すり先行方式W = 1,200 900 600
 アリーナ内部、枠組本足場手すり先行方式W = 1,200
 脚立足場
 床養生：ビニルシートの上プラベニヤ等による養生



東立面図 S : 1 / 5 0



北立面図 S : 1 / 5 0



西立面図 S : 1 / 5 0



南立面図 S : 1 / 5 0

枠組本足場手すり先行方式 W = 1,200 900 600

養生シート張り(防災 類)

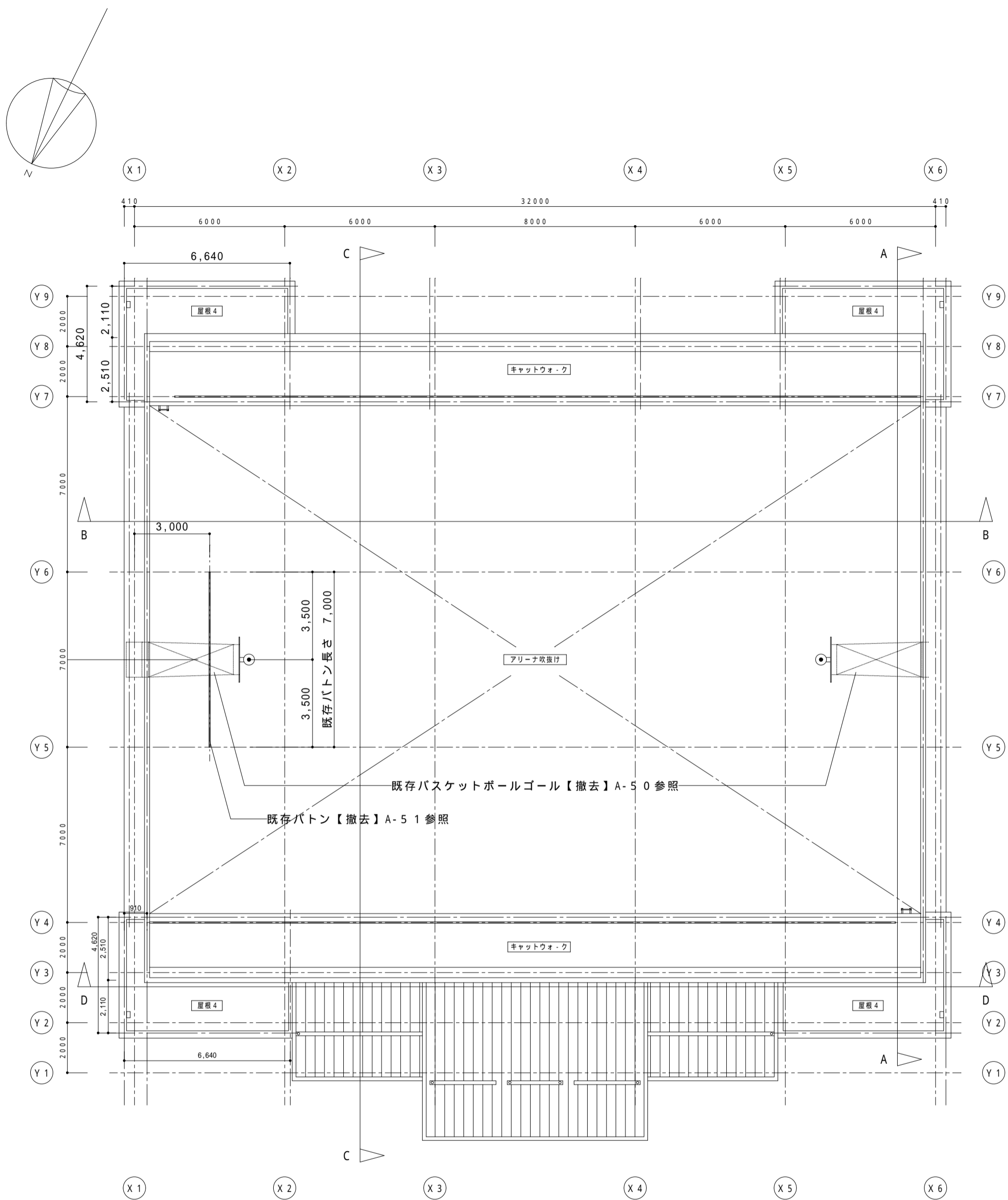
脚立足場

床養生 : ビニルシートの上プラベニヤ等による養生

一級建築士事務所 事務所登録京都府知事(04A)第01606号
橋本一級建築デザイン事務所
 〒611-0021 京都府宇治市宇治宇文字17-4クレセントハウス302
 一級建築士登録 第299760号 橋本光生

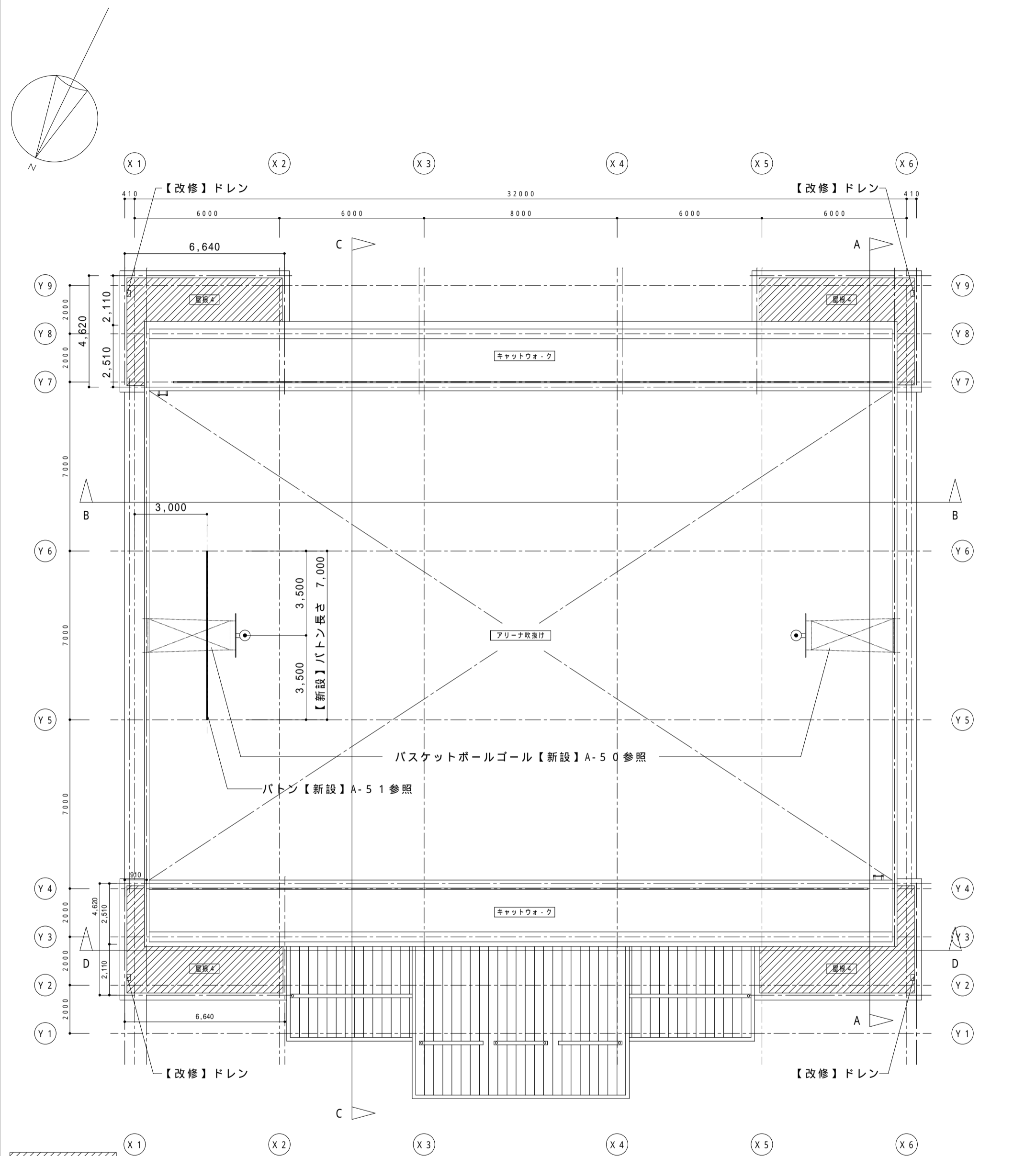
作成日	2026/03	修正日	
検印		縮尺	1/150

工事名	総合野外活動センター管理棟及び体育館非構造部材耐震対策改修工事	図面番号	A-36
図面名	屋内運動場 立面図 仮設計画図(参考図)		



2階平面図 S : 1 / 1 5 0

撤去図

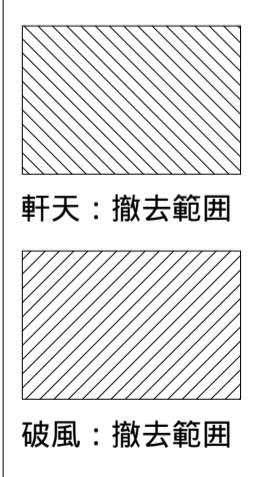
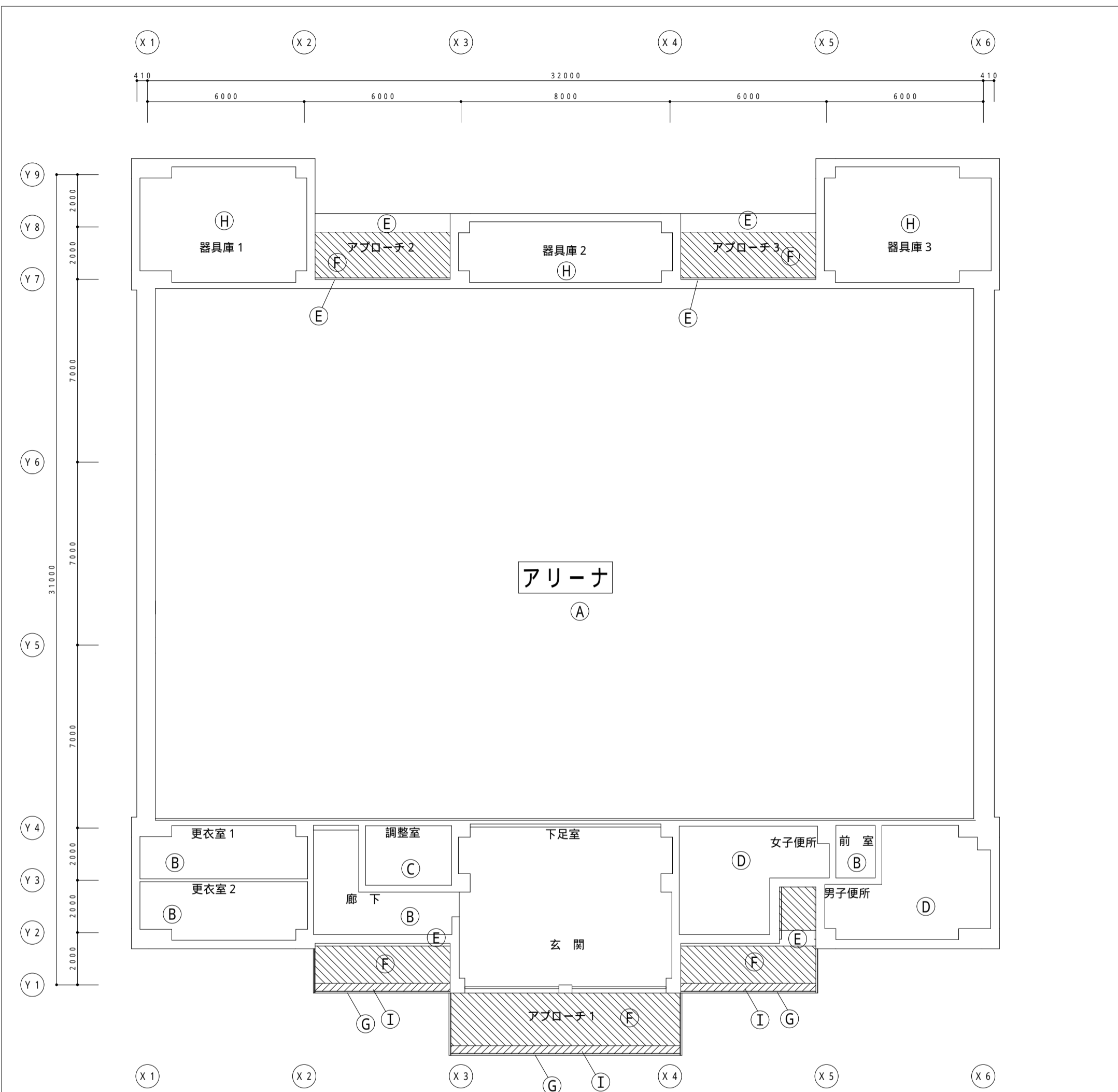


2階平面図 S : 1 / 1 5 0

改修図

塗膜防水改修範囲
 防水下地高圧洗浄・ケレン掛け清掃含む
 2成分型アクリルゴム系塗膜防水：
 アロンコートSQ-S同等品 X-2工法
 改修用ドレン取付：4か所

一級建築士事務所 事務所登録京都府知事(04A)第01606号 橋本一級建築デザイン事務所 〒611-0021 京都府宇治市宇治宇文字17-4クレセントハウス302 一級建築士登録 第299760号 橋本光生	作成日 2026/03	修正日	工事名 総合野外活動センター管理棟及び体育館非構造部材 耐震対策改修工事	図面番号 A-37
	検印	縮尺 1/150	図面名 屋内運動場 2階平面図(撤去図・改修図)	

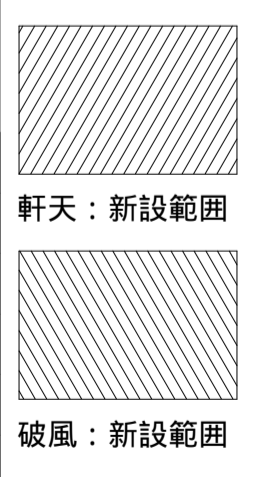
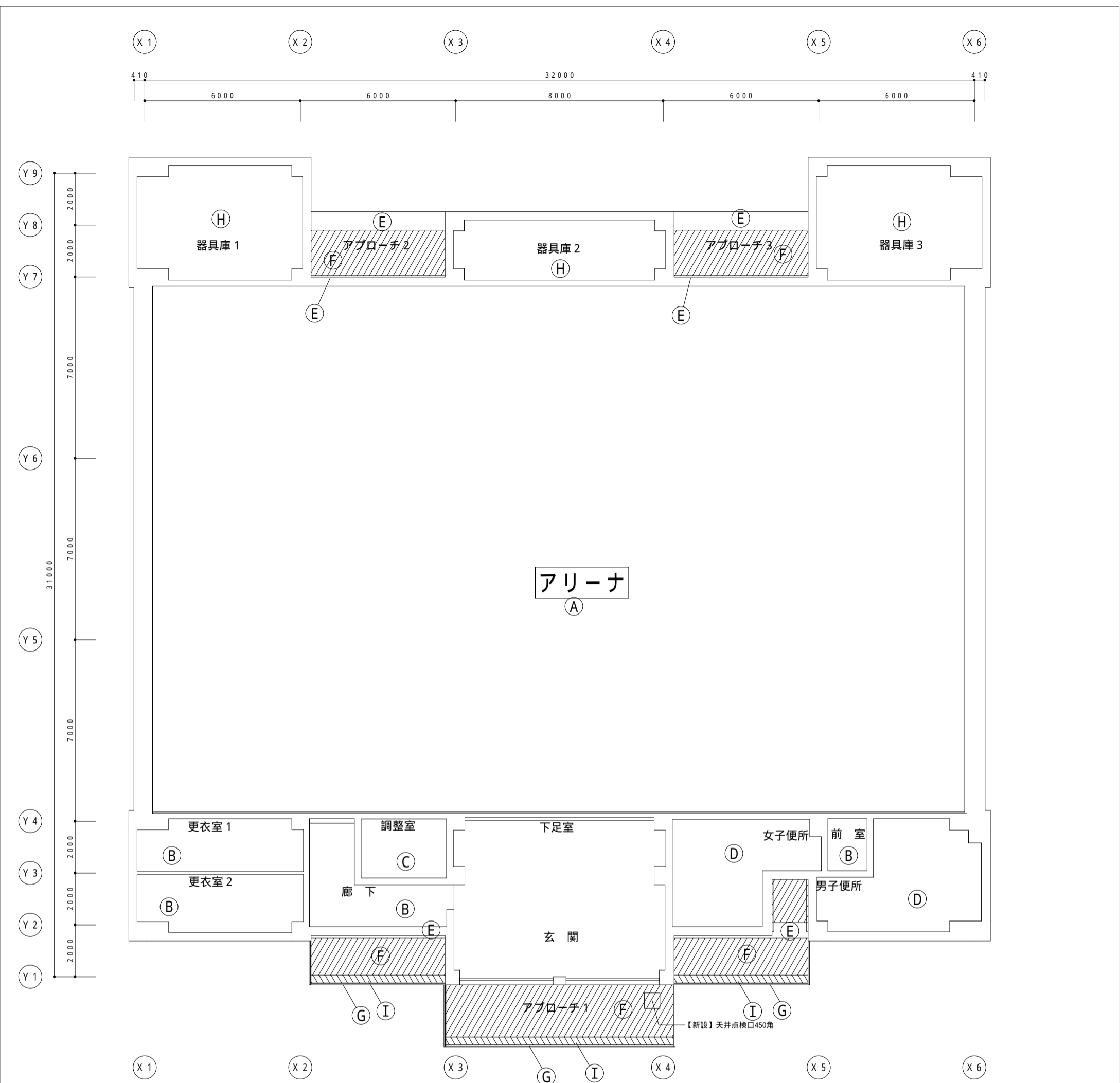


現状図

天井伏図 S : 1 / 1 5 0

既存・撤去 天井仕上げ凡例

記号	仕 上
(A)	立体トラス塩ビ目シート貼り ロックウール吸音板貼り木毛板 厚30
(B)	P B 厚12.5 ビニルクロス貼
(C)	G A B 厚12
(D)	A S B 厚6 V E
(E)	化粧型枠コンクリート打放し 撥水材塗布
(F)	ケイ酸カルシウム板 厚4+4 A E P【既存撤去】
(G)	ガルバリウム鋼板 厚0.4
(H)	化粧P B 厚12.5
(I)	米松 厚15 W P S【既存撤去】

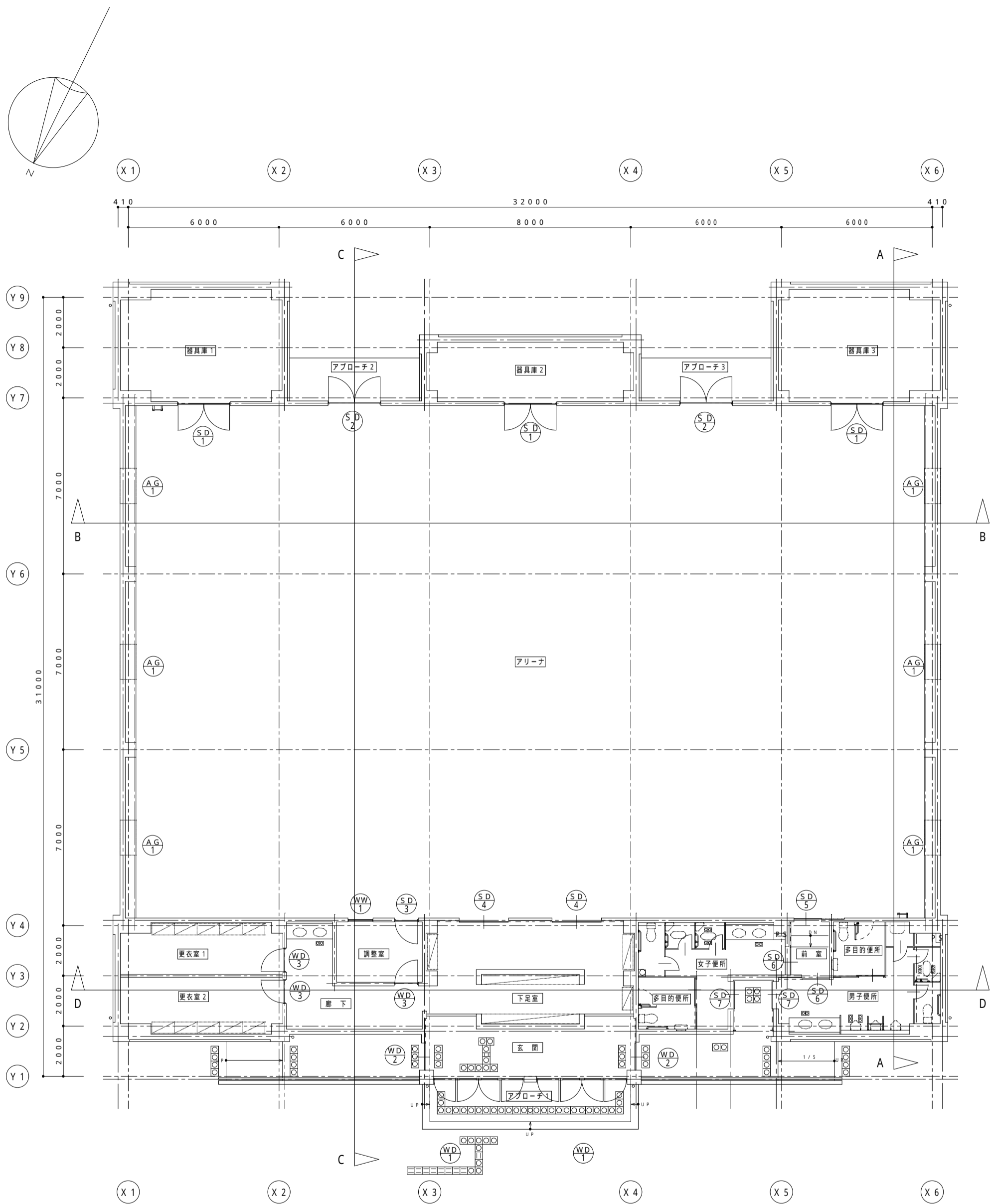


改修図

天井伏図 S : 1 / 1 5 0

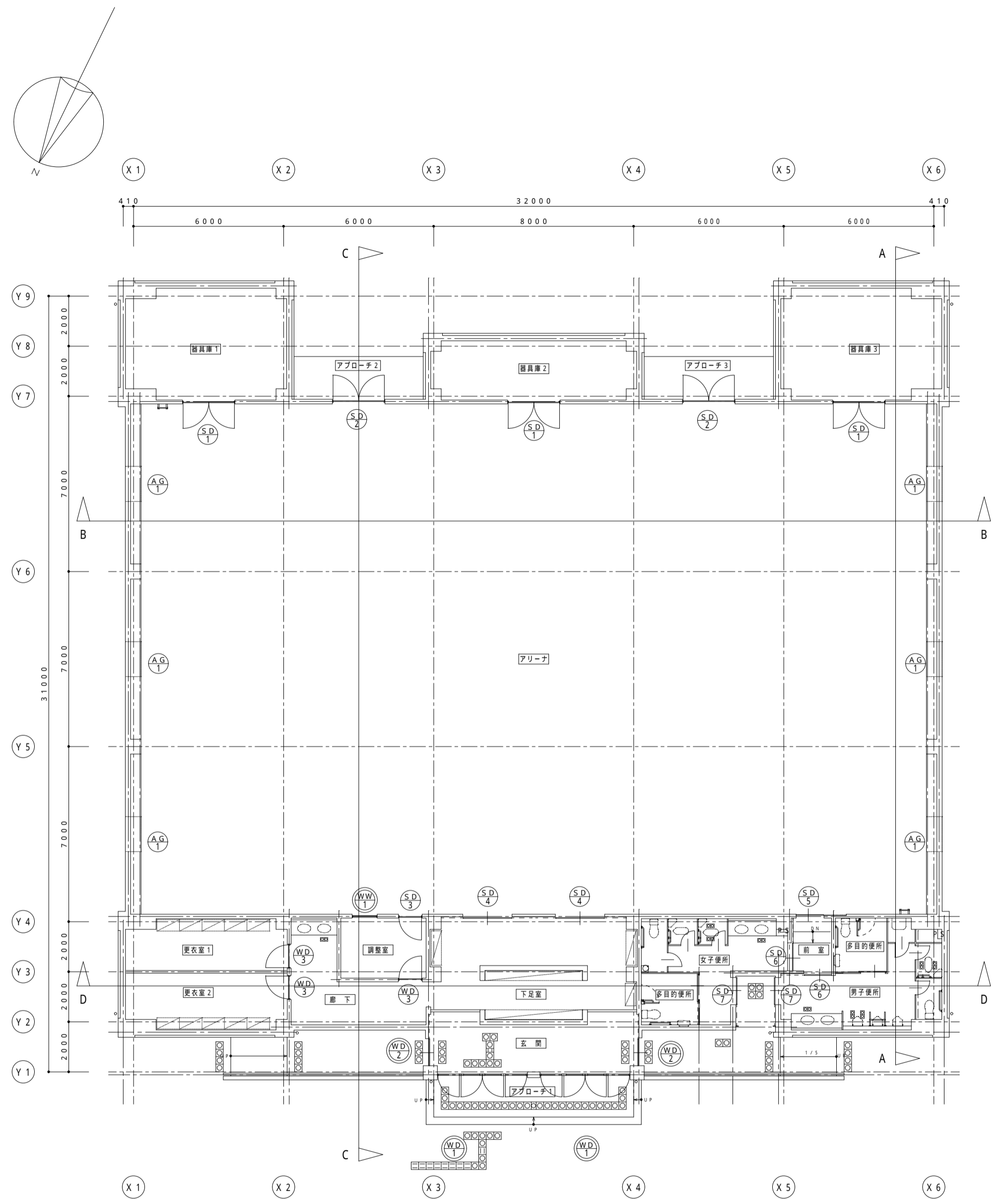
改修 天井仕上げ凡例

記号	仕 上
(A)	立体トラス塩ビ目シート貼り—ロックウール吸音板貼り木毛板 厚30
(B)	P B 厚12.5 ビニルクロス貼
(C)	G A B 厚12
(D)	A S B 厚6 V E
(E)	塗装改修：クラック部補修込み【改修】
(F)	けい酸カルシウム板 厚8 E P【新設】天井廻縁(アルミ製)共
(G)	ガルバリウム鋼板 厚0.4
(H)	化粧P B 厚12.5
(I)	スギ【改修】



1階平面図 S : 1 / 1 5 0

現状図



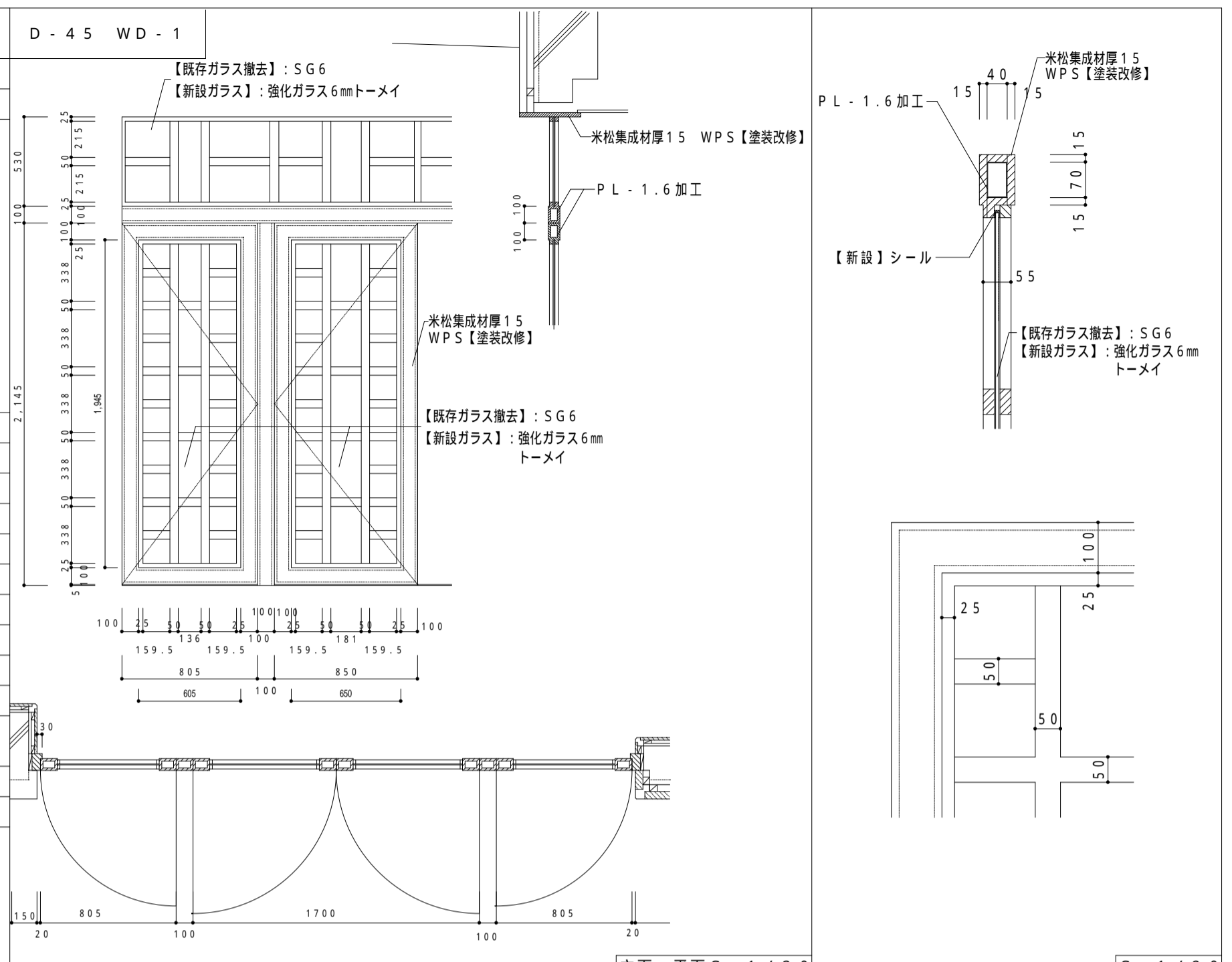
1階平面図 S : 1 / 1 5 0

改修図

建具：改修部分を示す

一級建築士事務所 事務所登録京都府知事(04A)第01606号 橋本一級建築デザイン事務所 〒611-0021 京都府宇治市宇治宇文字17-4クレセントハウス302 一級建築士登録 第299760号 橋本光生	作成日 2026/03	修正日	工事名 総合野外活動センター管理棟及び体育館非構造部材 耐震対策改修工事	図面番号 A-39
	検印	縮尺 1/150	図面名 屋内運動場 1階平面図・建具配置図(現状図・改修図)	

符 号	WW 1	WD 1	WD 2									
数 量	1	2	2									
形 式	はめ殺し窓	両開き戸	片引きハンガー戸									
姿 図												
扉	見込	仕上	見込 70	仕上 米松集成材	見込 70	仕上 米松集成材	見込	仕上				
枠	タイプ	見込 290	仕上	タイプ	見込 100	仕上	タイプ	見込 90	仕上	タイプ	見込	仕上
番指・窓台	タイプ	見込	仕上	タイプ	見込	仕上	タイプ	見込	仕上	タイプ	見込	仕上
水 切	見込	仕上	見込	仕上	見込	仕上	見込	仕上	見込	仕上	見込	仕上
改修内容	既存：ガラス	TG厚6	SG厚6	SG厚6	SG厚6	SG厚6	SG厚6	SG厚6	SG厚6	SG厚6	SG厚6	SG厚6
	改修：ガラス	強化ガラス6mmトーマイ【新設】	強化ガラス6mmトーマイ【新設】	強化ガラス6mmトーマイ【新設】	強化ガラス6mmトーマイ【新設】	強化ガラス6mmトーマイ【新設】	強化ガラス6mmトーマイ【新設】	強化ガラス6mmトーマイ【新設】	強化ガラス6mmトーマイ【新設】	強化ガラス6mmトーマイ【新設】	強化ガラス6mmトーマイ【新設】	強化ガラス6mmトーマイ【新設】
付属金物			PH、DC、FB、T、CL、引手	レール、T、引手、引戸錠、複車、ガイドローラー								
防火戸・エアータイト												
備 考												
符 号												
数 量												
形 式												
姿 図												
扉	見込	仕上	見込	仕上	見込	仕上	見込	仕上	見込	仕上	見込	仕上
枠	タイプ	見込	仕上	タイプ	見込	仕上	タイプ	見込	仕上	タイプ	見込	仕上
番指・窓台	タイプ	見込	仕上	タイプ	見込	仕上	タイプ	見込	仕上	タイプ	見込	仕上
水 切	見込	仕上	見込	仕上	見込	仕上	見込	仕上	見込	仕上	見込	仕上
ガラリ												
ガラス												
付属金物												
防火戸・エアータイト												
備 考												

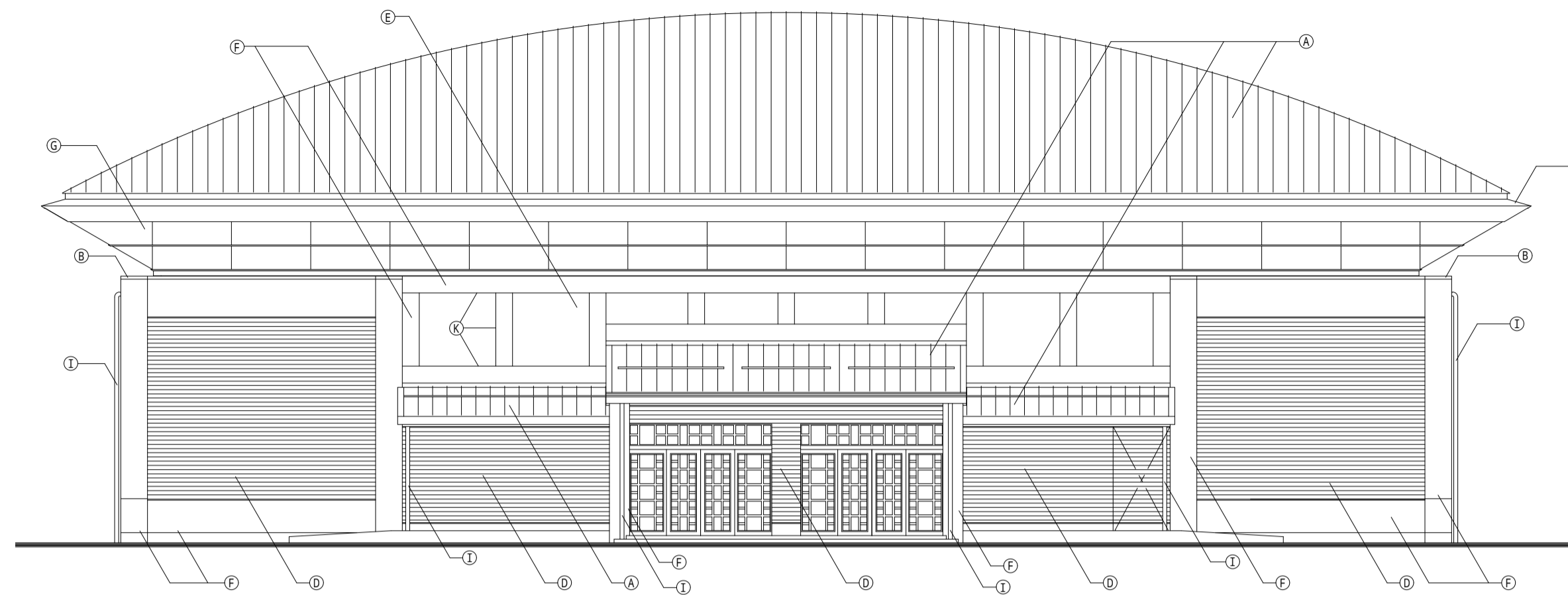


- ☑ 特記事項
- 外部木仕上建具は木材保護着色材塗布のこと。(枠共) (キシラデコール カラレス下塗、キシラデコール上塗2回同等品)
 - 内部木仕上建具はCL仕上とする。(枠共)
 - 番指はSUS304厚2.0とする。
 - アルミ製建具は電解着色仕上げとする。(枠共)
 - ガラリの開口率は35%程度とする。また、外部に面するガラリは防虫網付とする。(防虫網はSUS0.8 1.6mm目とする。)
 - 強化ガラスには飛散防止フィルム(透明)貼りとする。
 - 丁番は3枚吊りとする。
 - 水切はアルミ電解着色とする。
 - グランドマスター、マスター錠付とする。

☑ 共通事項
 (1) 建具寸法はすべて枠内寸法を示し、製作にあたっては再度現場調整する。

建具寸法をできるだけ 認定品に近い寸法とし、かつ認定品と同一の部材を使用し、方立・無目については厚み2mmとする。尚、網入ガラスの取り付けは、パテ(JISA5752の2種金属製建具用ガラスパテ)又は、認定製品を使用すること。

- ☑ 建具符号略号
 WD・・・木製扉
 WW・・・木製窓
- ☑ 材料・仕上略号
 W・・・木
- ☑ ガラス略号
 TG・・・強化ガラス

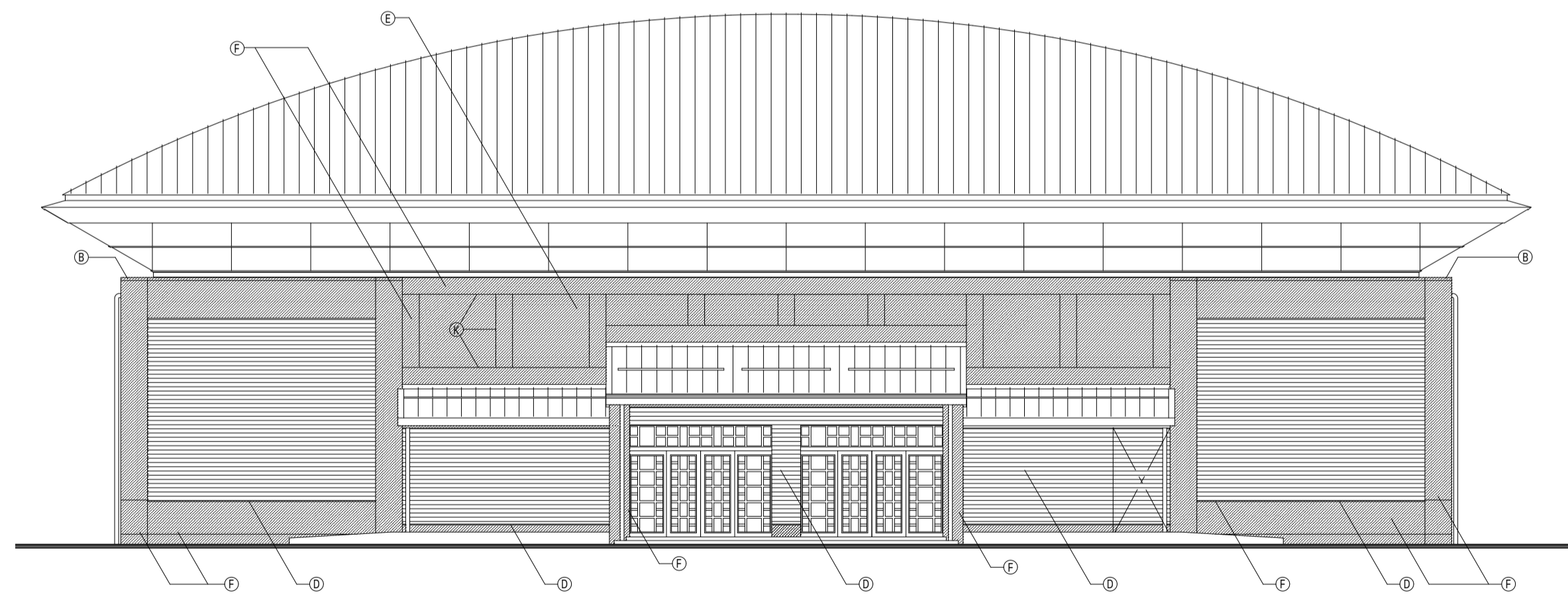


北立面図 S : 1 / 1 2 5

既存・撤去 凡例

現状図

記号	仕上	ⓑ	アルミ笠木厚 2.7	ⓓ	杉板 幅 105 厚 45 本実貼【既存撤去】	ⓕ	化粧型枠コンクリート打放し撥水材塗布	ⓓ	モルタル防水	ⓓ	アルミガラリ	ⓓ	米松厚 15 WPS
Ⓐ	フッ素樹脂ガルバリウム鋼板厚 0.4 (縦はげ真 H = 3.6)	Ⓒ	フッ素樹脂ガルバリウム鋼板厚 1.0	ⓔ	R C 小叩き仕上	ⓖ	アルミカーテンウォール	ⓓ	縦樋 (SUS304) 105	ⓓ	化粧目地		

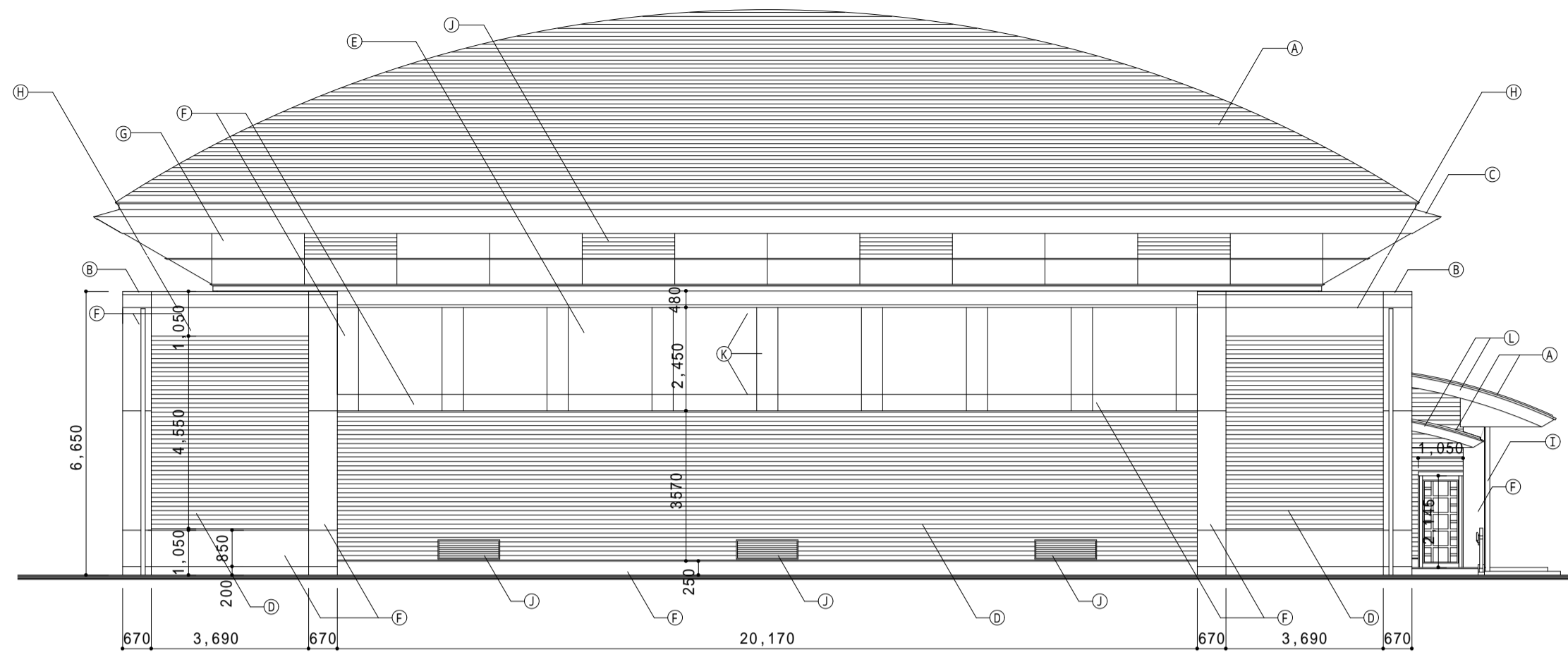


北立面図 S : 1 / 1 2 5

改修 凡例

改修図

記号	仕上	ⓑ	アルミ笠木厚 2.7【現状のまま】	ⓓ	杉板【改修】幅 135 X 厚 15mm 杉一等本実付 欠点は埋木 同等品 下地胴縁幅 40 X 厚 20mm 共 仕上部塗装：素地こしらえ+(2UC)	ⓕ	塗装【改修】下地高圧洗浄/クラック処理：アロンコートSH同等品 外壁塗膜防水工法：アロンウォールSTM工法同等品	ⓓ	防水層【改修】：防水下地高圧洗浄・ケレン掛け清掃含む アロンコートS.Q同等品X-2工法・改修用ドレン取付4か所	ⓓ	アルミガラリ	ⓓ	破風板【改修】杉一等八千板 R加工込み 同等品 仕上部塗装：素地こしらえ+(2UC)
Ⓐ	フッ素樹脂ガルバリウム鋼板厚 0.4 (縦はげ真 H = 3.6)	Ⓒ	フッ素樹脂ガルバリウム鋼板厚 1.0	ⓔ	塗装【改修】下地高圧洗浄/クラック処理：アロンコートSH同等品 外壁塗膜防水工法：アロンウォールSTM工法同等品	ⓖ	アルミカーテンウォール	ⓓ	縦樋 (SUS304) 105	ⓓ	化粧目地		

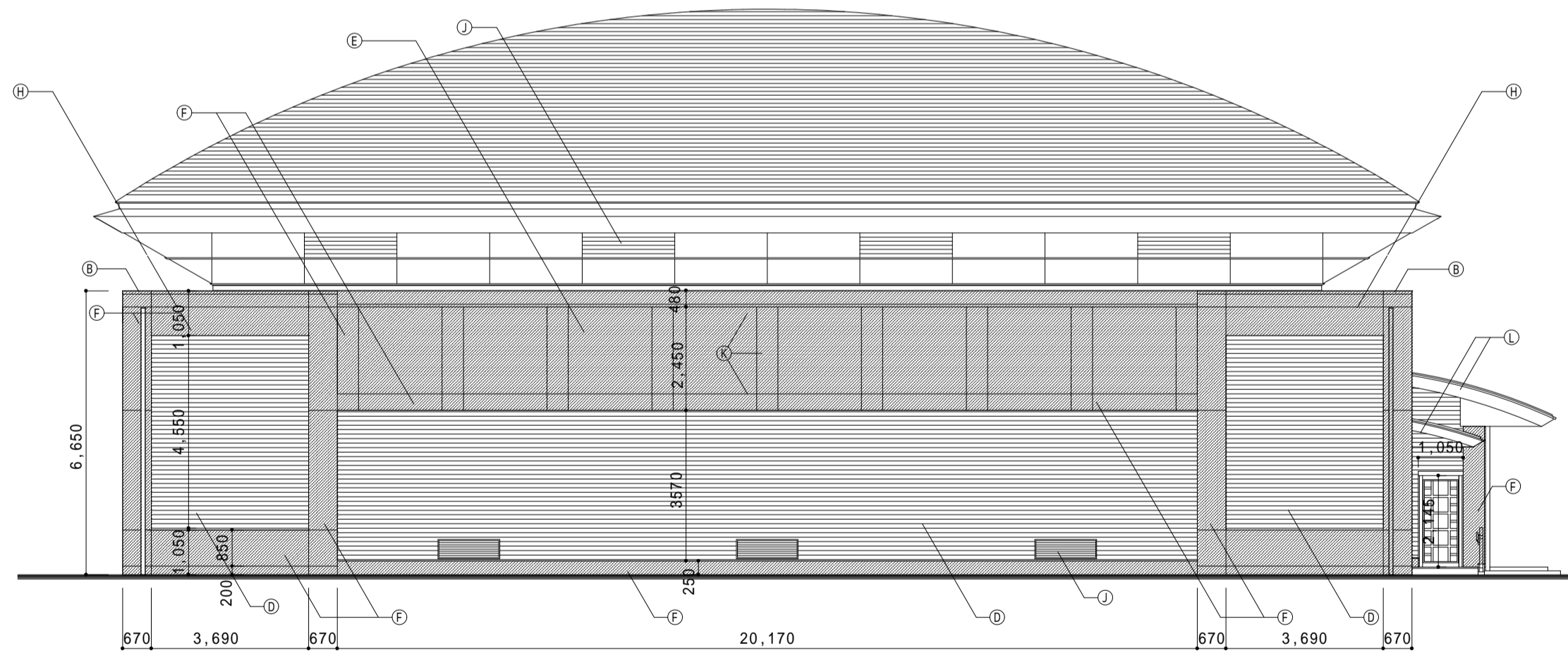


東立面図 S : 1 / 1 2 5

既存・撤去 凡例

現状図

記号	仕上	Ⓑ	アルミ笠木厚 2.7	Ⓓ	杉板 幅 105 厚 45 本実貼【既存撤去】	Ⓕ	化粧型枠コンクリート打放し撥水材塗布	Ⓗ	モルタル防水	Ⓙ	アルミガラリ	Ⓛ	米松厚 15 WPS【既存撤去】
Ⓐ	フッ素樹脂ガルバリウム鋼板厚 0.4 (縦はげ葺H=3.6)	Ⓒ	フッ素樹脂ガルバリウム鋼板厚 1.0	Ⓔ	RC小叩き仕上	Ⓖ	アルミカーテンウォール	Ⓚ	縦樋 (SUS304) 105	Ⓛ	化粧目地		



東立面図 S : 1 / 1 2 5

改修 凡例

改修図

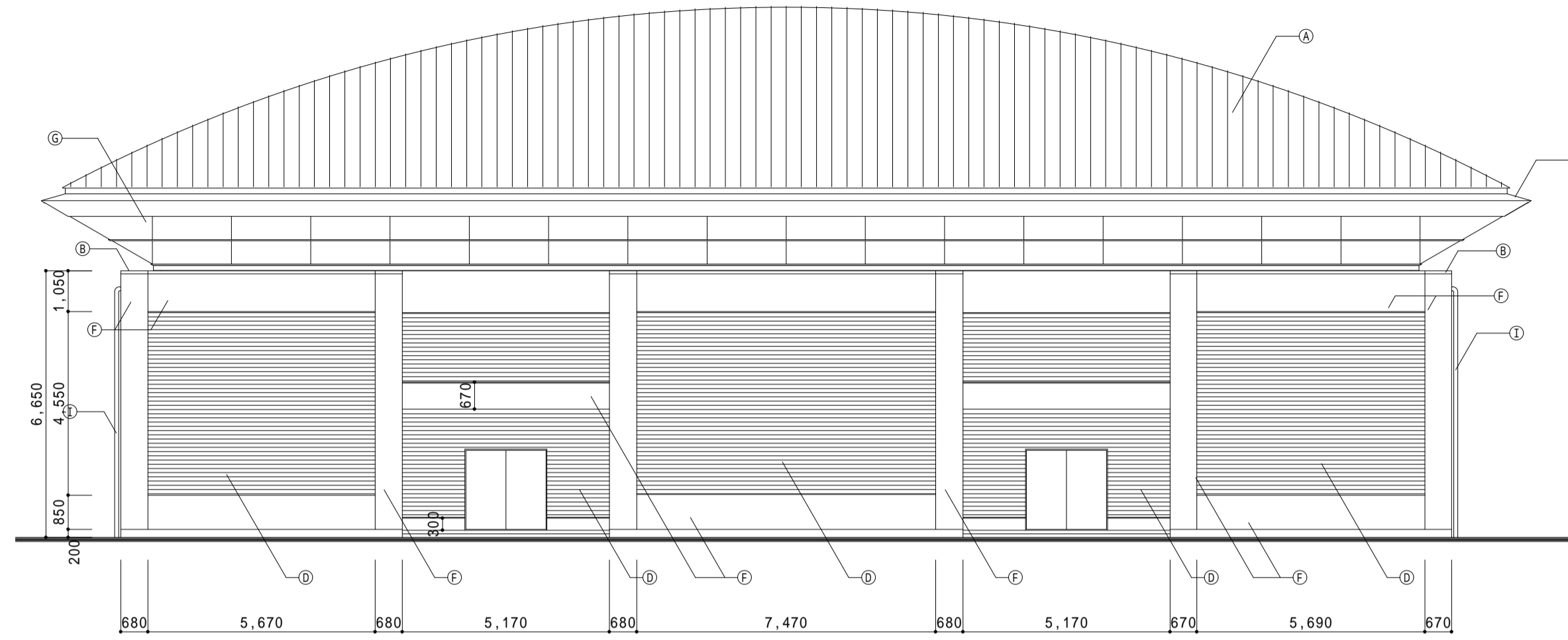
記号	仕上	Ⓑ	アルミ笠木厚 2.7【現状のまま】	Ⓓ	杉板【改修】幅135X厚15mm杉一等本実付 欠点は埋木 同等品 下地胴縁幅40X厚20mm共 仕上部塗装：素地こしらえ+(2UC)	Ⓕ	塗装【改修】下地高圧洗浄/クラック処理：アロンコートSH同等品 外壁塗膜防水工法：アロンウォールSTM工法同等品	Ⓗ	防水層【改修】：防水下地高圧洗浄・ケレン掛け清掃含む アロンコートS.Q同等品X-2工法・改修用ドレン取付4か所	Ⓙ	アルミガラリ (清掃)	Ⓛ	破風板【改修】杉一等八千板 R加工込み 同等品 仕上部塗装：素地こしらえ+(2UC)
Ⓐ	フッ素樹脂ガルバリウム鋼板厚 0.4 (縦はげ葺H=3.6)	Ⓒ	フッ素樹脂ガルバリウム鋼板厚 1.0	Ⓔ	塗装【改修】下地高圧洗浄/クラック処理：アロンコートSH同等品 外壁塗膜防水工法：アロンウォールSTM工法同等品	Ⓖ	アルミカーテンウォール	Ⓚ	縦樋 (SUS304) 105	Ⓛ	塗装【改修】下地高圧洗浄/クラック処理：アロンコートSH同等品 外壁塗膜防水工法：アロンウォールSTM工法同等品		

一級建築士事務所 事務所登録京都府知事(04A)第01606号
橋本一級建築デザイン事務所
 〒611-0021 京都府宇治市宇治宇文字17-4クレセントハウス302
 一級建築士登録 第299760号 橋本光生

作成日 2026/03
 修正日
 検印 縮尺 1/125

工事名 総合野外活動センター管理棟及び体育館非構造部材
 耐震対策改修工事
 図面名 屋内運動場 東立面図(現状図・改修図)

図面番号 A-42

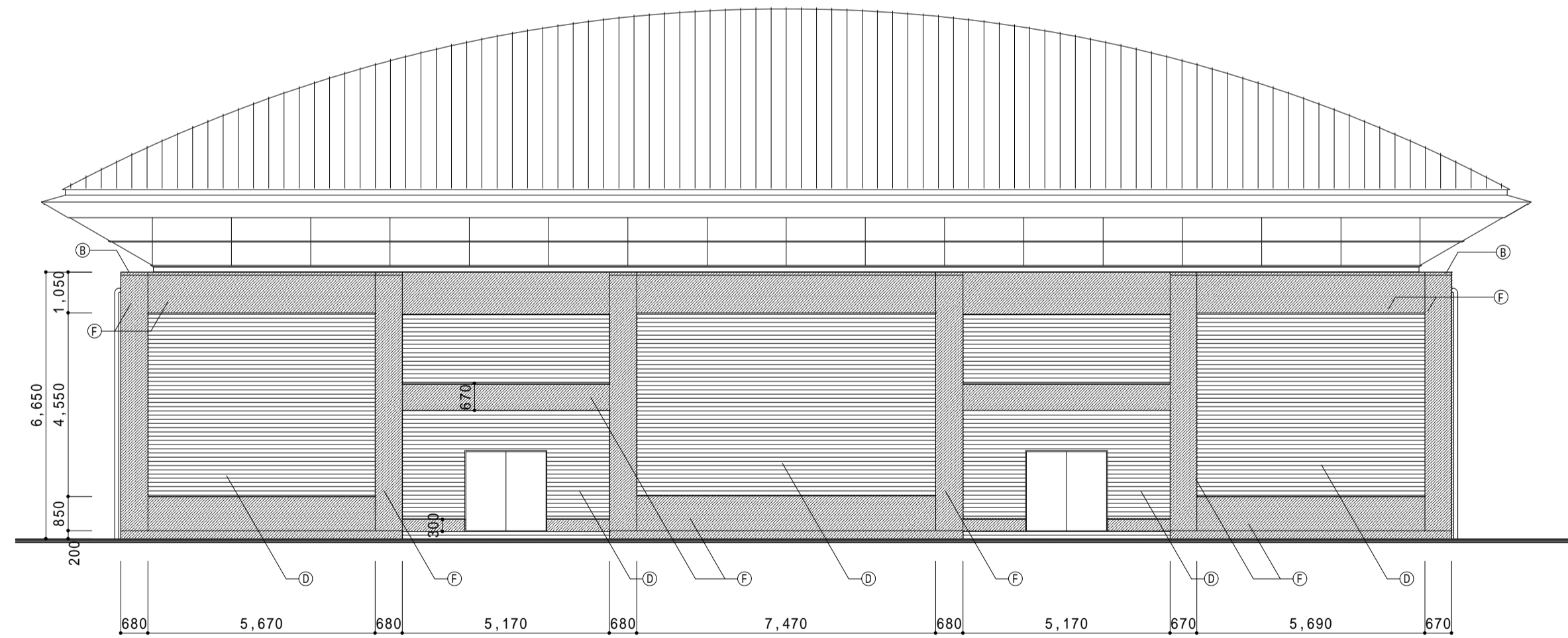


南立面図 S : 1 / 1 2 5

既存・撤去 凡例

現状図

記号	仕上	ⓑ	アルミ笠木厚 2.7	ⓓ	杉板 幅 105 厚 45 本実貼【既存撤去】	ⓕ	化粧型枠コンクリート打放し撥水材塗布	ⓗ	モルタル防水	ⓓ	アルミガラリ	ⓓ	米松厚 15 W P S
Ⓐ	フッ素樹脂ガルバリウム鋼板厚 0.4 (縦はげ真 H = 3.6)	ⓒ	フッ素樹脂ガルバリウム鋼板厚 1.0	ⓔ	R C 小叩き仕上	ⓖ	アルミカーテンウォール	ⓓ	縦樋 (S U S 3 0 4) 1 0 5	ⓓ	化粧目地		



南立面図 S : 1 / 1 2 5

改修 凡例

改修図

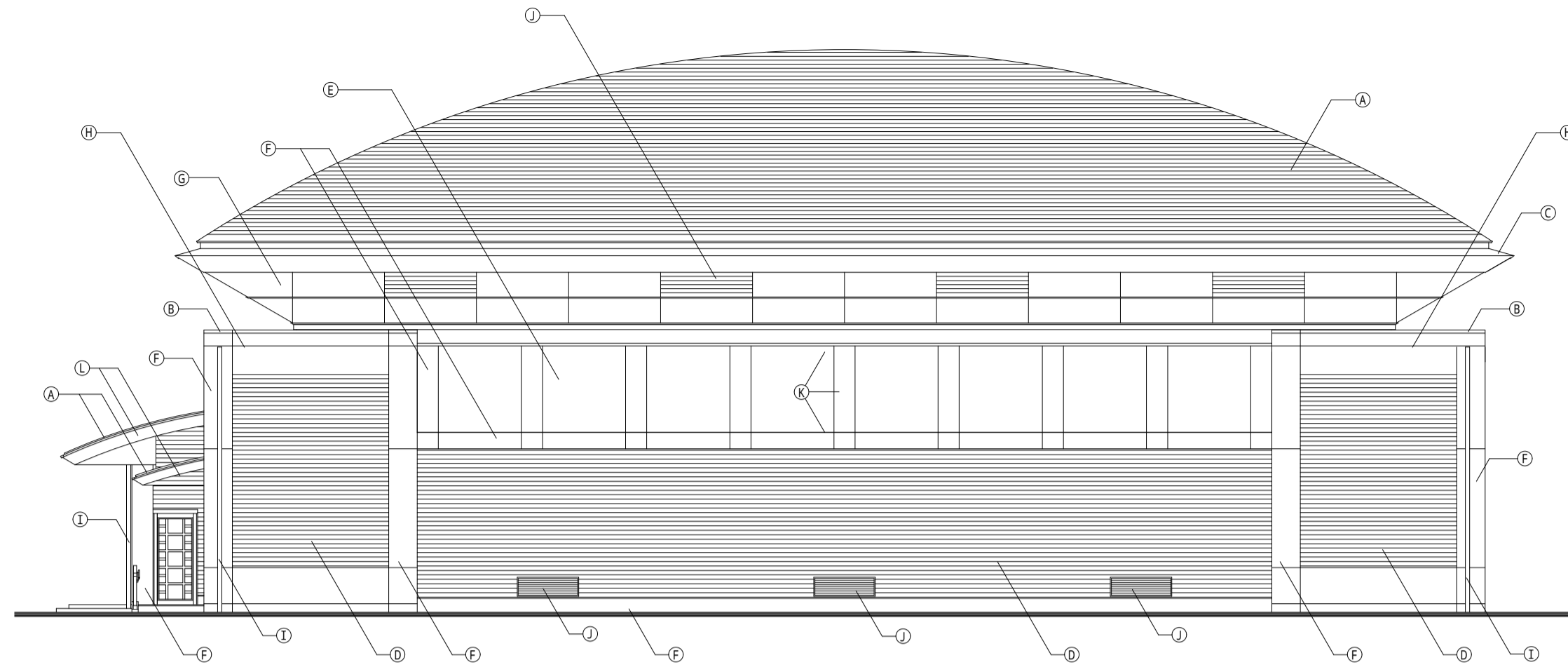
記号	仕上	ⓑ	アルミ笠木厚 2.7【現状のまま】	ⓓ	杉板【改修】幅 135 X 厚 15mm 杉一等本実付 欠点は埋木 同等品 下地胴縁 40 X 厚 20mm 共 仕上部塗装：素地こしらえ+(2UC)	ⓕ	塗装【改修】下地高圧洗浄/クラック処理：アロンコートSH同等品 外壁塗膜防水工法：アロンウォールSTM工法同等品	ⓗ	防水層【改修】：防水下地高圧洗浄・ケレン掛け清掃含む アロンコートS.Q同等品X-2工法・改修用ドレン取付4か所	ⓓ	アルミガラリ	ⓓ	破風板【改修】杉一等八千板 R加工込み 同等品 仕上部塗装：素地こしらえ+(2UC)
Ⓐ	フッ素樹脂ガルバリウム鋼板厚 0.4 (縦はげ真 H = 3.6)	ⓒ	フッ素樹脂ガルバリウム鋼板厚 1.0	ⓔ	塗装【改修】下地高圧洗浄/クラック処理：アロンコートSH同等品 外壁塗膜防水工法：アロンウォールSTM工法同等品	ⓖ	アルミカーテンウォール	ⓓ	縦樋 (S U S 3 0 4) 1 0 5	ⓓ	塗装【改修】下地高圧洗浄/クラック処理：アロンコートSH同等品 外壁塗膜防水工法：アロンウォールSTM工法同等品		

一級建築士事務所 事務所登録京都府知事(04A)第01606号
橋本一級建築デザイン事務所
 〒611-0021 京都府宇治市宇治宇文字17-4クレセントハウス302
 一級建築士登録 第299760号 橋本光生

作成日 2026/03
 修正日
 検印 縮尺 1/125

工事名 総合野外活動センター管理棟及び体育館非構造部材
 耐震対策改修工事
 図面名 屋内運動場 南立面図(現状図・改修図)

図面番号 A-43

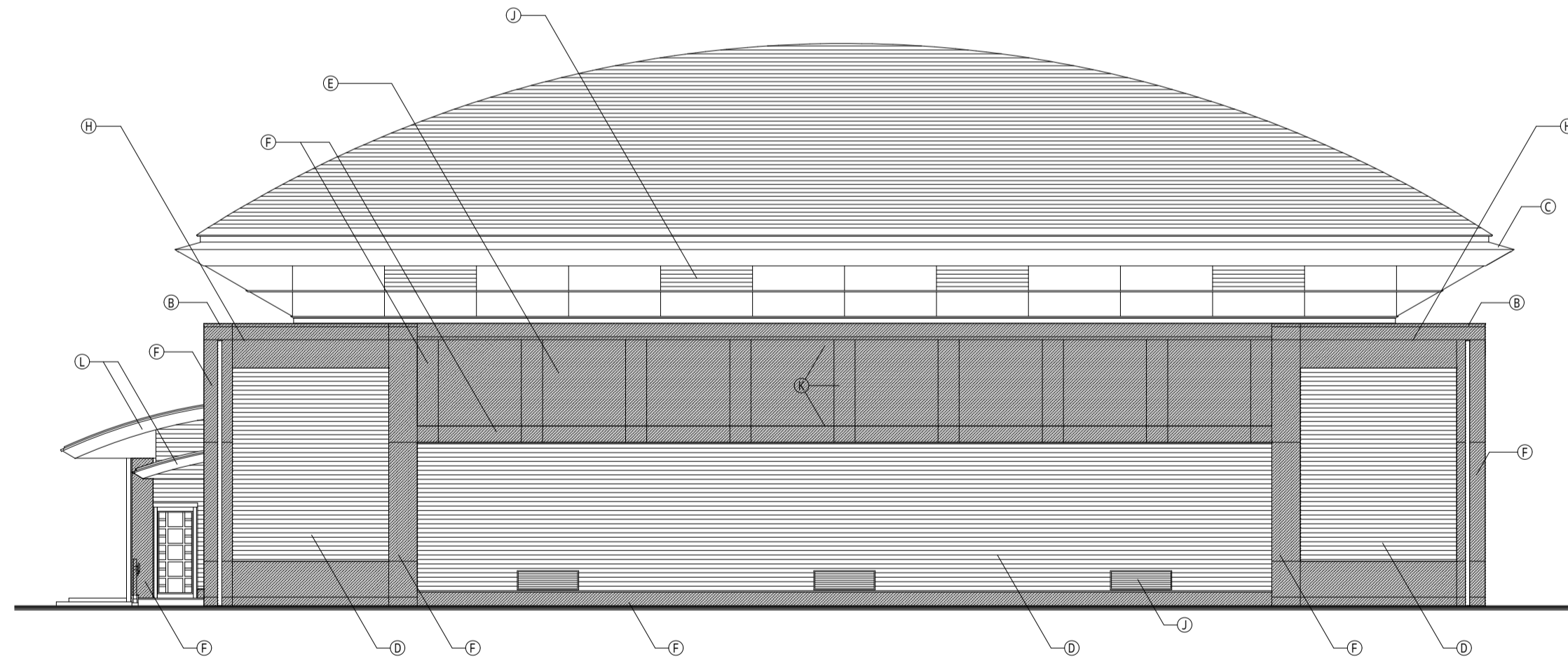


西立面図 S : 1 / 1 2 5

既存・撤去 凡例

現状図

記号	仕上	ⓑ	アルミ笠木厚 2.7	ⓓ	杉板 幅 105 厚 45 本実貼【既存撤去】	ⓕ	化粧型枠コンクリート打放し撥水材塗布	ⓗ	モルタル防水	ⓙ	アルミガラリ	ⓓ	米松厚 15 WPS【既存撤去】
Ⓐ	フッ素樹脂ガルバリウム鋼板厚 0.4 (縦はげ真H = 3.6)	ⓒ	フッ素樹脂ガルバリウム鋼板厚 1.0	ⓔ	RC小叩き仕上	ⓖ	アルミカーテンウォール	ⓙ	縦樋 (SUS304) 105	ⓚ	化粧目地		



西立面図 S : 1 / 1 2 5

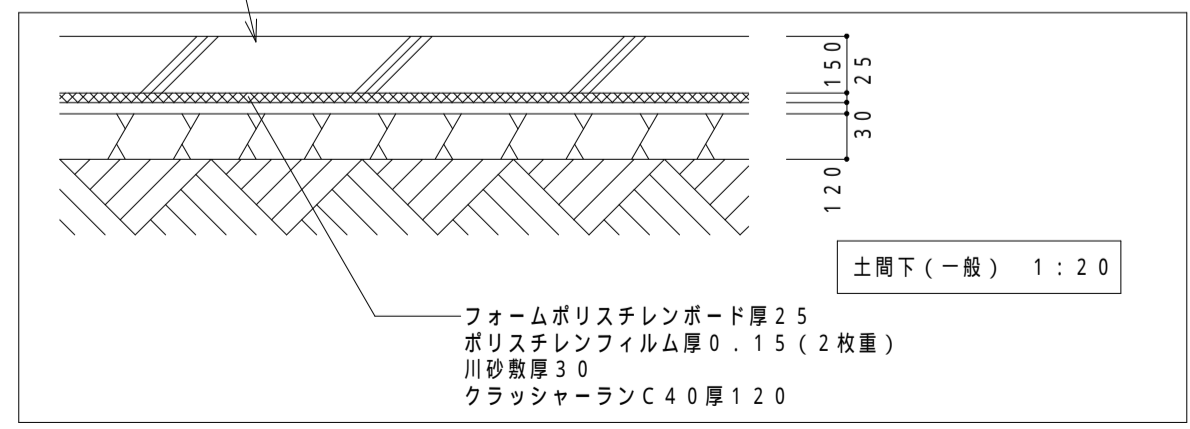
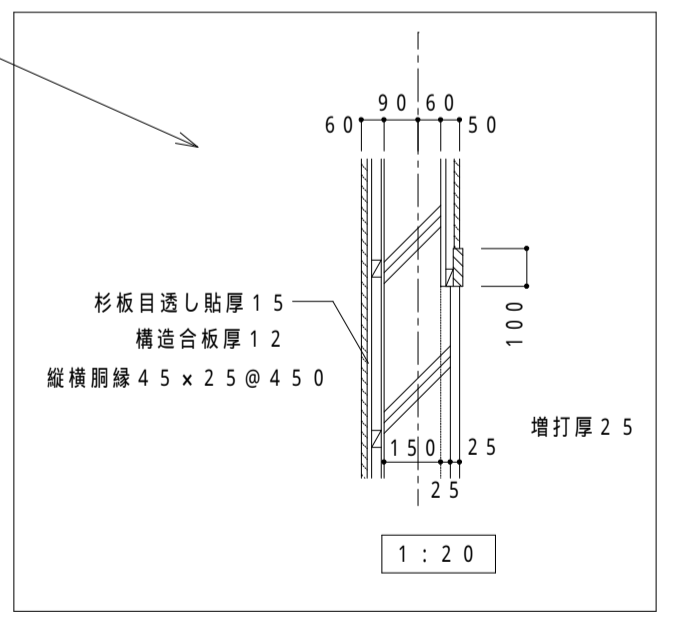
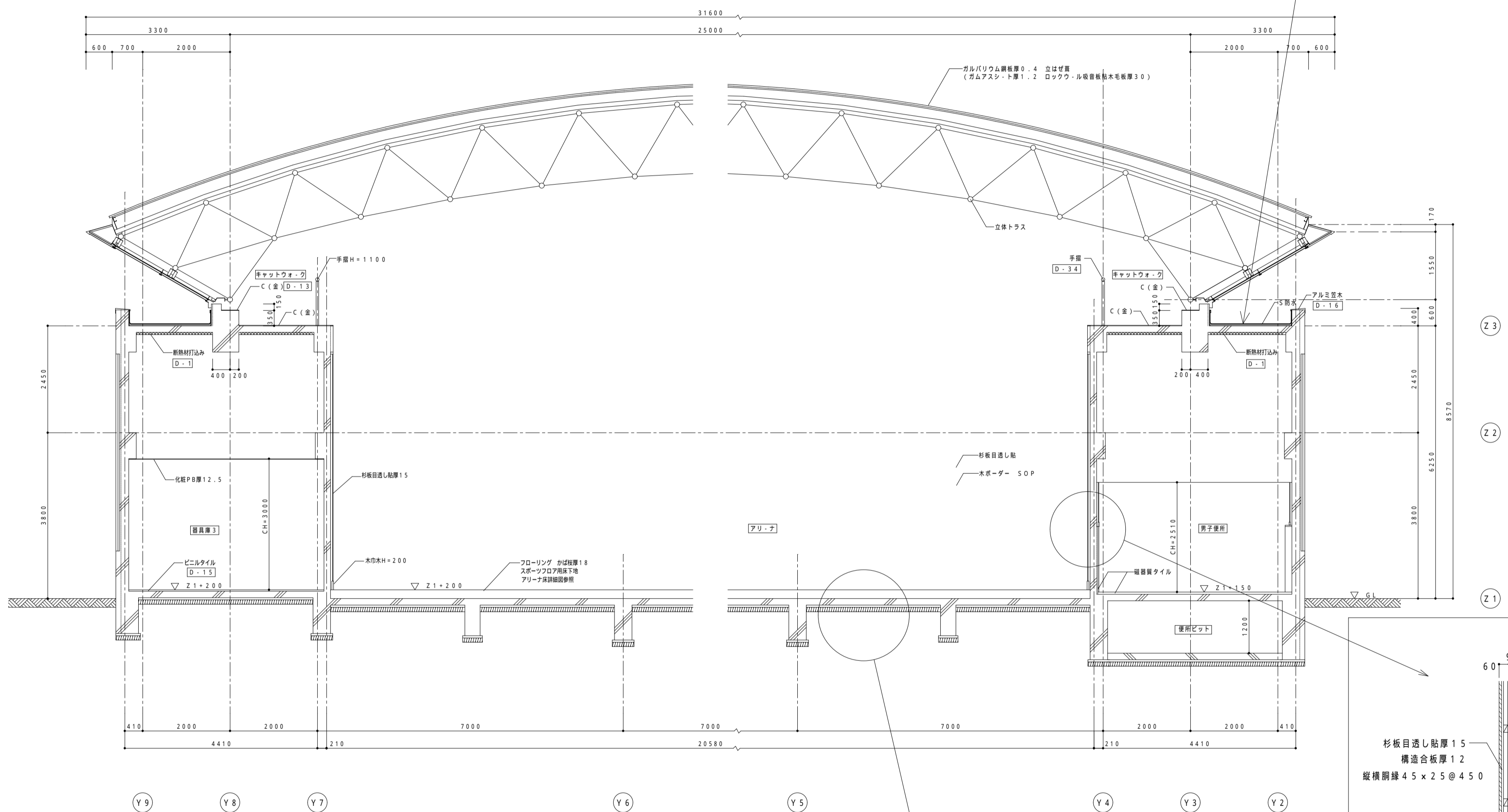
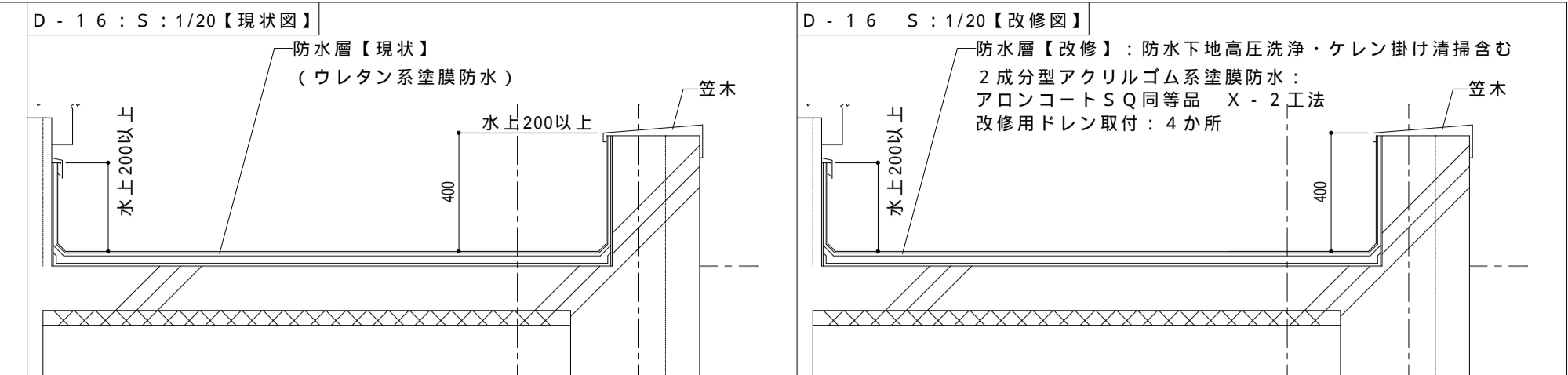
改修 凡例

改修図

記号	仕上	ⓑ	アルミ笠木厚 2.7【現状のまま】	ⓓ	杉板【改修】幅135X厚15mm杉一等本実付 欠点は埋木 同等品 下地胴縁幅40X厚20mm共 仕上部塗装：素地こしらえ+(2UC)	ⓕ	塗装【改修】下地高圧洗浄/クラック処理：アロンコートSH同等品 外壁塗膜防水工法：アロンウォールSTM工法同等品	ⓗ	防水層【改修】：防水下地高圧洗浄・ケレン掛け清掃含む アロンコートS.Q同等品X-2工法・改修用ドレン取付4か所	ⓙ	アルミガラリ (清掃)	ⓓ	破風板【改修】杉一等八千板 R加工込み 同等品 仕上部塗装：素地こしらえ+(2UC)
Ⓐ	フッ素樹脂ガルバリウム鋼板厚 0.4 (縦はげ真H = 3.6)	ⓒ	フッ素樹脂ガルバリウム鋼板厚 1.0	ⓔ	塗装【改修】下地高圧洗浄/クラック処理：アロンコートSH同等品 外壁塗膜防水工法：アロンウォールSTM工法同等品	ⓖ	アルミカーテンウォール	ⓙ	縦樋 (SUS304) 105	ⓚ	塗装【改修】下地高圧洗浄/クラック処理：アロンコートSH同等品 外壁塗膜防水工法：アロンウォールSTM工法同等品		

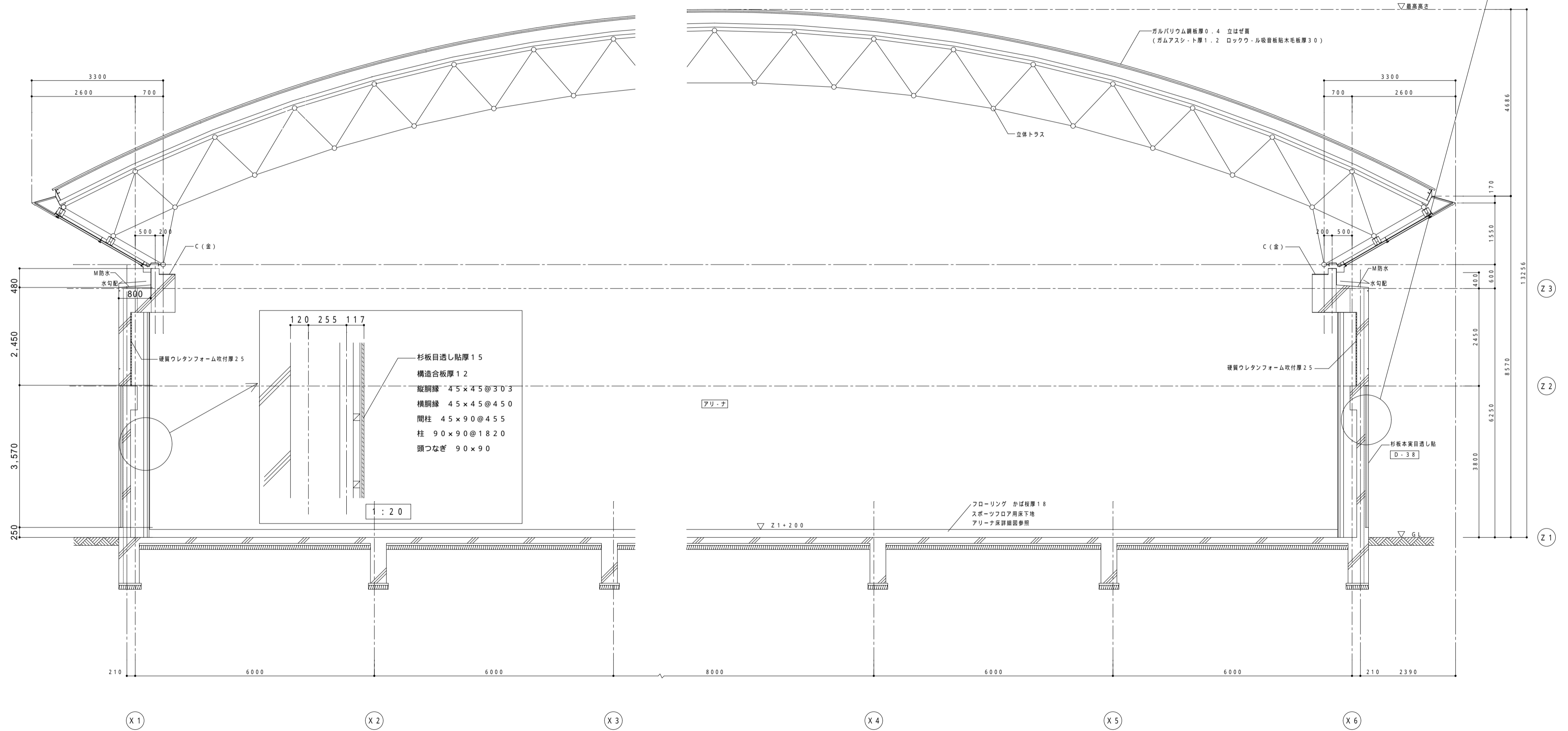
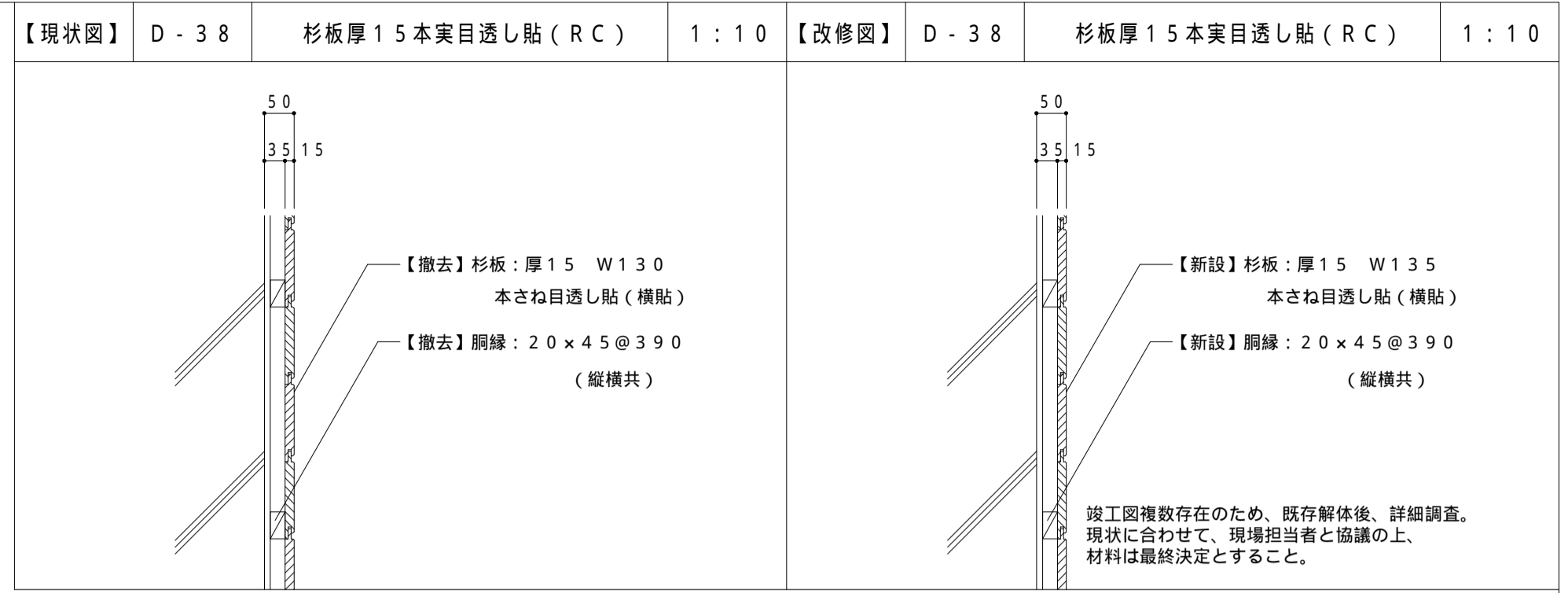
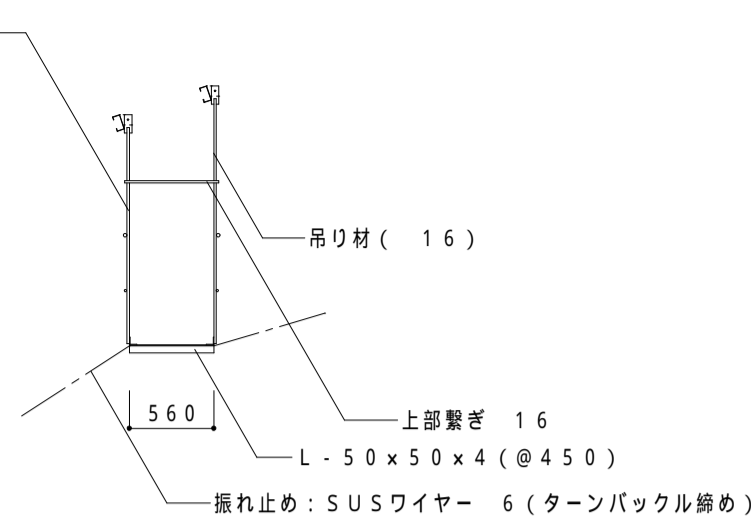
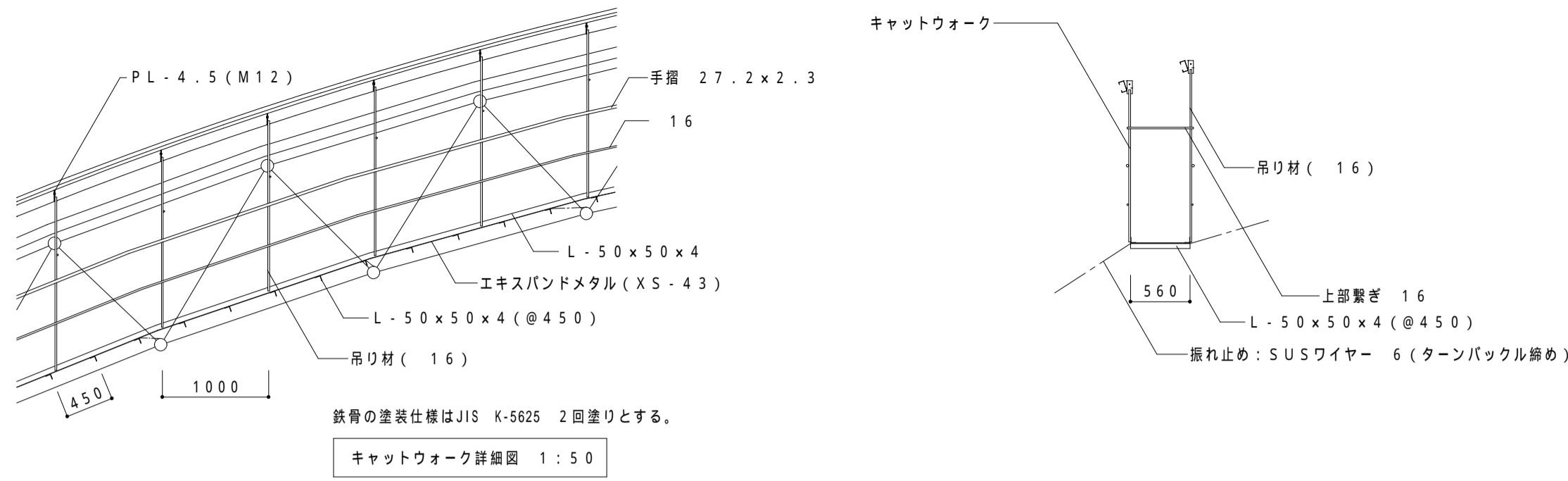
外壁：打ち放し部分【塗装改修】
 下地高圧洗浄
 クラック処理：アロンコートSH同等品
 外壁塗膜防水工法：アロンウォールSTM工法同等品

外壁：板材【改修】
 下地高圧洗浄
 杉一等：3950 x 135 x 15 本実付 欠点は埋木 同等品
 胴縁下地：杉一等4000 X 20 X 40 @ 390縦横共 同等品
 仕上部塗装：素地こしらえ+2液型ポリウレタン樹脂ワニス塗 (2UC)

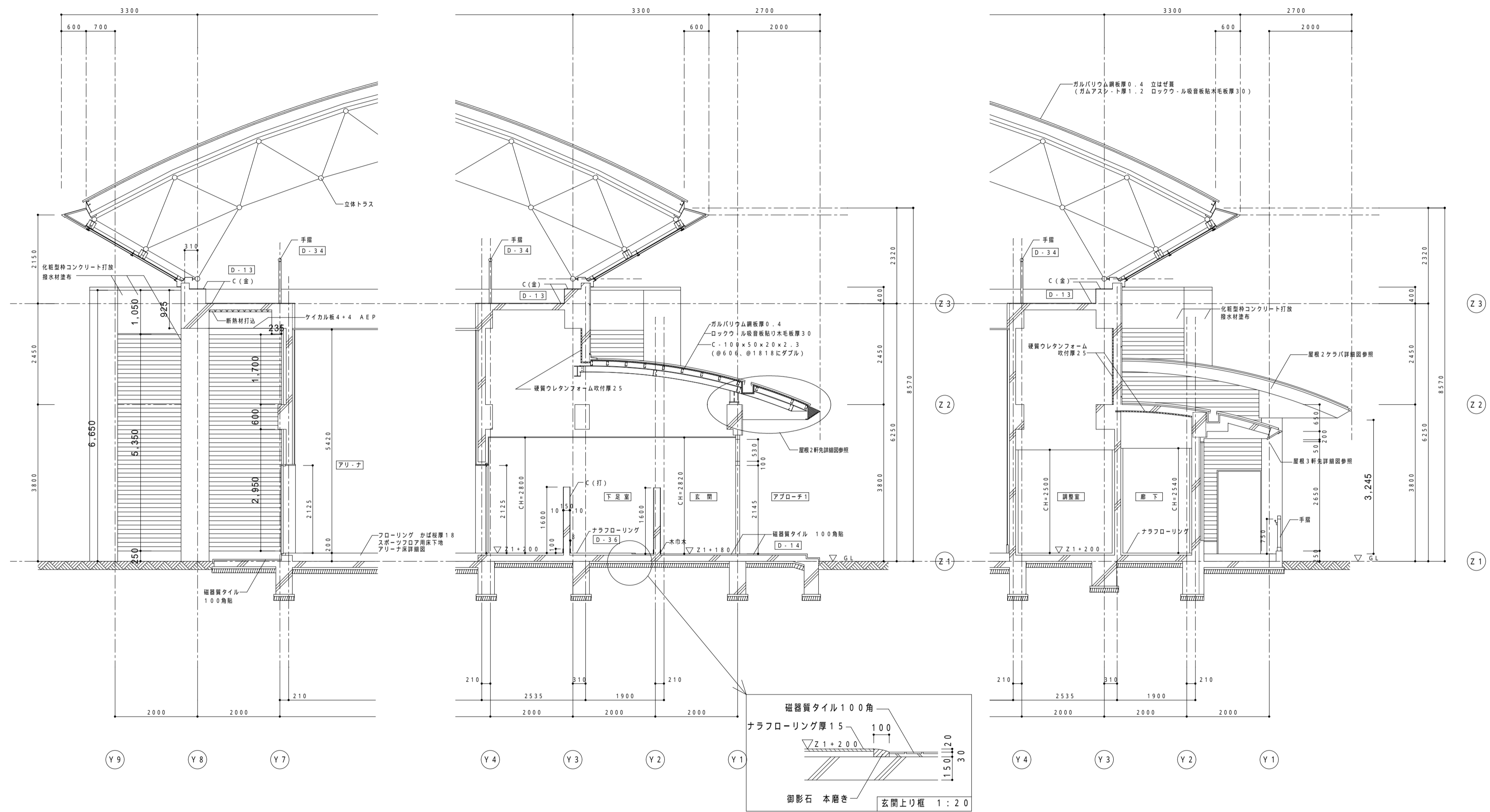


屋内運動場 A - A ' 断面図 S : 1 / 7 5

一級建築士事務所 事務所登録京都府知事(04A)第01606号 橋本一級建築デザイン事務所 〒611-0021 京都府宇治市宇治宇文字17-4クレセントハウス302 一級建築士登録 第299760号 橋本光生	作成日 2026/03	修正日	工事名 総合野外活動センター管理棟及び体育館非構造部材 耐震対策改修工事	図面番号 A-45
	検印	縮尺 1/75	図面名 屋内運動場 A - A ' 断面図(現状図・改修図)	

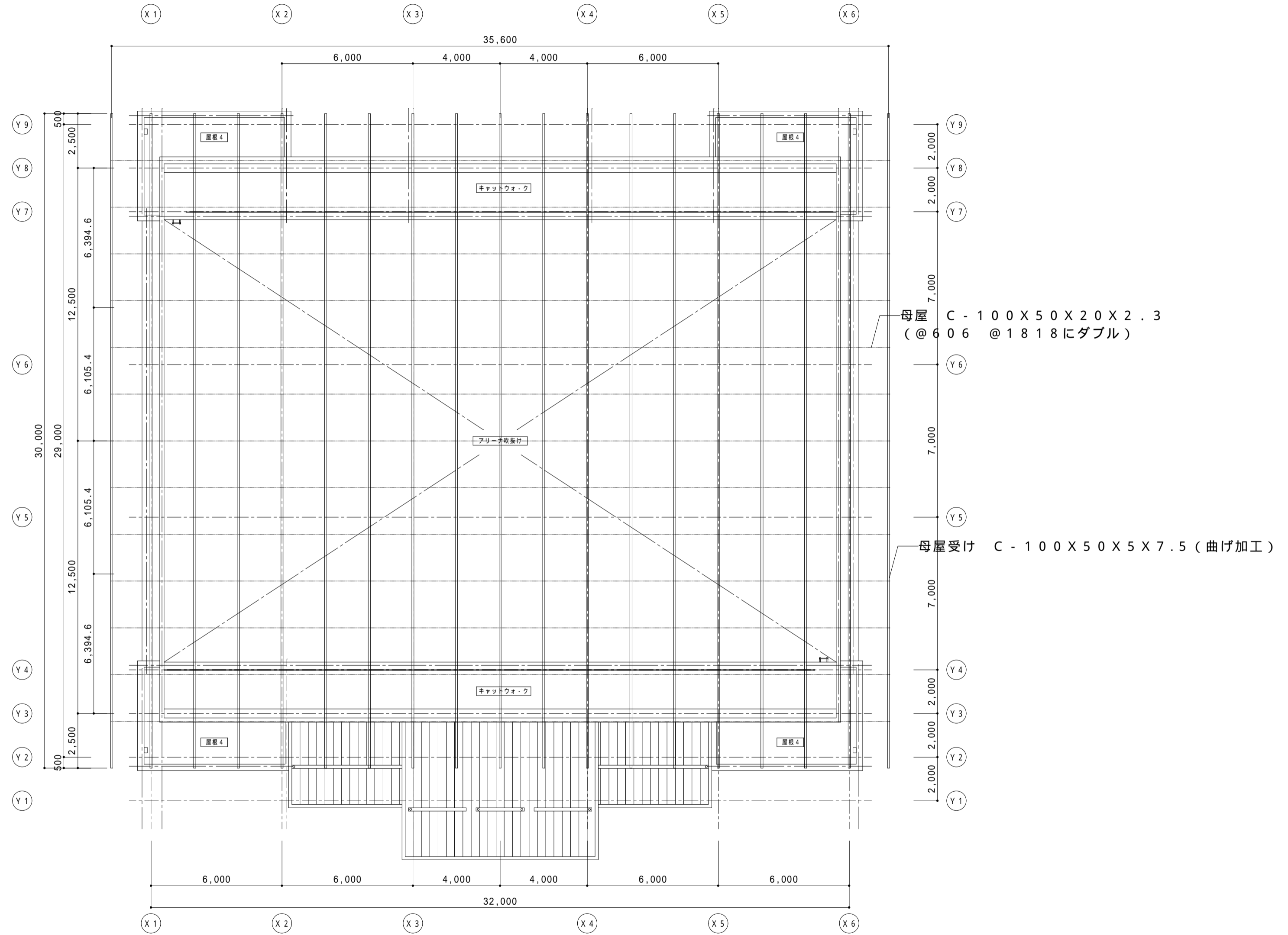
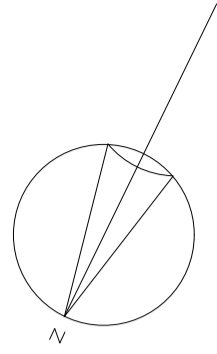


屋内運動場 B-B' 断面図 S:1/75



屋内運動場 C - C ' 断面図 S : 1 / 7 5

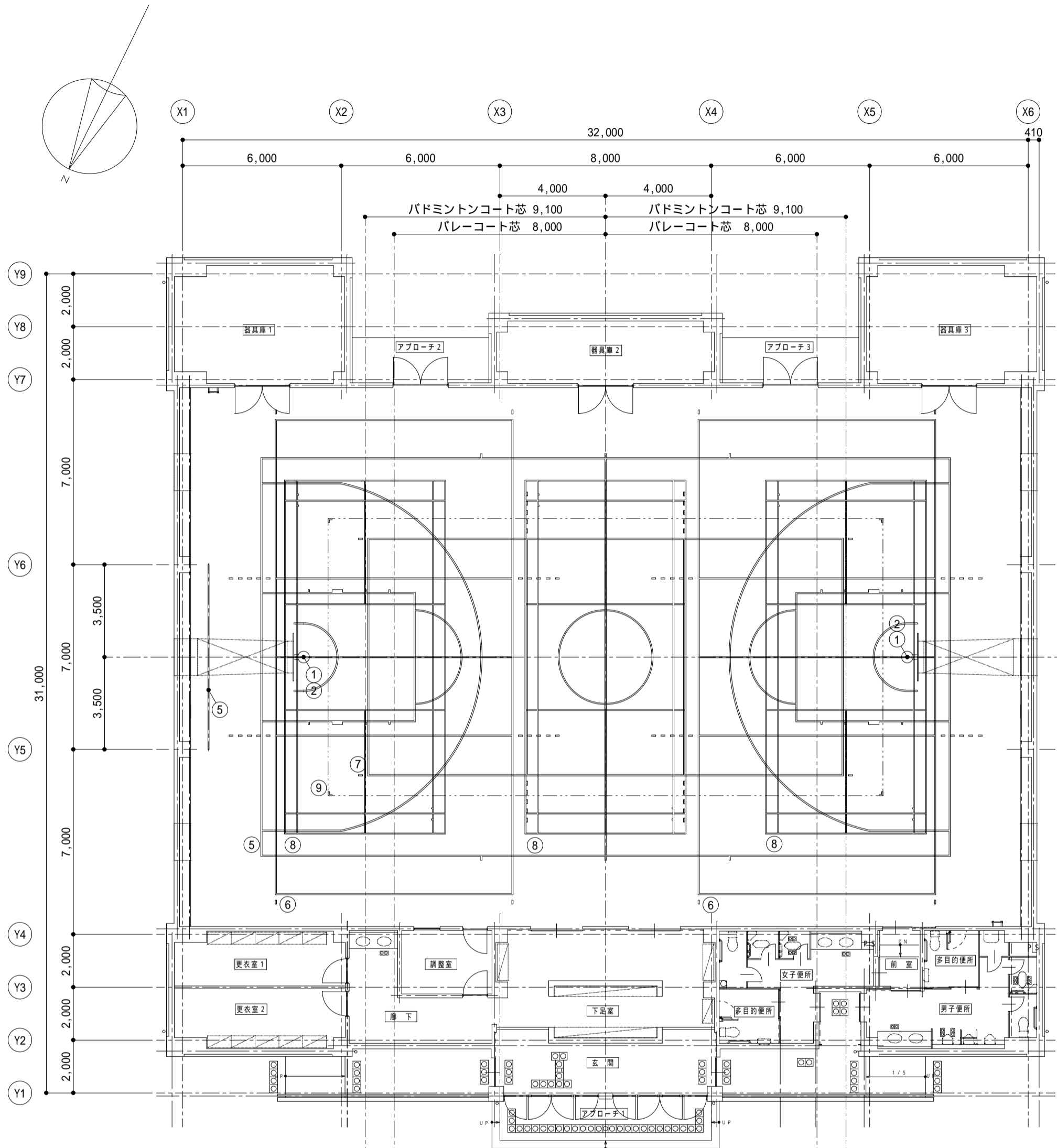
<p>一級建築士事務所 事務所登録京都府知事(04A)第01606号 橋本一級建築デザイン事務所 〒611-0021 京都府宇治市宇治宇文字17-4クレセントハウス302 一級建築士登録 第299760号 橋本光生</p>	<p>作成日 2026/03 修正日 検印 縮尺 1/75</p>	<p>工事名 総合野外活動センター管理棟及び体育館非構造部材 耐震対策改修工事 図面名 屋内運動場 C - C ' 断面図1 (現状図)</p>	<p>図面番号 A-47</p>
---	--	--	-------------------------------



2階平面図 S : 1 / 1 5 0

現状図

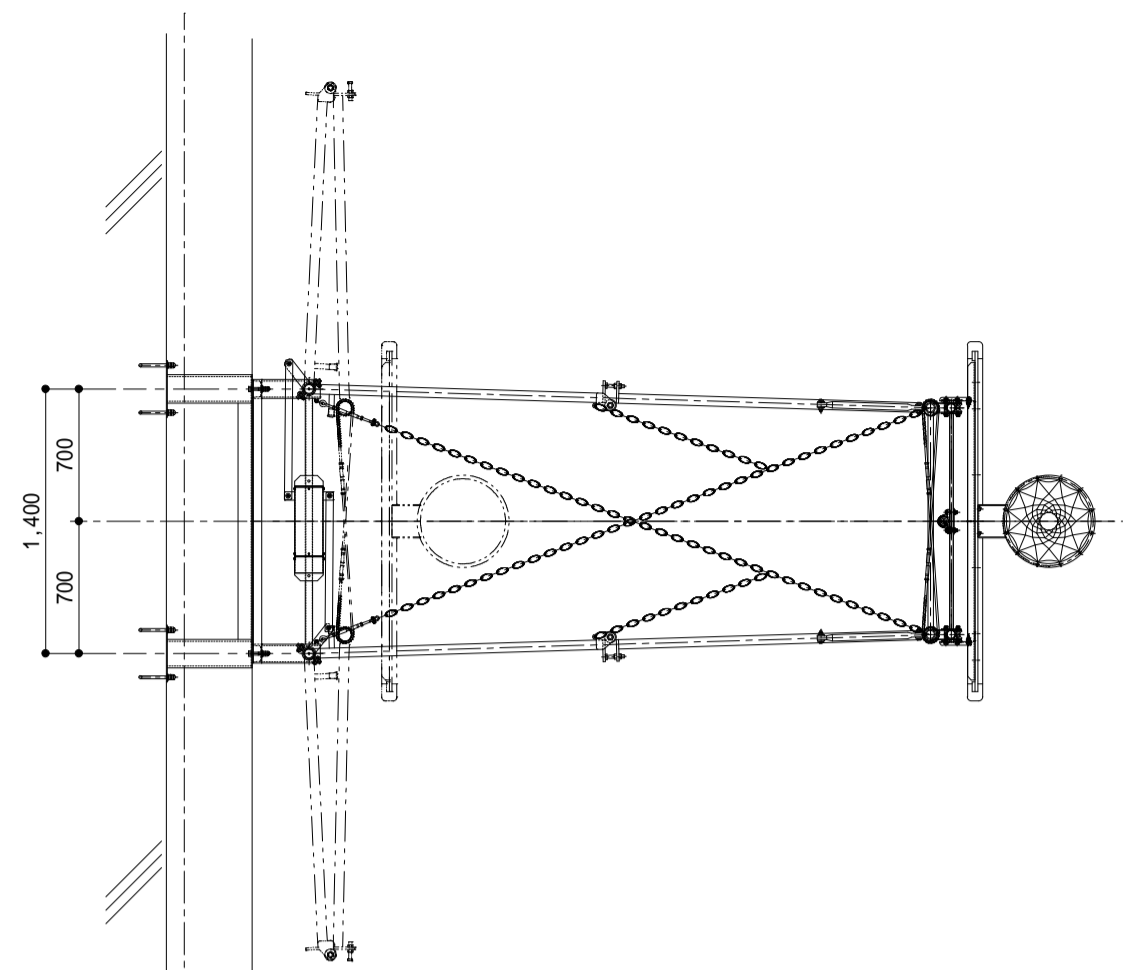
	一級建築士事務所 事務所登録京都府知事(04A)第01606号	作成日	2026/03	修正日		工事名	総合野外活動センター管理棟及び体育館非構造部材耐震対策改修工事	図面番号	A-49
	橋本一級建築デザイン事務所 〒611-0021 京都府宇治市宇治宇文字17-4クレセントハウス302 一級建築士登録 第299760号 橋本光生	検印		縮尺	1/150	図面名	屋内運動場 2階母屋・母屋受け伏図(現状図)		



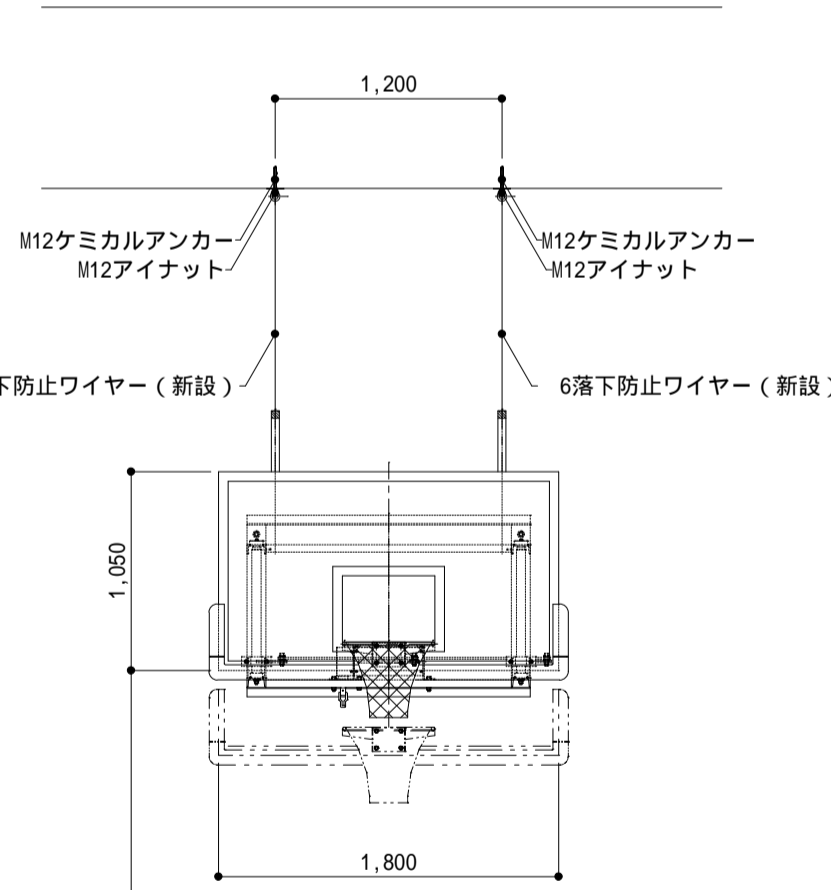
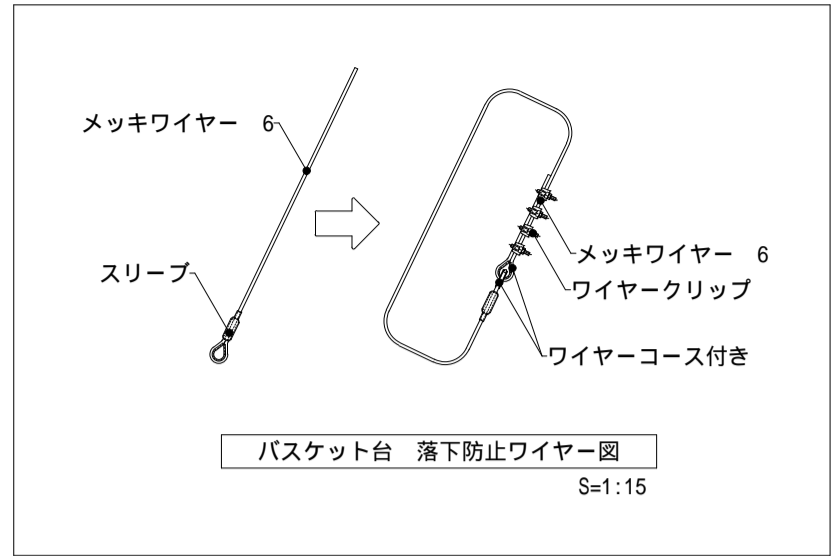
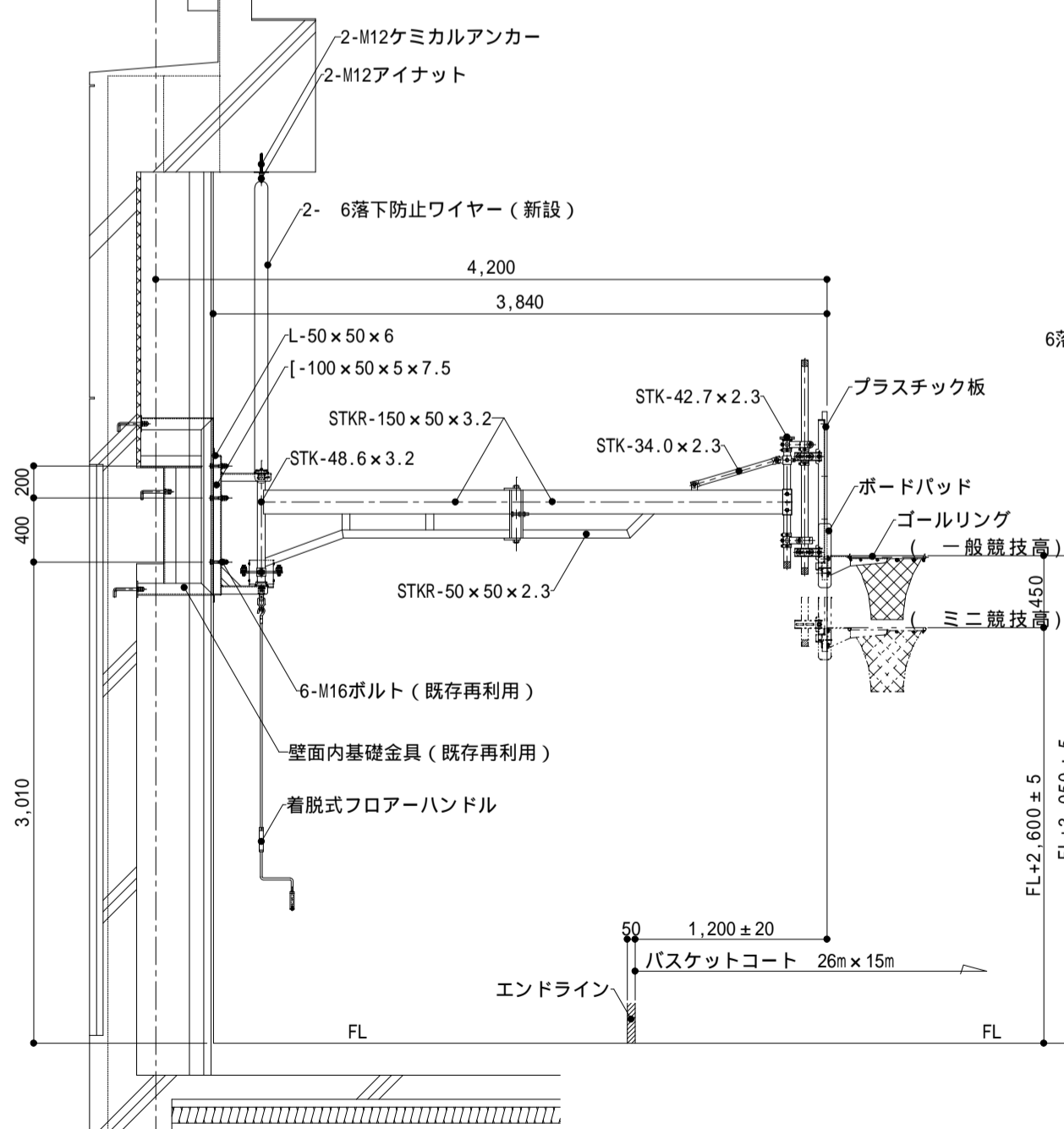
1階平面図 S=1:150

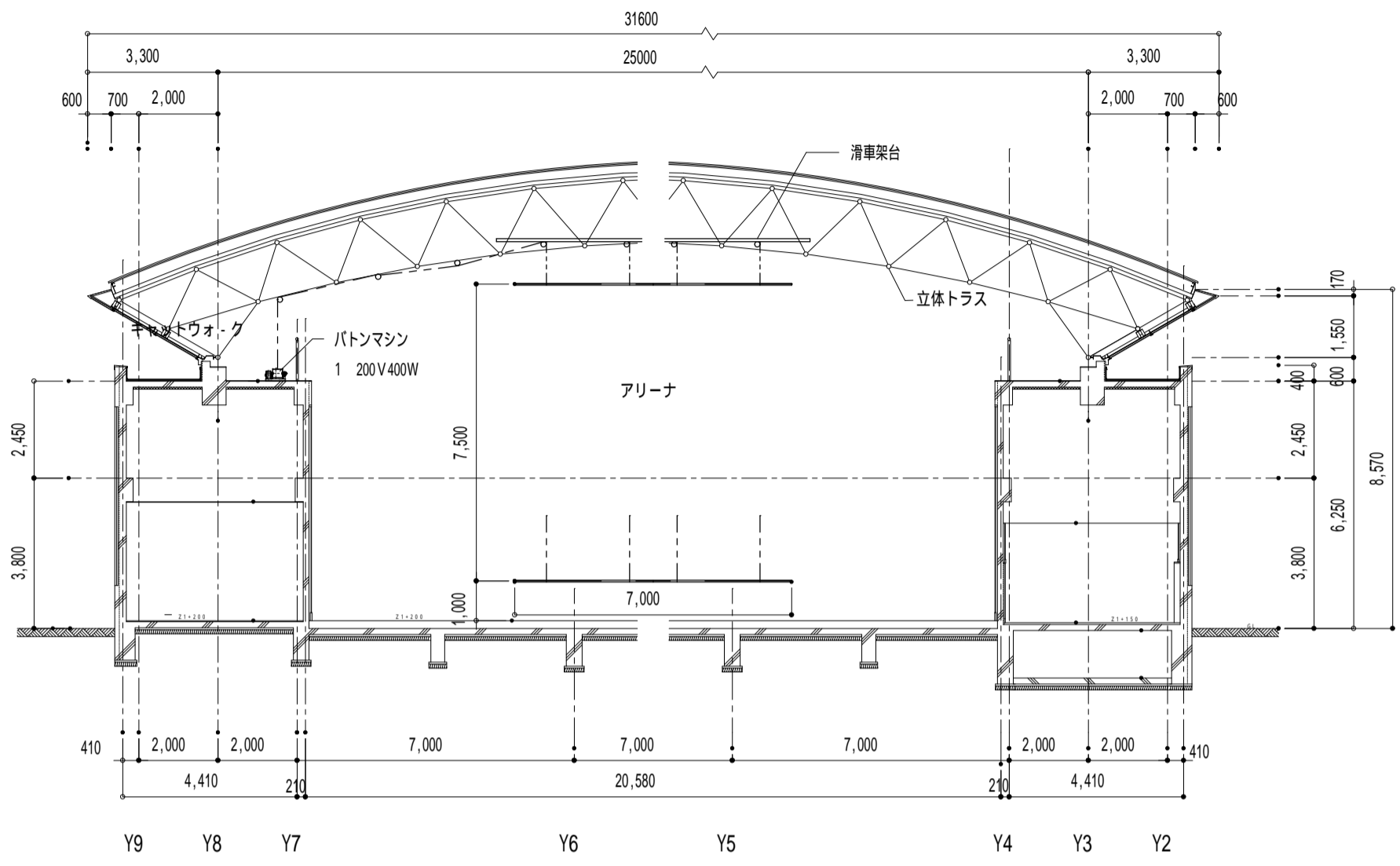
体育施設工事一覧表

NO	品番	数量	品名 / 仕様	ライン色	ライン巾	優先順位
1		1対	既存バスケット台撤去			
2	BB546	1対	水平引込折畳式バスケット台 シングルフレーム方式 フロアハンドル式 プラスチック板 バックボード高低装置付			
3		1基	吊バトン 電動昇降式 42.7 L:7000			
4		1式	床面サンダー掛け ウレタン塗装3回塗り			
5	SL211	1面	バスケットボールコート 26,000×15,000 全線		50mm	
6	SL213	2面	(サブ)一般6人制バレーボールコート 18,000×9,000 全線		50mm	
7	SL213	1面	(メイン)一般6人制バレーボールコート 18,000×9,000 全線		50mm	
8	SL215	3面	バドミントンダブルスコート 13,400×6,100 全線		40mm	
9	SL214	1面	一般9人制バレーボールコート 21,000×10,500 コーナー L=4		50mm	

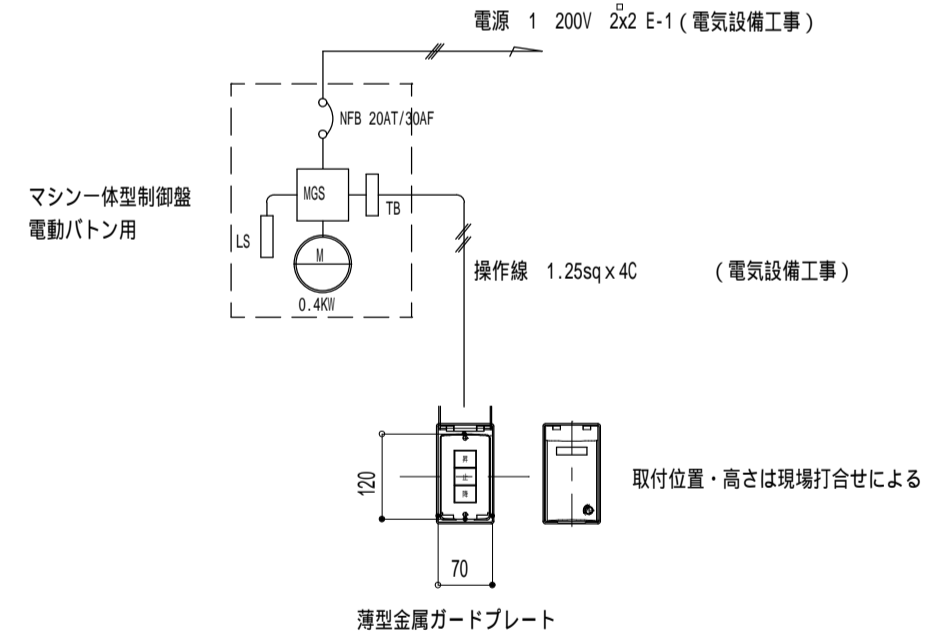


BB546 水平引込折畳式バスケット台 シングルフレーム式 フロアハンドル式 プラスチック板 バックボード高低装置付 S=1:40





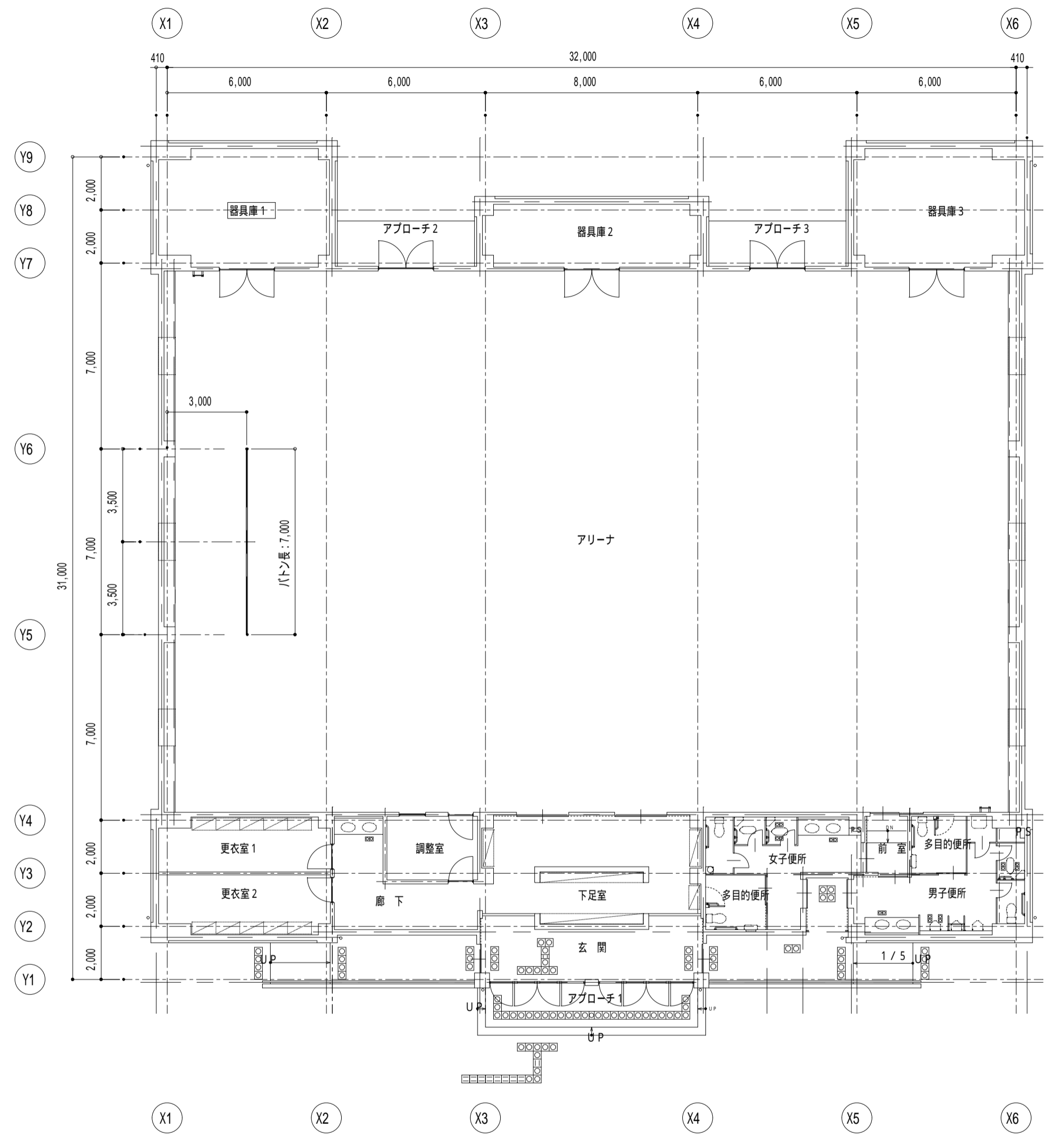
バトン設備正面図 1/150



バトン設備仕様

NO	名称	方式	設備仕様	数量
1	電動バトン	電動昇降式 1 200V400W B付	SUS: 42.7x2t 7,000L 4ワイヤーx4点吊	1

機構外工事: ブドウ棚工事(大引き・清車ビーム)の一切
各所マシンまでの一次側電源供給接続工事
マシンから操作スイッチまでの二次側配管配線工事



バトン設備平面図 1/150

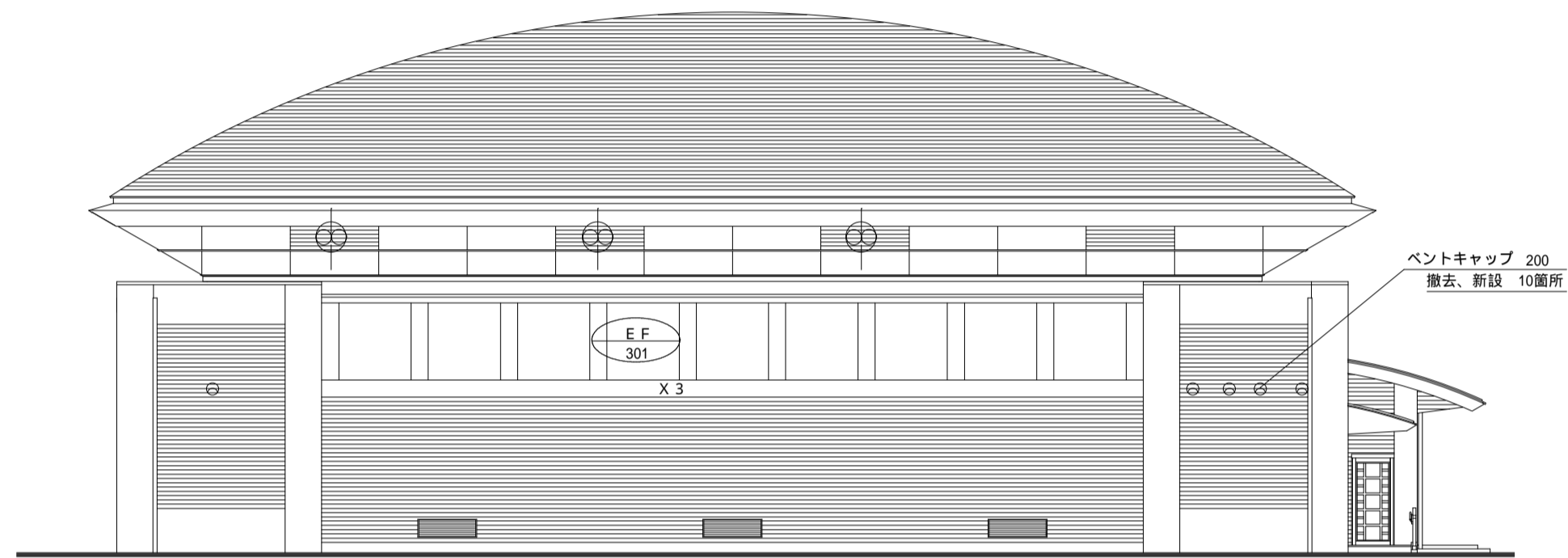
改修図

新設 機器表 既設 撤去共

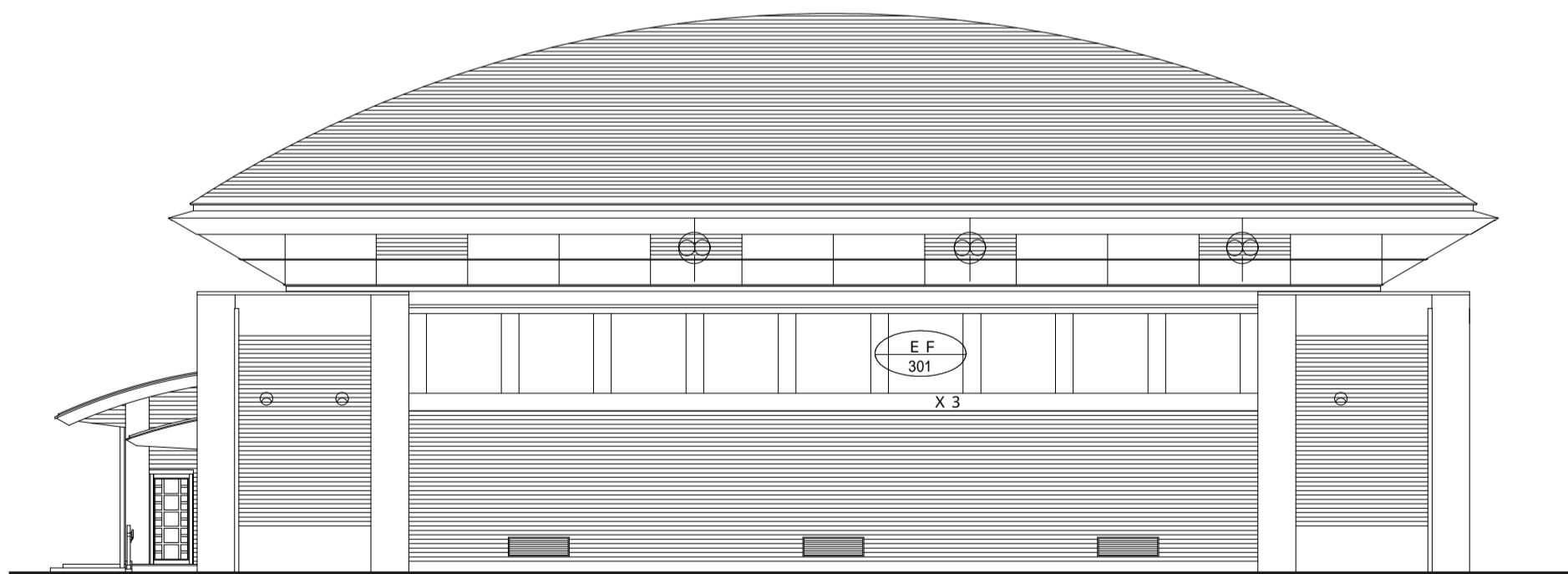
記号	機器名	仕様 電気容量 w × v	台数	参考品番、備考
EF 301	有圧換気扇	羽根口径 450 送風量 3500m ³ /h 消費電力 1 × 100v × 450w バックガード共 コントロ・ルスイッチは新設取り換え	6	排気ガラリ、ガラリチャンパー は既設再使用 EWF-45E S A2-Q型
	ベントキャップ	ステンレス製フード型 200 防虫網付き	10	既設品取り換え

試験・検査

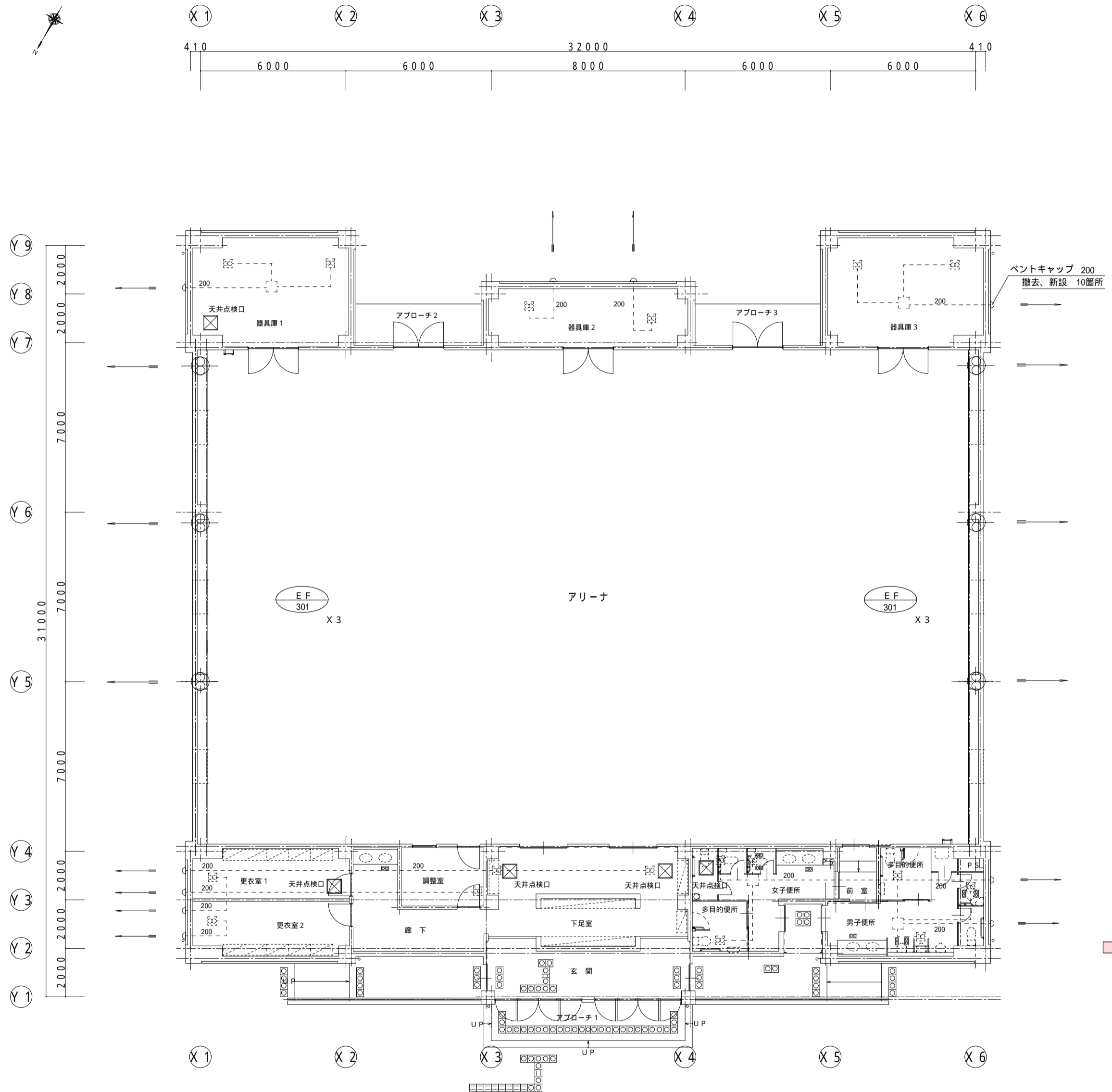
○水圧試験	排水満水試験	○排水通水試験	風量測定	吹出口温度測定
○気密試験	○点火試験	機器類動作試験		
騒音測定	振動測定	絶縁試験		
消防設備試験	水質検査	水槽水張り試験	アンカー引張試験	



東立面図



西立面図



1階平面図

改修図

電気設備工事特記仕様書－ 1

【工事概要】

- 1 工事場所 宇治市西笠取辻出川西1番地
- 2 建物概要

建物名	構造	階数	延床面積(m2)	消防法令別表第一	耐震安全性の分類	備考
					甲 乙	工事区分を記載 例：新築
					甲 乙	全館無人改修
					甲 乙	執務並行改修

- 3 工事科目 印をついたものを適用し、各一式とする。

工事科目	建物名称	管理棟	屋内運動場
電灯設備			
動力設備			
雷保護設備			
受変電設備			
電力貯蔵設備			
発電設備			
構内情報通信網設備			
構内交換設備			
情報表示設備			
映像・音響設備			
拡声設備			
誘導支援設備			
テレビ共同受信設備			
監視カメラ設備			
駐車場管制設備			
防犯・入退室管理設備			
火災報知設備			
中央監視制御設備			
医療関係設備			
構内配電線路			
構内通信線路			
電波障害調査			
撤去工事			

【特記事項】

- 1 一般事項
 - 1) 特記仕様書及び図面に記載されていない事項は、国土交通省大臣官庁官庁官庁官庁の「公共建築工事標準仕様書（電気設備工事編）令和7年版」（以下、「標準仕様書」という。）、「公共建築設備工事標準図（電気設備工事編）令和7年版」（以下、「標準図」という。）及び「公共建築改修工事標準仕様書（電気設備工事編）令和7年版」による。
 - 2) 工事種目に機械設備工事及び建築工事を含む場合、その仕様は当該図面及び標準仕様書による。
- 2 特記事項
 - 項目及び特記事項は、印をついたものを本工事に適用する。ただし、印のない場合は、印を適用する。

章	項目	特記事項
一	設備機材等	本工事に使用する設備機材等は、設計図面に規定するものまたは、これらと同等のものとする。ただし、これらと同等のものとする場合は、監督職員の承諾を受ける。
	機材の品質・性能証明	使用する機材が、（一社）公共建築協会発行の「建築材料・設備機材等品質性能評価事業 設備機材等評価名簿（最新版）」による場合は、評価書の写しをもって、標準仕様書第1編第1章第4節1.4.2(2)の品質及び性能を有することの証明となる資料の提出を省略することができる。ただし、標準仕様書に規定される製作図・試験成績書等は除く。
	現場代理人	本工事の施工に当たっては、請負契約書第10条に規定する現場代理人は、主任技術者又は監理技術者と同様、受注者との直接的かつ恒常的な雇用関係のある者を選任する。
	電気工事士	契約電力500kW以上の場合も、第1種電気工事士による施工を行う。
	工事用電力・水その他	本工事に必要な工事用電力・水などの費用は、引き渡し時まですべて受注者の負担とする。
	官公署への手続き	官公署等への手続きは速やかに行い、それに要する費用は、すべて受注者の負担とする。
	工事用仮設物	構内につくることができない
	足場・作業構台	別契約の関係者・受注者が設置したものは、無償で使用できる。
	監督職員事務所	設置しない 設置する（本工事 別途）
	監督職員事務所に備え付ける図書	下記の図書を監督職員事務所に備え付ける。 ・公共建築工事標準仕様書(電気設備工事編) ・公共建築設備工事標準図(電気設備工事編) ・電気設備工事監理指針 ・電気設備工事施工チェックシート ・建築設備耐震設計施工指針 ・工事写真撮影ガイドブック電気設備工事編 ・公共建築改修工事標準仕様書(電気設備工事編)
事	建設副産物の処理及び建設発生土の処理	建設副産物の処理 引き渡しを要するもの【 】 右記のほか、再生資源利用を図るもの【 】 特別管理産業廃棄物 現場説明書による。 P C B 使用機器 S F 6 ガス使用機器
	建設発生土処分	構外指定地に搬出処理 (一財)城陽山砂利採取地整備公社 右記のほか、現場説明書による。 構内指示場所に敷き均し
	再生資源利用(促進)計画・実施書の提出	詳細は現場説明書による。
	1)「建設発生土処理計画書」及び「廃棄物処理計画書」を監督職員に提出する。	
	2)関係法令に従い、適正に廃棄物等を処理し、「建設発生土処理計画書」及び「廃棄物処理報告書」により監督職員に報告する。	
	アスベスト成形板の処理等(以下のほか、現場説明書による)	施工調査 アスベスト成形板の撤去に当たり、あらかじめ事前の施工調査を次の事項について行う。調査結果は図面により記録し監督職員に提出する。 ・アスベスト成形板使用部位の確認 ・アスベスト成形板の種別、厚さ等の確認 ・アスベスト成形板使用数量の確認 ・施工範囲等の確認
	確認範囲	成形板の製造年等の確認 X線解析法
	処理方法	非飛散性アスベスト廃棄物の取扱いに関する技術指針」に従いあらかじめ処理計画書を作成し、適切に解体処分等を行うこと。

章	項目	特記事項																																																
一	工事関係書類	普通工事契約関係提出書類書式集5 一覧表より提出。 宇治市ホームページ参照tp://www.city.uji.kyoto.jp																																																
	履行報告	月報 2部 3部 毎月末に、翌月の5日までに提出する。																																																
	工事写真	1) 国土交通省大臣官庁官庁官庁「普通工事写真撮影要領(最新版)」による。 2) 工事完成時、整理の上、1部提出する。 3) 小黒板情報電子化については、現場説明書による。																																																
	完成図書	名称 内容 大きさ 部数 完成図 全文字製本 A4版 1部 完成図 背貼り製本(版) A4ファイル止め 2部 施工図 背貼り製本(版) A4ファイル止め 2部 機器完成図等 ファイル止め A4版 2部 諸官庁提出書類 副本 1式 原因 完成図 1部 完成写真 アルバム綴り 2部																																																
	著作権等	電子納品については、現場説明書による。 当該建物において取得する、施工図等の著作権に係る当該建物に限る使用権は、発注者に委譲するものとする。																																																
	付属品及び予備品	標準仕様書によるほか、別表による。																																																
	●耐震施工	1) 設備機器の固定は、国土交通省国土技術政策総合研究所・独立行政法人建築研究所監修の「建築設備耐震設計・施工指針2014年版」により計算を行い、監督職員に報告し承諾を得る。 2) 下記の設計用水平震度(KH)により、機器製作固定を行う。 <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">設置場所</th> <th colspan="2">特定の施設</th> <th colspan="2">一般の施設</th> </tr> <tr> <th>重要機器</th> <th>一般機器</th> <th>重要機器</th> <th>一般機器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>上層階、屋上及び塔屋</td> <td>2.0(2.0)</td> <td>1.5(2.0)</td> <td>1.5(2.0)</td> <td>1.0(1.5)</td> </tr> <tr> <td>中間階</td> <td>1.5(1.5)</td> <td>1.0(1.5)</td> <td>1.0(1.5)</td> <td>0.6(1.0)</td> </tr> <tr> <td>1階及び地下階</td> <td>1.0(1.0)</td> <td>0.6(1.0)</td> <td>0.6(1.0)</td> <td>0.4(0.6)</td> </tr> </tbody> </table> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">設置場所</th> <th colspan="2">特定の施設</th> <th colspan="2">一般の施設</th> </tr> <tr> <th>水</th> <th>水</th> <th>水</th> <th>水</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>上層階、屋上及び塔屋</td> <td>2.0</td> <td></td> <td>1.5</td> <td></td> </tr> <tr> <td>中間階</td> <td>1.5</td> <td></td> <td>1.0</td> <td></td> </tr> <tr> <td>1階及び地下階</td> <td>1.5</td> <td></td> <td>1.0</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	設置場所	特定の施設		一般の施設		重要機器	一般機器	重要機器	一般機器	上層階、屋上及び塔屋	2.0(2.0)	1.5(2.0)	1.5(2.0)	1.0(1.5)	中間階	1.5(1.5)	1.0(1.5)	1.0(1.5)	0.6(1.0)	1階及び地下階	1.0(1.0)	0.6(1.0)	0.6(1.0)	0.4(0.6)	設置場所	特定の施設		一般の施設		水	水	水	水	上層階、屋上及び塔屋	2.0		1.5		中間階	1.5		1.0		1階及び地下階	1.5		1.0	
	設置場所	特定の施設		一般の施設																																														
		重要機器	一般機器	重要機器	一般機器																																													
	上層階、屋上及び塔屋	2.0(2.0)	1.5(2.0)	1.5(2.0)	1.0(1.5)																																													
中間階	1.5(1.5)	1.0(1.5)	1.0(1.5)	0.6(1.0)																																														
1階及び地下階	1.0(1.0)	0.6(1.0)	0.6(1.0)	0.4(0.6)																																														
設置場所	特定の施設		一般の施設																																															
	水	水	水	水																																														
上層階、屋上及び塔屋	2.0		1.5																																															
中間階	1.5		1.0																																															
1階及び地下階	1.5		1.0																																															
●電線類	1) 特記なきものは、EM-Eとする。 2) EM電線、EMケーブルで標準仕様書に規格等の記載のないものは、ハロゲン及び鉛を含まない材料で構成されたものとし、次の記号及び仕様による。 EM-アクセスフロア JCS4502(600Vアクセスフロア用耐燃性ポリエチレンシースケーブル)による600Vアクセスフロア用ポリエチレン絶縁耐燃性ポリエチレンシースケーブル(EM-E)及び600Vアクセスフロア用架橋ポリエチレン絶縁耐燃性ポリエチレンシースケーブル(EM-CE)を示す。 EM-MEES JCS4271に準じ、絶縁材及びシースにJCS規格によるEMケーブルの耐燃性ポリエチレンを用いたもの																																																	
●電線管	電線管 PF管 ただし、露出部分は鋼製電線管とする。 分電盤等の2次側で第1ボックスまでは(鋼製電線管 PF管)とする。 ●ねじなし電線管 1) 雨線外及び湿気が多い場所または水気のある場所に使用する露出電線管は、厚鋼電線管とする。 2) スラブ厚の1/4を超える外径の配管及び(PF22)又は(E25)相当を超えるものは、コンクリート埋設配管を行わない。 最上階の埋込配管 最上階のスラブでモルタル防水及び樹脂防水の場合、埋込配管は避けるのを原則とする。 下記の露出配管は塗装(指定色塗装)を行う。 屋外(屋上を除く) ●屋内居室 屋内P・S・EPS 屋内機械室・電気室 ○廊下 分電盤、制御盤、端子盤等の2次側以降の配電線路、電線太さ、電線本数、管径等は監督職員の承諾を受けて変更することができる。																																																	
ボックス	樹脂管で配管する場合は、合成樹脂製ボックスを使用する。																																																	
予備配管	分電盤の予備の配線用遮断器が4個以下の場合(25)を1本、5個以上の場合(25)を2本天井内で立上げる。ケーブルラックの床の防火貫通部に(51)を1本以上立上げる。																																																	
フラッシュプレート	和室 樹脂製 金属製(新金属製 ステンレス製) その他 樹脂製 金属製(新金属製 ステンレス製)																																																	
床配線器具等	床用配線器具の形式は以下による。(図面特記のあるものを除く。) 二重床 インナー形 ○飛び出し形 ○内部固定形 ○外部固定形 二重床以外 飛び出し形 ○引出し形 ○内部固定形 ○外部固定形 (フロアベースは水平高低調整式(空転防止リング付) 砲金製 ○アルミ製とする。)																																																	
●機器	寸法 盤その他機器類について図示した寸法は、約寸法とする。 接続 電動機への接続は、本工事とする。 アンカーボルト アンカーボルト、全ネジ及びナットは、下記による。 屋外・多湿室等 (溶融亜鉛メッキ ●SUS) その他 (溶融亜鉛メッキ ●SUS 一般品)																																																	

章	項目	特記事項																																				
共通事項	●あと施工アンカー	施工後確認試験 ●行う 行わない 試験方法 引張試験による引張試験とし、国土交通省大臣官庁官庁官庁の公共建築改修工事標準仕様書(建築工事編)(令和7年版)「8.1.2.7 施工確認試験」による。 確認強度 監督職員との協議による。																																				
	●機器内配線等	下記の機器内配線及びケーブルには、EM電線及びEMケーブルを使用する。 ただし、高圧主回路配線はこの限りでない。 ●分電盤 O A盤 実験盤 開閉器箱 制御盤 キュービクル式配電盤 直流電源装置 交流無停電電源装置(UPS)(簡易型を除く)																																				
	●はつり	1) 既存のコンクリート床・壁等の配管貫通部の穴あけは、原則としてダイヤモンドカッターを使用する。 2) 復旧はモルタル補修までとする。																																				
	●再使用機器	取り外した上再使用する機器は、清掃し絶縁抵抗測定の上取付ける。なお照明器具等の見え掛かり部分は、洗剤を使用するなどして、十分に清掃する。																																				
	●その他	屋外の盤類・開閉器箱 SUS 鋼板製 ●図示による。 屋外のプルボックス ●SUS 鋼板製																																				
	●工事範囲	●配管 ●配線 ●機器取付																																				
	●電気方式	幹線 ●三相3線式 100V/200V 直流2線式 100V 分岐 ●三相2線式 ●100V ●200V 直流2線式 100V																																				
	照明制御による効果の評価	一般社団法人日本照明器具工業会技術資料130「照明制御装置による消費電力削減効果の評価手法」により、消費電力削減効果の評価を行い監督職員に提出する。																																				
	照明制御装置	照明制御装置の各センサー設定は、監督職員と協議する。センサー設定器を付属させる。 多重伝送制御システム 多重伝送制御システムの設定は、監督職員の指示による。システム設定器を付属させる。																																				
	●LED制御装置の種類	図面特記があるものを除き、LED照明器具の制御装置の種類は、調光信号線が接続された器具にあってはL X又はL Z、それ以外はL N又はL Jとする。																																				
電灯設備	●RP又はMP形照明器具	標準図において、防雨形または防湿形の器具本体の材質に、SUSを含む複数の材料が適用されている場合は、SUSを適用する。																																				
	●非常用照明形式	●電池内蔵形 電池別置形																																				
	フロアコンセント	引出し形 飛び出し形 内部固定形 外部固定形 O Aフロア用																																				
	分電盤等	1) 本工事の分電盤、O A盤、実験盤で、分岐に用いる配線用遮断器及び漏電遮断器の寸法は、JISC 8201-2-1「回路遮断器」、同付属書J「電灯分電盤用協約形回路遮断器」、JISC 8201-2-2「漏電遮断器」、同付属書J「電灯分電盤用協約形漏電遮断器」、による1種サイズのものとする。 2) SPD分離器(配線用遮断機)は (警報接点付 警報接点無)とする。 3) SPD分離器は、監督職員の承諾を受けて、SPD内蔵とすることができる。 O A盤の端子盤部に 通気口 冷却ファン を設ける																																				
	照明用ボール	開閉器を設ける(配線用遮断器 カットアウトスイッチ) 開閉器を設けない																																				
	●一般照明の照度測定	実施 ●する しない																																				
	工事範囲	配管 配線 機器取付																																				
	電気方式	幹線 三相3線式 200V 分岐 三相3線式 200V																																				
	制御盤	1) 制御回路に用いる変圧器は絶縁変圧器とする。 2) インバータ発熱対策用冷却装置を扉内に取り付けた場合、開扉時に冷却装置を休止させる。 3) インバータ発熱対策用冷却装置の故障を 盤面に表示(させる させない)																																				
	監視方法	警報盤による代表監視 中央監視制御装置による監視																																				
動力設備	インターロック	自動火災報知設備の受信機、連動制御器及びガス漏れ火災警報受信機と連動して、制御盤で空調機を停止させる。 三相可変性電動機用インバータ装置の規約効率は、次表の値以上とする。																																				
	インバータ装置の規約効率	<table border="1"> <thead> <tr> <th>電動機出力(kW)</th> <th>0.4</th> <th>0.75</th> <th>1.5</th> <th>2.2</th> <th>3.7</th> <th>5.5</th> <th>7.5</th> <th>11</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>インバ-タ効率(%)</td> <td>86.0</td> <td>88.5</td> <td>92.0</td> <td>93.0</td> <td>94.0</td> <td>94.0</td> <td>94.5</td> <td>94.5</td> </tr> <tr> <td>電動機出力(kW)</td> <td>15</td> <td>18.5</td> <td>22</td> <td>30</td> <td>37</td> <td>45</td> <td>55</td> <td>75</td> </tr> <tr> <td>インバ-タ効率(%)</td> <td>95.0</td> <td>95.5</td> <td>95.5</td> <td>95.5</td> <td>95.5</td> <td>95.5</td> <td>95.5</td> <td>95.5</td> </tr> </tbody> </table>	電動機出力(kW)	0.4	0.75	1.5	2.2	3.7	5.5	7.5	11	インバ-タ効率(%)	86.0	88.5	92.0	93.0	94.0	94.0	94.5	94.5	電動機出力(kW)	15	18.5	22	30	37	45	55	75	インバ-タ効率(%)	95.0	95.5	95.5	95.5	95.5	95.5	95.5	95.5
	電動機出力(kW)	0.4	0.75	1.5	2.2	3.7	5.5	7.5	11																													
	インバ-タ効率(%)	86.0	88.5	92.0	93.0	94.0	94.0	94.5	94.5																													
	電動機出力(kW)	15	18.5	22	30	37	45	55	75																													
	インバ-タ効率(%)	95.0	95.5	95.5	95.5	95.5	95.5	95.5	95.5																													
	備考	1) 電動機の供給電圧は100V又は200Vとする。 2) インバータ効率は、100%負荷時の値とする。																																				
	工事範囲	配管 配線 機器取付																																				
	保護レベル																																					
	受雷部システム	突針支持管 鋼製 ステンレス製																																				
接地システム	A型接地極(板状接地極 垂直接地極 放射状接地極) B型接地極(環状接地極 網状接地極) 構造体利用接地極(構造体底部部の大地抵抗率測定のための大地抵抗率測定用補助接地極を○設ける 設けない)																																					
受変電設備	工事範囲	配管 配線 機器取付																																				
	電気方式	高圧 三相3線式 6kV 低圧 三相3線式200V 単相3線式100V/200V 三相3線式 V 三相4線式 V/V																																				
	配電盤形式	屋内キュービクル式配電盤 屋外キュービクル式配電盤 開放形配電盤 変圧器盤 コンデンサ盤 系統連系保護制御盤 高圧スイッチギア(C X形 C W形 P W形) 低圧スイッチギア(C X形 C S形 C W形 F W形)																																				
	変圧器の規格(グ)	1) 変圧器(スコット結線変圧器、モールド変圧器でH絶縁材料を使用するもの、一次電圧が低圧または特別高圧のものを除く。)は、グリーン購入法による特定調達品目の判断基準を満たすものとする。 2) ダイヤル温度計は、最高温度指針付とする。																																				
	監視方式	警報盤による代表監視 中央監視制御装置による監視																																				
	基礎	本工事 別途工事 既設																																				
	付属品等	盤内に予備限流ヒューズを収納する。																																				
	その他	低圧配電盤の配線用遮断器は取付け板組込形で埋込形とする。 低圧配電盤の裏面に負荷側引出し用端子を設ける。 低圧配電盤に内部点検空間を設ける。(幅600mm以上・高さ1,800mm以上) 盤内照明器具はLEDとする。 換気扇を設ける場合は回転センサー付とする。(盤面警報ランプ共)																																				

電気設備工事特記仕様書 - 2

章	項目	特記事項			
電力貯蔵設備	工事範囲	配管	配線	機器取付	
	直流電源装置	用途	建築基準法用	消防法用	受変電設備専用
	交流無停電電源装置 (UPS)	用途	()		
	方式	一般形	簡易形		
	工事範囲	配管	配線	機器取付	
	形式	オープン形	簡易形	キュービクル	
	連続運転可能時間	10時間(乙)	72時間(甲)		
	発電機	電気方式	三相3線式		
	電圧	210V	6.6kV	415V	
	定格出力	kVA以上	力率	0.8	
発電機	原動機	種別	ガスタービン	ディーゼル機関	ガスタービン
	燃料	種類	軽油	灯油	ガス()
	監視方式	監視盤による代表監視	中央監視盤による監視		
	太陽光発電装置	太陽電池	アレイ	公称最大出力	kW以上
	設置可能建築面積	m ² 以下(長辺)	m x 短辺	m	
	系統連系	受動	能動		
	パワコンディショナ出力	相	線式	V	kW以上
	逆流	有	無		
	交流出力電圧	100V	200V		
	出力電気方式	三相3線式	単相3線式	単相2線式	
外部移報	有	無			
通信線設備	工事範囲	配管	配線	機器取付	
	施工方法	金属管配線	ケーブル配線	合成樹脂管配線	
	形式	電子交換機	ボタン電話装置		
構内交換設備	工事範囲	配管	配線	機器取付	
	保安器用接地	本工事	別途工事		
	形式	電子交換機	ボタン電話装置		
情報表示設備	●工事種類	マルチサイン装置	出退表示設備	●時刻表示設備	
	●工事範囲	配管	配線	●機器取外し再取付	
	親時計及び付属装置	C R - P M	C W - P M	キー式	
映像音響設備	工事範囲	配管	配線	機器取付	
	施工方法	金属管配線	ケーブル配線	合成樹脂管配線	
	増幅器	用途	全館放送用(一般放送)	非常放送)	ローカル放送用
拡声設備	スピーカ	特記なきものは	SCS6Hi-1VS3-M		
	工事範囲	配管	配線	機器取付	
	工事内容	音声誘導装置	検出方式	(磁気式 無線式 画像認識)	
誘導支援設備	インターホン	電話式	相互式		
	テレビインターホン	親機に子機カメラ角度調整機能(上下)を設ける。			
	トイレ等呼出し装置	1窓	3窓	5窓	
	呼出しボタン	壁付ボタン(プルスイッチの長さは0.2m程度とする)			
	通話機能	壁付押しボタン(押しボタンの長さは1.2m程度とする)			
	受付呼出し装置	誘導音			
テレビ共同受信設備	工事範囲	配管	配線	機器取付	
	アンテナ	UHF用	BS用	CS用	
	アンテナマスト	壁面取付形	自立形	配管用ステンレス鋼管	
電界強度測定	電界強度及び画質は、最上階が打上がったときに、アンテナ取付予定位置、またその周辺で測定し、その測定記録を監督職員に速やかに提出すること。測定チャンネルは、監督職員と協議する。				

章	項目	特記事項			
監視カメラ	工事範囲	配管	配線	機器取付	
	画像	カラー	白黒		
	伝送方式	ネットワーク伝送方式	デジタル同軸伝送方式	○	
	工事範囲	配管	配線	機器取付	
	車両検出方式	ループコイル方式	光線方式		
	工事範囲	配管	配線	機器取付	
	工事種類	機械警備用配管	防犯装置	入室管理制御装置	
	●自動火災報知装置	●工事範囲	●配管	●配線	●機器取付
	受信機	P形	2級	5回線	再使用
	壁掛形	自立形	複合形		
単独形	複合形	窓			
耐受信機	盤面に消火ポンプ運転表示灯を設ける。				
光警報装置					
消火ポンプ始動	消火栓箱内押ボタン	発信機と連動(総合盤に始動表示灯を設ける。)			
機器収容箱	消火栓一体形	単独形			
自動閉鎖装置	工事範囲	配管	配線	機器取付	
連動制御器	回線	【予備電源(蓄電池)内蔵】			
自動閉鎖装置	防火戸用【DC24V 0.6A以下電磁式またはラッチ式】	防煙ダンパ用			
非常警報装置	工事範囲	配管	配線	機器取付	
電気方式	DC24V				
電源装置	非常電源(蓄電池)	自動火災報知設備と兼用			
ガス漏れ火災警報装置	工事範囲	配管	配線	機器取付	
受信機	単独形	自火報受信機と一体			
ガスの種類	都市ガス(13A) 液化石油ガス				
諸警報表示	受信機に諸警報表示窓(窓)を設ける。				
中央監視	工事範囲	配管	配線	機器取付	
監視方式	警報盤	監視制御装置			
医療関係設備	工事範囲	配管	配線	機器取付	
非接地電源用分電盤	キャビネット	鋼製	ステンレス製		
ナースコール装置	トイレ及び浴室等の呼出押ボタン	有線式	無線式		
その他	オプション等の試験は、監督職員の手による。				
電気方式	高圧	三相3線式	6kV		
低圧	三相3線式	200V			
単相3線式	100/200V				
単2線式	(100V 200V)				
ふ設方式	地中線	管路式	波付硬質合成樹脂管(FEP)		
埋設深さ	特記なきものはGL(舗装がある場合は、舗装下面)から30.0mm以上とする。				
架空線	電柱	遠心力プレストレストコンクリートポール			
高圧負荷開閉器	7.2kV	300A			
用途	架空引込用	地中引込用			
構造	耐凍埋じん用	耐重埋じん用			
形式	引外し装置付き(SOG形)	引外し装置なし			
マンホール及びハンドホール	構造・寸法	標準図による			
蓋の文字	蓋の用途表示は電力とする。				
ケーブルが直接接触しない場合の金物は、接地を省略してもよい。					
屋外に使用する高圧ケーブルはE-M高圧架橋ポリエチレンケーブルは、JCS 4395「6600V架橋ポリエチレンケーブル(3層押出型)」に(よる。○よらない)					
余長	高圧ケーブルは、受変電設備までの配線経路中、1ヶ所以上で3m余長をとる。				
端未処理	一般用	重耐塩用			
避雷器	屋外形	耐塩形			
装柱材	一般用	耐塩形			
外灯	基礎	本工事	別途工事		
外灯ボールの材質が鋼製(SPC)の場合で特記がない場合は溶融亜鉛メッキとし、指定色塗装とする。					
工事範囲	配管	配線	機器取付		
ふ設方式	地中線	管路式	波付硬質合成樹脂管(FEP)		
埋設深さ	特記なきものはGL(舗装がある場合は、舗装(表層)下面)から30.0mm以上とする。				
架空線	電柱	遠心力プレストレストコンクリートポール			
マンホール及びハンドホール	構造・寸法	標準図による			
蓋の文字	蓋の用途表示は通信とする。				
ケーブルが直接接触しない場合の金物は、接地を省略してもよい。					

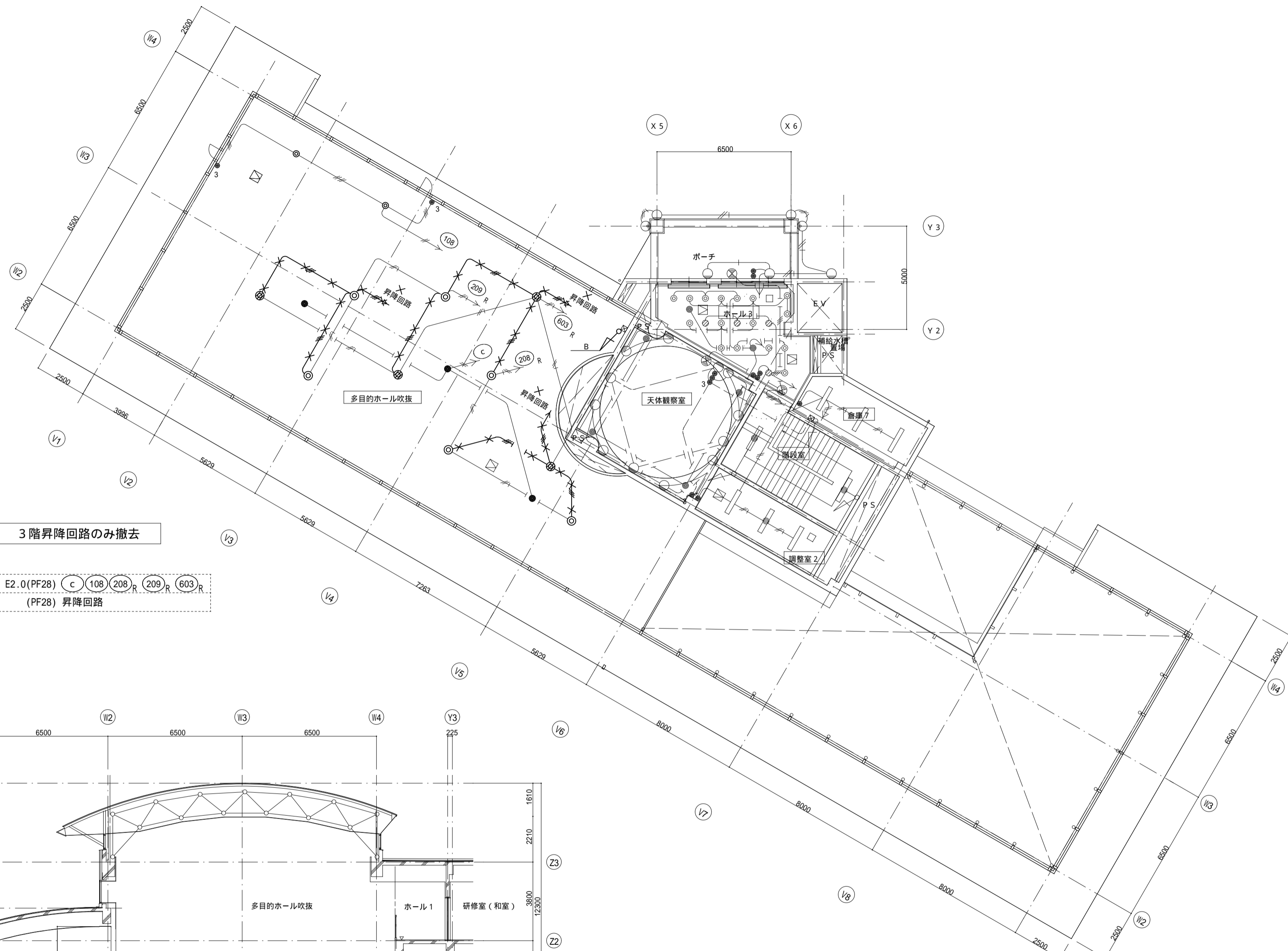
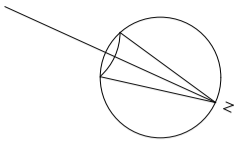
章	項目	特記事項	
調査	調査範囲	測定のみ	対策工事実施設計書作成まで
	測定時期	工事前	工事中
	測定箇所	箇所	完成後
測定内容	受信可能な全チャンネルとし、結果報告書を提出する。		

別表	付属品・予備品	イーゼルキャビネット	箱	キーボックス	テスター	マンホールフック
		工具箱(ドライバー、モンキーレンチ、組スプナー、ハンマー)				
		受変電設備・盤	ランプ及びヒューズの予備品は、2.0%とする。			

試験・検査一覧	工事完成に際しては、各種試験、検査に合格の責任を持つ。
	検査及び試験を行うべき機材等は標準仕様書による他下記の項目とする。
	受変電機器 動力盤及び電灯盤 耐圧試験●絶縁抵抗測定 接地抵抗測定●機器機能試験●その他監督職員の指示するもの
	●工事着手に際し、事前に必要な機器(照明機器、空調機器、放送設備等)の機能確認を行い、確認結果報告書を提出する。
	●工事着工前に既設照明器具で床面照度を測定し、完成後の照度と比較する。(照度測定箇所は監督職員の指示する箇所とする。)
	着工前・工事完成後、空調機器の機能・調整確認を行い、確認結果報告書を提出する。
	●着工前・工事完成後、電気時計機器の機能・調整確認を行い、確認結果報告書を提出する。
	●後施工アンカ-の施工確認試験(引張試験機による引張試験)は、1日の施工本数の3%以上かつ3本以上とする。
	例 盤・ケ-ブルラック・ケ-ブルダクト等

その他	●試験機器類の校正記録を提出する。
	●停電工事の必要な時は、当該高圧受変電設備の電気主任技術者と協議し、打合せ記録を提出する。
	尚、電気主任技術者の立会費用は本工事に含む。
	工事に係る申請手続き費、消防設備竣工検査費、高圧電気設備検査等の竣工に必要な費用は本工事に含む。
	●鉄筋コンクリ-トをダイヤドリル等で貫通する時は、鉄筋探査機で開口位置を確認する。
	●整備不良の電動工具等持ち込まない。
	●構外搬出適切産廃処分とする(電線、電線管、器具、管球等報告書を提出する)。
	●交通誘導員は大型機器搬入時及び監督職員が必要と指示した時は、安全確保のため交通誘導員を2名以上配置する。
	カラーコーン、コーンウェイト、コーンバーにて囲いながら掘削する。

機器取付高さ(参考寸法の為、盤の寸法・取付位置は監督員と協議する。)						
名称	測点	取付高(mm)	名称	測点	取付高(mm)	
電力共通	取引用計器	地上~上端	端子盤	床上~上端	1,900	
電話	引込開閉器	〃	保安器函	天井下~上端	200	
			壁付位置ボックス	床上~中心	300	
動力	壁掛型制御盤	床上~上端	〃(和室)	〃	150	
	手元開閉器	床上~中心				
	操作スイッチ	〃	壁掛スピーカー	天井下~上端	200	
電灯	分電盤	床上~上端	アッテネーター	床上~中心	1,300	
	スイッチ(一般)	床上~中心	壁掛型親時計	床上~上端	1,900	
	〃(身障者便所)	〃	子時計	天井下~上端	200	
	コンセント(一般)	〃	壁掛インターホン	床上~中心	1,500	
	〃(和室)	〃	〃(身障者)	〃	1,100	
	〃(台上)	台上~中心	壁付位置ボックス	〃	300	
〃(土間)	床上~中心	〃(和室)	〃	150		
ブラケット(一般)	〃	2,100	機器収納函	天井下~上端	200	
〃(踊場)	〃	2,500	直列ユニット	床上~中心	300	
〃(鏡上)	鏡上端~中心	150	〃(和室)	〃	150	



3階昇降回路のみ撤去

B

2.0 x 10 E2.0 (PF28)	C	108	208	209	603
2.0 x 9 (PF28) 昇降回路					

ホール3	
d27	x 17
d9	x 2
a13B	x 2
XA(中)	x 1

倉庫6	
R401P	x 3

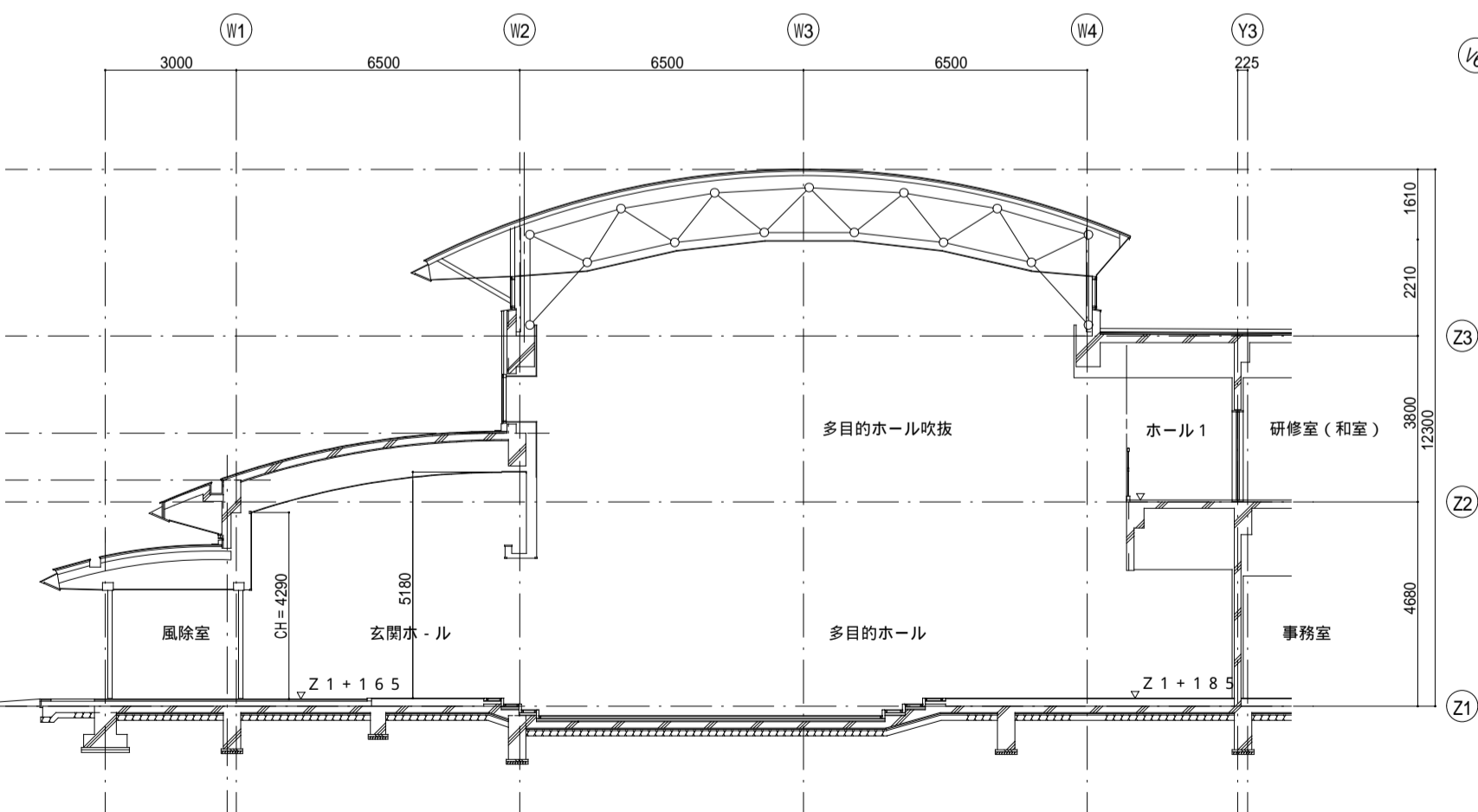
調整室	
B322	x 2
B322B	x 1

天体観望室	
q130	x 8
a13B	x 4
XH(中)	x 1
aa5	x 4

階段室	
W402B	x 2

多目的ホール吹抜	
P400	x 10
a30B	x 3
d27	x 2

外部	
r13W	x 3
r40W	x 4
XH(小)	x 1



管理棟 断面図詳細図 S: 1/150

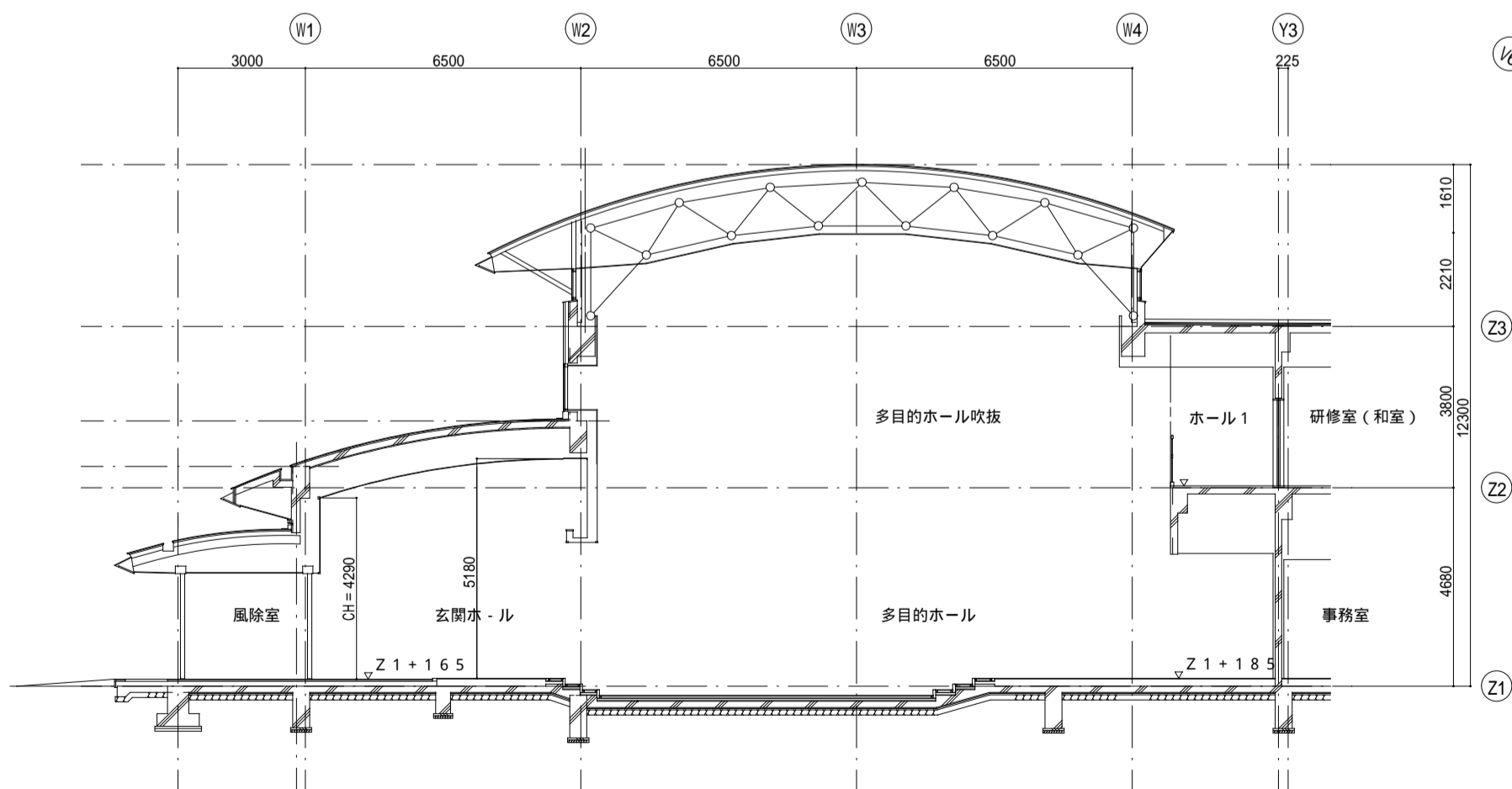
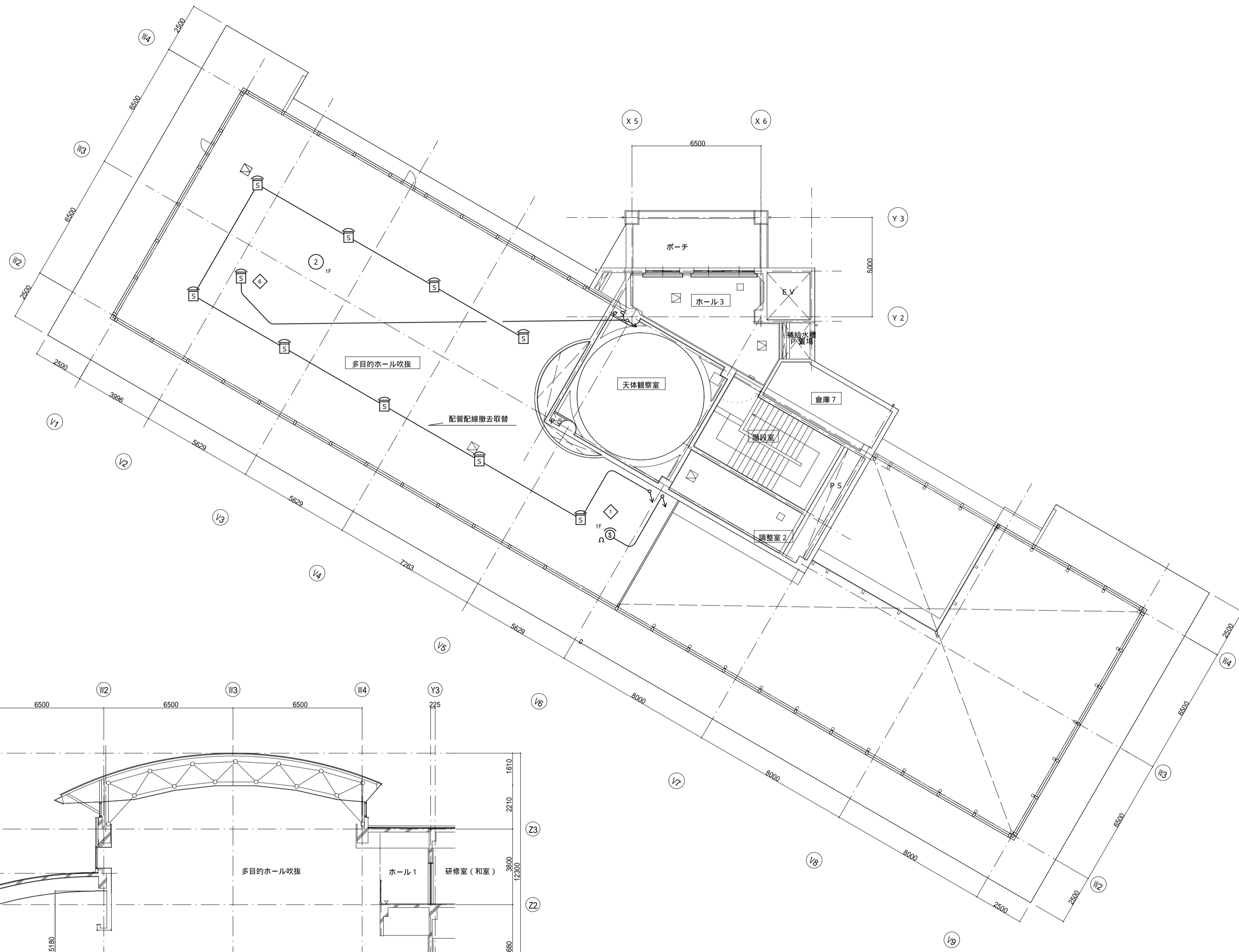
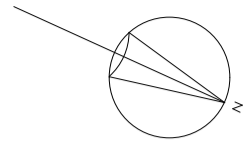
(注記)

- 1) 特記なき配管配線は下記による
(分電盤以降第一負荷迄)
 EM-EEF2.0-2C (PF16)
 EM-EEF2.0-3C (107-入) (PF22)
 EM-EEF2.0-2C x 2 (PF22)
 EM-EEF2.0-3C+2C (107-入) (PF22)
- (第一負荷以降)
 EM-EEF1.6-2C (PF16)
 EM-EEF1.6-3C (107-入) (PF16)
 EM-EEF1.6-3C (PF16)
 EM-EEF1.6-2C x 2 (PF22)
 EM-EEF1.6-3C+2C (107-入) (PF22)
 EM-EEF1.6-3C+2C (PF22)
 EM-EEF1.6-3C x 2 (PF22)
- (リモコン配線)
 EM-AE 0.9-2C (PF16)

- 2) 天井ごしがし配線の壁への引下げはP F管で保護する
- 3) 防火区画貫通部分の配線は防火区画貫通処理を行う
- 4) レコイ内はIEとする
- 5) 太い線は新設, 細い線は既設配線とする

印 取替
x 印 撤去

(注記)
天井に取り付ける機器(照明器具等)については、『建築設備耐震設計・施工指針』に基づき、天井構成部材に対して確実に緊結すること。また、別途落下防止ワイヤー等による脱落防止措置を講じること。



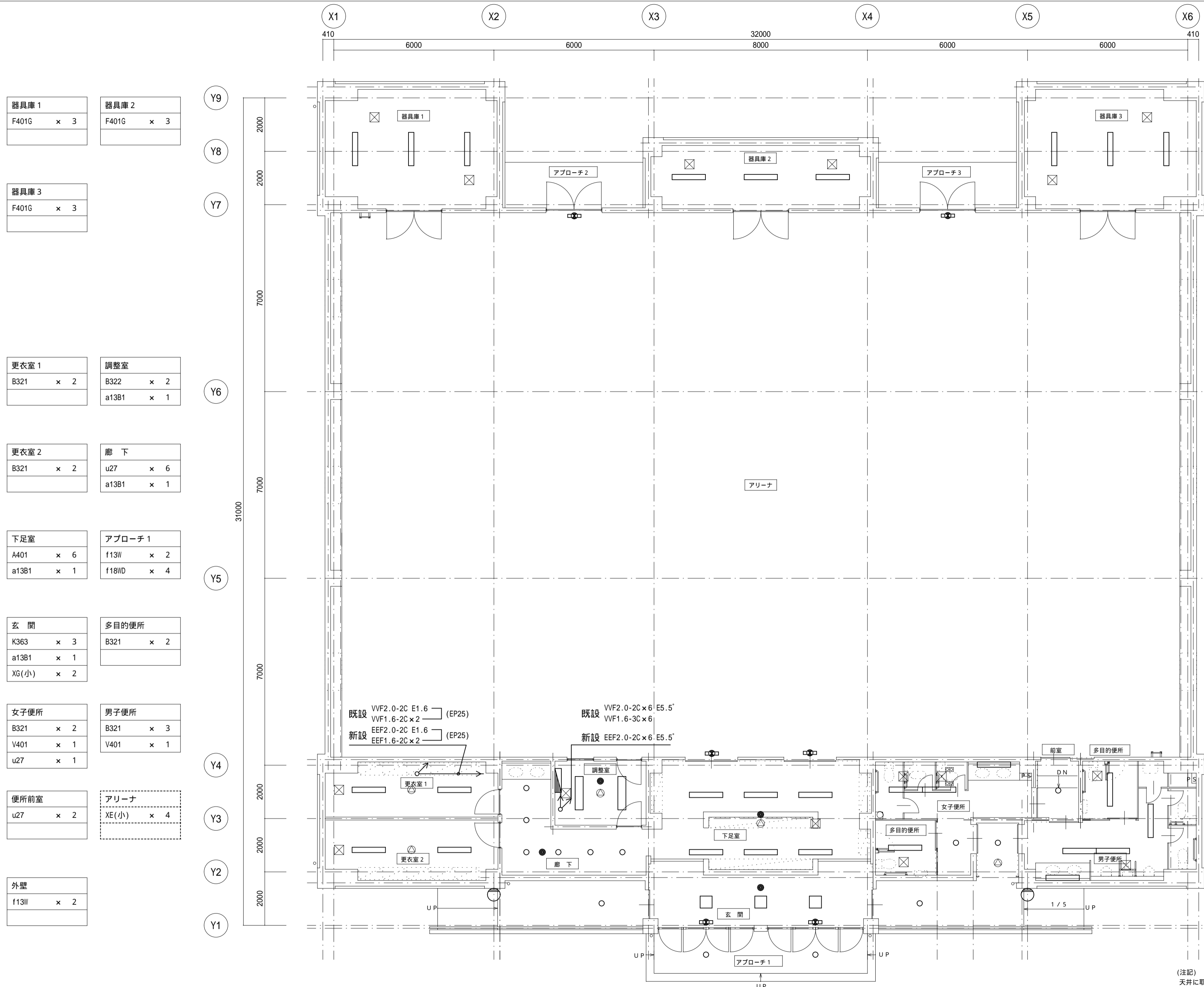
管理棟 断面図詳細図 S: 1/150

記号	名称
Ⓜ	感知器 光電式 煙 2種
Ⓢ	感知器 光電式 煙 3種

- (注記)
- 1) 特記なき感知器の配管配線は下記による
EM-AE 1.2-4C (E19)
 - 2) 防火区画貫通部分の配線は防火区画貫通処理を行う
 - 3) 太い線は新設, 細い線は既設配線とする

印 取替
×印 撤去

(注記)
天井に取り付ける機器(照明器具等)については、『建築設備耐震設計・施工指針』に基づき、天井構成部材に対して確実に緊結すること。また、別途落下防止ワイヤー等による脱落防止措置を講じること。



器具庫 1	F401G	x 3
-------	-------	-----

器具庫 2	F401G	x 3
-------	-------	-----

器具庫 3	F401G	x 3
-------	-------	-----

更衣室 1	B321	x 2
-------	------	-----

調整室	B322	x 2
	a13B1	x 1

更衣室 2	B321	x 2
-------	------	-----

廊下	u27	x 6
	a13B1	x 1

下足室	A401	x 6
	a13B1	x 1

アプローチ 1	f13W	x 2
	f18WD	x 4

玄関	K363	x 3
	a13B1	x 1
	XG(小)	x 2

多目的便所	B321	x 2
-------	------	-----

女子便所	B321	x 2
	V401	x 1
	u27	x 1

男子便所	B321	x 3
	V401	x 1

便所前室	u27	x 2
------	-----	-----

アリーナ	XE(小)	x 4
------	-------	-----

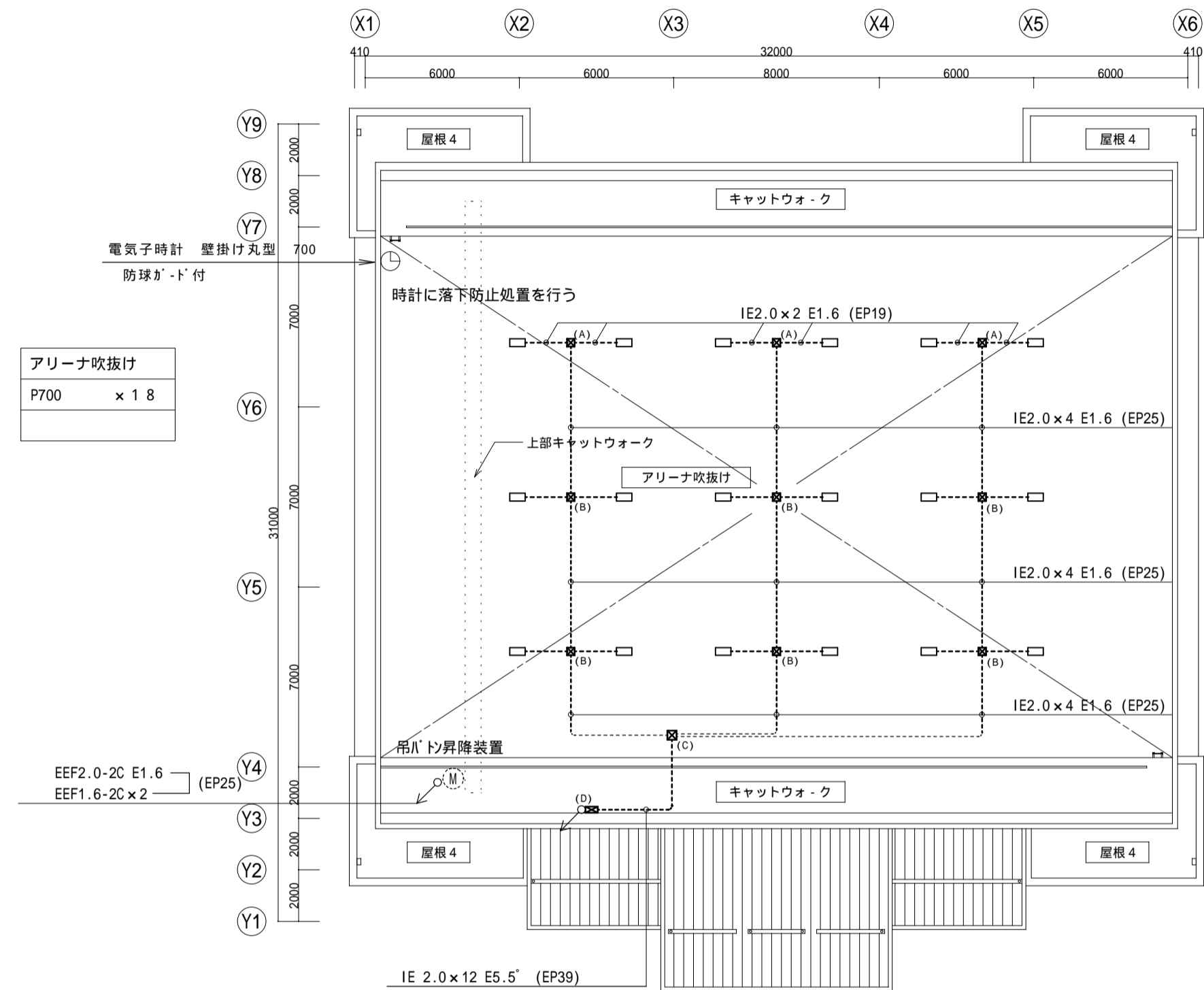
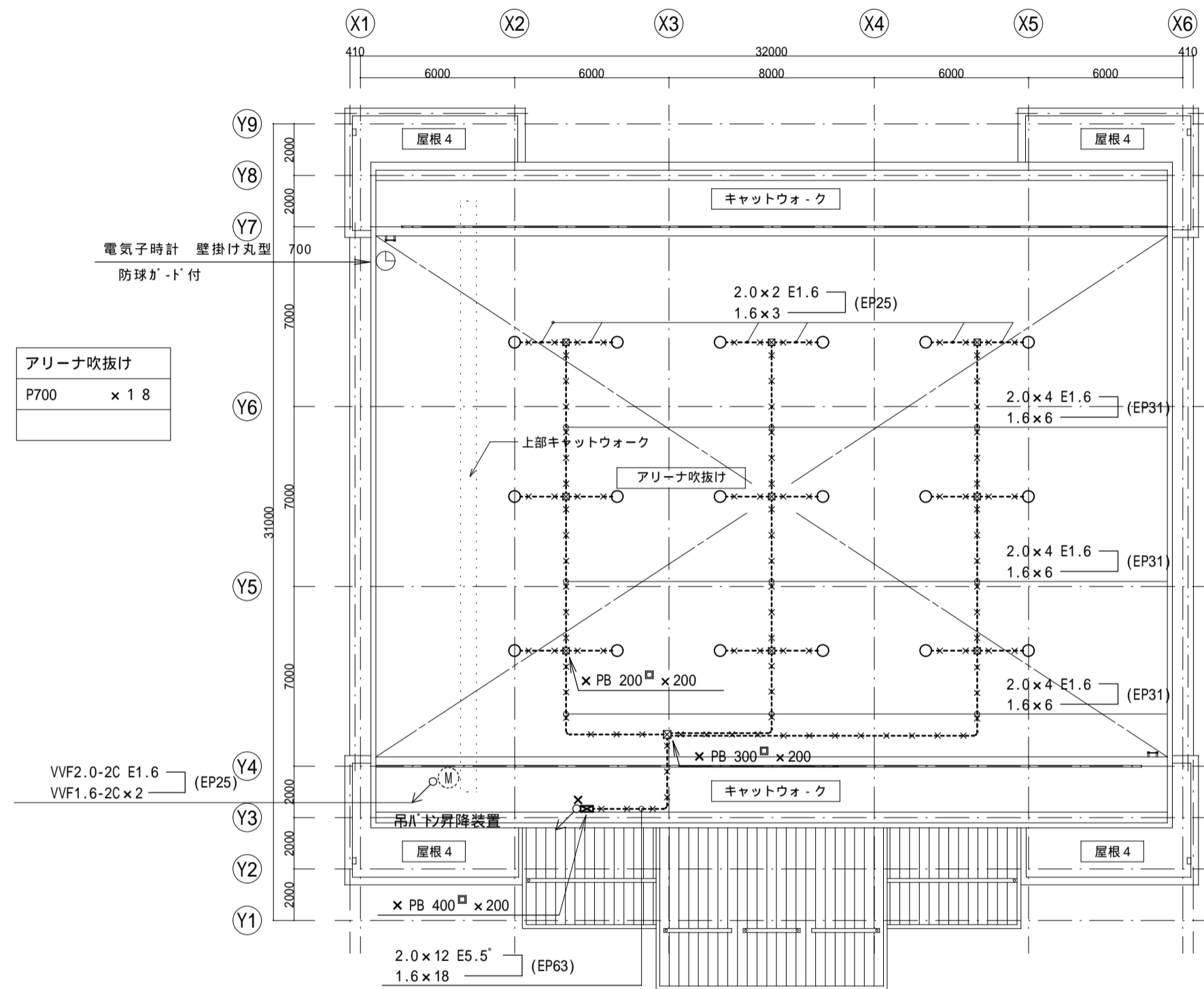
外壁	f13W	x 2
----	------	-----

- 印 取替
- 印 一時撤去後清掃再取付
- 印 既存のまま
- x 印 撤去

(注記)
天井に取り付ける機器(照明器具等)については、『建築設備耐震設計・施工指針』に基づき、天井構成部材に対して確実に緊結すること。また、別途落下防止ワイヤー等による脱落防止措置を講じること。

現況・撤去

改修後



アリーナ吹抜け
P700 x 1 8

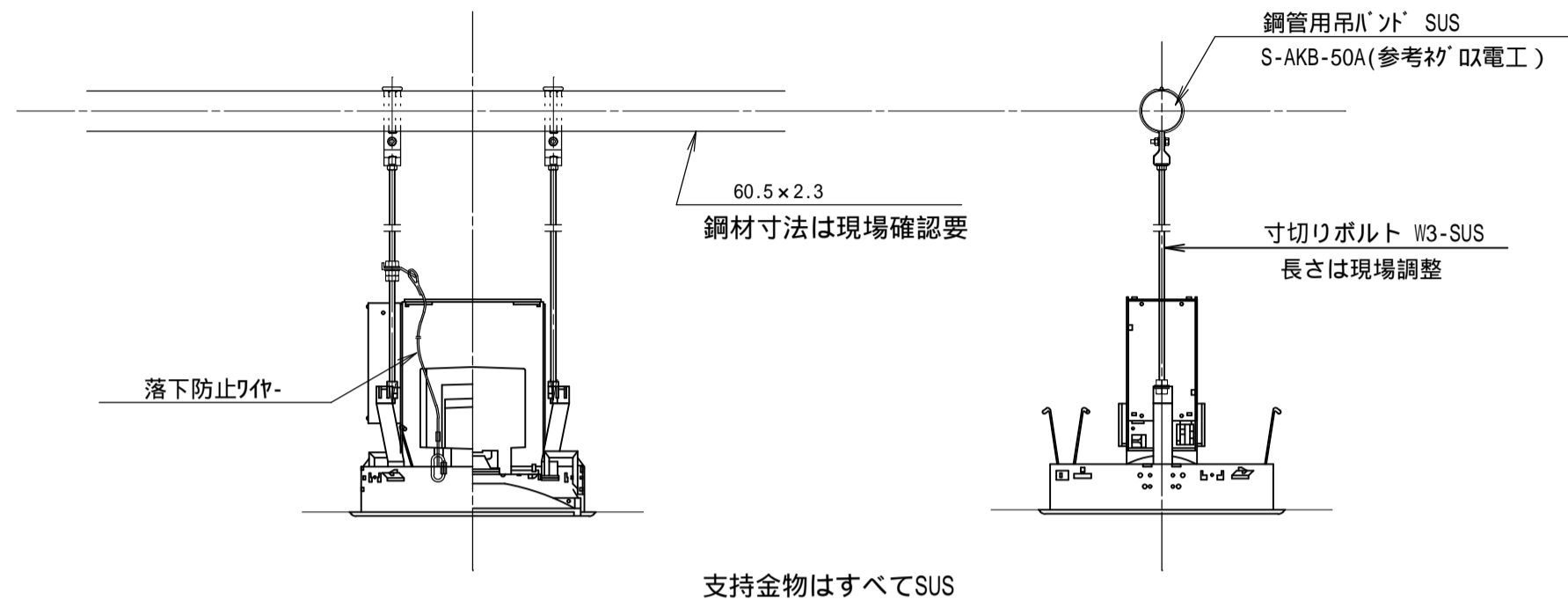
アリーナ吹抜け
P700 x 1 8

P, BOX SS H(高さ) x W(幅) x D(奥行) SUS	
☒ (A)	P, BOX SS 150 x 150 x 100 SUS
☒ (B)	P, BOX SS 200 x 200 x 100 SUS
☒ (C)	P, BOX SS 300 x 300 x 200 SUS
☒ (D)	P, BOX SS 400 x 400 x 200 SUS

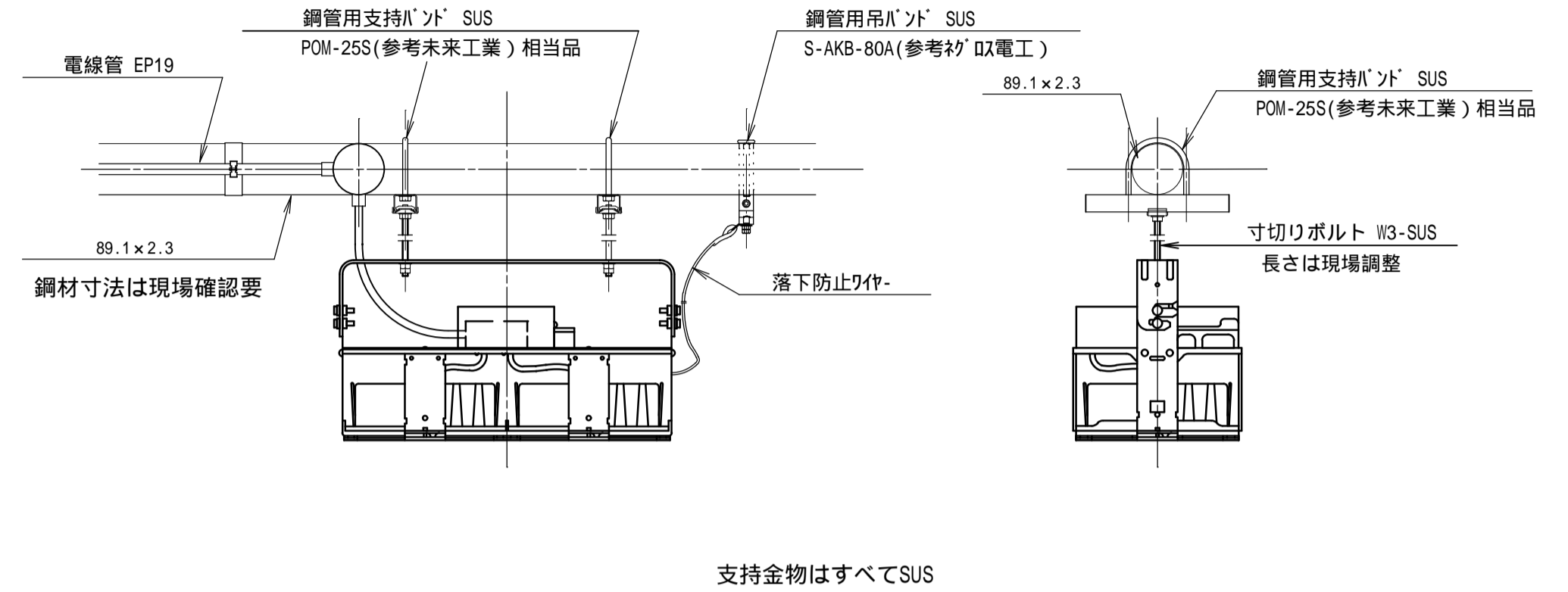
- 印 取替
- 印 一時撤去後清掃再取付
- 印 既存のまま
- 印 電線撤去 電線管再使用
- × 印 撤去

(注記)
天井に取り付ける機器(照明器具等)については、『建築設備耐震設計・施工指針』に基づき、天井構成部材に対して確実に緊結すること。また、別途落下防止ワイヤー等による脱着防止措置を講じること。

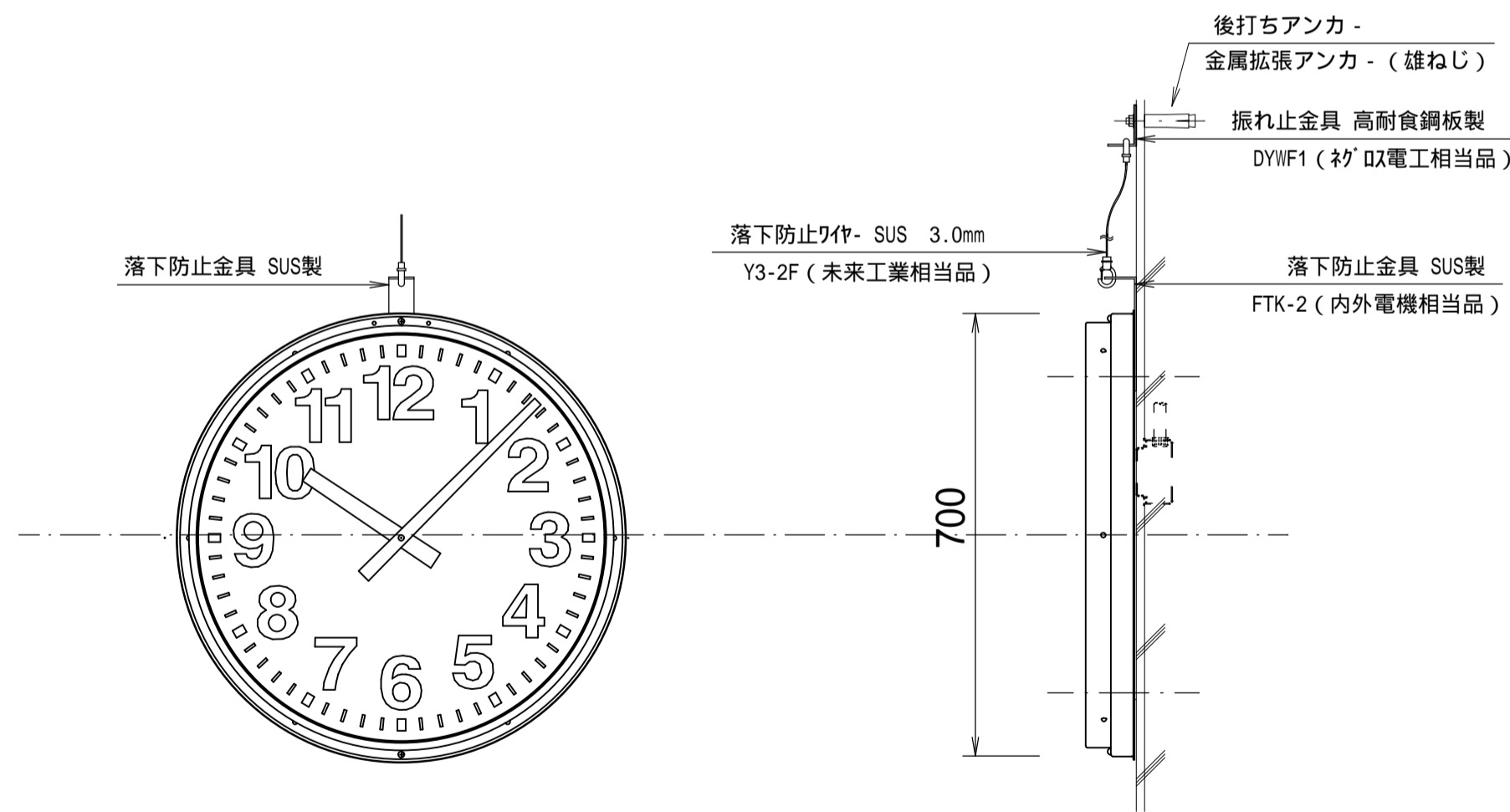
管理棟照明取付参考図



アリーナ照明取付参考図



電気時計落下防止要領図



一級建築士事務所 事務所登録京都府知事(04A)第01606号 橋本一級建築デザイン事務所 〒611-0021 京都府宇治市宇治妙楽48-1 myouraku101 一級建築士登録 第299760号 橋本光生		作成日 2026/03	修正日	工事名 総合野外活動センター管理棟及び体育館非構造部材 耐震対策改修工事	図面番号 E-08
		検印	縮尺 1/10	図面名 照明器具他取付詳細図	